

經濟地理學部 編

世界經濟地理

コムアカデミー經濟學研究所
經濟地理學部編
經濟地理研究會譯

世界經濟地理

資本主義世界の部

公用圖書
愛惜使用

東京
叢文閣版

空軍軍官學校圖書館

登錄號 4326

類號 910/2134

國家圖書館典藏

由國家圖書館數位化



合衆國及びカナダ農業地帯



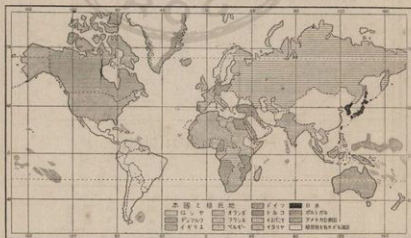
印度、インドシナ、及びマレー半島礦物分布圖



フランス産業圖



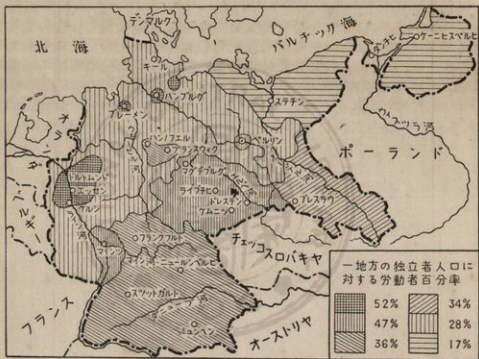
ピレネー半島農業及び鑛業地帯



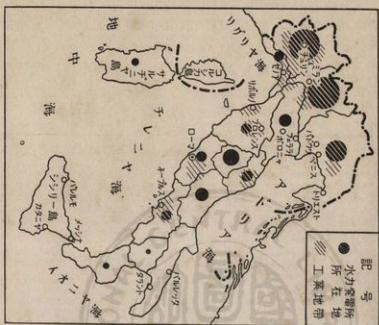
一九一四年帝國主義戦争前の世界分割



ポーランド人口組織



ドイツ労働者分布圖



イタリヤ水力資源及び工業地帯



支那ソヴェート地帯

譯者序

一 本書のオリヂナルは、コムアカデミー經濟學研究所經濟地理學部指導の下にコムアカデミー・レーニングラード支部經濟學研究所經濟地理學部の新進經濟地理學者たちによつて組織された編輯部隊の結果たる國立教育ニ教育學出版所版「經濟地理」の第一冊資本主義世界の部、一九三一年第一版である。

二 編輯者及び各章の擔當者は次の如くである。

編輯者——エム・ミヌスキン、イ・ポリース

一、世界經濟の概要——エム・ボグダンチコフ、ヴェ・ヴォルベ、ア・サウチエンコ。

二、アメリカ合衆國——ア・サウチエンコ。

三、イギリス及びイギリス帝國——ヴェ・ヴォルベ。

四、フランス——イ・ポリシヤコフ。

五、ドイツ——エス・カルガローヴァ。

六、イタリヤ——イ・ポリシヤコフ。

七、イスパニヤ——エス・カルガローヴァ。

八、日本——ア・サウチエンコ。

九、支那——イ・コズミン。

十、ポーランド、ルーマニヤ、フィンランド、バルチック沿岸諸國——エム・ボグダンチコフ。

十一、トルコ、ベルシャ——イ・ポリシャコフ。

十二、蒙古及び唐努烏梁海共和國——エム・ボグダンチコフ。

三 國名及び地名の譯語は三省堂編輯部編「新制最近世界地圖」昭和八年一月修正四版に據つた。但し同書のもとは異なるも日本で通稱とされてゐるものは、これを取つた。

四 なほ三十八葉の地圖と數葉の圖表とを割愛しなければならなかつたが、これは書店の都合からで、深く讀者にお詫しなければならぬ。

五 本書が全體としての世界並びに各國の經濟狀態及び經濟恐慌の研究に役立てば幸甚である。

昭和九年三月

世界經濟地理 目次

第一部 世界經濟の概要

一 帝國主義の基本的諸特質

帝國主義——資本主義の獨占的段階。獨占資本主義。獨占資本主義は労働者運動に於ける日和見主義を生む。獨占は資本主義的生産の無政府状態、競争及び恐慌を尖锐化させる。銀行の新たな役割。資本輸出。帝國主義は必然的に植民地に於ける生産諸力の發展を阻止する。トラストの世界分割、再分割のため。の競争。帝國主義諸國家の世界分割。

二 世界政治發展の見透し

諸國の分類。反動的な『超帝國主義』の理論及び『組織化された資本主義』の理論。資本主義の不均等な發展の理論。

三 第一次戦争と資本主義

一九一四—一八年の戦争前の帝國主義的諸矛盾。資本主義的部分に於ける世界戦争の諸結果。ヨーロッパ

バからアメリカへの資本主義中心の移轉。戦後の諸矛盾の尖鋭化。現在の世界經濟恐慌 經濟恐慌は政治……に成長する。

第二部 各國の經濟

第一 アメリカ合衆國

一 アメリカ資本主義の發達諸條件

世界經濟に於ける合衆國の地位と役割。合衆國に於ける資本主義發達の社會史的條件。合衆國の工業發展の歴史的條件。

二 工業

工業の原料上の基礎。動力供給。鑄鐵、鍛鐵及び鋼鐵の生産。機械製作工業。電機工業。紡績業。工業の集積。アメリカ工業に於ける資本主義的獨占。

三 農業

農業の技術。合衆國の農業恐慌

四 諸地方の經濟…………… 四

南部地方。中部地方。大西洋地方。太平洋地方。山岳地方。

五 合衆國の資本主義體制の危機…………… 五

合衆國經濟の危機。勞働者階級の狀態。合衆國に於ける失業。アメリカ資本主義の現經濟恐慌。個々の工業部門に於ける恐慌。農業恐慌。

六 外國市場獲取鬭争…………… 六

資本輸出。商品輸出。ソヴェート同盟と合衆國。

第二 イギリス及びイギリス帝國…………… 七

A イギリス…………… 七

一 イギリス資本主義の諸特質…………… 七

國民經濟の型。イギリスは海國である。植民地の控制。農民の土地喪失とプロレタリアートの創造。技

術的進歩。世界經濟に於けるイギリスの獨占的地位。イギリス資本主義の慢性的停滯。イギリス工業の部門的構成。イギリス工業の組織的構造。低度の技術的水準。外國市場への依存性。新部門。工業の合理化。地方的分布。農業。イギリスの外國貿易。資本輸出。イギリス帝國の崩壞。

二 現在の經濟恐慌…………… 八六

恐慌の深さ。失業の増加。勞働者階級の狀態の惡化。

三 イギリスの勞働者階級…………… 八九

過去の状態。勞働者上層の買収。世界戰爭後の勞働者の狀態の猛烈な惡化。

四 イギリスとソヴェート同盟…………… 九三

B イギリス帝國…………… 九五

一 イギリスの植民地獨占…………… 九五

植民地獨占とその危機。イギリス帝國の形成。

二 アイルランド……………100

アイルランドの獲取。アイルランドの貧窮化。國民經濟。

三 カナダ……………103

地理的事情。國の經濟。カナダとアメリカ合衆國との經濟關係 農業及び工業恐慌。

四 英領印度……………106

印度の獲取。印度の略取。農業の社會的特徴。工業。労働者の階級狀態。印度の工業恐慌。印度に於ける國民解放運動。

五 イギリス帝國主義の諸矛盾……………114

六 市場獲取鬭争……………117

七 將來に於ける英米衝突の不可避性……………119

第三 フランス……………120

一 戦前に於けるフランスの發達の特殊性…………… 一〇〇

高利貸國。戦前フランスの工業。重工業の緩慢な發達の諸原因。農業。人口の慢漫な増加。

二 戦後のフランス…………… 一六六

工業の發達。石炭、『白炭』石油。生産の集積。農業。經濟諸地方。

三 經濟恐慌…………… 一三四

四 フランス帝國主義…………… 二三四

植民地政策。對外政策。

第四 ドイツ…………… 二四〇

一 資本主義の發達…………… 二四〇

ドイツ帝國主義の發達。植民地獲取闘争。ドイツ帝國主義の外的對立。ドイツにとつての戦争の結果。

ヤング案。

二 ドイツの國民經濟……………一四七

礦物資源。主要な工業部門。資本の集積。ドイツ農業の狀態。農民の分化。農業恐慌。交通。經濟地方。プロレタリアートの地理的分布。

三 經濟恐慌とプロレタリアート……………一五九

四 ソヴェート同盟とドイツ……………一六三

第五 日本……………一六六

一 日本の一般的特徴……………一六六

經濟の一般的特徴づけ——工業。産業の集中。農業。土地制度。

二 日本に於ける經濟恐慌……………一七一

三 日本の植民地……………一七三

臺灣。朝鮮。

四 ソヴェート同盟と日本……………一五

第六 イタリアヤ……………一六

一 工業……………一七

一九一四—一九一八年戦争後の工業の發達。水力の廣汎な利用。工業部門の比重。

二 農業……………一九

農業の特徴と土地使用條件。農業過剩人口。農業生産の移動。

三 現經濟恐慌と階級對立……………二〇

世界恐慌とイタリア經濟に對するその影響。戦後の階級對立。

四 對外關係……………二二

對外政策。イタリアとソヴェート同盟。

第七 イスパニヤ……………一六

一 イスパニヤの經濟的發展……………一六

二 農業……………一八

農業の立ち後れの原因。農業の主要部門。

三 工業……………一九〇

工業の技術的水準。外國資本の役割。主要工業部門とその分布。鐵道運輸の後れてゐること。

四 經濟恐慌と階級對立……………一九一

イスパニヤの國民經濟の危機。イスパニヤの階級構成。労働者階級。民族運動。

第八 ポーランド……………一九六

一 ポーランドの資本主義の特質……………一九六

ポーランドの形成。ポーランドの經濟の一般的特徴。外國資本の役割。軍需工業の發達。

二 農業 1011

ポーランドの農業制度。主要農業部門。農業恐慌。

三 民族問題 1024

四 工業 1034

ポーランドの工業。世界恐慌がポーランドの工業に及ぼした影響。

五 階級闘争の激化 1038

六 ソヴェート同盟とポーランド 1039

第九 ルーマニヤ 1111

戦後のルーマニヤ。農業制度。農業。民族問題。工業。ソヴェート同盟とルーマニヤ。

第十 バルチツク沿岸諸國 1129

A エストニア、ラトビア、リトワニア……………三九

舊ロシア帝國の構成部分としてのバルチツク沿岸諸國。經濟の農業型。工業の貧弱な發達。労働者階級の狀態。ソヴェート同盟との相互關係。エストニア。ラトビア。ソトワニア。

B フィンランド……………三七

フィンランドの形成。農業制度。フィンランドの農業。林業。『白炭』。恐慌と労働者階級の狀態。ソヴェート同盟とフィンランド。

第十一 トルコ……………三三

オットマン帝國はイギリス、ドイツ、帝政ロシアの競争對象……………の没落と權力のブルジョアジエ及び富農への轉行。農業の特殊性。農民（貧農及び中農）の狀態。トルコ工業の半手工業的性質。外國資本の役割。經濟的踏地方。

第十二 ベルシヤ……………四二

帝國主義競争以前の時期に於けるイギリスと舊帝政ロシアとの間のベルシヤ分割。一九二九年からベル

シヤはイギリスの半植民地だ。國民經濟。農業構成。工業。民族運動。ベルシヤに於ける勞働者運動。ベルシヤとソヴェート同盟との相互關係。

第十三 アフガニスタン……………二四

アフガニスタンの發達。經濟制度。アフガニスタンの經濟。農業。遊牧。アフガニスタンとソヴェート同盟。

第十四 支那……………二五

一 資本主義諸國による支那侵略と分割……………二五

二 工業……………二六

工業の發展。工業の主要部門。

三 農業……………二六

農業に於ける社會的階級的諸關係。個々の農産物の特徴。

四 交通……………二六二

五 支那の諸地方……………二六三

六 經濟恐慌と革命運動……………二六四

支那に於ける經濟恐慌。

七 對外關係……………二六六

支那に於ける英米對立。×米對立　ソグエート同盟と支那。

第十五 蒙古及び唐努烏梁海國民共和國……………二六九

一 兩共和國の特質……………二六九

蒙古と唐努とは非資本主義的發達の國々である。革命前に於けるロシア商業と高利貸資本の侵入。××の影響。

二 蒙古國民共和國……………二七二

蒙古は従れた遊牧國である。社會的、階級的諸關係。農業共營化。農業。工業。ソヴェート同盟との交渉。五ヶ年計畫。

三 唐努烏梁海國民共和國

唐努は遊牧國、帝國主義者と封建領主とが人為的に發展を阻害してゐる。農民經營の協同組合化と共營化。工業の發達。毛皮業。協同組合は私的商人を驅逐した。運輸建設。文化建設。ソヴェート同盟×××××と唐努に對する影響。

附錄 世界經濟統計

第一部 世界經濟の概要

一 帝國主義の基本的諸特質

一 帝國主義——資本主義の獨占的段階

十九世紀の終りから世界の資本主義經濟は最新の帝國主義的發展段階に入つた。この新たな段階に於ける資本主義の基本的特質をなすものは、何よりも先づ、少數の最も強大な企業への生産の強度の集積過程と、あれこれの産業部門の生産の殆んどすべてをその手に獨占する強力な資本主義的結合體の成立とである。

例へば、先進資本主義國アメリカ合衆國では、生産の集積の次のやうな増大が見受けられる。一九〇四年には百萬弗以上の生産額を持つ大企業は總企業數の〇・九%であつた。だがこれらの企業には全労働者の二五・六%が働いてをり、これらの企業は總生産額の三八%を生産してゐた。五年後にはこれらの大企業の数僅々一・一%が増加したに過ぎなかつた。ところがこれらの大企業に働はれてゐる労働者の百分率は三〇・五%に増加し、生産額は四三・八%に増加した。つまり總企業百分ノ一が生産の約半額を生産してゐた。一九二五年には總生産額の約七〇%、總労働者の約六〇%が「企業總數の」六%に過ぎない最大機械工場企業に所屬してゐる。

これと全く同様の生産の集積過程は、他の先進資本主義國、例へばドイツにも見受けられた。戦前のドイツでは、労働者の三九・五%と總機械エネルギーの七五%とが企業總數の〇・九%に所屬してゐた。一九二五年にはこの國の總生

産の六〇%が大企業に所屬してゐる。

同じやうな生産の集積過程は、他の資本主義諸國でもまた行はれたし、現に行はれつゝある。極めて少數の資本主義的巨頭が生産の殆んど全部をその手のなかに取り込んでゐる。それと同時に何百萬といふ小企業の役割はあつてもなくともよいほどの僅かなものになつて行く。

「これでも明かなやうに、集積はその一定の發展段階に達すると、言はゞ、自づから獨占到近づいて行く。なぜなら、數十の企業は容易に相互間の協定を取り結び得るからである。……競争から獨占へのこの轉化は、最新の資本主義經濟に於ける最も重要な現象ではないとしても、最も重要な現象のひとつである……」[レーニン「帝國主義論」、邦譯岩波文庫版二五頁、以下同じ]。

資本主義的企業間の協定は、トラスト、カルテル及びコンツェルンの形態に於ける獨占的結合體の組織を持ち來す。そしてこれらの獨占的結合體は一國の全經濟的及び政治的生活の樞軸となる。

獨占組織は相互に市場を分割し、生産物の數量を決定し、獨占價格を制定し、相互に利潤を分配する。獨占的企業は經濟的及び經濟外は一切の方策によつて、その結合體に加入してゐない企業を破滅させるか、または自己の權力に隸屬させる。

勤勞者に對する獨占的……資本家の同盟に莫大な利潤を保證する。『殘餘の人口に對する少數の獨占者の重壓は、百倍も重苦しい、感じ易い、堪え難いものとなる』(レーニン)。

二 獨占資本主義

資本主義的獨占は帝國主義的經濟的基礎であるが、この獨占は「……不可避的に停滯、(腐朽への)傾向を生み出す。

たとへ一時的にでも独占價格が設定される限り、技術的進歩、従つてまた他の一切の進歩、即ち前進運動の有力な動因が或る程度まで消滅する。その限り独占は、技術的進歩を人為的に引き止めるもう一つの経済的可能性である（「レーニン」『帝國主義論』、邦譯一四三頁）。同志レーニンはその勞作「資本主義の最新の段階としての帝國主義」のなかで、壘生産業に變革をもたらさずべき新機械の發明が、長い間その充用を阻止して置くために、壘製造カルテルによつて買収されたといふ例を擧げてゐる。

極めて重要な技術的改良の多くが、独占組織によつて買収されて、實現されない。これはその充用が、大多数の場合より多くの利潤を獲得しようといふ關心を刺戟しないからである。

つまり、独占資本主義は………資本主義である。

なるほど或る一つの資本主義的産業部門、即ち軍需工業部門では、………要具及び………手段とそれらの生産力とを改良する一切の新發明が、敏速にしかもあらゆる方面に利用されてゐる。化學工業、飛行機工業、自動車工業等の技術的進歩は、現代の戦争技術がこれらの部分の發展に依存してゐるといふことから説明がつく。だが戦争技術の發展もまた資本主義の………の様相のひとつである。

現代即ち戦後の帝國主義にとつて特徴的なのは、「前と同じ時間内に前と同じ勞働を支出してより多く生産する」(マルクス)勞働者の能力の發展によつて人間勞働の生産性を高めるといふほんたうの技術的進歩ではなく、勞働者の勞働の苦汗制度によつて餘剩價值をたゞき出すことを基本的な目的とする生産及び勞働過程の再組織——資本主義的合理化——である。

「資本主義的合理化に際しては、機械の改善も行はれ得る。大多数の場合それはまた實際行はれる。だが、これら

の改善は全然行はれなくとも差支へない。資本主義的合理化につねにつきまとも最も本質的な特質は、労働………といふことである……。本来の意味での資本主義的合理化とは、コンヴェーヤ制度または原則的にこれに類似したところの、労働強化に對する自動的な鞭撻及び監督制度によつて労働過程を再組織して、各個々の労働者の労働をできるだけ強化することを目的とする壓迫のことである」。

資本主義的合理化の結果は、労働者階級の生活水準………である。勞賃は労働者の最低生活費以下に低下し、労働日は延長され、肉體の急速な消耗の結果として労働者の壽命が短縮される。熟練労働は不熟練労働に、男性労働は女性労働に、成人労働は少年労働に、夫々驅逐される。同時に資本主義的合理化は労働者階級の驚くべき部分を恒常的な慢性的失業に運命づける。

三、獨占資本主義は労働者運動に於ける日和見主義を生む

獨占資本主義は労働者の間に日和見主義的傾向を生ぜさせる傾向を持つてゐる。

「獨占は超過利潤、即ち通常の世間並みの資本主義的利潤以上に出る利潤の餘剰を與へる。資本家はこの利潤のおこぼれ（しかもかなり多くのおこぼれさへも）をその労働者を買収するために投げ出すことができる……」（レーニ

ン「帝國主義と社會主義の分裂」全集第二十卷）。

労働運動に於ける日和見主義は二三の國々では若干の時期に一時勝利を得た。例へば、日和見主義はイギリスの労働運動ではイギリスの産業獨占期（一八四八—一六八年）に一時勝利を得た。各帝國主義國のブルジョアジーは、その超過利潤のほんの僅かのおこぼれを投げ出して、労働者階級の上層を買収してゐる。獨占はこのやうにして労働者階級の上層の………を持ち來す。労働者階級の上層は、階級平和の維持に、他國の資本に對する自國獨占資本の勝利に、………

.....、利益を持つやうになる。レーニンは次のやうに言つてゐる。

「……日和見主義者は客觀的には、小ブルジョアの一部分と帝國主義的超過利潤によつて買収された資本主義の番犬と労働者階級の攪亂者に成り下つた労働者階級の一定層とを代表する」。

一九一四——一八年の帝國主義戦争は、萬國の日和見主義者（社會排外主義者）が、労働者階級にその資本主義的「……」を擁護するために起てと呼びかけることによつて、資本主義の……及び労働運動の攪亂者といふ恰もこの役割を演ずるものであることを曝露した。

「日和見主義者と社會排外主義者とは、實際には大衆の利益を裏切り、賣渡すものであること、彼等は少數の労働者の一時的な特權を擁護するものであること、彼等はブルジョア的な觀念と影響とを振りまくものであること、彼等は實際にはブルジョアジーの同盟者であり、その代理人であることを暴露することによつて、吾々は大衆に彼等のほんたうの政治的利益を認識し、帝國主義及び帝國主義的休戦の一切の、長い、苦難に満ちた環境を通じて、社會主義と……とのために闘ふやうに教へる」（レーニン、前掲書）。

四 獨占は資本主義的生產の無政府状態、競争及び恐慌を尖鋭化させる

資本主義的獨占の成立は單に資本主義の本質に根ざしてゐる一切の矛盾を取り除かないだけではなく、逆にそれらを強化させ尖鋭化させる。獨占は資本主義的生產の無政府状態、競争及び恐慌を取り除かない。

「カルテルによつて恐慌が取り除かれるといふことは、何とかして資本主義を辯護しようとするブルジョア經濟學者のお伽噺である。反對に、若干の産業部門で作り出された獨占は、全體としての總資本主義生産に特有の混沌性を強化し尖鋭化させる。資本主義一般にとつて特徴的な農業と工業との發展の不釣合は益々甚だしくなる。最もカルテ

ル化された所謂重工業、特に石炭工業及び鐵工業が持つてゐるやうな特權的地位は、他の産業部門に於ける一層尖锐化された計畫性の缺除を持ち來す」〔帝國主義論〕邦譯四〇頁〕。

獨占と組織されてゐない資本家大衆との間の競争が、獨占組織相互間の競争が、尖锐化される。廣汎な勤勞大衆の購買能力と獨占的企業の生産可能性との間の不釣合が、生産の社會的性質と領有の私的性質との間の不釣合が、益々深刻となる。

つまり、帝國主義時代には資本主義的經濟體制に根ざしてゐる一切の内面的諸矛盾が極度に強化され尖锐化され、……が促進されるのである。

五 銀行の新たな役割

次の最も重要な帝國主義の徴標は、資本主義諸國の經濟生活に於ける銀行の新たな特殊の役割である。帝國主義以前の段階にあつては、銀行の基本的な機能は支拂の媒介者たることにあつたのであるが、今では、銀行業務が少數の施設に集積された關係上、銀行は貨幣資本の殆んどすべてをその手中にかき集める獨占者に轉化してゐる。そのために銀行は個々の商業及び産業資本家と彼等の結合體との運命を支配し、それを「思ふまゝに決定する」可能性を手に入れてゐる(1)。

(1) レーメンはその著書『資本主義の最新の段階としての帝國主義』(邦譯六三頁)のなかで、ベルリンの最も強大な銀行の一つからセメント・シンデケートに宛てた次の手紙を引用して、銀行の役割を説明してゐる。本月十八日の官報に發表され候貴シンデケートの廣告により、當行は、本月三十日に開かるべき貴總會に於て、貴シンデケートの營業上當行にとり好ましくならぬ變化を來すことあるべき決議のなされる、可能性を考慮致さざるを得ざる次第に御座候。かゝる理由により、當行は、甚だ遺

働ながら、貴シンヂケイトに與へ置きたる信用をこゝに御断り致すほか無之候。……尤も貴總會に於て當行に好ましからの事項を決議さるゝことなく、かつこの點に關し將來に對する適當なる保證を與へ被下候はゞ、當行は喜んで、新たなる信用を御與へ致すため、貴シンヂケイトと商議致すはづなることを、明言致し置き候。

要するに帝國主義時代に於ける銀行の新たな役割は、銀行と産業との密接な關聯の設定といふことに現はれてゐる。「獨占的な産業團體の資本に憑着した」最も強大な獨占者——銀行の資本は、金融資本であつて、この金融資本の支配こそ帝國主義時代の特徴的な様相なのである。

一握りの銀行業者（所謂金融寡頭支配）が（二十二字削除）
六 資本輸出

帝國主義時代には、資本輸出とこの資本輸出を基礎とする少數の帝國主義國による植民地、半植民地及び從屬諸國の尨大な領土と人口との……やが特に重要な意義を持つやうになる。

「資本主義が資本主義として止つてゐる限り、過剩資本はその國の大家の生活水準を高める爲には充用されない。なぜならさうすれば資本家の利潤が低下することになるからである。過剩資本は外國への、即ち遅れた諸國への資本輸出によつて利潤を高めるために充用される。遅れた諸國では資本が少なく、土地價格が比較的高くなく、勞賃が低廉であり、原料が廉價であるから、利潤が多いのをつねとする。資本輸出の可能性は、數多くの遅れた諸國がすでに世界資本主義の流通に引き入れられてをり、鐵道幹線が敷設されたかまたは敷設され始めてをり、工業の發展の基本的諸條件が備はつてゐる等々の事情によつて作り出される。資本輸出の必然性は、少數の諸國では資本主義が「成熟し過ぎ」て資本の活動の餘地が、即ち「有利な投資」部面が不足してゐる（農業が未發達で大家が貧困であるといふ

諸條件の下では」といふ事情によつて作り出される」(レーニン「帝國主義論」邦譯八〇頁)。

帝國主義……の前には、三大帝國主義國、イギリス、フランス及びドイツの海外投資は大體二千億フランに上つてゐた。戦後には第一位の世界の債權者の役割はイギリスからアメリカ合衆國に移つた。大體に於て一握りの大帝國主義國家——そのうち第一位に位するものはアメリカ合衆國、イギリス及びフランスである——が世界の銀行の役割を演じてゐる。これらの諸國は金利生活者國家に轉化した。これらの諸國は外國貿易から手に入れる所得を凌駕するところの莫大な所得を、海外に投資した資本の助けを借りて、打ち出してゐる。例へばイギリスの海外投資からの所得はその國際貸借による總所得の六〇%を占めてゐる。アメリカ合衆國が一九二七年海外投資の利子として、受取つた金額は約十億弗であつた。ところが外國貿易からの所得は大體六億弗に過ぎなかつた。

資本輸出は「世界の大多數の國民及び國土に對する……と一握りの最も富裕な國家の資本主義的……主義」との基礎である。

遅れた植民地及び半植民地諸國に投資された資本によつて打ち出される莫大な利潤は、無爲、「利札切り」を業とする特殊の層の人々の發生の前提條件である。そしてこの點にもまた帝國主義時代に於ける資本主義の……が現はれてゐる。

遅れた諸國への資本輸出はこれらの諸國に於ける資本主義的諸關係の發展を促進する。資本輸出の結果として、債權者諸國のために高度の超過利潤と並んで原料的及び食糧的基礎を作り出し(農業栽培園、原料の第一次的加工、鑛山及び森林資源の開発)外國資本の經濟的及び政治的支配を強化するところの便利な道路(鐵道)を作り出すことを保證するやうな、植民地及び從屬諸國の經濟部門が發展して來る。

七 帝國主義は必然的に植民地に於ける生産諸力の發展を……する

同時に帝國主義諸國は色々な方法で、現代の産業の基礎をなす産業部門（金屬、機械製造、電氣、化學等々）がこれらの諸國で發展することを……する。このやうにして一握りの大帝國主義諸國と巨大な植民地的外國との間に強制的な分業が行はれることとなる。その結果として、植民地及び從臣諸國に於ける生産諸力の發展が……され、極めて低い經濟的、文化的及び政治的水準が人爲的に固執されることとなる。

植民地及び半植民地諸國に於ける資本主義的諸關係の發展は、これらの諸國を植民地國の水準から脱却させ、獨立の資本主義國の水準にまで高めるものであるといふお伽噺は、ブルジョア經濟學者、社會ファシスト及び右翼日和見主義の僞瞞である。これとは反對に、帝國主義の政策は……、地球上の人口の約七〇％を占めてゐる植民地民族……を強化するといふ方向を取つてゐることは吾々の目撃してゐる通りである。

八 トラストの世界分割、再分割のための闘争

資本主義的獨占の支配は彼等が直接に世界を分割し、全世界市場を自分達の間に分割する國際的な獨占的結合體が成立するといふ結果を持ち來す。國際的な獨占的結合體のこの様な世界分割の例として役立つ得るのは、二つの電氣「王國」即ちドイツとアメリカとの電氣トラストの戦前の世界市場分割である。この二つの世界的トラストは、一九〇七年の協定によつて、世界市場を自分達の間に分割した。これと全く同様に他の産業部門に於ける國際的獨占もまた世界市場を分割した。戦後の時期に於て、世界分割に關する獨占組織間のかういふ協定の例として役立つ得るのは、二つの世界的石油トラスト、即ちアメリカの「スタンダード・オイル」とイギリス・オランダの「シェル」との間の協定である。化學工業に於ても三大獨占的結合體間の世界分割を指摘することができる等々。

トラスト間の世界分割は彼等相互間の、及び彼等の内部の執拗な闘争の諸條件の下で行はれる。そしてこの闘争は個々の企業、經濟部門及び個々の國々の不均等な發展といふ條件の下で、益々尖鋭な性質を帯びつゝある。このやうな實際的な獨占的協定の存在そのものは鞏固ではなく、長続きがしない。

「資本主義の下では、勢力範囲、利益範囲、植民地等々の分割の基礎としては、分割當事者の力の關係、即ち總經濟力、金融力、……等々の關係以外のものは考へられない。だが資本主義の下では、個々の企業、トラスト、産業部門、國々の均等な發展は行はれ得ないから、分割當事者の力の變化は不齊一である。半世紀前のドイツは、その資本主義的勢力を當時のイギリスのそれとくらへるならば、あるかなきかの哀れなものであつた。日本をロシアとくらべて見ても同様である。今後十年間帝國主義列強間の勢力關係が變化しないといふことが夢想だにされるか？ 絶対にされなう」(レーニン「帝國主義論」邦譯一七〇—一七一頁)。

つまり、トラスト間の……は單にその再分割を排除しただけではなく、資本主義の發展の不均等の結果當事者の勢力關係が變化するや否や不可避的になるところの、その……を必然的に豫想するのである。

九 帝國主義諸國家……

資本家の同盟の團には世界の經濟的分割を土臺として一定の關係が取り結ばれるのであるが、「これと並び、これと關聯して、政治的結合體即ち國家の間には、世界の領土的……、經濟領域獲得の闘争を土臺として一定の關係が取り結ばれる」(レーニン)。

……のための資本主義諸國間の執拗な闘争は、帝國主義時代には極度に尖鋭化される。これは礦物性及び植物性の最も大きな原料資源が植民地、半植民地及び從臣諸國に分布されてゐる結果である。これらを獨占的に支配し占有

するために、帝國主義諸國間内………が行はれる。

鑛物性及び植物性の資源を獨占的に占有するための個々の大資本主義國及び獨占的結合體………は、未曾有の廣汎な規模と尖鋭さを持つてゐる。

世界分割の終了の一結果と………の前提條件とをなすものは、諸國間への極度に不均等な原料貯藏の分配である。

最も重要な鑛物性燃料の一つであり、現在世界經濟及び世界政策上分けても重要な役割を演じてゐる石油の貯藏は、地球上の少數の地域に割り當てられてゐる。

石油産地の主要な所有國は、ソヴェート同盟——世界貯藏の三三二%であり、その次は南アメリカ諸國（ベネズエラ、コロンビヤ、ペルー）——一六%、アメリカ合衆國——二二%、ベルシヤ及びメソポタミヤ——一〇%、メキシコ——八%、蘭領印度——七%、ルーマニヤ及びポーランド——二%である。右に挙げた諸國の領土に既知の世界石油貯藏の殆んど全部が分布されてゐる(2)。

(2) ソヴェート同盟の貯藏高は過小評價されてゐるものと考へなければならぬ。同盟の領土に於て行はれた調査や新たな自然資源の發見はソヴェート同盟をして動力資源の點で世界の首位の一つを占めさせるに至つてゐる。

石油が極めて多種多様な經濟部門に廣汎に利用されること、現代の戰爭技術に於ける石油の大きな意義とを見れば、一方では石油獨占とその政治的參謀本部たる帝國主義諸國家間に石油獲得を目指して行はれてゐる執拗な鬭争、他方では石油を持つてゐる國家と石油を持たない國家との間に行はれてゐる鬭争がなるほどと肯ける。

世界最大の石油産地を持つてゐるのはソヴェート同盟であるが、このソヴェート同盟は一回ならず國際石油獨占の猛

烈な攻撃を受けたしまた現在受けつゝあるといふことを指摘しなければならぬ。コーカサス民族を「ポリシェヴィキの桎梏」から「解放」するといふスローガンの下に、イギリス・ブルジョアジーがコーカサスの最も豊富な石油地方を武力で奪取しやよと企てた内亂の數年を想起すれば充分である。今日に至るまで、イギリスの石油トラストの頭目——ディターディング——はソヴェート石油の輸出反對の卑劣な氣狂ひじみたカンパニーをやつてをり、同時にまた新たな干渉を組織しようとしてゐる。

これにも劣らぬ不均等さは世界石炭貯藏の分配にも見受けられる。

最も大きな石炭貯藏はアジアと北アメリカとにある。アメリカ合衆國、ソヴェート同盟、支那、カナダ、ドイツ、イギリスの諸國が世界石炭貯藏總額の約九〇%を持つてゐる(3)。

(3) 註(2)を見よ。

石炭獲得のための帝國主義國家の鬭争の例として役立つてゐるのは、
政策である。.....
 は自國の島々には極めて少量の低級な石炭しか持つてゐないので、.....しようとする熱病的な活動を展開してゐる。今一つの見本はドイツのルール炭田に對するフランスの侵略政策である。

鐵鑛の分配はその主要な世界貯藏がアメリカ合衆國、ソヴェート同盟、ブラジル、ニューファウンドランド、フランスに分布されてゐることを示してゐる。これらの諸國に鐵鑛の世界貯藏の約八〇%が集中されてゐて、他の諸國家の鐵鑛資源は言ふに足りないほどである(4)。

(4) 註(2)を見よ。

他の有色金属の多くは、軍需工業と數多くの「新」工業部門(電機、飛行機、化學)とに於てすばぬけた役割を演じ

てゐるのであるが、この有色金属については、次のやうな様相が見られる。

主要な錫採掘地方はマラツカ及びボリビヤである。

ニッケルの採掘はカナダとニューカレドニア（フランスの植民地）とに集中されてゐる。

ブラチナの加工はソヴェート同盟とコロンビヤの二國の領土のうちでのみ行はれてゐる。

殆んど唯一のマンガン貯蔵國はソヴェート同盟（約五〇％）、ブラジル（約三〇％）、英領印度（約二〇％）である。

植物性原料資源もまた同じやうに不均等に分配されてゐる。例へば弾性ゴム栽培園は主として蘭領印度とマレー群島の島々とに集中されてゐて、イギリスの弾性ゴム獨占の手中にある。ところがゴムの主な消費者であるアメリカ合衆國は自分の弾性ゴムを持たない。これが基礎になつてイギリスとアメリカ合衆國との間に執拗な闘争が捲き起つてゐる。弾性ゴムの高價格を維持するために、イギリス帝國主義は、所謂「ステイヴンソン案」の助けを借りて、自己に所屬する栽培園の弾性ゴム生産を制限しようとしてゐる。この方策は合衆國側の對抗手段を呼び起した。この對抗手段の一つとして一聯のアメリカの資本家はブラジルとリベリヤ（アフリカ）に領土を手に入れ、それを弾性ゴム栽培に利用してゐる。

だが帝國主義は單に植民地に低廉な原料資源を見るだけではなく、また自國資本の有利な投下部面を見る。

資本輸出の利益はまた帝國主義諸國を………驅り立てる。なぜなら植民地市場では獨占的な方法によつて競争を排除し、供給を獨り占めにし、それに適應した「關係」を取り結ぶ等々のことが容易（否屢々その場合に於てははじめ可能）だからである。最後に、植民地………、それを帝國主義諸國の資本主義的産業のための販賣市場として、獨占的に搾取することを保證する。

これらすべてはひつくるめて帝國主義國家が……… 巨大な超過利潤を打ち出す保證を與へる。だからこそ帝國主義時代には……… されるのである。

帝國主義時代には最も強大な資本主義諸國家間への……… は終了してゐる。自由な、誰も占有してゐない土地は存在しない。だから個々の帝國主義國家のこれ以上の………、勢力關係が不斷に變化しつゝあることを條件とする新たな再分割によつてのみ………である。

二 世界政治の發展の見透し

一 資本主義諸國の分類

あらゆる資本主義諸國家はこれを三つの主要な部類に分けることができる。

第一の部類に屬するのは、アメリカ合衆國、イギリス、ドイツ、フランス等々の高度に發展した資本主義諸國である。この部類の諸國家の特徴的な特質は、強大な生産諸力が存在し、生産の集積が高度に達し、小經營の役割が極めて小さいことである。

この部類の諸國の占めてゐる領土の大きさは言ふに足りないほど小さいのであるが、これらの諸國はどれもこれも世界經濟のなかでずばぬけた地位を占めてゐる。このことは次の資料を見れば分る。

この部類の諸國は(5)世界面積の僅か八・三%を占め、世界人口の僅か一六%を持つてゐるに過ぎないのであるが、その生産額は次の通りである。

世界石炭採掘高の七九%

世界石油採掘高の七二%

水力利用の五四%

完成電力の七六%

世界鉄産額の八〇%

世界鋼産額の八三%

世界銅産額の五八%

世界アルミニウム産額の六八%

世界機械製造の九〇%

世界自動車生産の九五%

世界化学製品生産の七三%

世界紡績数の七六%

(5) アメリカ合衆國、イギリス、フランス、ドイツ及びイタリヤを問題にしてゐる。だが日本とベルギーもこの同じ部類に入らなければならないだらう。右の計算に於てはツヴェイト同盟は考慮に入れてゐない。世界經濟の資本主義的部分が入つてゐるだけである。

この資料を見れば分るやうに、一握りの帝國主義諸國が最も重要な經濟部門を獨占してしまつてゐるのである。これらの諸國にはまた世界の金融資本が集中してゐる。要するに、この部類は世界の資本主義經濟のメゲモニーを握つてゐる。

(6) 全國民所得の六五%はこの同じ五ヶ國に歸屬する。これらの諸國の一人當り國民所得額は平均して殘餘の諸國のそれの十倍も多い。

第二の部類に屬するのは資本主義の發展が中位的水準にある諸國である。これらの諸國にとつて特徴的なことは、農業經濟のなかに半封建的諸關係が著るしく殘存してゐることである。だがこゝには……………のある程度の物質的前提條件が現に存在してゐる。この部類の諸國に屬するのは、ポーランド、ルーマニヤ、ハンガリー、バルカン諸國、イスパニヤ等々である。

最後に第三の部類に屬するのは、印度、インドネシヤ、支那等々の植民地及び半植民地諸國並びにアルゼンチン、ブラジル、メキシコ等々の從臣諸國である。これらの諸國では、經濟の領域に於ても政治生活に於ても、封建的・中世的諸關係が壓倒的である。これらの諸國の二三では外國資本の手に集中された工業が著るしく發展してをり、また最も重要な商業的、銀行的、栽培園的、及び交通的企業も外國資本の手に歸してゐる。植民地及び半植民地諸國の巨大な農人口大衆は、舊式な封建的・中世的諸關係の抑壓と同時に高利貸資本及び……………の抑壓を蒙つてゐる。農民大衆は……………が何百萬といふ……………てゐる。植民地では工業が僅かしか發展してゐないので貧困化された農民層が工業に就業して行かない。植民地で農業問題が極度に尖鋭化してゐるのは實にこのためである。植民地諸國のプロレタリアートは全く他に比類を見ない……………にある。全く就業の途のない巨大な飢餓人口大衆の存在は、當然に……………勞賃水準、途方もなく長い(十二時間乃至十六時間)勞働日、及び勞働條件の改善を目的とする勞働立法の殆んど皆無を條件づけてゐる。現在世界(資本主義)經濟を襲つてゐる經濟恐慌(これについては後論及する)は、植民地では特別に強度に感じられてゐる。

二 反動的な「超帝國主義」の理論及び「組織化された資本主義」の理論

資本主義の獨占的諸組織の成長、それらの間の市場、投資領域の分割等々から、國際社會民主主義者は次のやうな結論をひき出してゐる。即ち、資本主義は帝國主義時代には平和な、計畫的な、恐慌のない發展の途を歩み出した、この途は一切の競争と戦争とを排除し、直接に社會主義に連なる全世界的トラストの設立に向つてゐると。こゝから次のやうな結論がひき出される。即ち、労働者階級は帝國主義の辯護人たちが「組織化された資本主義」體制とか、「經濟民主主義」體制とかと名づけてゐる新たな資本主義體制を支持することに利益を持つてをり、……な「國際聯盟」は民族間の平和な協調を達成させる機關であると。

世界的超帝國主義の理論は、資本主義世界は、トラスト化とシンヂケート化とによつて、單一の有機體に結合されるに至り、その結果國際的な諸矛盾が消えてなくなる、と論じてゐるのであるが、この理論はすでに戦前にカウツキーによつて定式化されたものであつた。

戦後は社會民主主義者たちは組織化された資本主義の理論を熱心に提唱し、資本主義諸國間に矛盾が現存することは否定しないが、個々の國々の内部では競争、無政府状態、萬人の萬人に對する闘争が、益々消滅し、意識的な統制即ち組織化によつて取つて代られつゝある、といふことを論證しようとして試みてゐる。

吾が陣營の右翼日和見主義者たちもまたかういふ見解をとつて「組織化された資本主義」の理論を唱へ出した。カウツキーの超帝國主義の理論に反對してレーニン等は次のやうに書いた。

「カウツキーが超帝國主義の崩芽であると考へてゐる國際カルテルなるものは、世界の分割及び再分割の實例を、平和的分割から非平和的分割への推移及びこの逆の實例を、吾々に示してゐはしないか？ アメリカその他の金融資

本は、これまでドイツの参加の下で、例へば國際レール・シンヂケートまたは國際商船トラストに於て、全世界を平和的に分割して來たが、今や(7)それは、全く非平和的方法で變化されつゝある新たな勢力關係に基づいて、世界を再分割しつゝあるではないか？」

(7) レーニンはこれを帝國主義戦争の年に書いた。

獨占的組織が生産の無政府状態、競争及び恐慌を排除するといふことは、事實を抹殺し、廣汎な勤勞大衆を欺瞞するために考へ出されたお伽噺に過ぎない。獨占は競争とあらゆる經濟の混沌性とを尖鋭化させる。

全資本主義諸國を捉へた現下の經濟恐慌に照して見れば、これら一切の理論の日和見性、……は全く明瞭である。

三 資本主義の不均等な發展の理論

益々尖鋭化する諸矛盾の成長の根柢には、個々の企業、經濟部門、個々の國々に於ける發展が不均等で飛躍的であるといふ資本主義的發展の基本的法則が横はつてゐる。資本主義的發展は、個々の國々に於てもまた世界經濟に於ても、計画的には行はれない。つまり個々の部門または個々の國々が互ひに衝突しないやうには發展しない。反對に、或る部門は先走り他の部門は立ち遅れにといふやうに、或る國は他の國を押し除けるといふやうに、行はれる。

ほかならぬかういふ發展の特殊性は次の資料(8)によつて明かにすることができぬ。

イギリスに於ける主要生産部門の發展テンポ(百分率)

一九一三年

一九二八年

一九二九年

石

炭……………100

〇・六

八九・七

鉄

鐵……………100

三・四

三三・九

棉花消費量……………100

六七九

六五・五

個々の國々の工業の發展テンポ（工業生産指數）

一九一三年

一九二七年

一九二九年

アメリカ合衆國（9）……………100

107

110

フランス……………100

110

115

ドイツ（10）……………100

95

100

イギリス……………100

95

95

（8） 右二表ともエス・デー・スルー・ツェン「帝國主義の基本的發展法則」一九三一年より借用。

（9） 製造工業、一九一四年—100。

（10） 一九一三年戰爭開始前。

これでわかるやうに、帝國主義時代にはこの不均等性は取り除かれるどころか、却つて益々甚だしくなる。

「帝國主義の諸條件の下に於ける不均等性の尖鋭化と不均等な發展の決定的意義とは何によつて規定されるか？

二つの主要な事情によつて。第一に、帝國主義的諸グループ間の……………が終結してをり、「自由」な土地はもはや天然には存在せず、……………によつて經濟的「均衡」を持ち來すためすでに分割されてゐるものを再分割するところが絶対に必要である、といふことによつて。第二に、廣義の技術の未だ曾つてない驚くべき發展が、市場の征服、原料資源の獲得等々の闘争に於て、或る帝國主義的グループが他のグループを出し抜き追ひ越すことを容易にするといふことによつて。

だが右の事情は發展した帝國主義の時代に至つて初めて發展されて、その最高點に到達した。他の時代にはこのことは不可能であつたらう。なぜなら、帝國主義の時代に初めて世界の再分割が終了され得るのであり、また尠大な技術的可能性が現はれて來たのは全く發展した帝國主義の時代に於てであるからである」(スターリン)。

帝國主義時代に於ける資本主義の發展の不均等性の深刻化は、このやうにして、一切の矛盾と葛藤との尖鋭化を持ち來す。そこで「事態が單一の全世界的トラスト即ち「超帝國主義」に到達しないうちに、帝國主義が……………、資本主義がその對立物に轉化するに相違ないといふことは確である」(レーニン)。

第二インタナショナルはその超帝國主義の理論で、右翼日和見主義者は社會民主主義者から借りて來た組織化された資本主義の理論で、最も憎むべきやり方でマルクス主義を歪曲し、「プロレタリアート……………な理論を馬鹿げた……………理論に」轉化させてゐる。これらの理論は次のやうなたつた一つの社會的意味を持つてゐるに過ぎない。即ち「尖鋭な矛盾と現實の問題とから注意を外らせることによつて、資本主義の下でも恒久平和が可能だといふ希望で大衆を慰める」(レーニン)といふことがこれである。

三 第一次世界戦争と資本主義……………

一 一九一四—一八年の戦争前の帝國主義的諸矛盾

資本主義的經濟體制のなかに根ざしてをり、帝國主義時代に尖鋭化される深刻な諸矛盾は、不可避的に……………成長を、氣狂ひちみたま軍備……………競争を、……………を呼び起す。

世界……………のための第一次帝國主義戦争は一八一四—一八年の戦争であつた。

世界戦争前に基本的な對立をしてゐたのは、當時の最も有力な二つの帝國主義國イギリスとドイツとであつた。何よりも先づドイツはその生産の發展テンポでイギリスを遙かに追ひ越し、「世界第一の工場」の地位を占めた。ドイツに於ける急速な資本主義の發展は、世界經濟に於けるイギリスの獨占的地位を爆破し始めた。つまり、若いドイツの資本主義があらゆるイギリスの市場からイギリス品を次々と驅逐したのである。ドイツ商品はヨーロッパ市場を征服し、舊帝國ロシアのやうな大市場を征服し、イギリスの植民地に侵入して行つた。イギリス自身の金屬工業の中心地、バーミンガムにさへもドイツの金屬製品が現はれた。イギリスのブルジョアはそれらの製品の上に「ドイツ製」と書かれてあるのを讀んで驚愕した。

若いドイツ帝國主義が世界の競技場に現はれて來たときには、全世界がすでに基本的には分割されてしまつてゐた。だからこそドイツはまたイギリスの勢力範圍に侵入しようとして企てたのである。

ドイツがイギリスの支配領域である印度洋沿岸の諸地方に侵入しようとしたために、イギリスとドイツとの關係が特に尖鋭化して來た。ドイツはイギリス領印度その他のアジア及びアフリカに於けるイギリスの領土に隣接した印度洋沿岸に侵入して、ドイツからベルシャ灣に至る途に横はつてゐる國々（オーストリア・ハンガリー、バルカン半島の諸國、ブルガリヤ及びトルコ）を自分の勢力範圍に入れようと企てた。ドイツはベルリンからベルシャ灣に至る連絡鐵道の敷設を企てた（ベルリンからバグダードに至る鐵道）。

ドイツは印度洋沿岸を根據地としようと努めたので、當然にイギリス側の激しい抵抗によつた。イギリスは印度洋を自分の領海にしようとしてゐた。

ドイツとフランスとの利害は、就中ドイツ及びフランスの重工業の石炭及び鐵礦爭奪戦を土臺として、衝突した。間

題は次の點にあつた。即ち、フランスとドイツとの國境は、大鐵鑛層はフランス領に、ヨーロッパ最大の石炭層はドイツ領にあるやうに定められてゐた。そこで國境を改訂するための佛獨間の鬭争が双方の側から起こされた。フランス・ブルジョアジ―の意見によれば、この國境はドイツの石炭がフランス領に入るやうに定めらるべきであり、反對にドイツ・ブルジョアジ―の見解によれば、それはフランスの鐵鑛がドイツ領に入るやうに改訂さるべきであつた。

これらの矛盾にさらに海峽即ち南ロシアの諸港から地中海へ抜ける通路を手に入れようといふ帝制ロシアの努力がもつれ合つた（ヨーロッパ地圖でロシアの諸港から黒海及び地中海に出るにはどんな海峽を通らなければならないかを見よ）。

最も強大な帝國主義諸國間の諸矛盾がこのやうに尖鋭化してゐたので、その不可避的な結果として、あの大戰争が、一九一四—一八年の……………起つたのである。

さし當つては世界戦争が世界經濟の資本主義的部分にどんな變化を持ち込んだかを考察することにしよう。

二 資本主義的部分に於ける世界戦争の諸結果

世界戦争は、何よりも先づ、驚くべき損失を持ち來した。人類の膨大な生産諸力が破壊された、戦争は一千萬人以上の生命を奪ひ去つた。驚くほど多數の人々が不具にされた。戦争は何百といふ都市及び村落を荒廢させ、多數の工業及び農業地方をめちやめちやにし、巨大な人口大衆を貧困化した。

……………戦争は世界の再分割を持ち來した。戰敗國ドイツはその一切の植民地を奪はれた。これらの植民地はイギリス、フランス、及び日本に讓渡された。

のみならず、イギリスとフランスとは、トルコに對する勝利に乘じ、また東方の……………的事件を利用して、もとトルコ

領に屬してゐた土地をその手中に收めた。イギリスは石油の豊富なメソポタミアと、パレスチナを手に入れ、フランスはシリアを占領した。

これと丁度同じやうに、ヨーロッパの地圖も書き變へられた。

ドイツは戦争の結果その領土の著るしい部分を奪はれた。それはフランスとポーランドとに割讓された。しかも東部では、ドイツの領土は、ポーランドに海への出口を與へるための所謂ポーランド廻廊地帯によつて、二分された。西部のドイツ國境はフランスに有利なやうに變更された。だがルール炭田を自分の領土のなかに入れようといふフランスの努力は、フランスが數年間ルール地方を占領したにも拘はらず、實現されなかつた。その代りフランスは鐵礦の豊富なエルザス及びロートリンゲン地方を手に入れた。そのためにドイツはその鐵礦保有高の著るしい部分を奪はれた。

戦前まで中央ヨーロッパに存在し世界戦争にはドイツに味方した大國、オーストリア・ハンガリーは、若干の經濟的に獨立できない小國に分裂した(チエフコスロベキヤ、オーストリア、ハンガリー)。舊オーストリア・ハンガリー帝國の廣大な領土は、……戦争に於けるイギリス及びフランスの同盟國——イタリヤ、ルーマニヤ、及びセルビヤ——に合併された。セルビヤと新たにそれに合併された領土とからユーゴ・スラビヤといふ國家が作られた。

民族自決の原則を宣言したロシアのプロレタリア……は、一聯の新獨立國を成立させた。これらの國々の領土は……前は帝制ロシアの一部分であつて、その國民性は帝制政府によつて抑壓されてゐたものであつた。獨立した國家、フィンランド、エストニヤ、ラトビヤ及びリトワニヤでは、フランスとイギリスとの露骨な……壓迫の下に、權力がブルジョアジーの手に移つた。のみならず、ポーランドといふ大國が成立した。ポーランドは以前ロシア、ドイツ及びオーストリア・ハンガリーの一部分をなしてゐた領土からできてゐる。

ルーマニアのブルジョアジーは、ロシアに於ける……………事件に乗じて、ベッサラビヤを占領した。ベッサラビヤは今日も依然としてルーマニアの大地主と資本家との抑壓下にある。わかりきつたことだが、ソヴェート同盟とルーマニアの動労大衆とはこの領土に對するルーマニアの權利を承認してはゐない。

今日では新たに成立した國々も、多くの新領土を手に入れた國々も、すべて事實上はフランス及びイギリスの従僕であり、彼等の對外政策の案内人である。

特に重要なのは、ソヴェート同盟に隣接してゐる諸國即ちフィンランド、エストニア、ラトビヤ、ポーランド及びルーマニアである。これらの諸國はソヴェート同盟の直接の資本主義的堡壘をなしてゐて、……………建設の國に對する世界資本主義の……………第一線に立つてゐる。

三 ヨーロッパからアメリカへの資本主義的中心の移轉

帝國主義戦争の結果、世界資本主義經濟の中心がヨーロッパからアメリカに移り、資本主義世界のなかに新たな矛盾が成長した。それは古い資本主義國イギリスと新しい比較的若い帝國主義國アメリカ合衆國との間の矛盾である。

合衆國は帝國主義戦争で富裕になつた。合衆國は戦争の最初の數年間はこの戦争に直接に参加せず、同時にヨーロッパのすべての交戦諸國に軍需品、食糧品及び戦争遂行上必要な一切の商品を供給した。この事情はアメリカ合衆國の工業を著しく成長させると同時に、すべてのヨーロッパの諸國が合衆國の債務者になるといふ結果を持ち來した。

世界資本主義經濟の中心はかうしてヨーロッパからアメリカに移つた。世界經濟の中心のこの移轉は次の表を見れば明かである。

一、世界鉄鐵生産

一九一三年

一九二三年

アメリカ合衆國……………三九七%

六二%

ヨーロッパの四ヶ國（ドイツ、イギリス、フランス、ベルギー）……………四七七%

二六六%

二、世界鋼鐵生産

アメリカ合衆國……………四一七%

六二%

ヨーロッパの四ヶ國……………四四四%

二六一%

三、世界商船噸數

アメリカ合衆國……………四三%

三二四%

イギリス……………四三%

三三九%

他のヨーロッパ諸國……………三六八%

三〇%

アメリカ合衆國の尠大な生産装置にとつては、その國內市場が窮乏になつた。そこでアメリカ帝國主義は積極的に到るところに侵入し始め、古い工業國イギリスをそのすべての地位から驅逐しつゝある。

戦争で儲けた今……………であつた。……………ドイツ領であつた太平洋上の若干の島々を手に入れた上に、ア

ジアに對するヨーロッパの交戦諸國の注意が弱まつた際に乘じて、支那に於けるその勢力を強めた。

四 戦後の諸矛盾の尖鋭化

「世界戦争は資本主義經濟を腐朽させた諸矛盾を解決しなかつたゞけではなく、反對に新たななほ一層鋭い矛盾を生み出した。古い帝國主義國のうちで最も強大なイギリスとすでに世界のヘゲモニーを獲得した若い帝國主義強國ア

メリカ合衆國との間の闘争は、金融資本の國家間の葛藤の中心となつてゐる。……………では一かたまりの矛盾がもつれ合つてゐるが、そのなかで主要な基本的な矛盾はアメリカと……………葛藤である。』

資本主義の……………なかで大きな役割を演じてゐる今一つの事情がある。ヨーロッパが海外諸國へ工業製品を供給する能力を奪はれてゐた帝國主義戦争中に、海外諸國では工業の急速な發展が始まつた。例へば、支那の綿紡工業は一九一三年には百萬錠持つてゐたが、一九二一年にはすでに約二百萬錠になつた。ところが支那の織維工業の成長に照應して支那への織布の輸入が著るしく減少した。他の植民地及び半植民地諸國でも同様の事が見受けられる。印度には一九一一年に六百萬錠あつたが、一九二一年には約八百萬錠になつた。印度への紡績製品の輸入は一九一三年から一九二三年までの間に半減した。カナダの工業は廿世紀になつてから三〇〇%増大した。

植民地及び半植民地諸國に於ける工業の發展に關聯して、これらの諸國にも本來のプロレタリアートが殖えて來た。この事情は資本主義經濟に内在する諸矛盾を尖鋭化させ、植民地に於ける……………の昂揚を助ける新たな諸條件を作り出してゐる。

最後に、世界戦争は資本主義諸國自體に於ても廣汎な勤勞大衆の……………を持ち來した。戦争は第一次の生活必需品の物價騰貴を呼び起し、……………。そしてこれらすべては勞賃の激しい低下と相伴つて起つた。なほ勤勞者の生活状態は戦争終了と共に突如として始まつた失業者の増大によつて……………された。この失業者の増大は軍隊の動員解除と戦争の必要を充すために作業してゐた企業生産收縮とに關聯してゐた。

世界帝國主義戦争は……………時期の幕を切つて落した。周知の通り戦線はロシアから爆破され、ロシアで

はプロレタリアート……だが……は西ヨーロッパ諸國にもひろがり、ハンガリー、ドイツその他諸國を捉へた。これらの諸國ではプロレタリアートが……をもちこたへることができなかつた。……プロレタリアートの……は、最近數ヶ年間にブルジョアジーが、労働者階級に對する激しい壓迫や労働條件の悪化によつて、戦争によつて破壊された經濟を或る程度安定させることを可能にした。だがこの安定化は長續きすることはできなかつた。戦後の經濟には資本主義體制に内在する一切の諸矛盾があまりにも鋭く現はれてゐる。

五 現在の世界經濟恐慌

一八二九年の末から世界資本主義經濟は、資本主義……の土臺の上に發展しつゝあるところの、未曾有の大規模の經濟恐慌の時期に入り込んだ。あらゆる國に掛けの見つかからない膨大な滞貨が山積された（しかもこれと相並んで全世界のプロレタリアートと最も廣汎な労働大衆とが……の苦しみをなめてゐる）。一切の資本主義諸國の生産装置は甚だしい操業短縮であつて、往々にして生産能力の半分以下しか利用されてゐない。失業は植民地及び半植民地諸國の失業を除外しても三千五百萬人の工業労働者を捉へた。

世界帝國主義戦争の終了後現はれて來た農業恐慌は、資本主義……の一構成部分である。

産業恐慌と同様に、農業恐慌は「勞働の社會的性質と領有の私的性質との間の、生産諸力の増大と資本主義の所有關係との間の、決定的矛盾」の結果である。

世界農業恐慌の基礎には、何よりも先づ、農業生産能力の規模並びに集中と世界消費財市場の消化能力との間の不釣合が横はつてゐる。

戦後の時期には資本主義諸國の基本的労働大衆の購買能力の急激な低下が起つてゐる。これは大衆的失業、プロレタ

リアートの生活水準の低下、都市小ブルジョアの貧困化及び………によつて呼び起されたものである。植民地及び半植民地では………植民地民族の一層甚だしい貧窮化を持ち來した。資本主義の支配は現代では地球上の人口の八〇%乃至八五%を………に陥れてゐる。

これと並んで、現在の獨占資本主義の發展諸條件は、資本主義的農業生産に著しい構成的變化を起させ、數多くの尖鋭な新らしい諸矛盾を作り出した。

戦後の時期の農業に關する不均等な發展の法則は次の點に現はれた。即ち一聯の新らしい國家が、農業生産物一般、特に穀類の有力な生産國が、現はれて來たことがこれである。これらの諸國のなかに入るのは、何よりも先づ、カナダ、アルゼンチン及びオーストラリアである。それと同時に、穀物及び牧畜生産物の世界市場に於ける他の諸國の役割は著るしく低下した。

一見したところでは不思議なことであるが、戦後の農業恐慌の基礎には、資本主義諸國の農業に進んだ技術が導入されたといふ事實が横はつてゐる。トラクター、コンバイン、貨物自動車その他の農業用機械器具の廣汎な普及並びに農業化學及び種子陶汰の領域に於ける成果の農業經濟への導入は、資本主義的諸關係の諸條件の下では、農村に於ける階級的諸矛盾の尖鋭化………、農業生産の退化や最も尖鋭な農業恐慌や、農民の驚くべき………やつた。かういふ現象の起つた大原因はどこにあるか？ この問題に對する解答はたつた一つしかあり得ない。

【資本主義的諸關係の體制に問題があり、土地の私有に問題があり、資本主義の下では壓倒的大多數の借地農にはトラクターやコンバインは手に入れられず、技術的にその經濟を立て直す極めて少數の富農は、農業人口の基本的大衆を一層甚だしく………させることによつて、それをやるといふ點に問題がある。………農業生産方法に於

ける人類史上最大の技術的變革は資本主義の諸條件の下では、農業經濟の繁榮の代りにその腐朽を呼び起してゐる。……資本主義諸國の農業に行はれてゐる技術的革命的シンボルとして役立ち得るのは、重くるしい……トラクターによつて破滅させられた普通の借地農である」(11)。

(11) ヤコウレフの第十六回會議に於ける報告より。

これと同時に、資本主義諸國の農業に於ける技術的過程は新技術の效果的な利用可能性と矛盾に陥つてゐる。最も進歩した資本主義國アメリカ合衆國に於てさへも「その(トラクターを所有してゐる經營——編輯部)壓倒的大部分はトラクターの生産能率を完全にご利用することができない。前世紀の技術的進歩の擔當者(若し彼等をさう呼ぶことができらば)であつた大借地農經營の枠が、もうすでにトラクターにとつては狭隘となつた」(12)。

(12) 同上。

トラクターやコンバインを效果的に利用することのできるのは、一千ヘクター以上の面積のある大農場である。だがアメリカ合衆國に於てさへも二百ヘクターの面積のある農場は農業經營總數の三・五%を數へるだけで、借地農の五分ノ四は七十ヘクター以下の面積を耕してゐる。つまり、こんな小面積ではトラクターやコンバインを生産的に利用する可能性は殆んど皆無である。

「吾國では屢々資本主義社會の浪費の指標を求める。だが、最新の資本主義の……段階に於ける資本主義社會の最も大きな浪費の何等かの指標が必要であるならば、次の證據以外のものを持ち出す必要があらうか。即ち、何百萬といふトラクター(アメリカ合衆國の——編輯部)が資本主義體制によつて使用されてゐるが、その効果たるや僅かに馬を凌ぐくらゐのもので、その生産能力の四分ノ一しか利用されてゐないといふことがこれである」(13)。

(13) 同上。

世界最大のソヴェート農場の成長及び何百萬といふ小農場の集團農場への統一の嵐のやうなテンポを基礎として……
 ……に於てのみ、進んだ農業技術の採用が農業生産諸力の急速な發展を意味するので
 あり、廣汎な集團農場農民の福利の増進を意味するのである。

資本主義諸國に於ける農業恐慌の重要な原因を列擧すれば次の通りである。農村勤勞大衆に對する租稅負擔の増大、
 銀行からの農民の負債の増大、工業生産物の價格の相對的及び絶對的騰貴と同時に起つた農業生産物の價格下落。

金融資本による勤勞大衆からのこの……は、農民經濟の窮乏化の不斷の増進を持ち來してゐる。資本主義諸國に於ける
 農業の没落の明瞭な指標は農業生産物の生産費と價格との開きである。ドイツの事實から取つた次の表は右に述べた
 ことの説明として役立てることが出来る。

| | 農業に於ける 生産費指數 | 農業生産物の 物價指數 |
|---------------|-----------------|----------------|
| 一九二四—二五年…………… | 一三六 | 一三三 |
| 一九二五—二六年…………… | 一四三 | 一三四 |
| 一九二六—二七年…………… | 一四六 | 一三二 |
| 一九二七—二九年…………… | 一五二 | 一三三 |

植民地及び半植民地諸國では農業恐慌が特に強力且つ尖鋭に現はれてゐる。

すでに見たやうに、帝國主義者の……は、植民地諸國の生産諸力の發展を阻止し、その生産を少數の、主として
 原料及び食料品の生産に無理に専門化させ、植民地諸國を資本主義的本國の農業的添へ物に轉化させる。

例へば、アジア、南アメリカ、太平洋上の諸島の植民地及び半植民地諸國は、彈性ゴム、コーヒー、コ、ア生産の一〇〇%、茶及び甘蔗糖の世界生産の九〇%以上を生産してゐる。注意しなければならないことは、これらの國々のうちの若干のものは一二の生産物の生産に専門化されてをり、それがこれらの國々の殆んど唯一の輸出項目となつてゐるといふことである。例へば、コーヒーの輸出はブラジルの輸出總額の七〇—七五%を占めてをり、中部アメリカの諸共和國、グアテマラ、サン・サルバドル等々の輸出の九〇%を占めてゐる。アルゼンチンでは農業生産物と牧畜生産物とが輸出價値の九六%を占めてゐる。チリーでは鑛業生産物（硝石及び銅）が總輸出の七〇%以上を占めてゐる。キューバの經濟は殆んど全く甘蔗糖の生産に専門化されてゐる。蘭領印度の植民地經濟で決定的な重要さを持つてゐるのは、彈性ゴム、甘蔗糖、石油採掘、等々である。

植民地諸國の經濟はこのやうに一面的な方向を取つてゐるのであるから、世界農業恐慌がそれらを完全な經濟上の停滞及び退化に持ち來したことは當然である。戦後のあらゆる時期を通じて見受けられた植民地商品の價格下落は、現在の世界經濟恐慌が現はれて來た瞬間から破局的な規模となつた。

一切の植民地生産物の價格がその生産費以下に低下した。農業商品の尨大な滯貨が生じたが、基本的な消費者即ちプロレタリア及び半プロレタリア大衆の………のために、それを外國市場で實現することは、たとへ價格を引き下げても、不可能となつてゐる。こゝに帝國主義の最も重要な諸矛盾の一つが曝露されてゐる。資本主義は工業及び農業商品の過剰のために窒息してゐるのに、これらの商品を生産した勤勞大衆は、………にさらされてゐるといふ矛盾がこれである。

植民地經濟の混亂は植民地諸國の内部の階級對立の成長を強めるに至る。

高い利潤を持ちこたへようと努めてゐるブルジョアジーは、世界農業恐慌からの血路を求めするために、すでに到達された生産諸力の水準の直接的な破壊と（ゴム栽培園及びコーヒー栽培園の伐切、播種面積の意識的縮小、膨大な小麦及び玉蜀黍の焼却、何百萬袋ものコーヒーの海中遺棄）都市及び農村の勤勞大衆に對する新たな壓迫とに頼つてゐる。ブルジョアジーは「計画的な」方法で農業恐慌と闘はうと企て、最近多數の國際會議を開いた。だが資本主義世界が迷ひ込んだ袋小路の指標であるこれらの企ては、豫想に違はず、最も完全な崩壊を経験した。農業會議の唯一の結果はソヴェート同盟に對する國際的反動の怨恨の念を強めたことであつた。ソヴェート同盟は農業恐慌の主な犯人であると言はれてゐる。資本主義が存在する限り、農業恐慌を取り除くことはできない。なぜなら、農業恐慌の克服は廣汎な勤勞大衆の物質的福利の増進に關聯してゐるからである。「だが、その場合には資本主義が資本主義でなくなるだらう。なぜなら、發展の不均等と大衆の……………生活状態とは、資本主義的生産様式の基本的な、不可避的な條件であり前提であるからである」（レーニン『帝國主義論』邦譯九〇頁）。

六 經濟恐慌は政治的……………に成長する

現在の經濟恐慌の特質は、それが戦後資本主義體制の……………諸條件のなかで起つてゐるといふことである。經濟恐慌の發展及び深刻化と並んで、資本主義諸國自體に於ても、植民地及び半植民地に於ても、プロレタリアート及び貧農……………てゐる。さらに重要なことは、……………といふスローガンの下に進められてゐるだけではなく、すでにこのスローガンが……………に實現されてゐるといふことである。……………フランスの領土よりも廣い地域に……………が組織されてゐる。……………はインドシナにも自然成長的に發生した。印度の……………勞働者及び農民は長時日に亘つて若干の都市をその手中に持ちこたへてゐた。イスパニヤのプロレタリアートは資本主義

制度を掃き飛ばさうとしてゐる。最後に、戦争によつて作り出された戦敗國ドイツに對する諸條件の重荷を身をもつて經驗してゐるドイツのプロレタリアートは、この國にプロレタリアートの……………ための偉大……………にあ

練習課題

- 一、帝國主義に特徴的な五つの標識とは何であるか？
- 二、資本の獨占的結合體の形成の基礎には何が横はつてゐるか？
- 三、資本主義的獨占の支配はなぜ資本主義の……………？
- 四、獨占は生産の無政府状態、競争、恐慌を取り除くものであるか？
- 五、資本主義の不均等な發展法則の本質はどこにあり、また帝國主義時代に於けるその特殊性は何であるか？
- 六、なぜ超帝國主義論や『組織化された資本主義』の理論は間違ひで……………あるか？
- 七、現在の資本主義世界はどんな型の國に分類されるか？
- 八、戦後資本主義……………はどんな特徴を持つてゐるか？
- 九、なぜ植民地諸國に於ける全般的農業恐慌は全經濟の完全な混亂と崩壊とに導くか？
- 十、現在の世界資本主義の恐慌はどんな特殊性を持つてゐるか？

第二部 各國の經濟

第一 アメリカ合衆國

地圖の研究

- 一、アメリカ合衆國。首府——ワシントン。最大商工業都市——ニューヨーク。植民地——キューバ、ボルトリコ、ハワイ諸島、フィリピン諸島。
- 二、石炭——アパラチヤ山脈、ペンシルベニヤ州、アラバマ州、等々。
- 三、石油——主として太平洋諸州、西部山地。
- 四、鐵礦及び銅鐵——スベリオル湖、ミシガン湖、ヒューロン湖、エリー湖、オンタリオ湖地方。
- 五、主要工業都市——ニューヨーク、シカゴ、バッファロ、デトロイト、ピッツバーグ、ボストン、クリーブランド、セントルイス、ボルチモア、サンフランシスコ。
- 六、主要棉花輸出港。ニューオルリヤンス、ガルベストン。
- 七、主要可航河川及び動力資源——ミシシッピ河、ミズーリ河、オハイオ河、ハドソン河、ラブレンチャヤ河。
- 八、パナマ運河。

一 アメリカ資本主義の發達諸條件

一 世界經濟に於ける合衆國の地位と役割

合衆國は經濟的發達の水準から言へば世界のその他の資本主義諸國のなかですばぬけた地位を占めてゐる。合衆國は世界資本主義體制に於て最も指導的な強力な國である。數多くの決定的な産業部門、即ち農業や交通に於て、また資本輸出の點でも、合衆國は世界の首位を占めてゐるのである。

世界の石炭採掘高の四五%、世界の鑄鐵、銑鐵及び鋼鐵生産額の約半額、世界の石油採掘高の約三分ノ二が合衆國に分け前に當つてゐる。合衆國は世界の銅生産、錫(五〇%)、亞鉛及びアルミニウム(世界の三五%)採掘に於て首位を占めてゐる。

アメリカ産業のその他の部門の役割については次の材料によつて判斷することができる。

合衆國の農業は、小麦の一七%、世界の棉花採取高の半額以上、煙草の三八%、彈性ゴムの七五%を與へてゐる。

國富は三千億弗強の數字を以つて數へられてゐるが、この國富は世界の國富の四〇%を成してゐる。

これらは合衆國の經濟力を説明するに役立つてゐるが、この經濟力にはそれにも劣らず強力な金融上の基礎が照應してゐる。合衆國の諸銀行は世界金保有高の半額以上を集中してゐる。合衆國は世界の高利貸債權者に轉化した。資本輸出の點で合衆國は世界の第一位を占めてゐる。對外投資はアメリカの帝國主義ブルジョアジーに途方もない獨占的超過利潤を得る可能性を與へてゐる。

合衆國のこのやうな經濟的發展は比較的短い歴史の期間内に行はれたのである。

この（資本主義體制にとつては）例外的に急速な發達の原因は、主として一方では社會史的諸要因の獨特な組み合わせのなかに、他方では地理的環境の多種多様な富のなかにある。

二 合衆國に於ける資本主義發達の社會史的條件

合衆國の經濟發達史の特質は發展せる經濟的政治的體制としての封建主義が存在しなかつたことである。イギリスの移住者たちがこの地で大土地を個々の封建的地主に分割して以つて封建的秩序を普及しようとした試みは國の南部地方を除いては失敗に歸した。南部地方には過去に於て奴隸制度が發達してゐたし、またその殘存物は現在に至るまでも存在してゐる。アメリカ資本主義發達の社會史的條件のこの歴史的特殊性はアメリカ經濟の生産力の比較的高い發達テンポにとつて決定的要素であつた。それになほ付け加へなければならぬのは、アメリカ資本主義は巨大な面積の自由地が存在してゐたので發達したといふことである。

最初ヨーロッパ人が移住して來た北アメリカの地方は大西洋海岸であつた。こゝは現在でも人口が非常に稠密なので名高い。この地から十八世紀の七十年代以來西部への組織的性質を帯びた漸次的移住運動が開始された。中央政府や個々の州政府は比較的低廉な價格で土地の販賣に應じた。一世紀を経て同國の全市民には無償で土地を得る權利が與へられた。この方策は合衆國中部及び西部への急速な移住に拍車をかけた。それで一八六〇年にはミシシッピ河以西に僅か全人口の七分ノ一しか住んでゐなかつたが、一九一〇年にはすでにこの地には合衆國總人口の三分ノ一が住んでゐた。前世紀の最後の四半世紀以前は合衆國（南部を除いて）の農業は借地に苦しまなかつた。このことは農民經營の一層の發達と擴張との源泉として資本蓄積の急速な増加を助けた。農民は同時に地主でありまた企業家でもあつた。地表の自然的資源の掠奪的利用は工業のために低廉な原料上の基礎を造り出し、工業中心地の労働者のためには低廉な食料品を

與へ、また農業自體に於ける資本の蓄積は勃興しつゝある工業の前に國內市場に於ける工業製品の大きな販賣可能性を開いたのである。自由な低廉な土地が存在してゐたことは合衆國の農業發展に對して有利な影響を與へた。レーニンは合衆國の農業に於ける資本主義に關する自分の著書のなかでこの問題について次のやうに書いた。

「吾々はこの點に、占有されてゐない自由地の存在の上に立つ合衆國のこれまで一度も注意されたことのない特殊性を極めてはつきりと看取するのである。この特殊性は……アメリカに於ける資本主義の異常に廣汎且急速な發展を説明する。巨大な諸國の或る諸地方に於ける土地私有の排除は資本主義を排除するものでなく……反對にそのための基礎を擴張し、その發展を促進する。」

十九世紀の末以來アメリカの農業は根本的に變化した諸條件の下で發展した。自由地の豫備は殆んど皆無となつてしまつたのだ。この事情は、今では農業に従事しようとする人はすでにそれ相當の貨幣額を支拂つて地主から所要の地片を受取らなければならないといふことを意味する。そして事實二十世紀の最初の四半世紀間には主として小地主の没落を犠牲とする借地農の例外的發達を見るのである。一九三〇年までに、合衆國農業に於ける借地農の數は全農民の四〇%といふ數字に達してゐる。その結果は地面の騰貴である。だから一九一五年には一エーカー當り平均地價が十五弗に等しかつたとすれば、一九二〇年にそれは四倍も騰貴し、しかも二三の州、例へばカリフォルニヤ州では園藝地方に於ける一エーカーの土地は二千五百弗とさへ評價されてゐる。

「このやうに合衆國の農業發達は最近十年間に於ては地價、農産物の價格、土地賃借料の急騰といふ特徴を持つてゐる。この十年間はまた鐵道會社、銀行、商事會社による農業搾取の強化といふ特徴をも持つてゐる。その結果農民は消費者が農産物に對して支拂ふ價格の半額以下しか受取らないといふ始末である。この農民搾取は國內市場の消化

力を狭め、そして農業の一般の状態を悪化させてゐる。他方に於て、土地の購買及び借入に際して農民の収入が寄生的社會群の掌中に流れ込む。この社會群はその資金の大部分を不生産的に費消するのだ」(14)。

これらすべてのことは合衆國農業の衰退を招致せざるを得ないだらう。

(14) モティレフ『テンゴの問題』。

三 合衆國の工業發展の歴史的條件

合衆國の土地占有の特殊性については右に述べたが、この特殊性は農業に於ける資本主義の進化の性質に影響を與へたばかりでなく、工業の發展にも影響を與へたのである。どんな労働者でも容易に土地を攫取することができ、そして農民に轉化することができるといふ有様であるから貸銀はヨーロッパよりも高い水準に定められた。資本家の貸銀費が比較的高いから企業家たちは機械の採用に關心を持つてゐる。この機械は第一にその價值の點で高價な労働力に代り得るものであり、第二にその労働の生産性を最大限度に高度化し労働者の搾取度を増加するものでなければならぬ。

この歴史的事情はまた農工業の全生産過程の高度の機械化と自動化との基礎になつてゐる。だがそれはまた大企業家、資本家が、各種の發明に、實驗室や幾多の科學研究所の組織に、技術家及び労働者間の發明の助成に莫大な費用を投じてゐる所以でもある。合衆國の資本は、労働搾取の最も完全な方法の追求に、餘剩價値の搾出に國家諸機關を動員したばかりでなく、科學を強要して抑壓と驚くべき致富の目的のために役立たしたのである。西ヨーロッパの先進諸工業國から熟練労働者層と技師とが流出して行つたことは資本主義的工業の技術的過程の促進に影響を與へた。

合衆國の經濟的發達のテンゴを促進する上でそれにも劣らぬ重要な意義を持つてゐるのは、アメリカのブルジョアジが比較的長期に亘つて軍隊の維持に小額の資金しか支出してゐなかつたといふことである。

工業、陸海交通、農業の高度の機械化は重工業即ち生産手段を生産する工業の急速な發達に基づいてゐた。任意の資本主義國の諸條件の下では勞働生産性の増加と商品生産物の大量的生産とを伴ふところの技術的過程は生産された商品がそれ相當の市場に於て實現されるといふ條件の下に於てのみ可能である。市場とその状態とは全體としての資本主義的經濟體制の死命を制約する。アメリカ資本主義の經濟的構造は生産される殆んど全生産物を國內で必ず實現させるやうに長い間仕組まれてゐた。このやうな國內市場の消化力は農業及び工業に於ける生産の極度の分化と専門化との上に、また都市及び農村人口の比較的高度の購買力の上に基礎を置いてゐた。アメリカ工業の今後の發展はその個々の部門の不均等な發展過程の尖鋭化と勞働者階級及び農民の基本的大衆の貧困化とを伴ふが、それは國內市場の發達を緩漫にし、そしてアメリカのブルジョアジーをして否應なく原料Ⅰ、販賣Ⅱ及び有利な自己資本投下外國市場を獲取するために激烈なる鬭争に驅り立てるだらう。

二 工 業

合衆國に於ける資本主義の發達は國のあらゆる經濟的構造に最も深刻な諸變化を伴つた。四十年前には人口の七五%が農業に従事してゐて都市の外に住んでゐたが、今では吾々はその反對の現象を見る。即ち人口の約四分ノ三は都市に住んでをり、しかも個々の州に於ては都市外の人口は二〇%以下に當つてゐる。

國民收入の總額のうち農業は僅か約八%しか受取つてゐない。このやうに合衆國の基本的經濟は工業である。若し農産物の價額が一年百五十億弗に當つてゐるとすれば、工業製品の價額は殆んど四倍も大きい。國の工業的性質については輸出入品の構成によつても判斷することができる。現在工場工業の製品は合衆國の輸出の半額以上を占めてをり、農

産物は著しく小さい。

一 工業の原料上の基礎

工業の原料上の基礎であるところの有用礦物について合衆國は非常な大資源を有してゐる。合衆國の分け前となつてゐるのは鐵鑛の世界埋藏量の一九%（しかも品質優良）、石炭埋藏量の約半額、及び石油貯藏量の一二%である。これらの基本的種類の有用礦物の外に、同國の地下には金、銀、銅、錫及びその他の諸金屬の莫大な埋藏量が存在してゐる。合衆國にはまた、世界の白炭（水力）資源の一%が集中されてゐる。多くの諸地方では石炭及び鐵鑛の鑛脈は地表に近く存在してゐる。このことは甚だ重要な經濟的意義を持つてゐる。また他の場合には石炭と鐵鑛とは低廉な水路によつて結び付けられてゐる（例へば、スベリオル湖の鐵鑛とミンガン及びベンシルバニヤ州の石炭）。

主要な石炭産地はアラバチャ山脈の西部傾斜地、また主要な鐵鑛産地はスベリオル湖地方とアラバチャ山脈の南部である。石油産地は主として國の西南部、特に西部に集中されてゐる。

二 動力供給

合衆國に於ては機械動力がイギリスやドイツよりも殆んど五倍も多量に生産されてゐるといふことは動力供給——工業の根本的基礎——上の技術的進歩がその條件となつてゐた。現在に至るまでも機械動力獲取の主要な源泉は石炭であつて、この石炭の採掘にかけては合衆國が世界の首位を占めてゐる。石炭業は比較的最近、技術上の再建過程に踏み入つた。生産の機械化の結果一労働者の労働生産性は一日平均九・三噸の石炭に等しくなつてゐる。石炭採掘の再建と共に少數の大炭坑への生産の集積過程が行はれてゐる。舊式な技術上の装置を持つ小炭坑は放棄されつゝある。それと同時に石炭業に於ては熟練労働者の労働が猛烈に驅逐されつゝある。

合衆國の動力經濟上「白」炭も亦これに劣らぬ役割を動めてゐる（約三千五百萬馬力、そのうち利用されてゐるものは約一千萬馬力）。水力發電所の生産にかゝる電力量は逐年増加してゐる。電氣動力の生産と利用の點で合衆國は斷然他のあらゆる國々を凌駕してゐる。

石油も亦動力資源のなかに加へなければならぬ。この石油探掘量の點でも合衆國は世界の首位を占めてゐる。この數年の間合衆國內の石油探掘は多大の困難に直面してゐる。まだ現經濟恐慌が始まる前に原料石油の過剰生産が益々つきりと姿を現して來た。この過剰生産の原因となつてゐるのは石油の主要消費者（自動車及びトラクター）の緩慢な増加や石油生産物の使用上の合理化やと關聯する國內市場の需要の減退と低廉な南アメリカ石油の競争である。

三 鑄鐵、銑鐵及び鋼鐵の生産

鑄物及び石炭資源は黒色Ⅱ及び有色金屬工業の強力な發達を豫め決定した。黒色Ⅱ及び有色金屬工業は工業のあらゆる部門と同様に全く少數のトラスト、カルテル及び諸會社の掌中に獨占されてゐる。

冶金工業及び金屬製作工業の中心地は東北地方、大西洋及び湖水に面した諸地方である。現在冶金工業が國の他の諸州へ、例へばアラバマ州（中心都市バーミンガム）へ著しく移動する傾向を持つてゐる。この中心地の發生原因となつてゐるのは鐵鑛と石炭とが有利に結び付いてゐるといふことよりは寧ろ低廉な組織の弱い労働力（主としてネグロ）が存在してゐることである。

四 機械製作工業

生産手段を生産するところの機械製作工業の發達は、國の工業化の發展と經濟力の伸張とに對して決定的意義を持つてゐる。

合衆國の機械製作工業の生産額は世界の約五七%に當つてゐる。合衆國は技術の點で最も尖端的な西ヨーロッパの國——ドイツよりも四倍も多く、多くの機械を生産するのだ。機械製作工業の個々の部門のうちで例外的にすばぬけた地位を占めてゐるのは自動車トラクター部門と農業用機械の生産とである。

自動車工業は僅々十五年乃至二十年間に發達し強化された。自動車生産數及び國內所有數の點で合衆國は全世界を殆んど六倍も凌駕した。三千萬臺の自動車のうち約二千六百萬臺が合衆國の所有となつてゐるのである。

五 電機工業

電機工業は國民經濟の所謂新部門に屬してゐる。それはやつと二十世紀の初頭以來強力に發展してゐる。この工業の生産額の點で合衆國は世界の首位を占めてゐる。合衆國の總電氣生産に於て首位を占めてゐるのは百萬長者メルガンの一團と密接な關係にある一般電氣會社である。

この會社の勢力は合衆國內に限られてゐるわけでない。それは世界の電機工業の著しい部分を統制してゐる。

六 紡績業

合衆國の紡績業がどんなに盛大であるかは棉花消費を示す數字から判斷することができる。棉花消費量の點で合衆國は世界の首位を占めてゐる。纖維工業部門に於ける技術的達成は非常に大したものである。自動織機の採用は最近二十一年間に労働者の労働強度を六倍も増加させた。以前には一人の織布労働者が八臺の織機を受持つなどといふことは例外とされてゐたが、今ではこの部門では一人の労働者が三十臺の織機を受持つのが全くあたり前のことと考へられ、しかも例外の場合には七十臺から百臺すら受持つのである。纖維工業は逐年東北地方から南部に移動してゐる。南部には低廉な労働力と低廉な電力との資源が存在するのである。合衆國の纖維工業に於ける南部諸地方の意義については、この

地方で棉花の七〇%以上が精製されるといふことによつて判断できるのである。

七 工業の集積

合衆國の資本主義の特質は生産の異常に高度の集積である。國の工業生産の途方もない増大については吾々は右に述べたが、この増大は比較的少數の最大工業企業によつて行はれたのである。合衆國工業の集積の程度は次のことによつて判断できる。

即ち年生産額百萬弗以上の企業は一九二五年に於て國の全企業の六〇%であつた。これらの企業に國の全労働者數の五七%が雇はれてゐた。その生産額は國の全工業生産額の六八%に當つてゐた。

一九〇四年にはこれらの企業は僅かに一%であつたし、それに雇はれてゐた労働者は二五%で、その生産額は三八%に當つてゐた。

アメリカ工業の進化は、少數企業への工業の集積と小資本主義企業の大企業による驅逐とに關するマルクスやレーニンの諸命題の最も完全な證明としてまた最も典型的な例證として役立つ。

八 アメリカ工業に於ける資本主義的獨占

工業の高度の集積はすでに十九世紀の末葉及び今世紀の初頭に當つて資本家の巨大な獨占結合體、即ちトラスト、カルテル、コンツェルン、各種の會社、等々の發達を招來した。これらの諸結合體の掌中には合衆國の殆んど全部の最大企業が集中されてをり、また國民經濟の全部門が程度の差こそあれ彼等の勢力と權力とに従屬してゐるのである。

トラスト化過程は工業に及んでゐるばかりでなく、それは廣く銀行、劇場、ラヂオ、等々をもひつ捉へてゐる。

銀行資本の集積及び銀行と産業資本との癒着の度合の點で合衆國は世界の他の帝國主義諸國の間でずばぬけた地位を

占めてゐる。ほんの少數の最大銀行家（モルガン、ロックフェラー、メロン、等々）が事實上合衆國の支配者であり主人である。これらの銀行家團の力がどんなに偉大であるかについては、一ブルジョア上院議員のやつた特徴づけからこれを知ることができる。彼は言ふ。

「三萬のアメリカの諸銀行の巨大な力が、ウォール街にその本部をおく人々の一小集團の掌中に集中されてゐる。

彼等は合衆國の任意の企業家の死活權をその掌中に握つてゐる。彼等の掌中には金融施設の運命が握られてゐる。彼等は恐慌を作り出すこともできれば、信用券、貨幣をすら發行することができる。金融といふ蜘蛛の巣の中心に立つてゐる銀行家たちはほんたうの政府的權力を持つてゐる。貨幣及び信用支配のおかげで銀行家たちは合衆國法典の制定者となつた。誰一人彼等を選挙したわけではない。誰一人彼等を召還することができない。彼等に社會的毀譽褒貶を與へる術がない。彼等は一九一四年以前のドイツのウィルヘルムのやうに社會的影響の手のとどかないところにある。アメリカ生活の自稱獨裁者である彼等は創造したり破壊したりする。彼等はぶちこわしたり管理したりする。彼等はアメリカ事業界の心臓であり、搾取制度の中心であり、國民の首を締付ける重い抑壓者である。」

自明なことであるが、合衆國に於ける獨占資本主義の權力の途方もない増大と強化とは、他の資本主義諸國に於けると同様に、個々の獨占者間の角逐闘争の尖鋭化を些も弱めるものでなく、資本主義的生産様式の無政府状態、この無政府状態から生ずる發展の不均等性を弱めるものではない。個々の經濟部門の、また同一經濟部門の枠内の個々の生産の不齊一な發展、國內の個々の經濟地方の不均等な發展は、猛烈な競争と國家の全經濟生活に於ける無制限な混沌状態とのための條件を作り出すのである。

アメリカの實情は、獨占の發達が競争といふ盲目力の活動を屏息し、そして「組織化された資本主義」なる新時代を

開くなどといふ第二インタナショナルの「理論家たち」の主張のあらゆる誤謬を、この思想に感染したコミンテルンの陣営内の右翼日和見主義の主張の誤謬と同様に、確證してゐる。

三 農 業

經濟發展の一般的條件は農業にも存在してゐる。農業の著しい特質は、高度の商品性（生産される生産物の八〇％は市場に出される）であり、また農民經營の資本主義的性質である。生産は、主として雇傭労働——巨大な農業労働者軍——の使用によつて市場目當に行はれる。最近三十年間に於ける農業に於ける資本主義の發達は大經營への生産の集中と中小經營の没落とを伴つた。

一 農業の技術

合衆國の農業はヨーロッパ諸國と異り機械化の程度が高い。すでに一九一九年に合衆國には八萬臺のトラクターがあつた。だが十年を経てその數はもはや約百萬臺と稱されてゐる。トラクターが農業の基本的部門を捉へるその度合に従つて農業に於ける牽引力の源泉としての馬が急速に驅逐されてゐる。合衆國では一九一八年から一九二九年までに馬匹數が七百五十萬頭も減少した。トラクター牽引力が家畜牽引力の半分以上に取つて代つたのである。全農業生産過程を測り知ることができないほど加速化するところのこの新牽引力の途方もない普及は、全農業用道具及び機械の技術上に根本的變化を來した。

コンバイン及び貨物自動車の採用は穀物刈入に眞の變動をもたらした。この變動はトラクター採用後初めて可能となつたのである。

農民の大資本主義的上層にのみ許されるところのトラクター、コンバイン及び貨物自動車並びにその他の改良機械及び農具の農業への廣汎な侵入は、普通農民の極端な貧窮化と大衆的没落、また全體としての農業の退化を伴つた。最近十年間に、即ち農業が最も機械化された期間内に播種面積はたつた四百萬ヘクターしか増加しなかつた。また農業生産はアメリカ統計の過大に評價されてゐる計算によつても一三・五%しか増加してゐない。

農民人口の購買力はこの間に激減した。また倍加された租税は普通農民の幾百萬大衆の負債の異常な増加を惹き起した。彼等は資本主義的生産の諸條件の下ではトラクターやコンバインを手にする事ができないのである。彼等は資本主義的企業家の競争の打撃を受けて益々頻繁に没落し借地農に轉化し、或はプロレタリアートの列伍に加はる。一九二九年には借地農数は全農民人口の四〇%に當つてゐた。

合衆國の農業に於て作用してゐるその同じ資本主義的發展法則のために、吾々はまた農民經營の絶對的減少をも看取る。即ち最近數ヶ年間に農民人口はこゝでは四百萬人も減少した。

このことは次の命題を確證してゐる。即ち計畫的社會主義經濟の諸條件の下では生産力の水準の向上（技術の進歩）が同時に協同組合化された生産者（コルホーズ員）の廣汎な大衆的物質的著しい向上のための物質的基礎として役立つのであるが、資本主義制度の下では同一事情が幾百萬の小生産者の没落の原因なのである。

二 合衆國の農業恐慌

戦後の全時期に亘つて合衆國の農業は最も深刻な恐慌から脱出してゐない。恐慌は何よりも先づ全體としての農業發展の非常に緩慢なテンポに、その個々の最重要部門（穀物經營）の停滞に、また農業人口の減少に示されてゐる。最近農民人口は自己の農場や借入農場を大衆的に放棄して、都市になだれ込み、それによつて都市の失業者軍を増加させて

みる。

合衆國の農業恐慌の主要な原因は、農業と工業との不均等な發展、工業による農業の驅逐、農業に對する大資本の勢力の増大とその猛烈な侵入とである。

最も尖端的な技術（トラクター、コンバイン、等々）によつて武装された大規模な資本主義的生産は、吾々も知る通り、その發達によつて小農民の巨大な大衆を没落させ、破壊する。それと並んでアメリカの農民の基本的な大衆の貧困状態の鋭さを深めるその他幾多の不利なモメントが存在してゐる。何よりも先づ指摘しなければならないのは、工業資本に有利な農産物と工業製品の價格の大きな開きである。この開きは農民經營の生産物が低價格を維持してゐるのに工業製品の價格は釣上げられてゐるといふことに示されてゐる。普通の農民は銀行に負債の利子を支拂はなければならず、國家機關を維持するために逐年増加する租税を納付しなければならない。またこれらすべてのことのために自分の生産物を否應なく破滅的價格で賣却しなければならない。若しもその上になほ販賣市場まで農産物を輸送するための色々な鐵道會社の……な運賃をも考慮に入れるならば、金融資本が農民の巨大な大衆を追ひ込んでゐるその貧困の深さが手に取るやうに明かになるのである。農民の没落は現在の經濟恐慌と關聯して深刻化され、農業内部の、また農業と工業との間の對立はますます尖鋭化されてゐる。

四 諸地方の經濟

一 南部地方

この地方を成してゐるのは人口總數三千百萬人を持つ南部の十三州である。この地方の基本的な専門化は棉花、煙草

及び米の生産である。世界棉花生産の五〇%と世界煙草生産の三八%とがこの地方によつて生産されてゐる。

この地方の經濟制度の特殊性を理解するためにはその經濟發達史に觸れなければならない。

北アメリカの南部諸州の植民地化は十七世紀と十八世紀初頭とに屬してゐる。ヨーロッパの移住者が渡來する以前は南部地方を含めて合衆國の全領土はインデヤンなる遊牧民族によつて占められてゐた。そこへヨーロッパ人が移住することは、廣大な土地の原始的所有者からその土地所有を奪ひ、全民族とその文化とを破壊することを意味した。

南部の栽培園主は地主は經濟活動のそもその第一歩に當つて棉花栽培園で處女地を開墾するために必要な勞働力軍がその地方に存在しないと云ふ困難につき當つた。インデヤンは奴隸として働くことを頑強に嫌つた。彼は奴隸よりも死を選んだ。新大陸の領土に雪崩を打つて押し寄せて來た移住者も農民の大群も南部の栽培園の勞働者になるなどは夢にも思はなかつた。彼等の前には大陸の他地方で獨立して經營を営む廣い見透しが開かれてゐたのである。勞働者軍の問題はアフリカの奴隸海岸からネグロ奴隸を大衆的に輸入することによつて解決された。合衆國の領土へアフリカのネグロを運送することが最も有利な貿易業に轉化した。合衆國史の研究者の一人は、ネグロ貿易について次のやうに述べてゐた。

「兩アメリカに於てますます増加しつゝある黒色勞働者に對する需要の影響を受けてその貿易が當時の主要な貿易部門となつた。この貿易は十七世紀及び十八世紀の世界貿易取引上非常に大きな地位を占めてゐたので、大西洋のど的大海運會社も通常當該王室の賛成を得て、また屢々その事業上の支持を受けてこの貿易に従事したほどである。

ネグロはアフリカ海岸で捉へられ、監視付きで船で送られ、かくてますます増加する奴隸に對する需要を充した。

合衆國の南部では奴隸所有者と奴隸賣買者とは北部の馬所有者や馬賣買者と同様に普通の現象であつた。どの公開

競賣に於ても奴隸はその他の財産と共に賣却され、またどの都市にも轉賣するために奴隸を買つたり、また手数料を得るために彼等を買ひ込む商人がゐた。

殆んど三百年間の南部諸地方の經濟的發達は全く多數のネグロ奴隸の強制勞働の利用に基づいてゐたのである。アフリカのネグロ奴隸の勞働は巨大な土地面積を棉花栽培園や米作地や煙草栽培地に轉化した。その後もまた榨取者地主の幸福と富裕な生活とは血によつてかち得られたものであり、今日までも依然として維持されてゐるのである。たゞ一八六一—六三年の南北戰爭の結果合衆國南部に於ける奴隸制度は公式には廢止された。だが「自由」なネグロといつても事實上は以前のネグロ奴隸と少しも變らない。彼は土地とそれを耕すための手段を奪はれて、否應なくまたもや自分の、または他人の主人地主の許で農奴となつてゐる。それは今度は「奴僕」(ベオン)即ち賦役農制度といふ新しい經濟形態を取つてゐる。レーニンは「自由な」ネグロの状態を次のやうに特徴づけてゐる。

「ネグロを自由にしつゝアメリカのブルジョアジーは「自由な」共和的民主的資本主義の地盤の上にあらゆる可能なものを復興し、ネグロの破産耻辱まる最も野卑な抑壓のためにあらゆる可能な、またあらゆる不可能なことまでもなさうと努力したのである。」

今日「自由、平等及び民主的天國が榮えてゐる」國に於けるネグロのほんたうの状態は次のことによつても判斷できる。即ち幾多の南部諸州でネグロの子供たちは特別な學校で教育され、都市にはネグロ人民が住むために特別區域が設けられ、アメリカの列車中にはネグロのために特別車が用意されてゐる。アメリカのブルジョアジーはネグロのために驚くべき私刑——リンチ——を設けてゐる。

南部地方の農業の社會經濟的、技術的構成は幾多の特殊性を持つてをり、この特殊性はこの地方を特殊な社會經濟的

單位に區分してゐる。過去に於ける奴隸制度と現在に於けるその殘存物とは地方の全生活面に極印をおし付けてゐる。南部農業への資本主義の侵入過程は、半農奴的半封建的借地農制度といふ特殊な形態を取つてゐる。封建君主＝栽培園主は奴隸制度廢止後變化せる搾取條件に適應する方法として土地利用の性質に重大な變化を加へてゐる。この土地利用の特殊性は「大農場」を諸小農場に細分したことである。後者は農奴制的賃賃の條件に於て小借地農＝小作農に、主としてネグロに貸付けられる。土地利用の部面に於ける大農場の細分化過程は土地所有の細分化を意味するものでは毫もない。なぜなら、大農場はやはり従前通りの大いさを保つてをり、しかも少數の栽培園主＝地主の掌中へ依然として間斷なく集中されてゐるからである。地方農民の大半は借地農である。しかもそのうち七五％は純然たる農奴制的奴僕である。南部のこの社會的環境はこの地方の生産力の發達に否定的影響を與へざるを得ない。農業技術の點で南部は極く最近まで極端に遅れてゐた。主人＝地主への勘定を濟ませば借地農＝小作人の許に残るものとは借地農の家族の半は飢餓的な生活を維持し得るに過ぎないやうな貨幣額である。このやうな有様では經營を改造するために投下し得るやうな資金が存在しよう筈がない。しかし合衆國に於ける農業の技術的達成は遅れた南部をもその影響の下に捲き込まないではおかなかつた。だが同地方の棉花經濟に於ける技術的進歩の擔當者はテキサス、部分的にはオクラホマ州の廣大な地域の上に發生しつゝある新しい棉花中心地であつた。この地方では棉花經營がトラクターやその他の機械及び農具の助けを借りて大資本主義的農民によつて行はれてゐる。この新たな棉花中心地の競争はそれだけでなくとも困難な東部のネグロ農場を全く破滅させてゐる。現在ネグロ農民の没落は驚くべき規模を取つてゐる。二三の州ではネグロ農民の約七五％が自己の農場を放棄した。

最近同地方には幾多の工業部門が猛烈に發達し始めてゐる。埋藏されてゐる石炭及び鐵礦を利用するためアラバマ州

(中心地はバーミンガム)に大冶金工業中心地が発生しつゝある。オクラホマ及びテキサス州には同國の石油採掘の最重要な中心地が存在してゐる。主としてネグロの低廉な労働力の膨大な源泉が存在してゐることは、大西洋に面した東北地方の繊維工業をして殆んど全部否認なく南部に移動させたのである。

二 中部地方

中部地方はアメリカ農業及び牧畜の主要な基礎である。同地方の区域内には同國の全農場の約三分ノ一が存在してゐる。しかも農民財産(土地、建物、農具、等々)の價額は合衆國の全農民財産の五八%に等しい。この地方の農民は穀物の殆んど半額と市場に出廻る家畜の約六〇%とを與へる。この場合同地方は穀物及び肉類に對する國內需要を充すだけでなく、さらに外國に輸出するための小麦及び肉類生産物の過剰分をも與へてゐる。

個々の種類の穀物生産に於けるこの地方の意義は次のことからわかる。即ち小麦の播種面積は合衆國に於けるこの穀物の播種面積の六七%、玉蜀黍は五五%、燕麥は七八%に當つてゐる。同地方の農業は乾草その他の家畜飼料の生産上異常に重要な役割を演じてゐる。

同地方の農業は大規模な資本主義的農場の歴史的支配といふ特徴を持つてゐる。この農場に於ては生産は多數の雇傭労働を使用して行はれてゐる。商品的性質は全體としては同地方の農業經濟の、特殊的にはその個々の部分の明かな専門化に現れてゐる。資本主義的關係の發展は個々の種類の農業生産の地域的分布を伴ひ、それは小麦、玉蜀黍及び家畜飼料の生産地方の存在にその表現を見出してゐる。農民的農場は一種若しくはせいぜい二種の生産物(例へば小麦、若しくは玉蜀黍)の生産に専門化されてゐる。そのために農民的農場は高度の商品性を持ち、また市場の盲目的條件に最も強く依存してゐる。

アメリカ農業の戦後の漫性的恐慌はこの穀物及び肉類地方に特別ひどく現れてゐる。直接税及び間接税、農産物輸送のための鐵道會社の掠奪的運賃、毎年銀行に負債の利子として巨額の金錢を支拂ふ必要性等々が増大するの、一方、小麦や、穀物經濟のその他の作物の價格が下落するので、その結果平農民は大衆的に没落し、最も深刻に貧窮化してゐる。農場の競賣は最も日常茶飯の現象だ。逐年農民逃亡は増加する一方である。彼等は都市に殺到して行つて、そこでは仕事にありつけないだらうから空腹を抱へた失業者及び貧窮者軍を増加させるのだ。同地方では、借地農の増加と共に農民の資本主義的上層の手に土地所有の最も強烈な集中過程が行はれてゐる。農民の資本主義的上層は生産費を節減したり農業を最高度に機械化したりして穀物の低價格と闘争しようとなつてゐるが、この努力は平農民を經濟的破局に導いてゐる。農民大衆には手にすることができないやうなトラクターやコンバインや貨物自動車は大資本家の掌中で小農民を經濟的に没落させる最も強力な武器に轉化してゐる。

中部地方は最も重要な穀物生産者であるばかりでなく、それと同時にまた大工業地方でもある。色々の工業部門のうちから特に食料品工業を指摘しなければならない。途方もない家畜群を所有してゐる同地方は肉類工業の中心地（シカゴ）に轉化した。その生産物は、豚肉、大角家畜の肉類罐詰及び冷凍肉として國內市場の需要を充すばかりでなく、なほ輸出に當つべき餘剰をも與へてゐる。穀物經濟の發達は最大の製粉業の發達を助けた（ミネアポリス、セントポール、セントルイス、シカゴ、その他）。食料品工業部門の外にシカゴ地方及び湖水に面したその他の都市には金屬工業及び機械製作工業の中心地が發生した。

三 大西洋地方

大西洋地方は合衆國の大西洋に面する東北部を占めてゐる。この地方は大西洋諸共和國の經濟上にすばぬけた地位を

占めてゐる。全國土の六％に等しい面積の上に合衆國全人口の約三分の一が住んでゐる。工業生産額の點でも國富額の點でも、また銀行の數及び勢力の點でもこの地方は同國の他の部分を遙かに凌駕してゐるのである。

同地方經濟の指導的役割は次のことによつて判斷することができる。即ちこの地方には殆んどあらゆる種類の工業、何よりも先づ冶金工業及び金屬製作工業の最大中心地が集中されてゐる。工業製品の年生産額は合衆國の工業生産額の殆んど半額に當り、また鑛業の生産物（石炭、鐵鑛及び部分的には石油）は二七％に當つてゐる。大西洋の海岸に添ひ、灣内の凹所に、湖口に最大の海港都市が位してをり、これらの海港都市は自國の外國貿易上すばぬけた役割を演じてゐる。海港都市のうち指摘しなければならないのはニューヨーク（貿易取引高の點で第一位を占めてゐる）、ボストン（第二位）、フィラデルフィヤ、ボルチモア、等々である。アブラチャ山脈の山頂をその起源とする多數の谷川を持つこの地方は工場工業の電化の度合の點でも第一位を占めてゐる。ナイヤガラ瀑布地方には合衆國最大の發電所が存在してゐる。例へば五十萬キロワットの「ナイヤガラ瀑布會社」の發電所、五十萬キロワットのカナダ國營發電所、等々これである。これらの發電所で生産される電力は高壓電氣輸送體系を通じて消費地——工場——にまで長距離（二三七哩）の間を輸送される。大西洋地方は合衆國の世界海上交通の中心地であるばかりでなく、陸路、何よりも先づ鐵道の主要な聯絡地點である。この地方にはあらゆる基本的な鐵道線路の支線が存在してゐる。これを通じて同國の中部、西部及び西南部から巨大な商品量が對外輸出のため海港に、或は國內市場に出廻るのである。

同地方の工業上のヘダモニーを完全に特徴づけるためには次のことを附加しなければならぬ。即ちこの地方には合衆國の國富の約三分の一と諸國立銀行の總資産負債額の約半額が存在してゐる。

最近十年間に多數の工業部門のこの地方からの「移動」が始つてゐる。織維工業はニューヨーク諸州から南部

に移動したし、靴工業は西部及び南部に移動した。このことはそれら諸州に最も鋭い恐慌を惹き起した。ブルジョアジ
ーは自分の地位を救はうとして、合理化をやつたり、労働者の賃銀を切下げたり、またそれでなくとも「切詰められて
ゐる」労働立法を廢止したりしてゐる。

同地方の工業的性質は農業の全構造に鋭い極印を押してゐる。工業の發達は農業のために市場を作り出しつゝ、それ
によつてまた農業の方向をも條件づけてゐる。こゝでは穀物は取るに足らぬ役割を演じてゐる。同地方の農産物總額の
約八%が穀物生産である。同地方の主要な農業上の専門化は蔬菜栽培、園藝、製酪業、即ち専ら都市市場向けの生産で
ある。社會的本質から言つて農業は専ら市場を目當として生産し、また雇傭労働を適用するところの典型的な資本主義
的企業である。

四 太平洋地方

太平洋地方は太平洋の海岸に添うて位し、その經濟的發達のために素晴しい條件を備へてゐる。この地方への移住開
始は前世紀の七十年代に、即ち太平洋鐵道を敷設した時代に屬してゐる。數十年の間にこの地方は工業、農業及び商業
の發達上大成功を遂げた。礦物資源、例へば石油、石炭、金、銀、銅、タンクステン、及びその他の有用礦物を利用す
るために大鑛業が發生した。經濟の型から言へば同地方は一面の工業地方に屬する。年總産額のうち工業は約七〇%を
占めてをり、また人口總數のうち僅か三七%しか農業に従事してゐない。

農業は主として果實及び漿果の生産に専門化されてゐる。素晴しく温和な氣候と海岸地帯の大部分に亘つて充分廣い
傾斜地とは多種多様な果樹の成育にもつてこいである。この地にはレモンやオレンジや無花果のやうな園藝樹の栽培が
殆んど全部集中されてゐる。葡萄、林檎、漿果、等々の採取量の點でも同地方はずばぬけた地位を占めてゐる。

園藝の外にこの地方には農業も發達してゐる。小麦、甜菜、米、及びその他の播種が行はれる。農業はその集約性と社會的構造の點で大西洋諸州を思はせる。乾燥地及び非乾燥地の小面積の園藝農場に於て大資本主義的經營が行はれてゐる。

この地方はアジア諸國と合衆國との貿易上最も大きい役割を演じてゐる。同地方の海岸線は數多くの優秀な港を持つてゐる。これらの港をめぐつてサンフランシスコ、ロスアンゼルス、オークランド、ポートランド、シヤトルのやうな海港都市が發生した。

五 山岳地方

山岳地方はコルチレラ山系の南部全體を占めてゐる。個々の山脈の間には廣漠たる平原が開けてゐる。太平洋から吹いて來る温氣を含んだ風もこゝまでは來ないので、これらの平原は沙漠となつてゐる。南部地方に位するこのやうな沙漠の一つはその荒涼たる條件に因んで「死の沙漠」といふ名前を頂戴した。

平原のみが温氣の缺乏に悩まされてゐるのではなく、全地方が僅かの例外を除いて異常に乾燥した氣候を持つてゐることを指摘しなければならぬ。僅かにその北部と若干の河川の流域だけが避難所の條件と濕潤とのおかげで人工灌溉も行はずに農業に従事することが許されてゐる。だがその他の部分に於ける農業の發達は豫め灌溉を行ふといふ條件の下に於てのみ可能である。

自然的條件が不利であり同時にまたいくらかでも發達せる交通路網が缺如してゐるので、その結果同地方への移住の稠密性は僅少である。人口の密度は合衆國平均密度より九倍も少い。

色々な種類の有用礦物（金、銀、銅、石油）の自然的富源はこの地方に鑛山業を發達させる可能性を與へ、また廣大

な面積の森林の存在は製材工業を發達させる可能性を與へてゐる。

農業の諸部門のうちで著しく發達してゐるのは粗放的な牧畜（主として牧羊業）である。北部即ちモンタナ及びブライア州では大規模資本主義的農業（小麦生産）が發達してゐる。

五 合衆國の資本主義體制の危機

一 合衆國經濟の危機

合衆國は他の資本主義諸國と同様に資本主義體制……………地帯に踏み込んだ。合衆國の資本主義は繁榮して「例外的」状態にあるのだ、資本主義の没落期に特有な最も深刻な諸矛盾を知らないのだといふ國際社會ファシズムの主張は眞赤ないつわりである。これらの思ひつきは唯一の目的——資本主義體制を美化粉飾する——を追つてゐるのであるが、これらの思ひつきの化の皮をひんむくために戦後に於ける合衆國の發達の詳細な特徴づけに論及しなければならぬ。

資本主義……………主要な標識は全體としての國民經濟及びその個々の部門の發達テンポの減退若しくは停止である。若しこの見地から合衆國に於ける資本主義の發達を眺めるならば、經濟體系の個々の環の發達テンポが絶對的に低調であつたばかりでなく、毎年低下して行つてゐることがわかる。一八九八年から一九一三年に至る期間に全製造工業の生産増加は年平均四・五％に等しかつたのであるが、最も良好な戦後の諸年度に於てこのテンポは二・八％にまで低下してゐる。發達テンポの低下はまたアメリカ工業の生産装置の増加にも看取される。機械動力の能力の毎年の増加は戦前の諸年度には五・六％に等しかつたが、戦時及び戦後の諸年度には著しく低下してゐる。一九一九年乃

至一九二七年のこの増加は一年三・六%の數字を以つて表現されてゐる。

個々の工業部門について發達テンポの低下は次の統計によつて特徴づけることができる。

一、鋼鐵生産。一九〇〇年乃至一九一三年の鋼鐵生産の毎年の増加は九%に等しかつた。一九二〇年乃至一九二九年の期間中にその生産のテンポは四倍も減少し、一年二%以下に當つてゐる。

二、發達の點でもつと劣悪な状態にあるのはその他幾多の工業部門、例へば纖維工業、石炭工業である。これらの部門では運動のテンポは戦前及び戦時にくらべて殆んど少しも増加してゐない。

戦後アメリカ工業の個々の部門がどう發達したかについては次表の統計によつて判断することができる。

工業部門の名稱

| | 全期間中の 増加(%) | 年平均 増加(%) |
|---------------------|----------------|--------------|
| 石 炭 (一九一八—一九二九年) | 三三 | 一・一 |
| 石 油 (一九二〇—一九二九年) | 二六 | 九・六 |
| 製 銅 (一九一七—一九二九年) | 三三 | 一・九 |
| 銅 (一九一六—一九二九年) | 三三 | 一・六 |
| アルミニウム (一九二〇—一九二八年) | 三三 | 三・一 |
| 一般機械製作 (一九一九—一九二七年) | 三三 | 三・五 |
| 自 動 車 (一九二〇—一九二九年) | 一四五 | 一〇・五 |
| 電 機 (一九二〇—一九二九年) | 二二九 | 一〇・三 |
| 人 絹 (一九二〇—一九二八年) | 六九 | 三・五 |

過 燐 酸 鹽 (一九二〇—一九二八年) 三六

三・二

棉 花 消 費 高 (一九一七—一九二八年) 〇・七

このやうに、合衆國の工業部門の三三%は表に示された期間中に停滞若しくは、棉花消費の部面で生じてゐる様に、完全な停滞とさへも同一視してよい取るに足らぬテンポを以つて發展したのだ。

工業の或部門の僅かな發達、他部門の停滞を背景として所謂「新」工業生産部門（電機工業、自動車工業、化學工業、ゴム工業、人絹工業、及び有色金属熔融工業）の發達がはつきり浮び出てゐる。これらの新生産の同國の總工業生産に對する比重は次の資料から知ることが出来る。即ち一九一四年乃至一九二七年にこれらの部門に従事する労働者の數は一四・五%から一八・六%に増加し、總生産額は二三%から二七%への増加を示してゐる。最近十年間に於ける全アメリカ工業の發達はこれらの新工業部門のおかげで——主としてさうでないにしても、その著しい部分は——行はれたことを指摘しなければならぬ。

しかし殆んどすべての「新」部門についても近年は生産額に於てテンポのかなりの激落が認められる。その例證として役立つことができるのは自動車工業である。一九〇〇年から一九一三年までに自動車工業の毎年の生産増加は殆んど五〇%に等しかつた。一九二三年から始つて一九二九年までにこのテンポは破局的に低下して四・七%にまで達してゐる。

このやうな發達テンポの「氣息奄々たる」様相は化學工業にも電機工業にも有色金属熔融工業にも見受けられる。

工業のますます低下する發達テンポと並んで合衆國には工業生産装置の驚くべき休止が看取される。一九二八年に、即ち「繁榮」の絶頂に於て全工業装置のうち休止されてゐたものは二八%に當つてゐた。個々の工業部門について言へ

ば、この操業短縮は自動車工業が二六%、鑛詰工業が五六%、ゴム・タイヤ生産工業が三四%、等々に當つてゐた。デヴィス労働長官の統計（これは「繁榮」期に屬してゐる）によると、石炭坑の二五%が全幅的に操業すれば同國の全石炭工業の生産にも等しい石炭量を採掘することができることがわかる。

石炭工業の生産能力は十億噸以上にも達してゐる。ところが消費はたつた五億噸にしか當つてゐないのだ。石油工業とても同じやうな有様である。

アメリカ工業の低下しつゝある發達テンポ、生産装置の驚くべき休止、幾多の部門の停滯、「新」工業部門の飛躍的發展——かくの如きがアメリカ資本主義の最近の「繁榮」の總決算なのだ。この總決算は、何よりも先づ、資本主義的生産様式が生産諸力の一層の發展にとつて一つの桎梏と化したことを確證してゐるのである。

アメリカの資本主義發展の特殊性を決定するところの根本原因は國內市場の購買能力の著しい萎縮である。國內市場の微少な購買能力は工業及び農業に従事するアメリカ労働者の基本的大衆の物質的狀態の悪化と農民人口の購買力の低落とによつて決定されてゐる。このやうに消費と工業の生産能力との間の矛盾はアメリカの資本主義體制の危機の根本原因である。資本主義自らこの矛盾を排除することはできない。なぜなら、労働者階級及び農民人口の購買力の改善は資本主義にとつて利潤の低下を意味し、そんなことに資本家たちは同意できないだらうからである。

アメリカのブルジョアジーは自分の儲けを失はないで國內市場の購買力を増加することができないものだから、自分の目を海外市場に向けてゐる。

「打續く生産装置の増大や合理化と並んでますますはつきり現れて來る國內市場の飽和、幾多の部門に於ける明かなその減退傾向はアメリカ工業のために外國市場擴張に對する急速に成長しつゝある要求を造り出してゐる。外國市

場の發展といふ任務がアメリカ資本と合衆國の政府諸機關の注意の焦點となつてゐる」(15)。

(15) エム・ルビンシュタイン『合衆國の資本主義の危機』。

二 労働者階級の狀態

アメリカ労働者の平均賃銀は他の資本主義諸國より高いには高いが、しかし國內ではこの標準からの驚くべき急激な上下變動が看取される。高い賃銀といふことは國際社會民主主義者によつて非常に廣く宣傳されたのであるが、この高い賃銀は労働貴族に、つまり高級熟練労働者及び職工に支拂はれる。彼等はアメリカ労働者の絶對的少數者を成してゐる(約一〇%)。殘餘の労働者大衆は最低生活費以下の賃銀を貰つてゐる。労働者階級の狀態は色々な州により、また色々な部門により一様ではないが、しかしそれらすべてに共通なことは賃銀が生活水準からべらぼうにおくられてゐることだ。アメリカのブルジョアジーは労働者の労働を驚き入るほど搾取してゐるがそれにも拘はらず、労働者階級の賃銀は逐年相對的にばかりでなく絶對的にも低減してゐる。『繁榮』年度に於てすら多數労働者の賃銀は最低生活費として必要なその額の五〇%に等しかつた。労働者の經濟狀態を最もはつきり現はしてゐるのは鑛山労働者、特に坑夫の狀態である。低い賃銀と疾病、老朽、不具、死亡の場合に對する保險の完全な缺如、労働保護の缺如は大西洋諸州の鑛山労働者の生活のためにヨーロッパに存在するよりも著しく劣悪な條件を造り出してゐる。未組織労働者の巨大な大衆は乞食賃銀を貰つてゐる。ネグロ労働者などは延長された労働日の下で最も低い賃銀のために最も有害な労働を遂行してゐる。資本主義的合理化の結果は、成人労働者を驅逐してその代りに未成年者、いな十一歳や十二歳の小兒の労働をすら利用するやうになつてゐる。

工業の資本主義的合理化は生産に従事する労働者の物質的状態の悪化ばかりでなく、なほ失業の急速な増加を伴つた。

三 合衆國に於ける失業

ブルジョアジーやその忠實な従僕たる國際社會民主主義者たちが繁榮資本主義國と呼んだその國に於ける失業の増加は、その急速なこと、前代未聞の大いさで萬人の目を驚かしてゐる。生産額がますます増加しつゝあつた時（現經濟恐慌前）、工業及び農業に従事する労働者の數は加速度化されたテンポを以つて減少したのである。生産の技術的改善、生産過程の資本主義的合理化は唯一の目的を追求してゐる。即ち労働者の數を最大限度まで減少させながら、労働者の有機體の肉體的可能性の限界が許す以上にその労働の強度を高めることこれである。

どんなに急速に労働力が生産から驅逐されたか、またどんなに多くの人が資本主義制度によつて餓死線上に投げ出されたかは次の數字に基づいて判断することができる。即ち一九一九年から一九二八年までに工業生産は二五%増加したといふのに、労働者は一二%も減少した。最大企業群について言へば、一九二三年から同じく一九二八年までに労働者の一六%が街頭に投げ出された。明かに過小評價してゐるアメリカのブルジョア統計の計算によると、右の期間に於て工業及び農業から追ひ出された労働者總數は二百萬人を超えてゐた。若しこの數に人口増加分をも加へるならば、ブルジョアジーが仕事を與へることができないところの勤勞者數はすでに一九二八年初頭に四百五十萬人に達してゐるのである。

「今では失業の鋭さをどんな統計的トリックによつても隠蔽したり緩和したりすることができない。なぜならばそれは刻々に増加してをり、文字通り街頭に溢れてゐるからである。一九二七―二八年の冬、アメリカの全都市には慈善的穀物やスープを貰ふために會て見たことのない行列が延々として並んでゐた。寒い冬の日に市立若しくは慈善團體の夜間宿泊所は碌に着物も着てゐない、寒さに慄えた幾千の人々に汚いしかも安いベッドを與へる事を拒絶した。

例外なくあらゆる職業紹介所の窓口は群集で殺到し、どんな條件でも仕事を求めようとしてゐる幾十幾百の求職者がどの空地にも群がつてゐた。デトロイトでは或る冬の日一工場を閉鎖するといふ噂が、二三週間仕事を止めさせられてゐた幾千の失業者を集合させた。失業者の群集は冬の夜新聞社の編輯室にがんばつて、吾先に仕事といふ幽霊を追ひ求めるため缺員があるといふしらせを待ち構へてゐた。豫期しない多量の降雪はこの上もない幸福と考へられた。なぜならばとにかく一日の仕事にありつけるからである。指摘するまでもないことだが、工業からの労働者のこの全驅逐過程に於て特に悲劇的なのは「老人」、括弧のついた老人の状態である。なぜならば労働強化、労働の狂氣染みたテンポ、労働保護の缺除等々は、ヨーロッパに於けるよりもつと遙かに短期間の間に労働者をすり減らし、そして否應なく職場に於ける地位をもつと若い頑丈な人に譲らなければならぬからである。多くの鐵道は四十歳以上の年寄りの労働者を採用しないし、個々の企業では三十五歳以上の労働者すら採用しない。アメリカの資本にその全生涯を捧げ、苛酷な労働にその體力を早くから燃え盡してしまひ、揚句の果は夜間無料宿泊所や慈善團體の御厄介になるやうな氣まぐれな運命に身を託するところのこれらの老人の姿ほどみじめな同時にまた象徴的な光景を描くことは困難であらう。

最も恐るべき失業者の自殺、一家心中等々の數は、未曾有の大いさで増加した(16)。

(16) エム・ルビンシュタイン『合衆國に於ける資本主義の危機』。

體制としての資本主義の深刻な……土臺の上に展開されてゐる現在の經濟恐慌は労働者及び平農民の廣汎な層の經濟的狀態の一層の悪化を招來しつゝある。この恐慌はアメリカ資本主義の全矛盾を途方もなく尖鋭化したのである。

四 アメリカ資本主義の現經濟恐慌

一九二九年の中頃から始つた恐慌は、工業、商業、交通、信用體系及び農業の全部門を席捲した。工業恐慌と最も深刻な農業恐慌とのもつれ合ひはこゝ暫くの間全體としての恐慌の進行をますます強め且深めるだらう。

アメリカ資本主義經濟の恐慌は生産額の激減に、途方もない商品滞貨の増加に、商品の主として卸賣價格の低落傾向に、輸出入貿易額の減退に、國內の信用需要の減少に、對外資本輸出の著しい減退等々に表現されてゐる。恐慌の結果は法外な失業の増加、勞働日及び賃銀に對する資本の狂氣染みた攻撃、階級對立の尖鋭化、ブルジョアジーに對するプロレタリアート……等々である。

五 個々の工業部門に於ける恐慌

恐慌開始以來一九三一年一月までに工業生産額は三二・一%も減少した。個々の指導的工業部門についての恐慌の様相は次のやうである。一九三〇年中の鋼鐵の生産減退は二七%、鉄鐵は二六%である。だが恐慌開始の出發點として一九三〇年の最高生産水準を取ると、一九三一年一月の生産高は鋼鐵の六二%、鉄鐵の五七%の減退となる。有色金属工業も亦それとほゞ同じ状態にある。例へば、銅工業は一九三〇年に生産高を二六・三%減少し、錫工業は二〇%、だが一九二九年の最高生産點と比べるとそれぞれ四六%、及び四三%の減少である。黑色金属工業の生産装置は、その生産能力の四〇%以下しか操業してゐない。

自動車工業では恐慌の破壊的作用がそれにも劣らず浮彫のやうに現れた。自動車工場の生産物に對する國內及び外國市場の萎縮は自動車工場の生産の二七・五%の減退、しかも生産装置の六六・五%の休止、いな二三ヶ月は八四%すらの休止を招來した。自動車工業の恐慌は自動車工業がその製品の主要な消費者となつてゐる經濟部門（冶金工業、ゴム工業、石油工業、部分的には織維工業）の生産減退と恐慌とを惹き起してゐる。

建築工業は建物の建築や公共營造物の營造やの増加によつて恐慌との闘争を組織しようとするフーヴァーの試みにも拘はらず、一九三一年五月には一九二八年に比べて半分以上に減少した。それは建築材料を生産する企業の生産減退を招來した。

失業の増大、生産に従事する労働者の賃銀切下げ、平農民の没落と貧窮化、及びその結果としての國內市場の縮小は全輕工業部門の最も深刻な恐慌の原因である。生産減退は織維工業にとつては三七%、毛織工業は四五%、製靴工業は三八%に等し。

工業恐慌は經濟の全動力的基礎の震撼を不可避的に惹き起さざるを得ないだらう。

六 農業恐慌

現在の恐慌は合衆國の戦後の最も深刻な農業恐慌の土臺の上に發展してをり、それは現恐慌に前代未聞の規模を付與してゐる。商品の過剰は、資本により餓死の運命を背負はされた人間軍の増加と並んで、途方もない大きさに達してゐる。一九二三年から一九二九年に至るまでに食料品原料の滞貨は二倍以上も増加した。一九二九年から現在（一九三一年七月）に至るまでにますます深刻化する世界工業及び農業恐慌と合衆國そのもの、内部の一般的經濟恐慌との影響を受けて農産物の販賣はさらに一層減退してゐる。例へば國內市場に於ける農産物の販賣は僅か一九三〇年の前七ヶ月間に一四%も減少し、また穀物の對外輸出は三二%、脂肪は三〇%、そして肉類は一七%減少した。販賣の減退や倉庫に於ける食料品原料の滞貨の形成やと同時に、農民經濟生産物の前代未聞の價格激落が生じてをり、その結果は農民には不利な方向に向つて缺狀價格差はますます大きく開いてゐる。ブルジョアジーはこの缺狀價格差の擴大を助け船として恐慌の重荷を……やようと躍氣となつてゐる。

べらぼうに大きな經濟恐慌は大衆的失業をもたらしした。一九二九年から一九三一年一月までにアメリカのブルジョア
ジ―は労働者の二五%を工場から追放した。個々の部門について労働力減少の様相は次の數字によつて特徴づけられて
ゐる。機械製作工業は労働者の三二%、製材工業は三八%、有色金屬工業は三五%、交通は三三%、織維工業は二四%
等々を街頭に投げ出した。一九三一年七月には失業者總數が千二百萬人に達してゐる。失業者の増加と同時に賃銀及び
労働日に對するブルジョアジ―の攻撃は増加してゐる。

六 外國市場獲得鬭爭

一 資本輸出

一九一四―一八年の帝國主義戰爭は合衆國にとつては古今未曾有の致富の源泉であつた。ヨーロッパの交戦國の軍需
品及び食料品に對する需要を充すため主要な商品供給者に轉化しつゝ、合衆國のブルジョアジ―は高い價格によつて驚
くべき収入を獲取した。一九一六年から一九二一年までに外國貿易取引は約七十億弗の收入を與へた。戦時及び戦後の
資本蓄積は非常に急速に行はれたので、合衆國は世界金保有高の約半額の所有者、またあらゆる資本主義國家の主要な
債權者に轉化した。合衆國の帝國主義は自分の有利な世界投資市場を獲取するため熱狂的活動を展開してゐる。國債や
――に達してゐる(このなかにはヨーロッパ諸國家の戦債百二十億弗も入つてゐる)。合衆國から個々の國に對して輸出
された資本(戦債を除いて)は次のやうである。

高い超過利潤の獲得を追求するに當つてアメリカの資本は資本主義世界の津々浦々にまで侵入し、世界の夥しく多數

の民族及び國家の資本主義的……」(レーニン)の最も強力な武器に轉化してゐる。現在では、そこに合衆國の資本が何かの形態で侵入してゐないやうな資本主義國は一つもない。その上、合衆國資本の影響から免れてゐるやうな世界の經濟部門を見付けることも困難である。どんな經濟部門にアメリカが投資してゐるかは次の表によつて判斷することができる。

一九二九年末に於ける合衆國資本の直接投資(單位百萬弗)

| 部 門 | ヨーロッパ | カナダ | ラテン・アメリカ | その他の諸國 |
|---------|-------|-------|----------|--------|
| 商 業 | 一八四 | 五九七 | 一,〇〇〇 | 一〇〇 |
| 農 業 | — | 一五 | 八七 | 〇 |
| 石油事業 | — | 一三三 | 五五 | 六七 |
| 鑛 山 業 | — | — | 四〇〇 | 六三 |
| 食料品工業 | — | — | — | 五五 |
| 殘餘の製作工業 | — | — | — | 五五 |
| 雜 | — | — | — | 二九 |
| 合 計 | 一,三三三 | 一,九六〇 | 三,五一九 | 六四六 |

このやうに、若しヨーロッパ及びカナダに於ける直接投資の約半額は製作工業部門に振り向けられてゐるとすれば、アメリカ帝國主義の主要な植民地的基礎——ラテン・アメリカ——に於ては製作工業に對する投資は三%に過ぎない。しかるに殘餘の多額の投資は合衆國のために必要な原料品を供給するやうな經濟部門に振り向けられてゐるか、若しく

は貿易上の投機を發達させるために支出されてゐるのである。ラテン・アメリカに對するアメリカ投資の一例は、資本輸出に影響されて植民地は非植民地化するといふ理論の反革命的本質を特にはつきり曝露してゐる。資本輸出は植民地諸國の生産力の發展を阻止する手段、それらの諸國を工業的帝國主義的本國の農業附屬國の水準に意識的に緊縛する手段であつて、資本主義の社會民主主義的辯護論者たちが立證しようとしてゐるやうな經濟的文化的進歩を刺戟するものではないのである。

資本輸出はアメリカ資本主義の經濟的社會的構造に特殊な極印をおしてゐる。金利生活者ブルジョアの幾多の層が形成されてゐる。彼等は生産の指導には直接参加せず、懐手して主として南Ⅱ及び中央アメリカ、カナダ及びオーストラリア、ヨーロッパ及びアジアの労働者及び農民の労働………生活してゐる。國內の工業製品の生産が高い地位を占め、また商品輸出も逐年増加してゐるが、しかし對外投資からの利子収入の意義はますます大きい重要性を持つに至つてゐる。例へば一九二七年に合衆國は負債の利子として約十億弗受取つた。しかるに外國貿易からの總利潤は約六億弗に等しかつた。合衆國の資本輸出は英米對立を極度に尖鋭化してゐる。アメリカ資本はイギリスが曾て占めてゐた地位から彼を次から次へと驅逐してゐる。今ではもう合衆國の輸出した資本總額はイギリスが前百年間に行つた全投資額よりも多額である。アメリカの毎年の資本輸出はイギリスの資本輸出を三倍以上も凌駕してゐる。

二 商品輸出

前諸節に於ては、アメリカ國內市場の購買力と商品生産量との間の不釣合が合衆國のブルジョアをして外國販賣市場を擴張するための鬭争に驅り立てゝゐることを詳細に互つて闡明した。

世界の貿易取引高に於ける合衆國の比重は著しく増加してゐる。若し一九〇〇年に於ける外國貿易總取引高が二十二

億弗に等しかつたとすれば、一九二九年にそれは四倍半の増加を示し、百億弗の數字に達してゐる。一九二九年にはもう合衆國はその外國貿易高の點でイギリスに劣ること僅か一%であつた。また同國から輸出される商品の性質にも一大變化が行はれた。工業製品の輸出上の割合は一九〇一年の三〇%から一九二八年の六〇%に増加した。輸出品の性質が變化すると共に販賣市場そのもの、移動も行はれてゐる。

ヨーロッパは以前はアメリカ商品の主要な消費者であつたが、このヨーロッパが最良の顧客でなくなつてゐる。その代り植民地及び半植民地諸國が最重要な役割を勤めてゐる。

しかし外國貿易擴張の領域に於て合衆國は努力を拂つてゐるにも拘はらず、現在の商品輸出高は工業の輸出に對する要求を満足させてゐない。アメリカ資本主義の市場奪取の努力の途上に立ちふさがつてゐるところの根本的障壁は、合衆國が世界の舞臺に乗り出した時にはもう全世界が分割されてゐたといふ事情である。このやうな條件の下では外國貿易擴張の一步一步は幾多の競争者軍側からの最も頑強な抵抗にぶつかるといふ事情である。かくてアメリカ輸出の發達は當該諸市場から外國のブルジョアジー、誰よりも先づイギリスのブルジョアジーを驅逐する事によつて初めて遂行できるのである。この事情は英米及びその他の帝國主義諸國家間の對立を測り知ることができないほど尖鋭化してゐる。目下のところアメリカのブルジョアジーは「平和的手段」によつて市場の分割を行つてゐる。だがこの………によつて行ふやうな時期は遠慮なく近づきつゝある。合衆國のブルジョアジーは來るべきこの市場………のために熱病的な迅速さで準備してゐる。

三 ソヴェート同盟と合衆國

二つの經濟體制——社會主義體制と資本主義體制——の闘争に於てアメリカ資本主義には………國——

ソヴェート同盟に對する帝國主義的攻撃の誘發者及び組織者たる非常に重大な役割が屬してゐる。

内亂時代にはアメリカの帝國主義者たちはソヴェート・シベリヤ及びソヴェート同盟の北ヨーロッパ部分の反革命的干渉に参加して、吾國の勞働者階級及び勤勞農民………………。その後この武力を以つてするソヴェート同盟破壊の試みが最も不面目な失敗に終るや、合衆國のブルジョアジーは今日に至るまでも法理上ソヴェート同盟の不承認を續けてゐる(譯註)。

(譯註) 最近合衆國はソヴェート同盟を承認した(一九三三年十一月)。

しかし經濟上の必要はアメリカのブルジョアジーをして否應なくソヴェート同盟と商賣上の經濟關係を結ばせてゐる。

經濟恐慌とアメリカ國內市場の購買力の萎縮、同様にまた外國市場に於ける競争の尖鋭化といふ條件の下でソヴェート同盟は合衆國のブルジョアジーにとつて特別な意義を持つてゐる。これと關聯して最近合衆國にはソヴェート同盟と正常な外交關係を復活すべしといふ輿論がうがうと起つてゐる。

ソヴェート同盟はアメリカから主として機械設備、トラクター、コンバイン、等々、また部分的には工業原料品をも買入れてゐる。最近幾多のアメリカ會社は吾が國と吾が新建設(ドニエプロストロイ、マグニトストロイ、等々)に技術上の援助を與へる契約を締結した。最大の新建設には多くのアメリカ人の専門家が技術上の相談者として働いてゐる。

練習課題

- 一、合衆國に於ける資本主義の急速な發達は何によつて説明されるか？
- 二、農業のアメリカ型の本質はどこにあるか？
- 三、アメリカ工業の組織的形態はどんなものであるか？
- 四、合衆國工業の南部地方への移動は何によつて説明されるか？
- 五、合衆國の工業を構成する部門にはどんなものがあるか？
- 六、アメリカ資本主義の腐朽はどの點に表現されてゐるか？

第二一 イギリス及びイギリス帝國

A イギリス

地圖の研究

- 一、イギリス——首都ロンドン——銀行及び貿易の中心地。
- 二、主要港——ロンドン、カーヂフ、ニューカッスル（石炭）、リバプール（棉花）。
- 三、主要工業都市——マンチエスター（紡績業）、リーズ（毛織工業）、バーミンガム、シェフィールド（金屬工業、機械製作工業）、グラスゴー（造船業）。

一 イギリス資本主義の諸特質

一 國民經濟の型

イギリスは高度に發達した資本主義國である。その經濟の型から言へばイギリスは一面的に發達した工業國である。この状態は次の統計によつて説明することができる。同國の農業にはその獨立人口の僅か六・五%しか従事してゐない。だが工業に従事してゐるのは約五〇%である。自國の穀物ではやつと三ヶ月しか自分を養ふことができない。最後に、國の一面的な工業的性質はその外國貿易の構造からもうかがはれる。イギリスは主として穀作物と農業原料品及び工業原料品を輸入し（その全輸入の四分ノ三以下）、工業製品（その輸出の八〇%以下）と石炭とを輸出する。

資本輸出に於けるイギリスの比重も亦資本主義的發達の高度の水準を示してゐる。帝國主義戰爭前はイギリスは世界

最大の資本輸出國であつた。その對外投資は二百億弗に當つてゐた（今ではこの額はやゝ低い。そして合衆國の對外投資がイギリスに劣らない）。對外投資はイギリスに莫大な収入をもたらしてゐる（一九一三年には二億一千萬磅、一九二七年にも同様）。こゝに吾々は金利生活者國家の典型的様相を見るのである。外國に投下され、また栽培園、鑛山業、鐵道交通及びその他の幾多の國の經濟部門に投下された莫大な資本はイギリスのブルジョアジーにそれから途方もない獨占超過利潤をたゞき出す可能性を與へてゐる。

イギリスの現在の經濟構造及びイギリス帝國の現危機の特殊性の理解はこの國の經濟史の基本的段階を考察して初めて可能である。他のどの國にも増してイギリスの經濟組織は、歴史的過去を、即ち幾十年も連綿として續きそしてこの會での世界の工場の古い腐朽した資本主義を造り出したところの歴史的過去を、吾身に感じてゐるのである。

イギリスは多くの他の諸國（ドイツ及びアメリカ合衆國）よりも早く大資本主義國となつた。

二 イギリスは海國である

すでに十四世紀にイギリスにはその牧羊業に基づいて毛織工業が發達した。しかし主要な海路が地中海を通る道であつた時代には、地中海から遠方に位してゐたイギリスは主要な貿易路から疎隔してゐた。アメリカの發見、續いてアフリカ回航路の發見と共に大西洋が主要な貿易路となつた時形勢は俄然一變した。その時大西洋に面する國としてのイギリスの地中海諸國に對する優越性がはつきりと現れたのである。

イギリスは大西洋の東北部にある諸島であつて、ヨーロッパとは一衣帯水の間（海峽——イギリス海峽）に在り、素晴しく屈曲した海岸線を持ち、それが有利な港灣を成してゐる。また流れが深いため大船も航行し得るまんまんたる水をたゞへた諸河川をも持つてゐる。國のどの部分も海岸から百二十軒と離れてゐない。土地の起伏は水陸交通路網によ

る國の個々の地方の連結を毫も妨げない。

地理上の發見と關聯して、大西洋の役割が非常に大きくなつた時、貿易の發達はイギリスの海運業を急速に發達させた。十六世紀の末にはイギリスの商船隊は五萬噸に當り、百年を経て三十萬噸となり（オランダが九十萬噸の商船隊を持つてゐた時）、更に一世紀を経てイギリス商船隊の噸數は百三十三萬七千噸を以つて數へられた。イギリスの制海權の増大は他の諸國と並んで、いな後にはそれを驅逐して新たに發見された土地を獲取する可能性を彼に與へたのである。

三 植民地の盜略

新しい國々の發見はイギリスの經濟構造に諸變革を惹き起した。

「アメリカの發見とアフリカ回航路の發見とは擡頭しつゝあるブルジョアジーのために新生面を開いた。東印度及び支那市場、アメリカの植民地化、諸植民地との交換、流通手段及び一般に商品の數量の増加は貿易、海運、工業に前代未聞の刺戟を與へた」（マルクス、エンゲルス）。

ブルジョアジーは原始的蓄積の時代に住んでゐた。この原始的蓄積の諸方法は「資本論」第一卷中にマルクスによつてはつきりと描かれてゐる。原始的蓄積の源泉の一つは植民地……であつた。

「アメリカに於ける金銀産地の發見、土着民の剝絶、その奴隸化並びに鑛山内への埋没、東印度に對する征服及び劫掠の開始、アフリカを商業的な黑人狩獵場に轉化すること——凡そこれらの事實こそ資本主義生産時代の曙光であつたのである。この牧歌的諸過程は原始的蓄積の主要な要素である」（「資本論」第一卷第二十四章、改造社版七四五頁）。

ブルジョアジーは致富のためには如何なる手段をも辭しない。

「一七六九年から一七七〇年に至る間にイギリス人は米を買ひ占め、法外の價格でなければこれが再販賣を拒絶して、人爲的に飢饉を（印度で）製造したのである」（同所七四七頁）。

「植民地は新たに發生しつゝあつたマニユファクチュアに販賣市場を保證し、またこれら市場の獨占的所有は強大な蓄積を保證した。ヨーロッパの外部で劫掠や土着民の奴隸化や……などによつて直接獲取された財寶は母國に流れ來つて資本に轉化された」（同所七四八頁）。

四 農民の土地喪失とプロレタリアートの創造

他面に於て、本國自體には資本主義的生産のために必要な諸條件が造り出された。十五世紀の末葉以來二三世紀に亘つてイギリスには農民の土地喪失に歸着するところ……が行はれた。それは羊毛に對して途方もない需要を示した織維工業の發達と關聯して行はれたのである。このやうな條件の下で牧羊業を有利に遂行する目的から地主達は、幾世紀ともなく使用してゐたところの共有地から農民を追放した。この農民……がどんな風に行はれたかについてはマルクスが擧げてゐる次の例によつて判斷することができる。スザランド女公は全領地を牧羊場に轉化しようと決心した。そして約三千家族が土地から追放されたのである。

「彼等の村は破壊し焼き拂はれ、彼等の田畑は悉く牧場に轉化された。イギリスの兵士はそれが執行を命ぜられ、住民と戦を交へるに至つた。或る老女の如きは小屋を去ることを拒み、火焰に包まれて焼死した」（七二四頁）。

このやうにして女公は何時とも知れぬ時代から農民の共有となつてゐた土地を占有したのである。

「驅逐した農民のために彼女は海濱の約六千エーカー（一家族當り一エーカー）を當てがつた。この六千エーカーは荒蕪地であつて、所有者に鱈一文の所得をももたらさなかつた。……彼女は掠奪した氏族地の全部を二十九の大き

な牧羊小作地に分割した。この各々には一家族（大抵はイングランドの小作農僕）しか居住させぬといふ有様であつた。……海濱に驅逐された住民は漁獵によつて生活しようとした。彼等は兩棲動物となり、イギリスの或る著作家が言つたやうに、半分は陸地半分は水中に生活したが、しかも双方を合して半分しか生活しなかつたのである（七二五頁）。

農民の土地喪失は土地所有の集中をもたらし、そして農業に於ける資本主義發達のために前提條件を造り出した。だがそれと共に土地を奪はれた農民は都市工業のために必要なプロレタリア軍を造り出した。

植民地………された………の上にイギリスの資本主義的工業は發達したのである。

五 技術的進歩

新發見地と關聯する途方もない市場の擴大は、その結果マニファクチャー的生産様式では不充分を告げるに至つた。十八世紀末の新たな技術的發明（自動紡績機、織機、更にまた蒸氣機械の發明、その紡績機への動力機としての適用）はイギリスに於ける資本主義的大工業の一層の發達に強力な拍車を加へた。

蒸氣機械の發明はイギリスをしてその競争者即ちオランダ、フランス、イスパニヤに比べて一大前進を遂げさせた。後の諸國には蒸氣機械が食べる食物即ち石炭が缺乏してゐた。だがイギリスは石炭も鐵も豊富であつた（17）。

（17） 石炭産地と鐵産地との結合は十八世紀に於ける石炭による鐵鑛熔融の發見と關聯して特別な意義を持つてゐた。

イギリスのこれらの自然的富源はその良好な地位と相俟つて（石炭は鐵鑛産地の近くに、海岸の近くに存在してゐる）諸機械の發明以來その製作のために鐵が、また鐵そのものゝ生産のために及び蒸氣汽鍋の燃料として石炭が、必要であつた時には、その工業發達上非常に大きい役割を勤めたのである。

新生産様式の下で、マニユファクチュアの地位を奪つたのは大規模工場工業である。

六 世界經濟に於けるイギリスの獨占的地位

前世紀四十年代からその最後の四半世紀に至る期間はイギリス資本主義の無制限な世界支配の時代であつた。イギリス工業は競争といふことを知らなかつたし、全市場を全一體として支配してゐた。

この時代に於ける決定的な工業部門について言へば、イギリスの分け前に當つてゐたのは世界生産の二分の一乃至三分ノ二であつた(18)。この時代にイギリスは世界貿易取引に於て例外的地位——世界貿易高の四分ノ一以下——を占めてゐた。

(18) 一八七〇年に於て世界鉄鐵生産に對するイギリスの分け前は五〇%、石炭探掘高に於て五一・五%、棉花消費に於て四九・二%に當つてゐる。

前世紀の最後の四半世紀に於てイギリスの工業獨占は終りを告げた。即ち新しい工業國、つまりアメリカ合衆國とドイツが現れて、イギリス工業を驅逐し始めたのである。

アメリカとドイツの資本主義は前世紀中葉以來異常に急速なテンポで發達し始め、イギリスのテンポをしりへに離差たらしめたのである。

イギリス工業が石炭探掘、鉄鐵生産、及び棉花消費の點で六十年間(一八五〇—一九一〇年)に三倍乃至五倍しか増加しなかつたといふのに、ドイツの當該部門は三十二倍も、アメリカ合衆國は四十八倍乃至五十六倍(棉花消費は七倍)も増加したのである。

個々の國の不均等な資本主義的發展の結果としてイギリスは幾多の工業部門に於て首位を失ひ、そして世界經濟に對

するイギリスの分け前を低下させた。

若し前世紀五六十年代に於てイギリスが當時最重要な經濟部門に於て首位を占め、世界總生産の二分ノ一以上と世界貿易高の四分ノ一以上がイギリスの分け前となつてゐたとすれば、今世紀の初頭には同國は合衆國のためにこの首位を奪はれ、そしてイギリスの分け前は世界生産の三分ノ一以下にまで低下し、また二十世紀に於ては帝國主義戰爭の初めにイギリスが世界經濟に對する分け前はや世界生産の四分ノ一以下といふ數字になつてゐるのである。

七 イギリス資本主義の漫性的停滞

帝國主義戰爭後イギリス工業は漫性的停滞に襲はれてゐる。この停滞は全體としての全イギリス工業が工業生産高の點で戰前以下の水準に止つてゐるといふことの上に表現されてゐる。假りに一九一三年に於ける全イギリス工業の生産額を一〇〇%として取ると、一九二九年にはそれが九八%に當つてゐた。アメリカ合衆國の精工業のそれに該當する數字は一九二九年に於ては一六七%に當つてゐる（一九一三年を一〇〇%として取る）。

戰後イギリス工業の漫性的停滞は、戰後の世界資本主義の危機を決定してゐる一般的原因の外に、イギリス工業を特徴づけ、また著しい度合でイギリス資本主義の全社會史的發展過程を決定してゐるところの特殊な諸特質に求めなければならぬ。

八 イギリス工業の部門的構成

そもそもイギリスには最初纖維工業と造船業とが發展した。續いて産業革命には諸機械が石炭と鐵とを要求するやうになつたが、この産業革命後すでに纖維工業と並んで製鐵業及び機械製作工業一般（特に織機及び蒸氣機械の生産）が發達し始めた。しかも現在に於てもこの三つの古い部門が歴代的である。だが現代經濟に於て最重要な工業部門である

化學工業、電機工業及び二三の重工業のやうな工業部門は僅かしか發達してゐない。これらの所謂新工業部門はドイツやアメリカ合衆國のやうな遅ればせに資本主義的に發展した國で非常な發達を遂げてゐる。

この點にヨリ若輩の資本主義にくらべてイギリス工業の部門的構成の後進性が看取されるのである。

九 イギリス工業の組織的構造

さらにイギリス工業の組織上及び技術上の同じ後進性を指摘しなければならない。イギリスは多年の間、工業独占時代、無制限的外國市場支配の時代を過ぎて來た。このやうな條件の下でイギリスの工業は一定の組織水準及び技術水準に固定してしまつた。そこでは集積過程は、そもそも最初からイギリス工業と競争しなければならなかつたところのものと若い資本主義諸國よりも著しく緩漫に行はれた。その結果イギリス工業はアメリカ合衆國やドイツの工業よりは集積の度が少い。これら最後のヨリ若い資本主義諸國に於ては工業の集積（つまり工業の強大化とその少數独占組織體——トラスト、シンヂケート、カルテル——への集中）は特に新工業部門に於て途方もない規模に達してゐる。しかるにイギリス工業は高度の分散性によつて特徴づけられてゐるのである（特に石炭業に於て）。

十 低度の技術水準

この分散性の結果イギリス工業は技術的にもアメリカ合衆國やドイツの工業に劣るに至つてゐる。例へば、イギリスの石炭採掘の機械化はドイツやアメリカ合衆國に著しく劣つてゐる。即ちイギリスでは石炭採掘が一九%機械化されてゐるが、アメリカ合衆國及びドイツでは六〇%以上が機械化されてゐる。金屬工業に於ても同様な有様である。即ちイギリスでは一鼓風爐が平均一年約四萬二千噸の鉄鐵を生産し、フランスでは約六萬五千噸、ドイツでは約九萬七千噸、そしてアメリカ合衆國では約十二萬噸生産する。間斷なく進歩する技術に追隨して行くことは高度に集積化されたアメ

リカ合衆國やドイツ工業よりも分散せるイギリス工業には骨が折れるのである(19)。

(19) 高度の生産集積は最も完全な技術を採用し、生産を機械化し、大量的な標準化された製品の生産に移り、且すべてこれら
のことによつて商品の價值を低廉にすることができる。

イギリス工業のすべてこれらの構成上の諸指標は、なぜイギリス工業がすでに戦前にヨリ若輩の資本主義國——アメリカ合衆國とドイツ——によつて世界市場から驅逐されてしまつたかを吾々に説明してゐる。イギリス工業はその組織上及び技術上の後進性の結果ドイツやアメリカの工業よりもヨリ高價な生産物を與へる。さういふ有様であるから戦前すでにイギリス工業は他國の競争がそれにはあまり感じられないやうな精巧な、手の込んだ、しかも高價なものゝ生産に専門化しようと努力したのである。

十一 外國市場への依存性

さらに考慮に入れなければならないのは、イギリス工業は他の諸國にもまして外國市場目當に仕事をしてゐるといふ事情である。外國市場を目當に仕事をしてゐるのは紡績業の七五%まで、毛織工業の二〇%、石炭業の二五%、冶金及び機械製作工業の三〇%である。従つて外國販賣市場の問題はイギリスにとつて甚だ大きい問題である。ところがイギリス工業のこの市場が主としてアメリカ合衆國の競争の結果狭められてしまつた。アメリカ合衆國は戦前のドイツのやうに今日イギリスの全勢力範圍とイギリスの全屬領とに自國商品を携へて侵入してゐるのである。イギリスの最も輸出を目當とする古い工業部門——織維工業、石炭工業及び冶金工業——は戦後漫性的恐慌に襲はれてをり、それは現在特に鋭い形態を取つてゐる。この恐慌の指標として役立つ得るのは次の諸事實である。即ち一九二九年(戦後最も良好な年)に於てイギリスの製鋼工場の操業率は僅か七〇%、鉄鐵製造工場はさらに下つて六五%、紡績業は八〇%以下で

あつた。

十二 新部門

帝國主義戰爭時代及び戦後イギリスには新工業部門——電機Ⅱ、化學Ⅱ、ラヂオⅡ、自動車Ⅱ、航空機Ⅱ及び人絹工業(20)——も發達した。イギリスのこれらの新部門は組織の點でも技術の點でも舊部門を著しく凌駕してゐる。

(20) 人絹工業はあらゆる資本主義諸國で猛烈に發達してゐる。といふのはこの工業部門は容易に化學的戰爭手段の生産に移り得るからである。かくてこの工業部門の發達は事實上は軍需工業の發達を意味してゐる。

十三 工業の合理化

新部門を發達させると同時にイギリスのブルジョアジーはその舊部門の合理化にも着手した。世界市場に於ける資本主義諸國の激烈な闘争は特に帝國主義戰爭後尖鋭化されたが、これはプロレタリアートに對するイギリス・ブルジョアジーの攻撃を強めてゐる。資本主義的合理化はイギリスに於ては他の資本主義諸國に於けると同様に……………即ち賃銀切下げと労働日の延長とによつて行はれてゐる。

資本主義的合理化は漫性的失業の形成に導いてゐる。一九二四年乃至一九二九年間のイギリス石炭業に於ては、「合理化の効果は、その結果二〇%の坑夫が工業から追放されて失業手当受領者若しくは社會的慈善のおかげで生きてゐる貧民となり下ると同時に、首だけは助かつた坑夫の賃銀が切り下げられるだけ切り下げられてしまつたのである。」

一九二九年に於ける坑夫の實質賃銀は戦前水準の一三%も下であつた。一九二九年の製鐵業に於ける平均失業率は一一・一%、製鋼業に於ては一九・八%、紡績業に於ては二二%であつた(21)。

(21) 資本主義諸國の狀態はこの有様であるのにソヴェート同盟では國民經濟の社會主義的再建は………物質的福利の向上をもたらしした。

しかしイギリス・ブルジョアジーの合理的諸方策にも拘はらず、イギリス工業は今でもその部門的構成の點でもその技術及び組織の點でもアメリカ合衆國、ドイツ、いなフランスすらに劣つてゐる。

十四 地理的分布

イギリス工業の地理的分布は鑛物、主として石炭の産地と關係してゐる。

蒸氣機械發明前はイギリスの工業は専ら農村地方に散在してゐた。またその所在地も水流の存在と結び付いてゐた。水流は水車を廻轉させ、機械を運動させたのである。蒸氣機械は工業を都市に集中することができた。なぜなら、蒸氣機械の運動は間斷なき水流とは無關係であつたからである。だが蒸氣機械は石炭を必要とする。工業は新しい地方に即ち石炭を産出する地方に集中され始めた。この地方には大都市が発生し始めた。マンチェスター、リバプール、シェフィールド、バーミンガム、及びグラスゴウのやうな都市が大工業中心地となつたのである。

石炭、鐵鑛、及びその他の鑛物の最も豊富な埋藏地は國の西部に位してゐる。特に豊富な石炭埋藏地は國の中部地方である。次に指摘しなければならぬのはスコットランド地方(クライド河の流域)、東北部(ニューカッスル地方)、及び南ウエールズ地方に於ける石炭埋藏地である。

イギリスの石炭は良質を以つて聞えてゐる。特に有名なのはカーチフ石炭(南ウエールズ)である。またカーチフ港は石炭輸出の點で世界最大の港である。石炭埋藏高の點でイギリスは世界の第六位を、そしてヨーロッパに於ては第二位(ドイツに劣る)を占めてゐる。その石炭産地は地位良好、航行し得る河川及び港灣に近く、また比較的淺いところ

に埋蔵されてゐる。イギリスの鑛物埋蔵量は大きくない。鐵鑛産地と石炭産地とは殆んど同じである。だが鑛物の分量は少い。そしてイギリスの冶金工業に於て輸入鐵石がますます大きい意義を持つてゐる（すでに戦前鉄生産の半額は輸入鐵鑛から生産したのである）。その他の金屬の鑛石は國內では僅かな分量しか採掘されてゐない。例へばコーンウォール半島では錫、エンダレス島では銅、亞鉛等々が採掘される。イギリスは有色金屬を自分の屬領から輸入してゐる。石油はイギリス本國には全然ない。

このやうに自國自身の資源は今ではイギリス工業を保證することができない。それでイギリスは石炭を除いて最も重要な種類の鑛物及び農業原料品を輸入しなければならない。しかし過去の歴史では、吾々が見た通り、國內の石炭及び鐵の存在並びにその有利な埋蔵状態はその工業發達上大きな役割を演じた。

現代イギリスの基本的工業地方は石炭の豊富な國の中央部である。こゝにはまた鐵鑛産地も存在してゐる。この地方には石炭業と並んで纖維工業が發達してゐる。即ちマンチェスターを中心とする紡績業、リーズを中心とする毛織業。次にシェフィールド市、バーミンガム市、及びマンチェスター市を中心とする冶金工業（冶金Ⅱ及び機械製作工業）、またその他の工業（磁器工業、製紙業、化學工業）。中央イギリスに續いて次の工業地方は、（一）スコットランド炭田地方。この地方には石炭業の外にグラスゴー市を中心として冶金工業及び造船業、それからまた毛織工業及び製麻工業が發達した。製麻工業の中心地はダンチー市及びエチンバラ市である。（二）ニューカッスルを主要都市とするイギリス東北地方。この地方には石炭業、造船業、冶金工業、及び纖維工業が發達した。（三）最後に、カーチフ市を中心とする南ウェールズ地方。主として石炭業及び冶金工業。

イギリスの工業地方は人口甚だ稠密である。即ちこれらの地方では人口の密度は一平方軒當り五百人以上に達してゐる。

る（平均人口密度はかなり大きく一平方軒當り百八十人である。しかるにドイツでは百三十七人であり、フランスでは七十五人、そしてアメリカ合衆國では十五人だ）。

十五 農 業

イギリスの農業は第二次的意義を持つてゐる。イギリスの農業生産は國內の需要を充すことができないで、その著しい部分は外國から輸入されてゐる。

| | | |
|---------|-------|---------|
| 小 麥 輸 入 | | 需要高の八〇% |
| 肉 類 輸 入 | | 同 六〇% |
| 脂 肪 輸 入 | | 同 八五% |

一方では、歴倒的な都市人口を有する國としてのイギリスの特殊性とアメリカ及びロシアの低廉な海外穀物の競争とがイギリス農業に新方向を與へた。即ち農業は生産的な良質の牧畜（酪業用家畜及び養豚）、蔬菜栽培及び園藝の方向に向つて發達するやうになつた。酪業、養豚業、及び園藝の高價な生産物は都市に販路がある（イギリスは都市國であつて、都市人口はその總人口の四分ノ三に當つてゐる）。このやうにイギリス農業は牧畜的傾向を持つてゐるからそれと關聯して牧草栽培が大いに發達してゐる。そのためにはまた自然的條件も良好である（温潤な氣候）。穀作物は播種面積の半分以上を占めてゐる。ドイツなどでは六〇%も占めてゐるのにさうである。耕作業では多圃農法が行はれ、人造肥料と複合機械が使用されてゐる。そのために收穫度は、自然的條件が不利なものにも拘はらず高い。國の主要な農業地方は東南部の低地イギリスである。山岳の多いスコットランドは専ら牧羊地方である。

イギリス農業の特殊性は自作農が殆んどないことである。農民の土地喪失（十七—十八世紀に於ける）の結果は地主

の掌中に土地を集中させることになつた。その大部分の地主は土地を自ら耕作しないで、これを大農に賃貸する。大農は蔬菜栽培及び集約的牧畜の生産物を市場目當に生産する。借地農はその農場に廣く雇傭労働を適用してゐる。灌木や叢林に蔽はれた廣大な土地は狩獵のため地主によつて保存されてゐる。

「イギリスでは土地のますます大きい部分が農業から奪れて、富豪たちの競技用、娯樂用となつてゐる。」

十六 イギリスの外國貿易

イギリスの國民經濟の一面的な工業的性質はなせイギリスにとつて外國貿易がそんなに大きい意義を持つてゐるかを吾々に説明してゐる。食料品及び原料品を輸入することが必要であると同時に、最重要な工業部門——織維工業、石炭業、及び冶金工業——が外國貿易にがつちり依存してゐる。イギリスは外國貿易關係網で全世界と結び付いてゐる。

イギリスがその必要な原料品及び食料品を仰いでゐる諸地方は、世界のあらゆる方面に亘つてゐる。

他の工業國の競争と關聯してイギリスのブルジョアジーはイギリス諸屬領との貿易にますます大きい注意を拂つてゐる。イギリスは帝國内貿易（つまり自分の諸屬領との貿易）に對する關稅を廢止し同時に高率關稅によつて自己の帝國を殘餘の世界から隔離して以つて自分に都合のよい貿易條件を造り出さうと躍氣となつてゐる。しかし諸屬領では帝國主義戰爭時代及びその後土着工業を發達させたが、この諸屬領の利益は資本主義イギリスの利益と合致しない。これらの諸國はこのやうなイギリス工業の保護には興味がないのだ。反對に彼等自身の工業はイギリス工業を以つて競争相手と見てゐるのだ。イギリス・ブルジョアジーの努力は自國の諸屬領の工業化の妨害に、その植民地國たる状態への緊縛に向けられてゐる。經濟政策上の幾多の諸方策を用ひてイギリスは自國の諸屬領の工業化を阻止してゐる。

最近イギリス屬領と他の資本主義諸國、特にアメリカ合衆國との貿易關係が甚だ猛烈に發展したといふ事實を指摘

することが大切である。

イギリス帝國主義はすでに自分自身の帝國の領土内で他の帝國主義（アメリカ及び日本）の競争にぶつかつてゐるのだ。

十七 資本輸出

この衝突はもつと鋭く資本投下問題に現れてゐる。帝國主義戦争前はイギリスは世界最大の銀行家であつた（金融中心地——イギリスの首都ロンドン）。イギリスの海外投資は二百億弗に當つてゐた。イギリス資本はイギリス諸屬領ばかりでなく幾多の形式上は獨立な國に於ても壓倒的であつた。例へば、アルゼンチンではイギリス資本が非常に大きい役割を演じてゐる。

「五—六億磅のイギリス資本がアルゼンチンに投下されてゐる。……アルゼンチンにはイギリスに屬し且イギリスの管理を受けてゐる一萬六千哩以上の鐵道が存在してゐる。しかもその網は不斷に延長されてゐる。……一切の機關車、車輛、レール、機械及び石炭は全部イギリスへ注文が發せられる。……殆んど全資本は數萬のイギリスの株主の所有となつてゐる」(22)。

(22) アルゼンチン駐在イギリス大使の論文から。「世界經濟と世界政治」誌一九三一年第一號參照。

資本輸出者としてのアメリカ合衆國は戦前には比較的小さな役割を演じてゐた。その對外投資は僅か二十六億弗に當つてをり、しかもそれと同時に合衆國內に投下された外國資本が七十億弗にも當つてゐた。今では光景が一變した。今ではイギリスの對外投資額は戦前よりも少い。その上イギリスはアメリカの債務者ですらあるのだ。だがアメリカ合衆國の對外投資額は一九一三年から一九二九年までに六倍も増加し、そして百六十五億弗といふイギリスにも劣らぬ金額

に當つてゐた。

十八 イギリス帝國の崩壊

現在ヨリ強力なアメリカ資本はイギリス屬領をも含めて至るところからイギリス資本を驅逐してゐる。そのためにイギリスは、長い間彼にその屬領を經濟的從屬者として繋ぎ止める可能性を與へてゐたところのものを自分の諸屬領に於て失つてゐる。イギリス資本主義が他のヨリ強力なアメリカ資本主義との今のところ平和的な經濟闘争に於て蒙りつゝある敗北はイギリス諸屬領に於けるイギリスから分離しやうとする努力を強めてをり、イギリス帝國の崩壊を招來しつゝある。イギリス帝國の崩壊は現在即ち帝國主義戰爭後はイギリスが會てさうであつた「海上制覇者」ではないので、ますますはつきり感じられてゐる。アメリカの艦隊は今ではイギリスに劣らない。尤も商船隊の點ではイギリスは今でも他の諸國を凌駕してゐるが、しかしその會ての海上に於けるすばぬけた地位は最後を告げてしまつた。若し一八九〇年にはまだイギリス商船隊が全世界商船隊の約二分の一に當つてゐたとすれば、一九二七年にはそれは僅か三〇%しか當つてゐなかつた。アメリカ合衆國の商船隊は戰前まではイギリス商船隊に四倍半も劣つてゐたが、一九二八年にはイギリスに一倍半しか劣つてゐない。この場合合衆國の商船隊がイギリスよりも急速に増大してゐることを考慮に入れなければならない。

二 現在の經濟恐慌

一 恐慌の深さ

一九三〇年初頭以來世界經濟恐慌はイギリス工業をも襲つてゐる。イギリス工業はこの恐慌前にも全くの停滯状態に

あつたのである。

一九三〇年に於てイギリスの生産額は二〇%も減少した。

イギリス工業を把えたところの經濟恐慌の深刻さを示すものとして役立つことができるのはイギリス工業の最重要部門——冶金工業及び造船業——の生産減退を示す資料である。即ち一九三一年二月に操業中の鼓風爐數（八十一臺）は前年度の操業爐數の半分に當つてゐた。造船業の操業は一九三〇年三月から一九三一年三月までに殆んど二倍半短縮された。

イギリスに於ける工業恐慌は農業恐慌と交錯してゐる。全世界の廣汎な勤勞大衆の購買力の低下、それと同時に海外諸國に於ける穀物生産の擴張は戰後の世界農業恐慌の原因として役立つてゐる。この世界農業恐慌は世界經濟恐慌と關聯して現在特に尖鋭化されてゐる。イギリスの農業恐慌は世界農業恐慌の一環である。イギリスでは農業恐慌は農民の没落、穀作物の播種面積の減少、及び農業の二三の部門の停滯を招來してゐる。

二 失業の増加

經濟恐慌は失業の激増を惹き起した。紡績地方に於てはすでに一九三〇年五月に失業は全勞働者軍の三分ノ一を把へ造船業に於ては勞働者の約六〇%は仕事に見はなされ、鐵鋼業に於ては勞働者の四四%が職を失つた。

同國に於ける失業は次のやうに増加した。

| | |
|-----------------------|------------|
| 一九二八年二月に於ける官廳統計による失業者 | 一、二二八、〇〇〇人 |
| 一九二九年同 | 一、四五四、〇〇〇人 |
| 一九三〇年同 | 一、五八三、〇〇〇人 |

一九三一年同

……………二、六九七、〇〇〇人

事實上一九三一年にはイギリスの失業者は三百萬人を超えたのである。

失業の増加と同時に労働者の賃銀に對する……………が行はれてゐる。

『賃銀に對する……………幾多の最大工業部門を把へた。鐵道従業員の賃銀は調停方法の採用に基づいて一般國定額まで切下げられた。このやうな調停方法は……………南ウェールズの鑛夫に對しても採用された。

最も苛酷な賃銀減額の脅威が最近二百萬以上の労働者を襲つた。労働條件研究局の統計によると、最近のイギリス労働者の實質賃銀は一九〇〇年の賃銀よりも二五%低い』（メルフィー）。

石炭工業や織維工業では低い賃銀と労働時間短縮との結果労働者の賃銀が、失業のために受取る手當よりも事實上は低い場合がある(23)。

(23) ベルト・ワイリアムズ『イギリスに於けるプロレタリアートの状態』参照。『モスコイ労働者』一九三一年。

三 労働者階級の狀態の惡化

「……………食料品の輸入が激減した。それは色々な工業部門に於ける俸給及び賃銀の減額の結果として人民の生活水準が低下したことを疑もなく示すものだ。『エコノミスト』誌の統計によると、小麦、肉類生産物及び砂糖の輸入は本年度（一九三一年）の第一四半期に於て一般に八百萬キントール、つまり一九二九年同期に比べて五二%も減少した」（『イズヴェスチャ』一九三一年四月二十五日）。

資本家たちは恐慌の結果を……………するのであるが、この恐慌が……………増大をもたらしてゐることは全く當然な話である。

「本年度（一九三一年）の最初の三ヶ月の間にイギリスはすでにストライキの結果五百五十萬労働日を失つた。ストライキ運動の途方もない増大については次の事實によつて判断することができる。即ち一九三〇年の全年度間にイギリスがストライキのために失つたのは四百四十萬労働日なのだ」（「ブラウグ」）。

「賃銀に對する資本の攻撃は「労働黨」政府のおほつびらな直接の支持の下に行はれてゐる。「労働黨」政府の大臣スノーデンは下院に於て労働者は「犠牲を拂はなければならぬ」と公々然と聲明した。それは労働者階級に對して一層……よと企業家におほつびらにすゝめることを意味する。全く分り切つた話だが、労働者は……の下に裏切者——改良主義者に對する……、「労働黨」政府に對する……して初めて……轉じ得るのである」（メルフィー）。

イギリスのプロレタリアートは新たな眞剣な階級闘争の前夜にある。

三 イギリスの労働者階級

一 過去の狀態

工場制工業の發達が開始されると共にイギリス労働者階級の歴史は始つたのである。

資本主義生産の急速な發達期、即ち十八世紀末以來イギリスに於ける労働條件は苛酷なものであつた。資本家たちは……安價な労働力の巨大な豫備軍を利用しつゝ、労働者からその……まで搾り出し、その代り彼に與へたものは餓死しない程度のものであつた。だが労働者が使ひ古されてもはや何の役にも立たなくなると、出しがらとなつた無用のレモンか何かのやうに街頭に投げ出されたのである。

この問題を實地に研究したフリードリッヒ・エンゲルスはこの時代（一八四四年以前）に於けるイギリス労働者の状態を次のやうに描いてゐる。

「あらゆる都市には労働者階級の密集した貧民窟が一個所乃至數個所ある。なほ貧乏人が富豪の大邸宅にすぐ密接した狭い裏小路に住んでゐることも往々ある。けれども普通貧乏人には一つの特別な區域をあてがはれて、そこで彼等をヨリ幸福な階級の人々の眼から遠去けて、自分でできるだけ工面して何んとか暮して行かせるのである。かういふ貧民窟はイギリスの殆んどすべての都市に於て同じやうな形態を持つてゐる。都市の最惡の地域に於ける最惡の家屋、……街頭は普通鋪石なく、汚なく、凸凹で、植物や動物の廢物で充滿し、排水溝もなく、その代り常に停滯する臭氣芬々たる水溜がある……（マルクス・エンゲルス全集改訂版第三卷五七頁）。

「住居に關する必要がどの程度に充されてゐるかといふことは自餘一切の必要の充されてゐる程度を示す一標準として役立つ得る。これらの不潔な穴小屋にはボロを着た營養不良な貧民のみが住み得るに過ぎないといふ結論は自ら湧いて來ることであり、またこの結論は無條件に正しい（九五—九六頁）。

「特に賃銀の少い労働者にあつては、なほその上に澤山の家族でもあれば、間斷なく仕事を持つてゐてすら、漫性的に飢餓状態になる。しかもこの階級はロンドンに多いのである。……このやうな状態の下ではあらゆる手段が講じられて、馬鈴薯の皮でも蔬菜の屑でも腐敗した肉でもよい食物が不足してゐるので食用に供せられ、また一般に恐らくは最も少量の營養素を與へるやうなものでもすぐに利用しようとして努力する。若し一週間の賃銀がその週の終らぬうちになくなるやうな場合には、家族はその週の終り頃には全然斷食するか、或は餓死を免れるために是非必要なものだけを食べるといふことが非常に屢々起るのである」（一〇二頁）。

イギリス資本主義の發達期に於けるイギリス労働者の生活状態はこのやうであつた。だが彼はどんなに働いたか？

すでに九歳の時から彼は毎日六時間半(以前はもつと長い)働いた。十三歳になると彼は日に十二時間働いたのである。

恐るべき労働條件、最も強度……、低い賃銀、最悪の生活條件、疾病及び失業の場合に對する全くの無保證——このやうな條件の下でイギリス労働者は一握りの富豪のポケットを肥すところの巨大な價值を造り出したのである。……、と自國の……の上にイギリス資本主義は成長したので。

このやうな苛酷な労働條件に對する闘争がこれらの全時代に亘つて行はれた。

二 労働者上層の買収

イギリスの工業獨占時代(一八四八—一八六八年)の特色は、自國植民地から巨額の超過利潤をたゞき出したイギリスのブルジョアジーが労働者階級の二三の層を買収し、イギリス労働者階級中に優遇を受け且階級平和とイギリス工業の繁榮とに利害關係を持つところの獨特な労働貴族を造り出したことである。

「すでに十九世紀の後半以來イギリスの特殊性となつてゐたのは——とレーニンを書いてゐる——帝國主義の二つのはつきりした特質がイギリスに極めて明瞭に看取されたことである。この特質とは(一)無数の植民地及び(二)獨占利潤(全世界の市場に於ける獨占的地位の結果)これである。二つの點に於てイギリスは當時資本主義諸國のうちで除外例を成してゐた。そしてエンゲルスはマルクスと共にこの除外例を分析して、それとイギリス労働者運動に於ける日和見主義の勝利(一時的な)との關係を極めて明瞭に斷定的に指摘した」(レーニン全集第十九卷)。

しかしイギリスの全労働者階級が特權的地位を占めてゐるのだと考へてはならない。

ス。

吾々はすでに、イギリスの工業獨占が前世紀の最後の四半世紀以來終りを告げ、またそれと關聯してブルジョア階級の労働者階級に對する……………されてゐることを知つてゐる。労働條件に對するこの……………プロレタリアート側の反抗を惹き起した。十九世紀末及び二十世紀初には數多くの長期に亘るストライキが勃發したのである。

三 世界戦争後の労働者の状態の猛烈な悪化

帝國主義戦争後イギリス工業は漫性的不況に陥り、不斷のプロレタリア豫備軍は形成され、労働者階級に對する資本家たち……………異常に強化された。

労働者階級の生活條件は今でもエンゲルスが描いたことよりも良くない。

「吾々はスコットランド健康維持委員会のグラスゴー市の貧民窟研究に關する報告（一九二六年）中に次のやうに讀むのである。

「どこもはじめじめしてゐた。多くの家では天井や壁から文字通り水が流れ出してゐた。吾々はどこにも殆んど衛生設備を見出すことができなかった。共同便所は少く、またその多くのものは不完全であつた。そしてどここの家でも階段から流れてをり、また室内からさへ流れ出してゐる。家はあらゆる傳染病の培養所である。吾々が視察した殆んどすべての家には南京蟲が巢食つてゐた。吾々は虱や二十日鼠、アブラ蟲、蝸牛、蛙すらゐる本當の動物園を見た。」

自由主義新聞「マンチェスター・ガーディアン」一九二八年一月十日は報じてゐる。

「最近ウエストミンスター（こゝには議會の建物がある）に於ける居住條件を研究した時、地下室に住む數百の家族があることが分つた。」

粗悪な食料と苛酷な労働と結びついてゐるこのやうな住宅條件は死亡の増加にその反映を見出してゐる」(24)。
(24) ベルト・ウィリアムズ『イギリスに於けるプロレタリアートの状態』。

四 イギリスとソヴェート同盟

イギリスは積極的に反革命家を授けて彼等をソヴェート政府……………ところの國のなかに入つてゐた。イギリスのブルジョアジーはコルチャックやユードニッチやその他の反革命家を支持したばかりでなく、なほ自ら進んでソヴェート同盟……………試みたのである。吾國……………に對する鬭争に於けるイギリス・ブルジョアジーのこのやうな積極性は、一方では、イギリス資本家たちが自分の資本を舊ロシアの二三の企業やツァーの借款……………
……………(棒引きされた)に投下してゐたことによつて説明される。他方に於て、イギリスのブルジョアジーは吾國に武力干渉を加へて、吾國の巨大な富を、特に後カウカサスの石油資源を自己の掌中に收めやうと試みたのである。

ソヴェート同盟の労働者は貧農及び勤勞中農と同盟して……………攻撃を一蹴した。
吾國に於ける平和的建設の開始と共に資本主義諸國との吾が經濟關係は發達してゐる。……………吾國は機械と原料品とを要求し、諸外國の専門家の技術を必要とする。貿易關係上ソヴェート同盟はイギリス工業、特に機械製作工業にとつて廣大な且重要な市場である。同時にソヴェート同盟はイギリスの必要な商品——木材、石油、小麦、肉類、卵、等々の供給者である。

一九二二年にソヴェート同盟はイギリスと通商條約を締結し、そして兩國間の貿易は急速に増加した。しかしイギリ

スに於ては……側から行はれるソヴェート同盟との正常な関係を破壊しやうとする不斷の試みは中止されなかつた。イギリスに於ける階級闘争の擴大と諸植民地に於ける……とは、……
……ソヴェート同盟に對して帝國主義者に恐怖の念を抱かせた。他面に於て、ソヴェート同盟の勤勞者とストライキを執行しつゝあつたイギリスの鐵夫……
……に表現されてゐる）によつてソヴェート同盟はイギリス・ブルジョアジの狂氣染みた怨恨を買ふに至つた。帝國主義者の試みは遂にイギリス政府によつてソヴェート同盟との關係を斷絶させる結果となつた（一九二七年）。會て正常に復した經濟關係は（再び）破壊されたのである。

一九二九年にイギリス政府は再びソヴェート同盟との關係を復活させた。一九二九年以來展開された資本主義の深刻な恐慌と、特にそれ以上に世界貿易上のその地位の喪失と關聯せるイギリス經濟の諸困難とは、否應なくイギリス・ブルジョアジーをしてソヴェート同盟との正常な關係の復活によつて開かれるその利益を閑却するわけにはゆかなくしたのである。

練習課題

- 一、十九世紀後半前のイギリスに於ける資本主義の早期の急速な發展は何によつて説明されるか？
- 二、アメリカ合衆國及びドイツの工業に比べてイギリス工業の組織的、技術的構成はどんな特色を持つてゐるか？

- 三、どんな原因がイギリス資本主義の没落をもたらしたか？
四、イギリス資本主義の腐朽はどの點に表現されてゐるか？

B イギリス帝國

地圖の研究

- 一、イギリス帝國。自治領——カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、南亞聯邦、アイルランド。植民地——英領印度、東アフリカ、アラビヤ、メソポタミヤ、等々。
- 二、イギリスから印度及び太平洋に至る海路。ジブラルタル——マルタ島——スエズ運河、バブエルマンデブ海峡及びアデン——マラッカ海峡（シンガポール）。
- 三、經濟關係。輸出路を示す。
カナダから小麦、木材。オーストラリアから羊毛、肉類、小麦、金。ニュージーランドから肉類、原料品、羊毛。南亞聯邦から金、ダイヤモンド、羊毛、肉類。セイロン島を含む英領印度からゴム、石油、マンガン、茶、小麦、棉花。

一 イギリスの植民地獨占

一 植民地獨占とその危機

前世紀の最後の四半世紀以來イギリスがその工業獨占を奪はれてしまつたことは前述したところである。それ以來世

界經濟に於けるイギリスの比重は着々低下してゐる。しかしそれに基づいてイギリスは最大帝國主義強國としての意義を失つたなど、主張するならばそれは誤りであらう。レーニンがカウツキーのそれに似た見地を次の様に粉碎した。

『イギリスの工業獨占は早くから破壊された——と彼(カウツキー)は言つてゐる。早くから破壊された。そしてそれを誰も否定することはできないと。この議論の誤りはどこにあるか？ イギリスの植民地獨占を顧みないところにあるのだ……たとへイギリスの工業獨占が破壊されても、植民地獨占は依然として存在してをり、しかも異常に尖鋭化してゐる。なぜといふに全地球はすでに分割されてしまつたからである』(レーニン全集第十九卷)。

問題はまた次の點にもある。即ちイギリスは今日までも植民地獨占を保持してゐる。だが獨占が存在する以上イギリス資本主義がその獨占的地位を利用して植民地からたゞき出すところの超過利潤も存在するのである。イギリスの植民地獨占がどんなに強大であるかについては次の資料によつて判斷することができる。

| | | | | | |
|-------------|---------------|---|---|------|------|
| イギリス本國…………… | 二四四、〇〇〇平方杆 | 領 | 土 | 人 | 口 |
| その諸屬領…………… | 三六、〇〇〇、〇〇〇平方杆 | | | | |
| | | | | 四四四萬 | 四二五萬 |

このやうに全帝國は全體として地球の五分の一に當つてゐる。

イギリスの植民地帝國は面積の點で百四十五倍、人口の點で十倍その本國を凌駕してゐる。

帝國の全部がその經濟發達の水準の點で同一であるわけではない。そのうちの一部——イギリス自治領——はヨリ發達した資本主義國であり、政治的にもヨリ獨立的である(尤もこの場合にもカナダやオーストラリアやアイルランドの間に相等的な標識などを立て得るものではないといふことは考慮に入れなければならない)。他の部分は印度や東アフリ

カ諸屬領やメソポタミヤ等々のやうな特殊な國であつて、こゝでは前資本主義的搾取形態を維持した上（印度ではカースト制度（25）が維持されてをり、イギリス政府はイギリス帝國主義者の掌中で忠實な武器であるところの地方の………支持してゐる）、本國イギリスの農業附屬國の水準にそれらをつなぎ止めるためこれらの諸國の經濟的發達を人爲的に阻止したりして、イギリスのブルジョアジーが經濟の領域に於ても政治の領域に於てもその獨占權をおほつびらに振りまはしてゐる。

（25）カーストは『印度の進歩の途上に立ちふさがつてゐる最も決定的な障礙物である』（マルクス）。

イギリスの資本は植民地に於ては、主としてその發達がいギリス帝國主義のために有利で且原料地方たる水準にこれらの國々をつなぎ止めることができるやうな經濟部門に、即ち栽培園、灌溉排水事業、鑛業、その國の經濟的………を保證するところの鐵道に投下されてゐる。本國と植民地との間に行はれてゐる分業（この場合本國は工業國で、植民地は農業原料國だ）は決して牧歌的性質を持つてゐない。この分業は獨占資本の利益のために強制的に維持されてゐるのだ。どんなに調和が保たれてゐやうとさういふ分業を考へ出さうとする努力は帝國主義の利益のために植民地の實際の事實を糊塗粉飾することに外ならないのである。

「機械による生産物の低廉化と運輸機關上の革命とは外國市場獲取のための武器として役立つ。機械生産は外國市場の手工業的生産を破壊して、この市場をば強制的に自己の原料の生産部門に轉化してしまふ。例へば東印度はイギリスのために棉花や羊毛や亞麻や黃麻や鹽などを生産することを餘儀なくされるやうになつた」（マルクス『資本論』第一卷四三五頁）。

若し自由貿易主義時代に於ては價格の低廉な商品がブルジョアジーの掌中にあつて——マルクス及びエンゲルスの言

棄によると——「重砲として役立ち、その助けによつて支那の萬里の長城を……、そして外國人に對する野蠻人の最も根強い憎惡をも否認なく屈伏させる」(……)ものであつたとすれば、獨占資本主義時代には植民地及び從屬諸國に對するそれに該當する影響方法はもつと改良されてゐる。今日では、植民地經濟の一切の支配的最上權——銀行、交通、鑛山資源、栽培園、等々——を掌握する資本が重砲である。印度の工業化を阻止するために今日イギリス帝國主義が取つてゐる手段は、印度工業の補助金を奪つたり、印度鐵道敷設のための鐵道材料一切の注文をイギリス會社に發し、一方印度の會社からは注文を奪つたりするやうな類のものなのだ。

獨占資本は現在の恐慌の主要な重荷を植民地に轉嫁してゐる。なぜならば原料品及び食料品(即ち植民地の商品)の價格は工業商品の價格よりも著しく下落したからである。そこで例へば、一九二九年九月から一九三〇年十二月に至る期間に印度の輸出する商品の價格が三六%も下落した。しかるに輸入商品の價格は僅か一六%しか下落しなかつた。それは植民地諸國を完全な没落に導き、植民地の幾百萬の勤勞者を餓死に運命づけてゐる。世界經濟恐慌は農業原料植民地及び半植民地諸國に最もひどい打撃を與へたが、この世界經濟恐慌は後者を殆んど完全な破綻に導いた。即ちこれらの諸國の國債は増加し、しかもそれと同時に彼等はその支拂可能性を奪はれてゐるのだ(例へばオーストラリヤは自ら破産を認めて自國の債務の支拂を停止した)。このやうな状態はこれらの諸國をますます獨占資本に依存させるに至つてゐる。

今日イギリスの植民地獨占は「異常に尖鋭化されてゐる。なぜならば全世界はすでに分割されてゐるから」といふレーニンの指摘は、吾々を帝國主義的諸對立の問題に、即ち工業獨占を奪はれながらしかもまだ植民地獨占を保持するところのイギリスと、彼等の生産裝置の力と彼等の世界分割に對する參加の分け前とが釣合のとれてゐないところのその

他の帝國主義諸國との間の鬭争といふ問題に、近づける。この鬭争（この場合對立の主要な結び目は英米競争である）は今日すでにイギリス帝國主義をその會で占めてゐた地位から順々に驅逐する結果となつてゐる。アメリカ合衆國はイギリスの勢力範圍——主としてアルゼンチン——にも侵入してゐる。現在の恐慌はイギリスのあらゆる勢力範圍に於てもまたその帝國内自身に於てもイギリスの地位を非常に弱めてゐる。

二 イギリス帝國の形成

イギリスの植民地帝國は幾世紀かに亘つて形成されたのである。オーストラリア、ニュージールランド、南アメリカ、全印度を、イギリス人は一八四八年までに領有した。更に新規の獲取がそれに續いてゐる。

十九世紀の後半の間イギリスの屬領は主としてアフリカに於ける新規の獲取によつて増加した。最後に最近の帝國主義戦争も亦ドイツから取上げた植民地とトルコから奪ひ去つた領地（メソポタミヤ）とによつてイギリスの屬領の増加をもたらしした。すべてこれらの獲取の結果として巨大なイギリス帝國が形成されたのである。

イギリスの諸屬領は世界至るところに散在してをり、本國から遠隔の地に存在してゐる。この事情はこれらの諸屬領を統治し、これを自己の從屬物としてつなぎ止める上で幾多の諸困難を帝國主義イギリスのために造り出してゐる。イギリス諸屬領のこの散在性こそは自分の帝國を他の帝國主義者から擁護し且全屬領を從屬物としてつなぎ止めるためにイギリスをして否應なく世界第一の艦隊を所有し、海上制覇に努力させてゐるのである。實際またイギリスは一九一四年の帝國主義戦争前までは世界第一の艦隊を所有してゐた。一九一四—一九一八年戦争後の海上獨占の徴力化はイギリス帝國の統一性を薄弱にする非常に強力な要因の一つである。

地圖を見ればわかるやうに、イギリス帝國は散在してゐるにも拘はらず、大多數の屬領は印度洋をめぐつて存在して

ある。この海洋は言葉の眞の意味ではイギリス洋である。イギリスはどの強大な帝國主義國も彼の諸屬領のこの中心に侵入しないことに利害關係を持つてゐる。イギリスにとつてはまた、本國から印度洋に至る全通路に對する自國の支配權を保證することが甚だ大切である。この通路に對する自國の支配權を保證するためにイギリスは全通路に亘つて自己の根據地、要塞地、碇泊地を作つた。これらの根據地（軍事上戰略上の地點）にはイギリスの常備軍艦が停泊してゐるのであるが、これらの根據地は通路そのものに地位を占めてゐるばかりでなく、通路に對しては一種の門戸を成してゐるところの海峡（ジブラルタル、スエズ、アデン、シンガポール）にも位してゐる。イギリスはその支配地帯（印度洋）に通ずるこの「門戸」をも自國のために強化することに利害關係を持つてゐるのだ。

二 アイランド

一 アイランドの獲取

イギリスによるアイランドの侵略は早くから（十七世紀に）開始され、そして特別慘酷に行はれた。アイランドはイギリスにとつては常に一口の御馳走であつた。第一に、その位置から言つてアイランドは大西洋に至る途上に存在してゐる。それでイギリスは戰略的見地から見てこの島を領有することが大事であつた。第二に、その上、アイランドに對してその土着の經濟的發達を阻止しやうとする努力を振り向けた。イギリスのブルジョアジーはアイランドの經濟的發達に自己の恐るべき脅威を感じたのである。イギリスの侵略者たちは幾多の………方法を用ひてイギリス工業にとつて危険な競争者であるアイランドの牧羊業とアイランドの毛織工業及び紡績業を破壊した。

「また一六〇八年には新たに征服されたアイルランドの北部に存在してゐたところの共同土地所有権は、イギリス人にとつて、それに藉口して土地は何人にも屬せず、そしてかゝるものとして土地は國庫に沒收されるといふ口實として役立つたのである」(エンゲルス)。

アイルランドの土地はイギリスの征服者によつて自國の役人たちのために分與され、またアイルランドの農民はこのやうにしてイギリスの地主に強く依存するやうになつた。農民は自分の同じ土地を地主から賃借する外なかつた。地主は小作料が期間内に納付されない時は隨時土地を彼から取り上げることができたのである。

二 アイルランドの貧窮化

貧困はアイルランドの至るところに滿ち充ちてをり、そして日常茶飯の現象となつた。或るアイルランドの小説家は征服後のアイルランドの状態を次のやうに描寫してゐる。

「すべての辻といふ辻、また戸口といふ戸口は貧乏な婦人でいつばいである。彼女たちにつきまといつてゐる五六歳の子供はボロボロの着物を着て、道行く人に憐みを乞ふてゐる。これらの子供達は教育もなく食物もなくて育つて來たのだ。これがアイルランドでどの旅行者をも一驚させる憐れむべき光景なのである。」

アイルランドの農民は頻繁な馬鈴薯——人民の主要な食料——の不作で特別酷く苦しめられた。この不作はアイルランドにはかなり頻繁になつた。飢饉は國に恐るべき荒廢をもたらしした。だがその上なほこの飢饉年には農民が小作料不拂のため地主から大衆的に土地を引揚げられた。すでにその結果前世紀の末にはアイルランド大衆の執拗な闘争に動かされてイギリス政府は改革を行ひ、この改革に基いて農民は土地を自分の所有とする可能性を獲取した。しかしこの改革の遂行によつてアイルランド人は事實上二度目の盜難に遭遇したのである。

アイランドに於けるイギリスの支配を非常によく示すものは、この國では常に人口が減少してゐたといふ事實である。現在アイランドには僅か四百五十萬の住民しか住んでゐない。しかるにまだ一八四一年には八百萬人以上と計算されてゐたのである。この途方もない人口減少は高度の死亡率の結果としても、また多數のアイランド人の他國への移住の結果としても行はれた。貧困はアイランド人をして仕事を求めて海外に、アメリカへ、イギリスへと向はせたのである。

「イギリスの工業は——とエンゲルスは言つてゐる——若し極度に貧困な多數のアイランド人を豫備軍として持つてゐなかつたならば、そんなに急速に發達することはできなかつたらう」(26)。

(26) 『イギリスに於ける労働者階級の狀態』。

すでにアイランドの一例によつてもブルジョアジーが植民地諸國でどんなに振舞つてゐるかが分る。

アイランドには現在に至るまでも古い諺が通用してゐる。「三つの物に注意せよ、馬の蹄と牛の角とイギリス人の笑顔とに。」

アイランド人は抑壓に對して戰つた。或時は……………立つた。例へば帝國主義戰爭の時、即ち一九一六年にはアイランドに……………勃發した。それはイギリスのブルジョアジーによつて信じ難いやうな……………を以つて彈壓された。

一九二一年末にイギリス政府はアイランドに自治権を與ふべく餘儀なくされた。尤もその北部——國の最も工業的な、また經濟的にも重要な部分——は本國の領土として残された。

しかしアイランドの勤勞大衆の状態は改善されなかつた。アイランドでは闘争が階級的形態を取つた。この闘争

の先頭にはアイルランドの労働者階級が立つてゐる。

三 國民經濟

アイルランドの工業は國の東北部を除いてその發達は微々たるものである。東北部には製麻工業（地方の亞麻栽培に基づいて）と造船業（主要中心地——ベルファスト）とが發達した。吾々も知る通り、イギリスのブルジョアジーはアイルランドの發達した工業を壓殺したのである。アイルランドは専ら中小農民經營の國である。農業の自然的條件はかなり良好である。氣候は海に面して濕潤であり、冬比較的暖く夏涼しい。地質上アイルランドは平野を成してをり、この平野の裾は高原である。泥炭沼や湖はアイルランドでは廣大な面積を占めてゐる。

アイルランドの農民經營の基礎を成してゐるのは、廣大な牧場の存在（廣々とした緑の牧場を持つてゐるからアイルランドは「緑の島」と呼ばれてゐる）と關聯して、牧畜（大有角家畜、牧羊、牧山羊、養豚）である。主要な耕作物は馬鈴薯と燕麥である。

三 カ ナ ダ

一 〔地理的事情〕

自治領カナダは領土の點でイギリス帝國最大の單位であり、九百八十三萬四千平方呎の面積を持つてゐる。カナダはイギリスの重要な屬領から遠く離れて地位を占め、アメリカ合衆國と隣接してゐる。この國のかやうな領土的隣接は合衆國資本のカナダ侵入を容易にした。カナダではアメリカ資本が國民經濟の最大部分を所有してゐる（27）。

（27）すでに一九二〇年には全カナダ工業の二四・四%まではアメリカ資本家の掌中に握られてゐた。最近十年間にカナダに對

するアメリカの統制は殆どなく殆んど二倍も増大した」(『世界經濟の諸問題』計畫經濟國立出版所)。

カナダの廣大な領土は寒帯に位し、ツンドラと森林とで占められてゐる。カナダの東海岸に添ふて冷いラブラドル海流が通過して、この國のこの部分を冷たく洗つてゐる(この海流がどう通過してゐるかを地圖によつて見よ)。そのため東部に於ける可耕地の北境は五十度 つまりハリコフの緯度)の線まで下つてゐる。

カナダは人口甚だ稀薄である(一平方軒當り一人以下)。その人口はヨーロッパからの移民によつて増加した(この點アメリカ合衆國と同じ)。カナダの人口の主要な大衆を成してゐるのはイギリス人、フランス人、及びその他の諸國からの移住者である。だが土着人口——インディアンとエスキモー——は僅かな部分を成してゐる。

二 國の經濟

カナダには農業用として國の南部及び西部(ウイニペグ湖以西)に有利な廣大な面積が存在してゐる。これらの可耕地はまだ毫も利用されてゐない。

吾々はカナダの農業に於て、合衆國の農業に見ると同じ特質を、即ち雇傭労働と機械技術とを適用する借地農資本主義的經營といふ型を見る。農業の傾向は商品穀物的である。穀物生産は一九一四年から一九二八年に至る間に二倍以上も増加した。主要な産物は小麦、次に燕麥である。カナダの穀産物の販賣は大資本主義的組織の掌中に握られてをり、彼等が價格を統制する。

カナダの農業は戦時及び戦後著しい發達を遂げたが、それにも劣らず發達を遂げたのはカナダの工業である。

カナダは天然の富源に恵まれてゐる。カナダには石油が豊富であり(アメリカ合衆國、ソヴェイト同盟、支那に次いで世界第四位)金銀が豊富であり(その採掘高の點で世界第三位)有色金属が豊富である(カナダはニッケル世界産額

の九〇%まで與へる。カナダはまた白炭の一大資源を持つてゐる（カナダにはナイヤガラ瀑布に世界最大——六十萬馬力——の水力發電所がある）。尤もこれらすべての資源、特に石炭資源の利用はその能力に相應してゐない。カナダではその採掘高よりも多くの石炭が輸入されさへしてゐる。その理由は石炭の埋藏地方には良好な交通路が備つてゐないの
で石炭をアメリカ合衆國やイギリスから輸入した方がヨリ有利だからである。

カナダの工業化の度合を示すものとして役立つことができるのは、農村人口と都市人口の比例に關する資料である。即ち前世紀末には農業人口は全人口の約七〇%に當つてゐたが、一九二一年にはそれが五〇・五%に當つてゐる。

精工業の基本的部門は食料品工業（製粉業、罐詰、冷肉工業）及び製材製紙工業（特にバルブ、製紙工業）、次に農業用機械製作工業である。製材製紙工業の發達は廣大な面積の森林と關係してゐる。森林面積の廣大な點でカナダはソヴエート同盟に劣るだけである。

三 カナダとアメリカ合衆國との經濟關係

カナダの工業化は外國資本、主としてアメリカ合衆國及びイギリスの資本のおかげで行はれたのである。

カナダに對するアメリカ合衆國の經濟的影響の増大は、カナダとイギリスとの關係が薄らいで行くのに合衆國とカナダとの經濟關係が増大して行くといふことによつて説明される。カナダ經濟に對するイギリスの投下資本はアメリカ合衆國の投資よりも何倍も劣つてゐる。カナダの貿易上でもアメリカ合衆國は壓倒的である。カナダの輸入高のうち、アメリカ合衆國の分け前となつてゐるのは六五%で、イギリスの分け前は僅か一八%である。すべてこれらのことはカナダと本國との關係の薄弱化を物語るものであり、大きな獨立性の發揮を決定してゐるところの一條件である。カナダは、そこで二つの帝國主義國即ちイギリスとアメリカ合衆國との利害が衝突し、その對立が曝露されてゐるところの諸地點

の一つである。

四 農業Ⅱ及び工業恐慌

カナダの經濟は一九二九年以來一般的恐慌に襲はれてゐる。恐慌は農業をも工業をも捲き込んだ。幾多の工場、特にパルプ製紙工業のやうなカナダの重要な部門に於ける工場の生産能力は高度の操短が行はれてゐる。恐慌の指標として役立ち得るのは失業の非常に急速な増加である。即ち一九二九年六月から十二月に至る半年間に失業率は労働組合員總數の三%から一一・四%に増加した。

四 英領印度

イギリスのブルジョアジーは印度を「イギリス王冠の最良の眞珠」と呼んでゐる。そしてそれに間違ひはない。印度は最も重要なイギリスの植民地であり、どこよりも先づ印度の……上にこそイギリス資本主義は發達したのである。

一 印度の獲取

印度は甚だ古い文化を持つた國である。イギリスがまだ工業國として乗り出さない時代に印度はすでに工業國であつた。印度の織物、印度の金銀製飾物、印度の眞珠、印度の香料は、當時の全世界に有名なものであつたし、また印度と地中海及びヨーロッパの商人との貿易品を成してゐた。この「神秘國」に至る最短通路を發見しようとする努力こそはコロンブスやバスコダガマのやうな試みにヨーロッパ人を驅り立て、それがたまたまアメリカの發見となり、アフリカをめぐつて印度に至る海路の發見となつたのである。

印度に至る海路の發見はこの國とヨーロッパとの貿易を急速に發展させる結果となつた。印度には當時第一の貿易商

——オランダ人が現れ始め、彼に續いてフランス人が、最後にイギリス人が現れた。結局イギリス人が印度貿易上獨占的地位を獲得した。所謂東印度會社が設立され、この會社が印度の全貿易をその掌中に收めた。

この東印度會社は印度と交易するばかりでなかつた。同會社は次第に國內に侵入し、それを自己の政治的權力の下に従屬させ始めた。東印度會社は自國の代理人のために工場を、自國の商品のために倉庫を設立するやうになつた。それやこれやを防禦するために同會社は二三の要塞を築いた。更に幾多の戦争が續いて、これらの戦争は東印度會社の領土を擴大した。それは漸次的印度侵略期であり、一八四九年に終りを告げた。

二 印度の略取

自分の獨占的地位を利用してイギリス人は言葉の本當の意味で印度を……した。彼等は色々な手段をめぐらして印度から價値物を奪ひ取つた。即ち途方もない租税、最必需品の掠奪的價格の設立、直接の……最も假借なき土着民……。印度ではイギリスのブルジョアジーは……を盡した。

諸君はアイルランドの人口が如何にイギリス人の支配に影響されて減少したかを記憶してゐる。しかしアイルランドは比較的人口の少い一小國である。だが印度には四億の民があり、それにまた比類なく富んだ國である。印度に於けるイギリス・ブルジョアジーの主宰の結果はアイルランドのそれと同様だ。即ち大衆の没落、貧困、……これである。

「イギリス人が地代や印度人自身には何の役にも立たない鐵道の鐵道配當金や軍人及び國內官吏の恩給やアフガニスタン戦争その他の軍費等々として毎年印度人から奪ひ去つてゐるもの、彼等が些かの等價物をも與へずまた印度人が印度自體でどれだけ利得してゐるかにはお構なく印度人から奪ひ去つてゐるもの、つまり印度人が全く汗水たらして毎年イギリスに支拂はなければならぬ價値は、印度六千萬の農業及び工業労働者の收入總額を凌駕してゐるのだ。

これは血にまみれた悲しむべき問題である。飢饉年は印度ではひつきりなしにやつて来る。そしてヨーロッパなどでは未だ曾て見たことのないやうな規模に達する。」

右のやうにマルクスは一八八一年に書いた。だがそれ以來状態は少しも變らなかつた。二十世紀の第一四半世紀間に印度では八千萬人以上が餓死した。今日に至るまで印度は世界最高の小兒死亡率を示してゐる。即ち生きて生れる嬰兒千に對して六六三である（一九二三年）。しかるにヨーロッパに於て最も大きい死亡率（ルーマニヤ）は千に對して二〇七である。

イギリスは共同土地所有と農業及び手工業の直接の結びつきの上に立脚してゐた古い印度經濟の基礎を破壊した。「幾百萬の織匠や紡手に規則正しく仕事を與へてゐたところの手織機や紡車がこの社會の構造の基礎を成してゐた。

何時とも知れぬ頃からヨーロッパ人は印度織匠の珍奇な製品を手にしてゐた。……………イギリスの渡來者が印度の手織機を破壊し、また紡車を木葉微塵にたゞきつぶしたのだ。先づイギリスはヨーロッパの市場から印度の紡績製品を驅逐してしまつた。その上イギリスは印度に綿絲を輸入し始め、最後に棉花の原産地を紡績製品で埋めてしまつた」（マルクス、マルクス・エンゲルス全集第六卷九二頁）。

その結果は印度の共同的經濟の家長制的性質の破壊となり、印度の手工業の破壊、國民大衆の貧困化と没落とをもたらしした。

このやうにイギリスは印度の舊經濟組織を破壊して印度經濟に全く異つた専門化を與へた。

「東印度はイギリスのために棉花、羊毛、亞麻、黃麻、藍、等々を生産することを餘儀なくされた」（マルクス）。印度は農業國に、イギリス工業のための原料産地と販賣市場とに轉化された。だがこの市場の獨占的所有はイギリス

資本家のために猛烈な資本蓄積を保證した。

英領印度はヒンドスタン半島とインドシナ（ビルマ）の一部とを占めてゐる。印度の北境は世界最高のヒマラヤ山脈である。その他の三方から印度は海に包まれてゐる。ヒンドスタンの内部は高原（デカン高原）を成してをり、この高原の果ては海に添つて山脈を形成してゐる（東及び西ガッツ山脈）。デカン高原と北部の諸山岳との間には平原が位してゐる。豊饒なベンガル平原はガンジス河の沖積土によつて形成されてゐる。

半島の殆んど中央を北回歸線が通過してゐる。かくて印度の南部は熱帯に位し、北部は亞熱帯に位してゐる。印度はモンsoon地帯にある。夏期には西南モンsoonがこの國に多量の降雨をもたらし、殊に降雨量の多いのは西部海岸とベンガル灣とである。デカン高原は雨量が少い。海岸に面した山脈にさまたげられるのである。最も雨量の少いのはインドス河以東に位する地方で、こゝには沙漠がある。

良好な氣候上（多量の灌溉、酷熱の氣候）及び地質上の諸条件のおかげで印度は最も多種多様な作物を産する國である。こゝでは小麦、米、黍、黄麻、棉花、ゴム樹、甜菜、茶樹、珈琲、藍、等々が成長する。

印度はまた有用礦物が豊富である。石炭は國の東北部に埋藏されてをり、石油はビルマに産出する（イギリス石油トラストが採掘してゐる）。鐵礦は炭田に接して埋藏されてをり、最後にマンガン礦資源も豊富で、その採掘高の點では印度はソヴェート同盟に次いでゐる。銀、亞鉛、等々の産地も存在する。セイロン島では眞珠が採取される。

三 農業の社會的特徴

印度の巨大な人口（約三億四千萬、つまりイギリス帝國全人口の六八%）は主として農業で暮しを立てゝゐる。即ち印度全人口の九〇%までは農村に住んでゐる。印度農業の特徴ある特質は封建的關係の支配といふことである。全耕地

の半分は地主に屬してをり、地主は土地を農民に賃貸する。土地の他の一半は農民の所有となつてゐる。印度の農民經營の特色は一經營の土地面積が極度に狭少なことだ。例へば、パンジャブ地方即ち印度の主要な小麦地方（インダス河とその支流サトレジ河に挟まれた地方）では、七〇%以上の農民が所有してゐる土地の面積は二ヘクターを超えない。つまりこの地方として必要な最小限度以下である。同地方には富農的上層階級が非常に勢力を張つてゐる。こゝでは雇傭労働と農業用機械の助けを借りて經營が營まれてゐる七五——八〇ヘクターの富農經營が決して珍らしくない。このやうに、農民の壓倒的多数の猫額大の經營用土地面積、廣汎な農民大衆の貧民化（貧窮化）またそれと並んで富農經營のかなり猛烈な發達——これが印度農民經營の特色である。

なほすべてこれらのことに附け加へなければならぬのは、貧農は屢々その全収入の五〇%以上にも當る租税として最も重い負擔を背負はされてゐることだ。最後に、印度の農民は今もなほ高利貸と小賣商人とに依存してゐることを考慮に入れてをかなければならない。

イギリスの一研究家はマドラス地方に於ける農民家族の状態を次のやうに描寫してゐる。

「二人の兄弟が彼等の妻並びに四人の子供と共に約一ヘクター半を耕作してゐる。……この家族は一日一回家に歸られる。彼等は米を食べてゐる。雇主の許で働く時には働いてゐる幾日かの間は一日に一回雇主から食事があてがはれる。この場合食物はお粥である。彼等は高利貸から借金してゐた。それで彼に多額の利子を支拂つてゐる。このやうな暮し向きでは家族中の働き手が次々と病氣にかゝるといふのも無理からぬことである。そんな場合にはますます借金に深入りしなければならず、新たに高利貸に助けを求めるのである。」

そしてこのやうな光景は印度では典型的なのである。

農民大衆の貧窮化と農民の分化とは巨大な農業プロレタリア軍を形成させる結果となつた。その數四千萬に達してゐる。この階級のどえらい大衆は漸次的死亡に運命づけるやうな平均賃銀（一日二十四カベーク）を貰つてゐる。

印度農民はこのやうに三つの抑壓を蒙つてゐる。即ちイギリス帝國主義、イギリス帝國主義の支持を受けてゐる封建的土地所有者、及び印度自體の商業、高利貸ブルジョアジの壓迫。

このやうな條件の下では農業問題が印度の最も重要な社會問題となつてゐるのは全く明かなことだ。

一九一七年及び一九一八年、殊に最近の諸年度に於ける農民運動の特徴はそれが大衆的でますます組織的性質を帯びて來たといふことである。

最近封建的抑壓及び帝國主義的抑壓に對する………はますますプロレタリアートの………行はれ始めてゐる。

四 工 業

同國には帝國主義戰爭時代に工業が成長した。印度工業の發達は、同國へのイギリス商品の輸入が減少したといふことと、關聯してゐたばかりでなく、印度が或程度まで軍需品供給者たる役割を演じなければならなかつたといふこと、も關聯してゐたのである。かくて、戰時中に印度には纖維工業が發達し、またそれと並んで石炭工業、冶金工業及金屬製作工業も發達した。

國の工業中心地はボンベイ市——紡績業及び金屬製作工業、カルカッタ市——製麻工業及び金屬製作工業、ジャムシエドプール——冶金工業である。

五 労働者階級の狀態

印度の工業發達の結果印度のプロレタリアートも増加した。茶、珈琲、ゴム栽培園の労働者及び鐵道プロレタリアートを含めて印度の全工場労働者は約四百萬人である。

植民地諸國に於ける労働者の労働及生活條件はイギリス資本主義の原始的成長期にイギリス労働者階級がその下に生存してゐたところの條件……である。プロレタリアート……に少しも同情を持つてゐない人でもかう認めなければならなかつた。「印度労働者の四〇乃至五〇%とその家族とは毎日自分の飢を凌ぐことができない。三歳からの子供を茶栽培園の労働者（茶摘み）として見出すことができる。印度労働者の生活條件はエンゲルスが描いたイギリスのプロレタリアートの生活條件……だ。さうだ、それも理解できる。印度は植民地なのだ。そしてマルクスもすでに次のやうに書いた。

「ブルジョア文化の深刻な虚偽と生來の野蠻性とは、吾々がその注意をブルジョアジーが體面を取繕はうとして躍氣となつてゐるその誕生地から彼が生地をまる出しにして振舞つてゐる植民地へと向けるや否や、全くはつきりして來る」(全集第六卷一〇七頁)。

六 印度の工業恐慌

近年印度の工業は國の一層の工業化を阻止し、同國を農業の水準に縛り付けやうとするイギリスのブルジョア政策と關聯してひどい恐慌に襲はれてゐる。このイギリス・ブルジョアジーの政策は幾多の諸方策に現れてゐる。例へば、イギリス工業の製品に關稅上の特典が設定されたのに印度工業は補助金を奪はれてゐる。鐵道敷設材料の注文をイギリスに發してゐるのに、一方印度の工場はこの注文を奪はれてゐる。最後に、二三の經濟的方策の助けを借りて、印度工業の製品を輸出するためには不利で、反對にイギリスの工業製品を印度に輸入するためには有利な條件が造り出されてゐる。

る。つい先頃、印度は工業化され、その工業化のおかげで漸次植民地國たることを止めるだらうなどといふお伽噺が流布されたが、このお伽噺は生活そのものによつて微塵に粉碎されてしまつた。イギリスのブルジョアジーは印度のやうな廣大な販賣市場及び原料資源の搾取可能性を喜んで放棄するものでない。印度工業のこの絶望は印度ブルジョアジー側の反抗を惹き起した。彼等は印度に自治領たる權利を與へよといふ要求をつき付けた。一時はブルジョアジーは印度の國民運動に加擔した。この場合イギリス反對のために行はれたこの運動はガンヂー主義の形態、即ち消極的反抗（イギリス商品のボイコット、等々）の形態を取つた。

七 印度に於ける國民解放運動

しかし恐慌は國內に於ける農民及び勞働者運動の發展を惹き起した。これらの運動は消極的反抗……………してしまつた。印度に於ける恐慌の深刻さは、印度輸出品の價格激落（一九二九年から一九三〇年末までに三六%）、前年度に比べて一九三一年に於ける九%の棉花播種面積の減少、外國貿易の減退、また國家の赤字の増加によつて説明される。……………

ストライキ運動は途方もない規模を取つた。一九二八年にはボンベイ織布工の……………勞働組合「ヒルニ・カムガル」が結成された。この同盟は一九二八年にストライキ中のボンベイ織布工を六ヶ月に亘つて指導した。一九二九年にはストライキ運動が幾多の工業部門及び鐵道交通をも席捲した。ストライキ運動は今度は……………發展した。例へば一九三一年には印度の西北部に……………勃發した。……………數日間に亘つてベシヤワル市を占領した。これと同じ……………國の他の諸地方にも勃發した⁽²⁸⁾。……………

印度のブルジョアジーは狼狽してイギリス帝國主義と妥協した。印度のブルジョアジーとその指導者（ガンヂーのやう

な) はもはや印度に於て……………演ずることができない。……………の形態に移つたのだ。……………

(28) ……する處罰は規定の通り……………の性質を帯びてゐた。處罰を行つたのはマクドナルドを首班とするイギリスの所謂労働黨政府である。

現在印度は支那と同様に全植民地東洋に於ける……………中心地である。

練習課題

- 一、なぜ印度は常にヨーロッパ人の注意を惹いてゐるか？
- 二、印度に於けるイギリスの諸利益はどの點にあるか？ またなぜイギリスは印度をその植民地帝國の構成中に保持することに利害關係を持つてゐるか？
- 三、イギリスの印度侵入の結果はどうであつたか？ イギリス資本の印度侵入は印度の經濟制度にどんな風に反映したか？
- 四、なぜイギリスは印度の工業化を許すことができないか？

五 イギリス帝國主義の諸矛盾

イギリス帝國は數世紀に亘つて新たな掠奪によつて増大し、またその勢力は世界經濟及び海上に於けるイギリス資本主義の殆んど無制限的な支配によつて維持されてゐたのであるが、このイギリス帝國主義は今では根本的に瓦解してしまつた。イギリス帝國といふ統一體のこのやうな瓦解は、イギリスが海外市場に於けるその例外的、獨占的地位を失つたこと、關聯して帝國主義戰爭前にすでに開始されてゐたのである。

しかし一九一四——一八年の帝國主義戰爭後始めてイギリス帝國の崩壊がはつきり現れたのである。

どんな新らしい事實が戦時及び戦後に生じたか？ また何が吾々にイギリス帝國の崩壊について語る根拠を與へてゐるか？

何よりも先づイギリスは幾多の工業部門に於て最後のに最優越性を失ひ、また最も重要な生産に於てその分け前を激減させた。

第二に指摘しなければならないのは、すでにそれについては當該箇所ですべておいたのだが、イギリス諸自治領の工業化といふことである。イギリス諸自治領の工業化と諸自治領の土着工業を諸外國（イギリス工業をも含めて）の競争から保護し得ようとする努力とは、諸自治領をして輸入商品に對して關稅上の諸制限を設定させてゐる。

この工業化は諸自治領のブルジョア之間にヨリ大なる自治權を獲取しようとする努力、イギリスから分離しようとする努力を惹き起しつゝある。

獨立性を獲取しようとする諸自治領の傾向はイギリスが世界第一の銀行家たるその往時の意義を失つたこと、關聯して特に現れてゐる。この世界第一の銀行家たる意義は今ではアメリカ合衆國に移つてしまつたのである。アメリカ合衆國の資本輸出はイギリスの輸出を二倍も凌駕してゐる。アメリカ資本はイギリスの諸屬領とその勢力範圍とに猛烈に食ひ込んでゐる。

カナダに於けるイギリス及びアメリカ合衆國の投資は次のやうに増加した（單位十億弗）。

イギリス

アメリカ合衆國

一九一三年……………一八六

〇・四一

第二B イギリス帝國

一一五

五 イギリス帝國主義の諸矛盾

一九二八年……………三二四

三二六

一九二九年……………三二六

三二六

カナダ經濟に投下されたイギリス資本は現在ではアメリカ合衆國に著しく劣つてゐる。それと全く同様に、その他の諸屬領に於てもイギリス資本の役割は合衆國資本の重要性の増大によつてますます小さなものになり始めてゐる。

最後に、イギリス諸屬領の貿易上イギリスの分け前がどんなに減少し、それと同時に合衆國の分け前がどんなに増加してゐるかを吾々は知つてゐる。

| | イギリスの分け前(%) | | | アメリカ合衆國の分け前(%) | | |
|------------------|-------------|---------|-------|----------------|-------|-------|
| | 一九一三年 | 一九二八年 | 一九二九年 | 一九一三年 | 一九二八年 | 一九二九年 |
| カナダ輸入…………… | 三・三 | 一五・二 | 一四・七 | 六四・〇 | 六八・二 | 六九・九 |
| オーストラリア輸入…………… | 五・八 | 四・六(29) | — | 一三・七 | 一五・一 | — |
| ニュージールランド輸入…………… | 五九・七 | 四七・九 | 四五・四 | 九・五 | 一八・〇 | — |
| 南アフリカ輸入…………… | 五・八 | 四・六(30) | — | 八九 | 一五・四 | — |
| 印度輸入…………… | 六四・二 | 四六・三 | 四三・一 | 二六 | 七四 | 七二 |

(29) 一九二六—二七年。

(30) 一九二七年。

イギリスが曾ての世界の工場、世界第一の銀行家、第一の貿易家及び海運業者たる重要性を失ひ、それと共にその諸自治領の經濟的獨立性が増大した結果は、吾々が見た通り、イギリスとその屬領との經濟關係を弱め、本國に對するそ

の經濟的依存性を減少させるに至つた。

イギリスから分離しようとする努力は、最近の所謂帝國會議、つまりイギリスと諸自治領の代表者の會議の結果に明瞭に裏書きされてゐる。一九三〇年末に開かれたこの會議に於ては諸自治領の反對の結果イギリスの「帝國經濟同盟」計畫は擯り去られてしまつた。

しかし英帝國の崩壊はまた、イギリス自體に於ける階級闘争と植民地に於ける………と關聯して異常に強められてゐる。イギリスは會て一度も現在のやうな尖鋭な社會闘争を経験したことがなかつた。吾々はすでに、このやうな………闘争の最も尖鋭な國が「イギリス王冠の最良の眞珠」即ち印度であることを見た。

帝國内部の諸對立が増大してゐると共にイギリス資本主義の外的對立（主としてアメリカ合衆國に對する）も亦尖鋭化してゐる。

この闘争はこれら諸國の不均等な發達の諸條件の下で行はれてゐる。實際帝國主義戰爭前に於てもアメリカ合衆國の發達テンポはイギリスの發達テンポに數等優つてゐたのである。

アメリカ工業の生産力の異常な増大といふ條件の下で販賣市場の問題が鋭く提起されて來た。

六 市場獲得闘争

アメリカ合衆國の資本はイギリス自治領カナダを含めて専らアメリカ大陸に侵入してゐる。一九一三年から一九三〇年に至る間にラテン・アメリカに於ける合衆國の資本は殆んど四倍も増加した。アメリカはヨーロッパにも侵入した。即ちアメリカの資本はヨーロッパに於て數多くの鑛山企業、電機企業、及び銀行企業をドイツに、イギリスにその他の

諸國に持つてゐる。アメリカの諸會社（例へばフォード自動車會社）は世界の色々な國に自己の工場網を造り出し、外國領土にある二千以上の會社は大體に於てアメリカ資本に屬してゐる。

最近アメリカ資本は印度にも地位を獲取し始めた。例へば、アメリカ合衆國の大水力電氣會社（指導權はモルガンに屬してゐる）は印度の三大都市——ブーナ、カラチ及びプログ——の諸發電所及び動力會社の株式を買收した。

イギリス諸屬領及び以前イギリスの勢力範圍であつたあらゆる諸國（アルゼンチン及びその他のラテン・アメリカ）へのアメリカの侵入とそこからのイギリス資本の驅逐とは英米對立の第一の結び目を造り出してゐる。

對立の他の結び目は原料資源の問題をめぐつて生じてゐる。

合衆國は大石油消費者である。しかるにその自國自身の資源は瀕渴しつゝある。だが南北アメリカ外に存在する主要な石油産地はイギリスの掌中であり(31)、しかもアメリカ大陸に於ける幾多の石油地帯も亦後者に屬してゐる。

(31) もちろんソグエート同盟の世界最大の石油資源を考慮に入れてゐない。

二つの世界最大石油トラスト——アメリカ（スタンダード・オイル）とイギリス（シェル）——の石油争奪競争は帝國主義的原料獲取競争の最も重要な要素である(32)。

(32) 『石油は政治の臭がし、政治は石油の臭がする。二つとも……臭がする』といふことができる。

だがそれと全く同様に他の原料資源——弾性ゴム——についても問題が惹起してゐる。イギリス資本は世界のゴム栽培園を殆んど獨占的に所有してゐる。しかるに合衆國はその主要な消費者なのである。

このやうに若し合衆國がゴム供給の點でイギリスに依存してゐるとすれば、イギリスはまたイギリスで専ら有色金屬の供給の點でアメリカ資本に依存してゐる。

「合衆國は事實上銅を獨占してゐる。イギリスの銅消費の七〇％はアメリカの銅トラストに依存してゐる。全ニッケル生産の十分ノ九以上はカナダに集中されてゐるが、「國際ニッケル會社」はアメリカ資本の統制下にあるのである」
〔世界經濟の諸問題〕。

七 將來に於ける英米衝突の不可避性

かくの如きが最重要原料の源泉をめぐつて造り出されてゐる對立の複雑な結び目である。

英米對立は不可避的に……………となつて爆發するに違ひないが、この對立は軍備擴張競争を招來してゐる。アメリカ合衆國の軍事費は年七億五千萬弗といふ膨大な金額に當つてをり、世界最大の軍備費である。

イギリス帝國主義も亦軍備をさをさ怠りない。イギリスは新たな海上碇泊地を作り（例へば目下シンガポール——マライ半島の南端にある島——に……………してゐる）、航空隊を擴張し、またイギリス諸屬領との航空路を開設してゐる。

巨大な政治的戰略的重要性を持つ英印間（約八千軒）の定期航空路が開設され、また東アフリカ及び南アフリカとの航空路も開設されてゐる。既存の印度航空路のオーストラリアまでの延長とカナダへの定期航空路の開設とは計畫中である。アメリカ合衆國の強力な競争を目の前にして自分の海上最優越性を固守することがますます困難となりつゝあるイギリスは、戰鬪力の新興部門の領域——航空——に於て自己の地位を強化しようとする努力してゐるのだ。

第三 フランス

地圖の研究

- 一、フランス——首都パリ。植民地——モロッコ、チュニス、アルゼリヤ、佛領赤道アフリカ、マダガスカル(以上アフリカ) インドシナ(アジア)。
- 二、最大工業中心地——パリ、ルアン、リール、ストラスブール、リヨン、セン・テチエンヌ、ルクールゾ、マルセーユ。
- 三、主要港——マルセーユ、ボルドー、シエルブール、ルアーブル、カレト。
- 四、主要水上交通路——セーヌ河、ロアール河、ガロンヌ河、ローヌ河。
- 五、アルサスとロレーン——對國戰爭後獲取した領土。

一 戦前に於けるフランスの發達の特殊性

一 高利貸國

戦前のフランスは金利生活者國家、高利貸國家の型をはつきりと表現してをり、工業の發達は微々たるものがあり、農業の發達も亦緩慢であつた。

フランスの對外投資總額は一九一四年に四百五十億フランに達し、五十年間に殆んど百倍(一八七〇年の五億フランから)も増加した(3)。

(33) フランスが外國に投下した資本總額のうち殆んど四分の一は帝政ロシアに(百十億フラン)、三十五億フランはオーストリア・ハンガリーに、バルカン半島諸國家には約九十億フラン、アジア、アフリカ及びアメリカには百四十億フラン(自分の諸植民地には僅か四十億フラン)投下された。

海外に投下されたフランス資本の性質についてレーニンは次のやうに書いた。

「……………對外資本は主としてヨーロッパに、どこよりも先ブロシアに(百億フラン以上)投下された。この場合それは専ら貸付資本、國債であつて、工業企業に投下される資本ではなかつた。イギリス帝國主義と異りフランス帝國主義はこれを高利貸的帝國主義と呼ぶことができるだらう。」

外國に投下されたフランス資本の貸付高利貸的性質を説明することができるのは一九〇六年にロシアに投下された資本の例である。對露全投資額六十九億フランのうち國家の有價證券に割當てられたのは六十億フランで、工業や商業に割當てられたのはたつた八億三千九百萬フランに過ぎなかつた。

貨幣資本の急増は戦前のフランスの經濟生活の前面に銀行を押し出した。フランスの四つの最大銀行は全信用を自分の掌中に獨占した。國の全準備金の四分ノ三を自分の所有に屬しながら、これらの諸銀行は五十人そこそこの指導者たちの利益を計算して全準備金を自由に驅使したのである。

銀行高利貸の支配は國の經濟の發達が緩慢である一原因であつた。高率の利潤を受取ることに關心を持つフランスの諸銀行はフランスの國民經濟が必要とする資本を外國に振り向けた。銀行高利貸の行動を監督することなどは誰一人できなかつた。なぜかといへば諸銀行は一大勢力に轉化してをり、國家諸機關に壓迫を加へて、それを否認なく彼等の欲するまゝに發動させてゐたからである。

二 戦前フランスの工業

一方では銀行高利貸の支配、他方ではフランスの石炭不足、これがフランス工業の緩漫な發展の根本原因であつた。商業及び工業に従事する人口の比率は戦前最後の十五年間にフランスに於てはドイツの一〇%の増加に對して僅か五%しか増加しなかつた。

發達の緩漫なテンポと並んでフランス工業の特徴は構造が遅れてゐることであつた。中小規模の企業が壓倒的であつた。フランスで支配的地位を占めてゐたのは輕工業であつて、またその構成部門のなかでも纖維工業が支配的地位を占めてゐた。輕工業の生産物はフランスの輸出の主要項目の一であつた。即ち絹織物、綿織物及び毛織物、流行品、革製品及び毛皮製品、麻絲及び絹絲、香料がフランスから外國市場に輸出された。

金屬製作工業、特に機械製作工業の發達は微弱で、國內の需要を充すことができなかった。一九一三年にフランスは色々な種類の機械を次の分量だけ輸入した（國の全需要に對する百分率で）。

| | |
|----------|--------|
| 農業用機械 | 二〇% |
| 織機 | 八〇% |
| 紡績機 | 四〇—五〇% |
| 動力機及び作業機 | 二〇% |
| 機關車 | 三〇% |

三 重工業の緩漫な發達の諸原因

フランスは、主要な動力源泉であり化學原料品である石炭の不足を痛感してゐた。その大部がベルギー國境にある石

炭埋藏量は百七十五億噸に等しく、この額はヨーロッパの埋藏量の約三%、世界埋藏量の約〇・三%に當つてゐた。僅かな石炭埋藏（しかも炭質粗悪）はその採掘をフランスの國內需要の水準まで發達させることができなかつた。一九一三年にはフランスで消費された六千四百萬噸のうち國內で產出した石炭の分となつてゐたのは、たつた四千萬噸であつた。特にコークス用石炭の状態は悪く、その結果コークスに對する需要の半額は輸入のおかげで充足されたのである。充分な分量の石炭と相當な炭質とを持つてゐないので、フランスはその豊富な産地から採掘される全鐵鑛を精鍊することができなかつた。一九一三年に於て二千二百萬噸に當るフランスの全鐵鑛採掘高のうち九百萬噸は諸外國に輸出されたのである。

フランスに於ける鉄鐵生産は石炭不足のため隣邦ドイツより緩漫に發達した。そして生産量の點でドイツの生産高に著しく劣つてゐた。

| 年 | ルクセンブルグを含むドイツ | フランス |
|-------|---------------|-------|
| 一八七〇年 | 一・三九〇 | 一・二六 |
| 一九一〇年 | 一四・四七 | 四・〇八 |
| 一九一三年 | 一九・三〇七 | 五・二〇七 |

フランスは自國の金屬によつて國の需要を充してゐなかつた。著大な分量の粗金屬（鉄鐵、鋼鐵）が諸外國から輸入された。

四 農業

フランスの自然的條件は農業の發達にもつてこいである。國の廣大な部分は平野と低い丘陵とで占められてゐる。フランスの氣候は非常に溫暖で雨量の多いのがその特徴であるが、この氣候は大部分の作物、温帯作物の耕作に適してゐる。大部分の土地は肥沃の度が非常に高い。國內の自然¹及び人工交通路の支線網（河川、運河、鐵道及び鋪裝道路）はその稠密な點でフランスはヨーロッパ第一位の一つを占めてゐるが、この支線網の存在は個々の地方相互間の良好な關係を作り出し、また最も重要な海上貿易路に、即ち諸外國市場に近附けてゐる。

しかし戦前のフランスの農業はその發達が緩慢であり、また大きい生産能力を持つてゐなかつた。穀物需要のうち自國生産物で充されたものは僅かに八五——九〇%であつた。亞麻や大麻のやうな工藝用作物は大部分外國から輸入された。フランスの農業はその隣國のベルギーやドイツよりも著しく粗放的であつた。土地の一、二%に當る耕地（ドイツで僅かに四%、イギリスでは二%）、甚だ高率の穀物播種、低い收穫度（一ヘクターから十三ツェントナー）、その微少な増大テンポ（戦前最後の十五年間に收穫度は殆んど高まらなかつた）、牧畜の僅かな發達——これがフランス農業の特徴的な特質である。

戦前のフランス農業のこのやうな微弱な集約性は、フランス農業の發達が通過したところの社會經濟的諸條件によつて、特に土地諸關係によつて説明される。

「フランス人口の三分ノ二以上に當つてゐる農村人口は主として所謂自由な土地所有者から成り立つてゐる。一七八九年の革命によつて封建的義務からたゞで解放された彼等の最初の祖先は自分の土地を贈物として受取つた。だが彼等以後の子孫たちは、彼等の半農奴的祖先が地代だの十分一税だの徭役等々の形態で支拂つたものを土地の販賣價格として支拂つたのである。一方では國民人口が増加し、他方では土地の細分化が増大すればするほど小地片の地價は

益々高價になつた。といふのはこれらの零細地が狭小化するその度合に從つてそれらの土地に對する需要は増加したからである。だが農民零細地の價格と共に農民の負債、即ち土地抵當が増加した。

「農民の搾取と工場プロレタリアートの搾取との違ひはたゞその形態だけであることは明かである。搾取者はやはり資本そのものである。個々の資本家たちは土地抵當や高利貸制度の助けを借りて個々の農民を搾取し、資本家階級は國家租税の方法によつて農民階級を搾取する………たゞ資本の没落のみが農民を高めることができ、たゞ………」

このやうにマルクスは十九世紀の中頃にフランス農民の状態を特徴づけた。それ以來農民分化とその貧農層の土地喪失と富農の掌中への土地集中とは秩序正しく行はれた。二十世紀の初頭にはフランス農村の五百五十萬の全經營のうち八三・九%は十ヘクター以下の地片を所有し、彼等すべてに土地面積の二五・六%が屬してゐた。しかるに少數の富農經營即ち二・五%は農業用面積の約四五%をその手に集中してゐた。フランスの農村に行はれた分化の深刻さを強調するために次のことを指摘しなければならぬ。農民經營の三八%は一ヘクター以下の地片を所有し、それは全體として土地面積の僅か二・五%にしか當つてゐないのだ。

だがやはり最近十年に至つても資本は、その技術的の再建を目的として農業生産に向つて行つたといふよりは寧ろ高利貸制度の形態を取つて遅れた小農民の廣汎な層を搾取したのである。外ならぬこの基礎の上にフランスの強大な高利貸的帝國主義が生長したのである。

大地主たちは自ら手を下して大規模資本主義經營を營む代りに自分の所有に屬する土地を小地片として土地少き農民や使用者に賃貸する方を選んだ。

高率の小作料は農業の發達に否定的影響を與へた。なぜといふにそれは農民の收入を減殺して自己の經營に多額の資本投下（機械や肥料の形態に於て）を行ふ可能性を彼等から奪つたからである。國家の租税と高利貸的銀行信用とは農業から多額の資金をたゞき出した。この資金は大部分、外國の借款やフランスの植民地帝國を作り出すために振當てられたのである。

五 人口の緩慢な増加

フランスの經濟發達の緩慢なことは人口の増加にも示された。フランスにとつて特徴的な現象は都市のプロレタリアートと農村の貧中農層の苛酷な物質的生活條件（低率の賃銀、恐るべき住宅條件）の影響を受けて出生率が低く死亡率が高いことである。

一八七一年から一九一一年に至る期間にフランスの人口は三百四十萬増加した（これはソヴェート同盟に於ける僅か一年の人口増加に等しい）。一九一三年に於てフランスでは人口各千人に對して一・五人増加した。しかるにドイツでは十二人であり、イギリスでは十人であつた。

二 戦後のフランス

一 工業の發達

戦争はフランスの國民經濟に一大變化を與へた。戰國がフランスの最も發達した工業地方の地域（ベルギー及びドイツとの國境）で行はれたから、その結果工業部門の著しい部分が國の中央部（パリ、リヨン、ボルドー、等々）に移つた。

ベルギー國境（主要な戦争地方）の主要な炭田を失つたフランスの工業は殘餘の第二義的な石炭産地を最高度に利用しつゝ、『白炭』の豊富な諸地方（アルプス山脈、ピレネー山脈及び中央高原）に移動しつゝある。この地方には戦時に金屬工業、化學工業、その他軍需品を生産する諸企業が建設されたのである。

戦争の結果フランスに合併されたアルサス及びロレーン（その冶金Ⅱ、化學Ⅱ及び纖維工業と共に）(34)、ザールの炭田（十五年間占領された）、破壊された諸地方を復興するため政府が工業に與へた巨額の資金(35)、賠償としてドイツの生産装置の提供は、フランス工業の戦後の發達とその技術的改造を促進し、そして世界最大の工業國の一つへフランスの轉化を促進した。途方もなく大規模の建設事業はフランス工業のため、特にその重工業部門のために消化力ある國內市場を造り出した。外國製工業競争品がこの市場に入ることには高率の關稅によつて許されなかつた。

(34) アルサスには紡績業の紡錘の二七%と組織の三三%、毛織工業の二五%、現代フランスの全加里工業が集中されてゐる。ロレーンでは鉄鐵の四〇%と鋼鐵の三七%とが生産され、フランスの全黑色金屬生産が行はれる。

(35) 破壊された地方を復興するため工業に與へられた資金の大部分は印刷機によつて作り出された。その結果フランスの減價はひどいものであつた。フラン減價によつて特に大打撃を受けたのは戦時に發行された内國債の主要な所有者である都市及び農村の小アルジョアであつた。フランスの内國債の所有者がフランスの減價によつて一千億フランも失ひ、この一千億フランは殆んど全部大銀行やあらゆる種類のコンツェルンや工業結合體の掌中にとり込んだことを考へて見よ。

戦前の時期にくらべてフランス工業の發達は次の表によつて示されてゐる（一九一三年を一〇〇とする）。

| 年 | 全工業 | 冶金 | 機械製作 | 建築 | 自動車 | 護謨 | 纖維 |
|------------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
| 一九一三年..... | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

二 戦後のフランス

一一八

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 一九一九年 | 一九二四年 | 一九二六年 | 一九二九年 | 一九一三年 | 一九二三年 |
| 元 | 齒 | 齒 | 三元 | 三元 | 三元 |
| 天 | 二五 | 二五 | 二七 | 二七 | 二七 |
| 一六 | 齒 | 二四 | 二五 | 二五 | 二五 |
| 四三 | — | 五三 | 六二 | 六二 | 六二 |
| 三五 | 五八 | 五九 | 六二 | 六二 | 六二 |
| 六 | 金 | 齒 | 六二 | 六二 | 六二 |

戦後のフランスの工業發達に照應して西ヨーロッパ諸國間のその比重が變化した。西ヨーロッパ諸國の全生産高に對する關係からするとフランスの生産高は次のやうに當つてゐた（比率で）。

| | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 鐵鑛 | 石炭 | 鉄鐵 | 銅鐵 | 機械製作 | 自動車工業 | 化學工業 |
| 一九一三年 | 一九一三年 | 一九一三年 | 一九一三年 | 一九一三年 | 一九一三年 | 一九一三年 |
| 三 | 八 | 一五 | 一五 | 一〇 | 三五 | 一五 |
| 六〇 | 一〇 | 二一 | 一〇 | 二〇 | 三五 | 二〇 |

若し戦前フランスが主として織維製品、奢侈品、等々を輸出し、機械、織機、金屬を輸入したとすれば、現在その輸出上大きい地位を占めてゐるのは黑色金屬、機械、自動車、化學工業生産物、等々の輸出である。

またフランスの工業輸出の發達を促進したのは、フランの低落、それと關聯して労働者の賃銀の引下げ（フラン紙幣

で計算される貨銀の増額はフランの減價に及ばなかつた。及び労働者階級の搾取の強化であつた。プロレタリアートの生活水準を引下げるためフランス資本は諸外國からの低廉な労働の輸入を廣く利用した。労働者はベルシヤ、イタリヤ、ベルギー、及びその他の諸國からフランスに渡來したのである。

二 石炭、『白炭』、石油

石炭について言へば戦前の時期と同様に依然として不足を告げてゐる。五千五百万噸まで増加したその採掘高も猛烈な擴張を遂げた工業の需要を充すことができない。國內で消費される石炭の四分の一以上は輸入に仰がなければならぬ。石炭の逼迫状態が依然として續けられてゐる理由は、領土を獲取したにも拘はらずフランスは自分の石炭貯藏高を殆んど増加しなかつたからである。

石炭の豊富なザール地方を十五年間併合したこともフランスの動力勸定上の状態を變化しなかつた。なぜといふに、この地方の石炭採掘高は同じ地域内に存在する工業によつて殆んど全部消費し盡されるからである。

石炭不足の補充はフランスの山岳地方の河川の水力（『白炭』）を利用することによつて行はれてゐる。この點でフランスはヨーロッパ第一位の一つを占めてをり、八百萬乃至一千萬馬力に當るその水力資源の三七%まで利用してゐる。水力を廣汎に利用するといふ基礎の上に、フランスは電氣化學工業（窒素、鹽素）、電氣冶金工業（精鋼）、アルミニウム工業、及びその他フランスの軍事力を強化する上で重要な意義を持つ工業の數多くの部門を發達したのである。

しかしフランスはその石炭需要の約四分ノ三はともかく自給自足してゐるが、國內の自動車數の増加や航空機の増加と共に特に増大しつゝある石油の消費は全く外國からの輸入に待つ外はない。フランス軍隊の強度の自動車化は戦時に巨大な分量の石油を要求するだらう。フランスのブルジョアジーは他の液體燃料（アルコールと混じたベンゾール、

褐炭精製の試み)の發見や固體燃料(瓦斯發生動力機)によつて動く自動運搬機の創造やに努力してゐるが、これなども石油不足がその原因である。しかしこれらの試みは成功しなかつた。そして石油の點ではフランスは全くイギリスとアメリカ合衆國とに依存してゐるのである。フランスに屬するモロッコの石油産地はまだ開發されてゐない。

石油供給の點でイギリス及びアメリカ合衆國への依存性から解放されやうと努めつゝフランスは多額の石油生産物をソヴェート同盟から購入してゐる。

三 生産の集積

フランス工業の戦後の發達は生産の集積と同時に没落した若しくはヨリ強力な競争者に併呑された中小企業數の減少とを随伴した。重工業では集積が特に高度に達した。資本の集積及び企業數の減少と關聯してフランスの資本主義的獨占の發達と強化とが行はれてゐる。先づ第一に指摘しなければならないのは、五十億フランといふ資本を統轄してゐる「鐵工業委員會」(コミテート・ド・フォルヂユ)である。この委員會は鑛山業及び冶金工業の資本家達を結合してゐるのであるが、機械製作や電機にその觸手を延して、縱斷的集積を惹き起し、それによつて強大な工業結合體を發生させてゐる。

今ではフランス工業の全部門に、即ち機械製作、電機、化學、纖維等々の工業に獨占結合體を見ることが出来る。生産の集積と大獨占體の發生とは産業資本と銀行資本との癒着を随伴した。こんなことは戦前には殆んど存在しなかつたのである。

工業が發達し、それが集積され、獨占體が発生し、また産業資本と銀行資本とが癒着したのでその結果、張りめぐらされた銀行網を通じて數十億の資金を統制するところの二三百人の銀行家や鋼鐵王や化學王や纖維王の少數の一團が、

「自由な民主的な」フランスの本當の政府に轉化することゝなつたのである。

四 農 業

工業と違つてフランスの戦後の農業は毫も振興されないばかりでなく、現在に至るまでも恐慌状態を脱してゐない。戦争はフランスから驚くべき多數の人間を要求した(戦争の終末にはフランスでは七百五十萬の人間が動員された)。戦争は大部分の人間をフランス農村から徴發した。同時に戦争はフランス農村から牽引力の著大な部分を奪つた。これだけではや、機械労働ではなく生きた労働力に基づく小農民經營を破壊したのである。

フランス農民が戦債に投じた殆んど全貯蓄はフラン減價の結果失はれてしまつた。この減價は紙幣の無制限な發行によつて戦後もなほブルジョアジーによつて盛に實行された。戦後強化された工業ブルジョアジーは獨占組織體中に結果して、農業に不利なやうな工業商品と農業商品との價格の開きを作つたのである。

フランス農民の状態は租税負擔によつて悪化されてゐる。國税はひつきりなしに増加し、一九二七年にそれは一九一三年よりもすでに三倍も高かつた。一九一三年に國税は農業總收入の七%に當つてゐたが、一九二七年にはすでに二一%であつた。特に地租及び農業所得税は貧農及び中農に重荷としてのしかゝつてゐる。

大地主はこの租税を小作人や消費者に轉嫁するが、小農民の上に租税は全重壓を以つてのしかゝつてゐる。

このやうな不利な状態の結果フランスの農民は負債に陥り、遂には自分の猫額の地を奪はれて都市に去るのである。土地は大地主の手に移る。今日ではフランスの全農業面積の四七%はこの大地主に屬してゐる。

それと共に、小經營は低廉なアメリカ穀物の競争に堪へ得ない。この競争の影響を受けて小麦(フランスの主要な穀物)の播種面積は減少してゐる。

小麦から解放された土地の一部は何も植付けられないで牧場の増加が行はれ、またそれに基づいて粗放的牧畜の若干の擴張が行はれてゐる。農業の衰退と戦ふためフランス政府は、一九二九年と一九三〇年に外國から輸入される穀物の關稅を引上げた。だがこの引上げによつて利益を受けたのは農村の資本主義的上層ばかりで、農民が穀物を買ふところの園藝及び葡萄栽培地方に於ける貧中農經營は打撃を受けたのだ。

五 經濟諸地方

(一) フランスで最も經濟的に發達した部分はパリ市を先頭とする北部地方である。この地方にはベルギー國境に近くフランス工業の大部分が、即ち金屬製作工業、織維工業、食糧品菓子製造工業が集中されてゐる。これらの工業はこの地方にフランスの主要な炭田が存在するのでこの地に引き付けられたのである。フランスの主要港であるルアーブル及びルアンは同時にまた金屬工業及び織維工業の大中心地である。

パリは特別な注意を要する。パリはフランスの首都で工業の最大中心であり、國の主要な鐵道連絡地點である。戦争の時この地に多數の企業、主として金屬製作企業が發生した。パリの金屬労働者だけの數でも、一九二一年には三十二萬六千人に等しかつた。だから………に於てパリは疑もなく指導的役割を勤めるだらう。パリはフランス帝國主義者たちの主要な兵器廠であつて、主として航空機、戰車、軍用自動車及び機關銃を製造してゐることを指摘しなければならない。

この地方の農業は技術的に最も發達し、ヨリ高度の集約性によつて他地方と異つてゐる。こゝには小麦、甜菜、亞麻及び葡萄の生産の大部分が集中されてゐる（葡萄生産はこの地方の東部、即ちシャンパン州、主要都市ランスに集中されてゐる）。

(二) 次の工業及び高度に發達した農業地方はアルサス・ロレーンをも含めた東北部である。この地方は何よりも先づ織績及び冶金工業地方であり、織維工業及び化學工業（鹽酸カリウム）も非常に發達してゐる。その耕地には、小麦、燕麥、煙草及び葡萄が栽培されてゐる。

(三) この地方以南には、ローヌ河上流及び中流地方が位置を占めてゐる。この地方の工業はセンチエヌヌ及びブルクルーゾ市の近傍に存在する石炭産地と水力とに頼つてゐるが、この工業はフランス帝國主義のよつて立つ基礎である。即ちルクルーゾの兵器工場（シュナイダー・クルーゾ）、センチエヌヌの銃器工場、リヨンの化學工場、金屬製作工場、織維、主として絹絲工場これである。この地方の農業の方向は小麦、葡萄及び生絲の生産である。

(四) 地中海沿岸及びローヌ河下流域。葡萄栽培、養蠶、機械の栽培、これら農産物の精製工業の主要地方である。この地方にはフランス最大の港マルセーユと主要な海軍根據地トゥロンが存在する。

(五) 西部にはガロンヌ河盆地地方が存在してゐる。この地方は小麦及び葡萄生産の點では第二で、玉蜀黍及び煙草採取の點では第一である。工業中心地はボルドー（葡萄酒醸造、金屬製作及び砂糖生産）及びツールーズ（化學及び織維工業）である。

(六) ガロンヌ河盆地の北に當る地方と北部地方以西に位する地方（ブルマンデー及びブルターニュ半島を含む）。牧草を良好に發育させる温暖な氣候を持つこの地方は酪業用家畜及び屠殺家畜の主要な飼育地に轉化した。その外この地方には園藝（林檎、梨）と漁業とが廣く普及してゐる。プレスト市は大西洋に於けるフランス帝國主義者の最大の海軍根據地であり、またローリエン及びシエルブルー市はルーマニヤ及びポルトガルに軍需品を供給する港である。

三 經濟恐慌

經濟恐慌はフランスに於ては他の諸國よりも遅れて（一九三〇年半ばから）爆發した。一九三〇年末、特に一九三一年初頭以來恐慌はフランス工業の殆んど全部門を把えた。例へば鉄鐵生産は一九三一年四月には一九三〇年四月に比べて一四%も減少し、石炭採掘は一九三一年四月には一九三〇年四月に比べて六%減少した。

恐慌と關聯して、戦後失業といふものを全く知らなかつたフランスは、一九三一年二月に六十五萬の完全失業者と百五十萬の部分的失業者を出した。

失業の増加はそれでもなくとも酷いフランス・プロレタリアートの状態を深刻化した。彼等の賃銀はまだ恐慌前に戦前の七〇——八〇%に當つてゐたのである。

一九三一年初頭は賃銀に對する企業家の全般的攻撃によつて特徴づけられてゐた。賃銀は一般に一〇——二五%切下げられたのである。北部地方だけでも賃銀減額に對する返答として一九三一年五月に十二萬五千人の織工が罷業を敢行したことを述べれば充分である。

四 フランス帝國主義

一 植民地政策

フランスは最大の植民地國家であつて、その植民地的屬領の大きさの點でたゞイギリスに劣るだけである。大きさから言へばフランスの植民地的屬領は面積の點で二十二倍、また人口の點で約一倍半本國を凌駕してゐる。フランス諸植民地

は千二百萬平方料に等しい面積を占め、六千萬人の人口を持つてゐる。そのうちで最も重要な植民地はモロッコ、アルゼリヤ、チュニス、西アフリカ、赤道アフリカ及びマダガスカル島である。アジアに於けるフランスの植民地はインドシナ半島の東半分とシリヤである。その外南アメリカにもフランスの植民地的屬領がある（佛領ギアナ）。

フランス諸植民地の經濟的價値はイギリス諸植民地に比べて著しく低い。なぜならばアフリカに於けるこれらの諸植民地の巨大な面積が沙漠（サハラ）地帯内に位してゐるからである。

しかしこれらのアフリカ諸植民地は、アフリカ大陸に於けるフランスの向後の擴張のための訓練場として、またアフリカに於けるイギリスの一層の擴張を防止する防塞として、フランスにとつて途方もなく大きい戰略上の意義を持つてゐる。（アフリカに於けるフランス及びイギリスの諸屬領がどんな地位を占めてゐるか政治的世界地圖を参照）。

フランスのアフリカ諸植民地はフランス軍隊のための生きた力の供給者としても同國にとつて途方もなく大きい意義を持つてゐる。帝國主義戰爭の時にはフランスのブルジョア階級は植民地から動員した幾十萬の兵士を戦線に送つた。

戦前には廣大なフランスの植民地も經濟上あまり利用されなかつた。だが今日ではフランス工業の擴張と關係して植民地は主として原料資源としてフランスのブルジョア階級にとつて大きい意義を持つてゐる。フランスのブルジョア階級は植民地的屬領がフランスの必要とする原料、そしてフランスが外國から輸入してゐるところの原料を與へることができるといふ事情を知つたのである。棉花はインドシナ、マダガスカル島、西アフリカ及び赤道アフリカに於て生産することができる。フランスの自動車工業が必要としてゐる彈性ゴムはインドシナ及び赤道アフリカで獲取できる。羊毛及び皮革は北アフリカ諸植民地、西アフリカ及びシリヤで獲取できる。最後に食料品即ち穀物、肉類及びその他は北アフリカ諸植民地が與へることができる。

今のところフランス諸植民地はフランスの必要な少量の原料しか與へてゐない。例へば、フランスの棉花需要はその植民地によつて二%、羊毛は六%、彈性ゴムは一八%充されてゐる。フランスの不足してゐる穀物は全輸入穀物の僅か一三%の分量しか植民地から輸入されてゐない。

自國植民地に於ける原料生産を擴張するためにフランスのブルジョアジーは土着民から土地收奪を行つてゐる。このフランス帝國主義者たちの政策は土着民の………造り出してゐる。………次のことによつても深刻化されてゐる。即ち土着民たちは戦略上の道路やその他の設備を建設するため強制的に仕事に就役させられてゐるのだ。これらの仕事に於ては土着民は………

赤道アフリカに於けるフランス帝國主義者たちの支配は、二十年前この國に住んでゐた一千萬の人間のうち現在そこに踏み止つてゐるのは僅か二百萬だといふ結果になつてゐる。

植民地の行政權は全くフランスの官吏の掌中に握られてゐる。

それであるから驚くに足らないことだが、フランス諸植民地には戦後………が認められなかつた年は一年もない(モロッコ、シリア、インドシナ………)。フランス帝國主義者は………を加へてゐる。しかし………諸方策にも拘はらず植民地の被壓迫民族は………中止しない。この點を物語つてゐるのはインドシナに於ける最近の事件である。この時には勞働者農民の………攻撃は廣汎な規模を取り、………。

二 對外政策

「現代のブルジョアのフランスは世界のあらゆる侵略的な………國家のうちで最も………國家であらう。同志スターリンのこの言葉は、資本主義世界の指導的諸國家群の間でその比重を高めたところの戦後のフランスを

非常に適切に特徴づけてゐる。ヨーロッパに於ける自分のヘゲモニーを確立しようと躍氣となつてゐる帝國主義フランスは、自分の從臣諸國家即ちその大部分が戦後に發生したところのヨーロッパの諸小國を利用してゐる。

全體系の條約によつてフランスと結び付いてゐるベルギー、ポーランド、ルーマニヤ、チェッコスロバキヤ及びユーゴスラビヤのやうな國家はヨーロッパ諸問題に對するフランスの政策の實行者である。

ヨーロッパ大陸に於ける自己の支配を確立しようとする帝國主義フランスの意圖はその經濟の變化と次のやうな事實とから發生してゐる。その事實とは即ちフランスが一九二九年以來再び戦前のやうに大資本輸出者たる役割を荷つて乗り出してゐることこれである。すでに一九三〇年九月末にはフランス銀行の金保有高は四百八十五億フランといふ巨額に達し、アメリカ合衆國の金保有高に劣るだけであつた。

フランスはその帝國主義的政策の途上に於て他の諸國家側からの、そしてどこよりも先づイギリス側からの對抗運動に遭遇してゐる。イギリスとフランスの鬭争は戦争終了後の今日にあつてもヨーロッパ、地中海等々に對する支配獲取のために行はれてゐる。

イギリスの對抗運動の外に、フランスはまたイタリアの對抗運動にも出くわしてゐる。ファシスト・イタリアはフランス・ブルジョアジの計畫から生ずるところの自己の從屬的役割を甘受しようと欲しない。植民地問題に關する伊佛對立は特に尖鋭化してゐる。イタリアは戦争の獲物を分配するに當つて不公平であつたと考へて、フランスの植民地、チュニス及びシリヤを自國に讓渡させようと目論んでをり、またフランス從臣國家ユーゴスラビヤが存在するバルカン半島に於て自己の支配權を確立しようと努力してゐる。兩國の成熟し切つた對立を「解決」するため………が猛烈に行はれてゐる。これと關聯して兩國は陸上に地中海に萬般の戦備を猛烈に整へてゐる。

現在フランスは、最新の戦争技術と最強力な空軍と最も強大な艦隊とを備へた世界で最も多数の軍隊を擁してゐる。

その軍需工業は自國軍隊の需要を充すだけでなく、殆んど世界全國に對する……である。しかしフランスのブルジョアジーは來るべき……於ては、これだけの製品では足りないだらうと考へてゐる。だからフランス

では「護國」法なるものが採擇された。これによると戦時には全國民經濟は軍需品製造のために作業しなければならずまた人民（男子及び女子）は動員され、そして誰一人手による労働を拒絶する權利はないのである（36）。

（36）「護國」法は「社會主義者」ポール・ボントールによつて起草され、議會を通過した。この法律は主としてフランスの労働者階級と、……その試みに對して向けられてゐる。このことは資本主義組織を擁護する社會ファシストの役割を一目して明瞭に示してゐる。

フランスのソヴェート同盟に對する關係は、帝政ロシアに百十億フラン投下したフランスのブルジョアジーが十月革命の瞬間以來その資本を失ひ、またロシアのブルジョアの地主としてその信頼すべき軍事的同盟者を失つたといふことによつて決定されてゐる。

フランスのブルジョアジーがソヴェート同盟に對して憎惡を抱いてゐるのは、ソヴェート同盟がたゞ……ゐるといふことだけでフランスの労働者……ゐるからである。

ソヴェートに對する攻撃準備はフランスが極度に熱心に行つてゐるところである。

練習課題

一、フランス農工業の微弱な發達と同時に莫大な資本蓄積とは何によつて説明されるか？

二、戦前に於けるフランスの資本輸出はどんな特徴的な特質を持つてゐたか？

- 三、フランスの現代工業の構造を戦前のそれにくらべるとどんな相違があるか？ またその變化の理由は如何？
- 四、戦後フランス工業の組織的形態にどんな變化が生じたか？
- 五、猛烈な反ソヴェート行動の道に添つてフランス帝國主義者たちを動かす根本原因を述べよ。



第四　ド　イ　ツ

地圖の研究

- 一、ドイツ首府——ベルリン。
- 二、主要工業都市——ベルリン、ケルン、ライプチヒ、ドレスデン、ミュンヘン、ニュールンベルヒ、アウグスブルグ、エツセン、デュイスブルグ、フランクフルト・アム・マイン、ブレスラウ。
最大の海港及び河港——ハンブルグ、ブレーメン、ステテン、リニューベック。
- 三、ドイツの主要な可航河川——ライン河、エルベ河、ウエーゼル河、オーデル河、ダニューブ河——の方向と、これらの河川を結ぶ運河體系を探索せよ。
- 四、鐵道網の稠密性と方向とを考察し、最も有名な鐵道連絡地を發見し、またドイツを通じて鐵道線によつてどんな國が結び付けられてゐるかを地圖によつて探索せよ。

一 資本主義の發達

ドイツは高度に發達した資本主義國であり、また資本主義に特徴的な生産の集積と獨占の支配とを持つ國である。それと共にドイツは世界資本主義體系の最も弱い部分の一つである。こゝでは戦後の……が戦後のドイツの特殊な諸條件（戰敗國）によつて深刻化されて特に鋭い形態を取つてゐる。尖鋭化された階級對立は……を造り出してゐる。資本主義ドイツは帝國主義の鎖の最も弱い一環であるが、……

| | | |
|---------|-------|-------|
| | 一八九〇年 | 一九一一年 |
| ドイ ツ | 七・九 | 一一・四 |
| イギ、リス | 一〇・三 | 二二・〇 |
| フ ラ ン ス | 七・〇 | 九・三 |
| アメリカ合衆國 | 三・〇 | 四・三 |

國の工業生活の發達は輸出の構成に示されてゐた。以前は主として農産物——穀物、皮革、亞麻、等々を輸出してゐたが、十九世紀の後半以來ドイツは工業製品の大輸出者として世界市場に乗り出した。一八九六年から一九一〇年までにドイツの工業輸出は一二三%も増加した。だがイギリスは六一%であつた。工業製品の輸出は全ドイツ輸出の六五%に當つてゐた。外國貿易は一八八〇年から一九一三年までに四倍も増加し、貿易高の點でイギリスに劣るだけであつた。

その商船隊は五百二十萬容積噸を持ち、世界第二位を占めてゐた。すでに十九世紀の八十年代以來ドイツには帝國主義國家の諸性質がますますはつきり認められ、また後にそれは急速に發達するに至つた。獨占結合體（トラスト、カルテル及びシンヂケート）の形成が行はれ、經濟上銀行の役割は増大し、銀行は國の經濟及び政治生活上指導原理となつたのである(37)。十九世紀の末にドイツは指導的帝國主義國家に轉化した。

(37) それで、殆んど四十億マルクの預金を擁する九行のドイツ最大銀行がその掌中に國の全預金の半額(百億マルクのうち五十億マルク)をかき集めてゐた。

二 植民地獲取闘争

自國市場の枠内では發達しつゝある資本主義は満足することができなかつた。そこでドイツ工業の生産物はヨーロッパのあらゆる國々の市場に充満したのである（輸出高の七七・一％はヨーロッパに向けられた）。

しかし嵐の如く發展しつゝあるドイツ資本主義は新たな販賣市場及び過剩資本投下市場、さらにまた工業のための原料資源に對する要求をますます痛切に感じた。これはドイツを植民地獲取の道へ追ひやつた。ところがドイツが帝國主義國として乗り出した瞬間には、地球上の最も重要な領域はすでに皆舊帝國主義諸國（イギリス、フランス、オランダ、ベルギー、等々）の間に分割されてゐた。獲取されずに残つてゐたのはたゞ太平洋の諸島とアフリカの大陸内部の諸領土（東アフリカ）だけであつた。新興ドイツ帝國主義も亦その地點に向つた。ドイツはアフリカ大陸の東部と中央部に廣大な面積を獲取し、ポリネシア群島の諸島——マーシャル諸島、サモア諸島（一部）、カロリン諸島、及びマリヤナ諸島（後者はイスバニヤから買収した）を獲取した。その外一八九八年には他の帝國主義諸國と共に支那分割に参加してドイツは膠州灣を（「長期租借」で）獲取し、かくて鐵道線を自國の勢力範圍に引入れ、山東省の自然的富源（鐵礦、等々）を採掘しようとする目論んだ。このやうに二十世紀初頭には面積の點で相當廣大な植民地をドイツは所有した（三百萬平方呎、人口千二百萬人）。けれども植民地所有による經濟的效果は僅かなものであつた。一九一二年にドイツと諸植民地との貿易はその全外國貿易高の〇・〇一％以下に當り、對植民地輸出はその輸出高の〇・五％に當つてをり百六十億乃至百八十億マルクの對外投資のうちアフリカ諸植民地に割當つてゐたのは僅かに十三億マルクであつた。植民地の原料可能性も亦ドイツを全く保證しなかつた。即ち植民地は消費彈性ゴムの約一〇％、棉花の僅か〇・五％等々を與へたに過ぎない。だから植民地は或る意味では單に豫定されてゐる一層の帝國主義的獲取のための足場に過ぎなかつた（アフリカの植民地は獨領中央アフリカを作るための足場である）。戦前の世界分割地圖を参照せよ。

だが自國生産物の販賣及び資本投下のための市場として利用する意味でドイツのために大きい重要性を持つてゐたのは近東の諸國、特にトルコであつた。

トルコ侵入（借款、銀行、鐵道利權讓渡の形態で）は極めて成功裡に行はれた。トルコに投下されたドイツの資金は約十億マルク（トルコの債權者のうちで第二位）に當つてゐた。トルコ鐵道の著大な部分はドイツ資本家の掌中に移つた。しかしドイツが一九〇三年にトルコからバグダード鐵道敷設の利權讓渡を獲取した時その政策は印度に於けるイギリスの支配權に對する直接の脅威となつた。このバグダード鐵道はベルリンの幹線をコンスタンチノブルを通じてベルシャ灣に結合し、かくて石油を産出するメソポタミヤと印度とに對するドイツの侵入に端緒を與へる筈であつたのである（38）。

（38）ドイツのトルコ及びメソポタミヤ侵入の目的はまた、ドイツ工業のため農産補充國を作ることであつた。なぜならばトルコとメソポタミヤは農産が發達してゐるのでドイツに食料品（穀物）及び棉花を供給することができるからである。

しかしドイツの勢力範圍は近東やその植民地に限られてゐたのではない。ドイツの資本（商品及び銀行として）はあらゆる國々に侵入した。南アメリカ、日本、支那、ベルシヤ、エジプトではドイツ商品はイギリス及びフランス商品と競争して市場に充満した。そしてイギリス諸植民地の市場に於てすらドイツ商品はイギリス商品を驅逐したのである。その外、急速に増大するドイツの船舶もイギリスの脅威となつた。

三 ドイツ帝國主義の外的對立

世界市場、特に近東に於ける和解し難い對立はドイツとイギリスとの間に異常に緊張した關係を造り出した。また獨佛關係は、主として國境に接した地方の礦物及び石炭（フランスの礦物、ドイツの石炭）に對するドイツ及び

フランスの重工業間の執拗な獲取闘争を土臺として尖鋭化された。この礦物と石炭とを結合することがドイツ工業に取つてもフランス工業にとつても垂涎三尺物であつたのである。

諸對立の國際的結び目がますます強く緊張して行くその不可避的結果は一九一四—一九一八年の帝國主義戦争であつた。この戦争は世界資本主義の諸力の新たな再編成を招來した。

四 ドイツにとつての戦争の結果

一九一四—一九一八年の世界戦争に於てドイツ帝國主義は一敗地に塗れた。その經濟力は著しく殺がれた。ドイツは一切の植民地を奪はれた。それらの諸植民地はイギリス、フランス、ベルギー………の手にもぎ取られてしまつた。その外フランスやポーランドやその他の諸國家によつてドイツの領土の一部が奪取された。フランスはエルザスロートリンゲンとザール炭田とをもぎ取つた。ドイツにとつて特に苦痛だつたのはロートリンゲンの豊富な鐵を失つたことである。なぜといふにすでに戦前にドイツは自國産鐵鑛だけでは不足を告げて、それをスイスやフランスから輸入してゐたからである。今や主要な鐵鑛地域を失つて外國へ依存する度合が増加した。

東部に於ては石炭工業、冶金工業、亞鉛工業及び加里工業を持つ上部シレシヤの著大な部分、ポーゼン、及びプロシヤの一部（主要穀物地域）がポーランドの手に移つた。ポーランドの海洋への出口のために所謂「ポーランド廻廊地帯」が形成された。後者はドイツの領土的統一を破壊し、同國から東プロシヤを引離した。

結局世界戦争の結果ドイツは次のものを失つた。

鐵鑛……………埋藏高の七五%

鉄……………生産高の四三・八%

| | | |
|---|----|-----------|
| 鋼 | 鐵 | 生産高の三五・二% |
| 石 | 炭 | 採掘高の二九・三% |
| 加 | 里 | 同 二五% |
| 錫 | 及び | 鉛 |
| 同 | 同 | 五〇% |

その上、「戦争に基因する損害」を補償するためドイツはその殆んど全船舶（五百萬噸のうち四百五十萬噸）、現役鐵道車輛の著大な數量（約五千臺の機關車と十三萬臺の車輛）を聯合國に讓渡し、またヴェルサイユ條約によつて決定された賠償金を毎年支拂はなければならなかつた。

「.....」。この危機はドイツ經濟にその最もくつきりとした表現を見出した。猛烈な經濟恐慌は同國に於ける.....異常な尖鋭化を招來し、それはプロレタリアート.....まで成長した（パウリヤに於ける.....、一九一九年に於けるベルリン.....、一九二三年に於ける.....）。

ドイツ・プロレタリアート.....はブルジョアジー側の猛烈な反動を惹き起した。ドイツのブルジョアジーは社會民主主義者（ノスケ、シャイデマン、等々）の手によつて.....に彈壓を加へた。西ヨーロッパの大資本主義國の一つにプロレタリアート.....されるといふ脅威は世界のブルジョアジーにドイツ資本主義經濟を復興させる方法を取らせざるを得なくした。世界帝國主義者たちは所謂ドウズ案を作成し、且採用した。ドウズ案は一九二九年にヤング案によつて取り代へられた。

五 ヤング案

ヤング案は賠償義務(千三百二十億)を確定した。ドイツはこの賠償義務を五十八ヶ年間に支拂はなければならぬ。賠償金支拂は多少とも安定のある經濟状態が存在して初めて可能であることは言ふまでもない。ドイツ資本主義の一時の相對的安定化は、ドウズ案及びヤング案によつてドイツ・ブルジョアジーに與へられたアメリカの信用の助けを借りて達成された。ドウズ案及びヤング案の結果アメリカのブルジョアジーはその手にドイツの最も重要な企業を獲取した。

一九二四年から一九二九年に至る期間にドイツのブルジョアジーは百五十五億マルクの外國信用を獲取した。この外國信用はドイツ工業の復興と資本主義的合理化のために必要だったのである。工業の資本主義的合理化は技術的改良によるといふよりは寧ろプロレタリアートの………つて行はれるのであるが、この合理化はブルジョアジーに賠償金支拂のため八十五億マルクを追加的に労働者から搾り出す可能性を與へた。

このやうに、ドイツのプロレタリアートは二重の搾取——自國資本と外國資本——の重荷を背負つてゐる。………によつてドイツの資本家たちは(賠償金)支拂のため自國に必要な資金をたゞき出さうと欲してゐる。賠償金はブルジョアジーをしてプロレタリアートに對する攻撃に力を注ぐべく餘儀なくし、………深刻化してをり、そして「資本主義ドイツにとつては………前代未聞の加速度化」を意味してゐる。

二 ドイツの國民經濟

經濟の性質から言つてドイツは高度に發達した農業を持つ工業國である。

ドイツの急速な工業化過程は都市人口の増加にその表現を見出してゐる。そこで若し一八八〇年に都市に住んでゐた

者が人口の三九%であつたとすれば、一九二五年には都市人口は六四%にまで増加した。

國の工業的性質は人口の職業的構成に關する統計からも看取される。ドイツの獨立人口三千五百萬人（即ち全人口の五三%）のうち工業に従事してゐる者は四一・三%、交通及び商業に従事する者一六・九%で、農業に従事する者は僅か二三%であつた。

ドイツの總輸出に於て工業製品（機械、織物、染料、電氣製品、等々）の占める割合は一九二八年に七二%であつた。しかるに同國への輸入の五分ノ四は原料品、半製品、及び食料品（纖維工業のための原料品、絲、金屬、穀物、等々）から成り立つてゐる。

一 礦物資源

ドイツ工業の發達は著しく礦物資源の大貯藏の存在に基づいてゐた。ドイツの主要な礦物産地は國の中央山岳地方に存在してゐる。こゝにはドイツの最も重要な石炭地域、即ちライン河の流域ルール地方に位するルール炭田が存在してをり、この地方には國の石炭埋藏高の六〇%が埋藏されてゐる（石炭探掘高の七五%以上を與へる）。

次に上部シレジャ地方に石炭が存在する（39）。サクソニヤには國の主要な褐炭貯藏がある。

（39）この著大な部分は現在ではポーランドにもぎ取られてゐる。その外ザール炭田（西部）を述べなければならぬ。この炭田はケメルサイニ條約に従つて一九三四年までフランスが使用するために譲渡された。

有用礦物の埋藏高の點でドイツはヨーロッパ諸國のうちで首位を占めてゐる。

石炭とは反對に鐵礦埋藏量は少い。戦前に於てもドイツは自國の鐵礦では不足してゐたが、ロートリンゲンを失つた結果今日ではドイツはその鐵礦に對する全需要を外國からの輸入によつて充してゐる。自國の鐵礦産地のうちで最も大

きい意義を持つてゐるのは國の西部に於ける産地である。

ドイツの中央部にはまた豊富な加里鹽（農業に於て肥料として使用される）の産地がある。サクソニヤ（スタツスフルト市）、チューリンゲンの西部及びハンノフェル地方に最大の採掘場がある。

ドイツの北部には殆んど礦物はない。但し莫大な面積の泥炭及び褐炭産地はある。

國の南部も亦礦物は比較的貧弱である。だがアルプ山脈の支脈が走つてゐる南ドイツの起伏の多い土地の山岳的性質は、水力發電所を建設するために河川の水力を利用する可能性を與へてゐる。事實バワリヤ（國の南部）はドイツに於て最も大きい水力資源を持つてゐる。

水力の利用の點でドイツはヨーロッパ諸國家のうちで第一列に連つてをり(40)、水力資源（能力二百萬馬力）の一〇%を利用してゐる。

(40) スイス、イタリヤ、フランス及びノルウエーに次ぐ。

二 主要な工業部門

ドイツ工業の最大の部門は金屬工業であつて、この金屬工業は各種の動力機、一切の機械、等々を生産する。金屬工業の製品はドイツの全對外輸出の約四分の一を占めてゐる。同工業に従事する労働者は二百五十萬に達してゐる。

また大きい意義を持つてゐたのは化學工業で、この工業は仕事の上で主として地方的原料、即ち産出される加里鹽及び色々な種類の有用礦物に頼つてゐる。ドイツの染料及び藥品は世界市場で有名な地位を占めてゐる。

電機工業も亦大きい意義を持つてゐる。この工業の生産はすでに一九二七年にイギリス及びフランスを一しよにした生産高を一五%も凌駕してゐた。

その他の部門のうちで發達してゐるのは纖維工業、即ち紡績業及び毛織工業である。だが殆んど専ら輸入原料に頼つてゐる人絹生産や食料品、特に醸造業、及び甜菜糖生産（この點でドイツは世界第一）も發達してゐる。

三 資本の集積

ドイツ工業の特殊性はその集積、つまり大規模企業の制覇の度合が高度なことである。一九二五年に於て國の全生産の約五五％は諸大企業に割當つてゐた。小企業の總生産高に於ける比重は小さく、逐年小企業は諸大企業によつて驅逐されてゐる。

「數百萬噸の石炭採掘高を持つ大石炭會社、次にこれと密接に關係してゐる大鋼鐵工場。これらの諸巨大企業は年に四十萬噸の鋼鐵を生産し、鐵鑄及び石炭を途方もなく採掘し、鋼鐵から完成品を生産し、工場村の掘立小屋に住む數萬の労働者を持ち、屢々自分の鐵道を持つてゐるのであるが、これぞドイツ製鋼工業の典型的代表者である」（レイン）「帝國主義」、邦譯岩波版、二六頁。

このことは金屬工業について言へるばかりでなく、電機工業にも化學工業にも、またその他の工業部門にも言へるのである。

その上、工業は高度の技術的水準によつて特徴づけられてゐる。その企業の生産能力の點でドイツはアメリカ合衆國と共に世界のあらゆる國々の先頭に立つてゐる（41）。例へば鼓風爐の生産能力は戰前の百五十三噸から一九二七年の二百七十三噸に高められ、コークス爐は一九一三年の百四十萬噸から一九二八年の二百萬噸に高められた、等々。生産機械化の高度の指標が金屬工業及びその他のドイツ工業部門の特徴である。

（41） 技術的改造はそれだけでなく帝國主義戰爭によつて疲弊したドイツの勤勞人口を犠牲にして行はれた。この勤勞人口の用

に「資本主義は損害の物質的結果を轉嫁することができた」のである。つまりドイツ工業の技術的改造は一九一九—一九二三年の時期に、即ち激落するドイツのマルクが労働力をヨリ一層低廉にした時期に特に急速なテンポで行はれた。ブルジョアは勤勞者に低落する貨幣で支拂ひつゝ本當の價値物（工業製品）を受取り、そして新しい技術の基礎の上に自己の企業を改造したのである。

工業の生産能力は二つの方法によつて増大されてゐる。即ち生産の集積と機械化によつて、だが主として労働者の搾取を前代未聞の規模にまで導いたところの資本主義的合理化によつて。そこでルールに於ける石炭採掘高は労働者數の減少にも拘はらず戦前に比べて三六%も高められた。ドイツの機械製作工業に於ては資本主義的合理化の結果労働の生産性は一九二四年から一九二七年の間に六二%も増加した。

高度の技術、だが主として労働者の最も猛烈な搾取は、ドイツ資本に生産を戦前水準以上に高める可能性を與へた。しかし生産が増加したにも拘はらず企業の可能的能力は事實上全幅的には利用されてゐない。

實際ドイツに於ては莫大な生産能力と、世界市場に於ける激烈な競争及び（労働者の生活水準の低下と増大する失業の結果として）國內市場の狭隘化の結果としての限られた販賣可能性との間の開きは極度に擴大された。このことは工業の僅少な操業率となつて現れてゐる。企業の平均操業率は僅かに六〇%に達し、しかも幾多の部門に於てはもつと低率なのだ。

ますます膨大な労働者大衆を生産から驅逐し、それだけでなくも巨大な失業者軍をさらに増加してゐる結果、國內市場は狭隘を告げ、事態は一層惡化してゐる。

最近の數年、特に一九三〇—一九三二年には全工業部門に亘る一層の生産減退と失業者數の増加が見受けられる。こ

のことはブルジョアジーが躍氣となつてゐるにも拘はらず、世界の資本主義經濟を備ましてゐる諸矛盾を解決することができないことをまたもや證明してゐる。

四 ドイツ農業の狀態

農業は國の經濟生活に於ける比重の點で工業に著しく劣つてゐる。

ドイツの自然的條件は農業にあまり有利でない。氣候の點でドイツは他の地中海諸國に近い(年平均七・九度)。しかし國の東部は西部よりも變化多く(振幅は二〇—二二度)、乾燥してゐる。最も溫暖な地方は南西部(ライン上流に添ふ平野)で、こゝには園藝と葡萄栽培とが廣く發達してゐる。

ドイツは豊度の低い土地を持つ北ポドソル地帯内に位してゐる。しかも北ドイツのやうな二三の地方では、砂利や沼があるため、あまり優良でない地質を持つ土地が一層劣悪化されてゐる。しかし物理的性質から言へば不利な土地も化學肥料を廣く使用するおかげで多大の收穫を與へてゐる。

ドイツの主要な農業地方は國の北半分(平野)である。北部の平野、特に東部には穀物主としてライ麥の播種が廣く發達してゐる(ライ麥の分け前は播種面積の半分に當つてゐる)。ライ麥收穫の點でドイツはソヴェート同盟に次いで世界第二位を占めてゐる。

シレジャでは穀物の播種になほ蕎麥が附け加はる。サクソニヤ及びライン・ウエストファレン地方に於ても亦蕎麥が多量に生産される。

同地方はまた馬鈴薯播種にも適してゐる。この馬鈴薯はドイツの勤勞人口のため主要な食料品であり、さらにまた工業の原料品及び家畜の飼料として利用される。馬鈴薯生産の點でドイツはヨーロッパのあらゆる國家を凌駕してゐる。

牧畜は南ドイツの山岳地方、北部及び西北部、また大工業中心地近傍に普及してゐる（都市人口に酪製品を供給する）。特に發達してゐるのは食料品工業の廢物と外國から輸入された飼料とを基礎とする養豚業である。その外、食料品工業の廢物に基づいてシレジヤ、東プロシヤ及びサクソニヤにも養豚業が發達してゐる。

ドイツの農産物はその大麥及び小麥需要の六〇%、燕麥、馬鈴薯及びライ麥需要の九七—九八%まで、肉類の殆んど一〇〇%を充してをり、また酪菜は多量に輸出されさへしてゐる。

不足な食料品、さらにまた工業のための原料品はこれを輸入に仰がなければならぬ。農業にとつて特徴的なのは高度の集約性である。即ち人造肥料（加里鹽、磷酸鹽、窒素、等々）が廣く使用され、耕作技術が高く、耕作及び刈取のために農業用機械が多數使用されてゐる。

ドイツ農業の資本主義的性質については雇傭労働の廣汎な使用によつて判斷することができる。すでに一九〇七年には農業労働者は農業に従事する人間の總數千五百萬のうち四百五十萬人と數へられた。

土地の著大な部分は大地主と富農的上層に屬してゐる。一方殘餘の農民大衆は猶額の地片の上で半ば飢餓的な生活をしてゐる。

過去に於ては封建的大土地所有の發達がドイツにとつて特徴的なことであつた。大資本主義的地主經營の發達のため前提是商品關係の發達、だが主として農民の解放（一八四八年）であつた。農民解放の時には地主たちは巨額の買取り支拂金を受取り、そして以前の農民の分割地をふんだくつて自分の所有地を膨脹させたのである（「解放」後農民は以前の分割地の二分ノ一乃至三分ノ一を受取つた）。

ドイツ農業に於けるその後の資本主義の發達は巨大な農民大衆の没落と土地からの驅逐、雇役農の増加及び廣汎に雇

備労働者を使用し且機械の助けを借りて自己の經營を營むところの地主（プロシヤ地主貴族^{ユンゲン}）の掌中への一層の土地集積を伴つた。

五 農民の分化

資本主義的諸關係の發達に影響されて農民自身の間にも分化が行はれた。即ち一方には半ば没落した若しくは没落してしまつた農民經營の巨大な大衆がますます集中され、他方には富農的上層が派生してゐる。彼等の利益は地主と資本主義的土地貴族の意向と一致してゐる。

全農業面積の殆んど半分（四六・六%）は一萬九千の地主と二十萬の富農（全經營の一四%）の掌中に握られてゐる。しかるに殘餘の大衆（約五百萬の農民經營）に割當つてゐるのは僅かに殘餘の土地である。農民の著大な部分（三百萬）は一ヘクター以下の土地を持つてゐる。

大地的土地所有の主要な地方はプロシヤ、特にその東部及びシレシヤである。こゝでは巨大な領地の上でプロシヤ及びシレシヤの地主が雇傭労働を廣く使用しつゝ自己の經營を營んでゐる。

殘餘のドイツでは（主として西北部及び南部では）農民經營が壓倒的である。だがこの地方でも土地の著大な部分は農民の富農的上層の掌中に握られてをり、巨大な農民大衆は最も零細な土地（一乃至五ヘクター）を持つてゐる。そして經營に資本（機械、購入肥料、等々として）を投下する可能性を持たないで貧窮してをり、仕事に雇はれて自己の生活を支へ、これによつて巨大な雇傭農軍と都市プロレタリア軍をいやが上にも増加させてゐる。

六 農業恐慌

ドイツの農業は最近數年の間に荒れ狂ふ恐慌地帯に踏みこんだ。農業恐慌は農産物の價格激落に、過剰生産（販賣不

能から)に、播種面積の縮小に、また地主、主として最貧農の増大する没落に、現はれた。この最貧農は土地立退きを餘儀なくされ、都市の失業者軍を補充してゐる。

不況及び恐慌の結果主として小土地所有者の競賣による強制土地賣却が増加された。この結果はますます増大する土地所有の集積である(地片が擴大されるために地片数は減少してゐる)。一九二七年には一地片當り平均約十五ヘクタールであつたが、一九二九年にはすでに二・一・五ヘクタールとなつた。一九二九年第一四半期には全賣却地の五〇%までは小地片(二ヘクタール以下)であつた。農民の状態が特にひどいのはドイツの地主資本主義的經營の主たる地方即ち東プロシヤである。

七 交 通

工業生活の發達は交通路の發達を條件づけた。實際鐵道網の延長(五萬七千軒)の點でドイツはたゞアメリカ合衆國とソヴェート同盟に劣るだけである。(鐵道)網の稠密性の點でも第三位を占め、ベルギー及びイギリスに劣る。ヨーロッパの最も重要な鐵道幹線はドイツを通過してゐる。

その上ドイツは素晴らしい水路を持つてゐる。國の重要河川は皆航行可能で、また公海に注いでゐる。可航路の全延長は一萬二千軒で、この數のうち二千軒は運河に當つてゐる。殆んどすべてのドイツの河川はこの運河によつて相互に結び付けられてゐる。

戦前ドイツは強大な船舶を所有してゐた。だが戦後は殆んど全船舶が彼の手から奪はれてしまつた。現在ドイツの船舶はその數量(三百二十萬噸)の點で戦前より少い。だがドイツの船舶が他國に優越してゐる點は技術、組織が最新で航行速度が早く、船齡が若いことである。ドイツ船舶の約四〇%は船齡五年以下である。世界の船舶のうちでこの船齡

を持つてゐるのは全船舶の一六・五%である。

航空は非常に發達した。ドイツには定期航空路が五十六もある。

八 經濟地方

一、西部工業地方(ライン河流域)。重工業の主要地方、ドイツの鑛山業、製鋼業、製鐵業の中心地で、ルールの豊富な石炭産地に發生し且發達し、またロートリンゲンの鐵鑛と關係を持つところの極めて大規模の工業企業が存在する。同地方の全工業労働者の三〇・四%は鑛山業及び金屬工業に割當てられてゐる。同地方の西部及び北部には纖維工業、さらにまた化學工業(石炭のコークス化に基く)が分布してゐる。同地方では農産物を輸入してゐる。石炭工業及び金屬工業の主要な工業中心地はドルトムント、エッセン(全世界の資本家に武器を供給するところの有名なクルップ工場がある)、ルール港(ルール地方のために役立つ港)を持つチェイスブルグ、チェッセルドルフ、ゾーリンゲンである。この地方に特徴的なのは諸都市の「巢」といふことである。こゝでは屢々數多くの諸都市がかたまつて一つの巨大な工場都市を形成してゐる。

二、サクソニヤ・チュリンゲン地方。この地方はドイツの製造工業の最も重要な中心地である。こゝには非常に多種多様な工業部門が存在する。首位を占めてゐるのはあらゆる種類の纖維工業で、これは全工業労働者の二三・三%を抱擁してゐる。金屬製作工業が非常に廣く發達してゐる。この工業はドイツの工場企業のため各種の機械を製造してゐる。特に織機製作が盛である。

原料の存在、主としてスタッスフルト市に於ける多くの加里及びその他の鹽産地はこの地方に大化學工業の發達を可能にした。また同地方の農業では蕎麥播種が廣く普及してゐるから、製糖工業も著大な規模に達してゐる(砂糖生産

の點でこの地方——マクデブルグ近傍——はドイツ第一位を占めてゐる。

同地方の中心地ライプチヒ市は織維工業、金屬精鍊企業及び書籍出版業によつて名高い。織維工業及び金屬製作工業の中心地はケムニツ、ドレスデン、ツウイカウ、等々である。

三、シレジア地方。鑛山業及び金屬工業の第二の地方である。同地方の南部では石炭工業と冶金工業とが歴史的である。尤も冶金工業の隆盛な發達はこゝでは鐵鑛不足によつてさまたげられてゐる。また鐵鑛の運搬はオーデル河が航行不能のため比較的高いものにつく。同地方の殘餘の部分では製造工業の各種の部門——織維工業、食料品工業（特にブレスラウ市附近の製糖工業）、及び硝子生産が發達してゐる。農業、特に穀作物及び甜菜栽培は著しく發達してゐる。シレジア地方の經濟は、同地方の一部分がポーランドに奪はれてゐるために統一を缺いてゐる（帝國主義戰爭後）。國境はドイツから石炭産地の大部分と殆んど全金屬とを切り取るやうに定められた。その上、國境は發電所とその配給を受けける諸企業とを分離し——一方はドイツの領土に残り、他方はポーランドに譲渡された——、鐵道、水道、電線、等々を切斷した。

四、北ドイツ地方。主要な穀物生産者である。この場合農業は同地方の東半に壓倒的であるが、同時に西部では専ら牧畜が發達してゐる（良好な牧草の存在、飼料運搬の可能性、工業都市に於ける販賣の可能性）。農業はくつきりと浮び出た資本主義的性質を帯びてゐる。同地方の東半は大資本主義的地主的土地所有の中心地である。

同地方には鑛物が貧弱である。工業の發達は僅かで、食料品工業が最も發達してゐる（地方的原料によつてアルコール製造、製粉、等々）。たゞ諸大都市をめぐる個々の工業地帯は例外である。同地方の中心地で、それと共にまたドイツの中心地は世界最大都市の一つベルリンである。ベルリンとその郊外には金屬工業、電機工業、被服工業、及びその他

幾多の工業が廣く發達してゐる。ベルリンは鐵道中心地であつて、世界の隅々から鐵道線がこゝを目掛けて走つて來てゐる。ベルリンの外に、北ドイツの工業地帯は海岸の諸都市であつて、その一部はまたハンブルグやブレーメンのやうに世界の港である。こゝでは輸入原料に基きゴム工業が發達してをり、海洋に面してゐることが造船業の發達を條件づけてゐる。

五、南部（バワリヤ及びライン河上流地域）はまた農業が壓倒的な地方である。穀物——燕麥、特に大麥——の播種が著しい。バワリヤの製粉業はこの穀物によつて發達したのである。同地方の西部——ライン流域——には葡萄栽培、園藝、煙草及びホップ（ドイツ全生産の八〇%を占める）の栽培が廣く發達してゐる。農業の性質から言つてこの地方は富農經營が主である。

山岳地方には牧畜（自然的牧場による）が發達してゐる。工業は第二義的地位を占めてゐる。地方的原料によつて食料品Ⅱ及び製材工業が作業してゐる。西部には纖維工業及び金屬工業が發達してゐる。同地方の主要都市ミュンヘンには金屬Ⅱ、製粉Ⅱ及び製紙工業が發達してゐる。その他の中心地のうちでスツットガルト、アウグスブルグ、ニュールンベルヒを指摘しなければならぬ。

南ドイツ工業の基礎として役立つてゐるのは莫大な水力資源である。同地方は礦物が豊富でないから、工業も亦主として電化の基礎の上に存在してゐるのである。

このやうに、ドイツの最大の工業地方は西部及び中央部（サクソニヤ—チューリンゲン）である。これらの諸地方にはまたドイツのプロレタリアートの主要な大衆が集中されてゐる。

九 プロレタリアートの地理的分布

労働者階級の地理的分布は………戦路上大きな重要性を持つてゐる。吾々は次のことを知る。即ちドイツの最も稠密な労働者地方は西部、中央部、及び北部の大工業都市（ベルリン、ハンブルグ、等々）をめぐる個々の地帯であり、またシレジア及び南ドイツ地方の諸地域にも尨大なプロレタリア軍が存在する。

ドイツは高度に發達した資本主義國として尨大なプロレタリア軍を持つてゐる。労働者階級の数は千五百萬を越え、そのうち工業労働者は千百萬人に達する。

ドイツ・プロレタリアート………中心地はまさに上述の諸地方である。ルール地方の鑛夫の運動、ハンブルグ………、ルール地方の建築労働者のストライキ、一九三〇年に於けるベルリン………、等々だけでも想起せよ。

ドイツ………として特にベルリンとその數萬のプロレタリア軍を指摘しなければならない。ベルリンは「ドイツ・ベルリンでは三票のうち一票は………れたのだ。

戦後ドイツ經濟が見舞れてゐる恐慌状態は、ますます悪化する労働者階級の状態と相俟つてプロレタリアートの………間断なき成熟を呼び起してゐる。この波は世界經濟恐慌の爆發と關聯して最近は特に膨湃としてゐる。この世界經濟恐慌はドイツの資本主義經濟に大打撃を與へ、そしてドイツに於ける資本主義………成熟とを呼び起した。

三 經濟恐慌とプロレタリアート

ドイツに於ける世界經濟恐慌出現の特別な力は、戦後のドイツ經濟の諸條件のあらゆる結合によつて説明される。これらの諸條件は、何よりも先づ、プロレタリアート及び勤勞農民の收入の莫大な部分を引去るところの賠償金支拂と外國資本に對する毎年の利拂との必要性、及び國內市場の狹隘性と外國市場に於ける激甚な競争（世界恐慌と關聯して）の結果として工業裝置の高度の生産能力と販賣可能性との間の鋭い不均衡に歸着する。

現在では經濟恐慌はドイツ經濟生活の全面を把へた。工業に於て恐慌は、何よりも先づ生産の激減に示されてゐる。例へば、一九二九年十月から一九三一年三月までにドイツの全工業生産は三二%減少した。個々の部門についての減少はもつとひどい。例へば、製鐵業では生産の縮小が四五%であつた。

工業の生産能力は僅か五〇%しか利用されてをらず、自動車製作のやうな幾多の部分では三〇%以下にも低下した。生産減退は不健全な企業の大衆的破産を惹起し、これらの諸企業は大獨占結合體の掌中に移り（集積過程を促進しつつ）、またそれでもなくとも急増しつつある失業をさらに増加させてゐる。

工業恐慌は世界農業恐慌と關聯して極度に深刻な形態を取つたところの農業恐慌ともつれ合つてゐる。世界農業恐慌はドイツの農産物の價格をも低落させてゐる。例へば、外國穀物の價格はドイツのそれに比べると次のやうに現はされる（單位疋當りマルク）。

ドイツ・ライ麥……………一五・七
ポーランド・ライ麥……………八・五

ドイツ小麥……………一四・三
カナダ小麥……………一八・七

見る通り、ポーランドのライ麥はドイツのそれよりも二倍も廉い。これは外國市場ばかりでなく國內市場に於ても競争を困難にし、且恐慌を深めてゐる。特にライ麥の主要生産者であるドイツの東北部（プロシヤ、ポメルン、メクレン

ブルグ)に於てはライ麦問題が尖鋭化してゐる。

穀物の價格下落は多量の商品生産物を出してゐる大農及び富農に大打撃を與へた。ドイツ政府は農業資本家及び富農の利潤を救済するために輸入農産物の關稅引上げといふ方途を取り、かくて國內市場に於ける農業價格の高い水準を保證し、また低廉な輸入穀物の競争から農業家を擁護した。しかし農産物の價格的上げはドイツ人口の勤勞部分、プロレタリアート及び貧農に非常な大打撃を與へた。

農産物の過剩供給を惹き起した農業恐慌は、大衆の低下する購買力や小作料による農民經營の増大する負債や諸負擔等々と相俟つて農民の………と大農業資本家たちの掌中へ土地の移動とを招來してゐる。

ドイツ經濟の恐慌はまたドイツの外國貿易高の減退となつて現れた。

ドイツ資本主義は市場をひつたため大努力を拂つた。それは勞働者階級の前代未聞………と貧中農の廣汎な層………とによつて事實上輸出を増加させた。この輸出は一九二三年から一九二五年に至る間に四二・七%も増加した。しかるに合衆國は一二・三%の増加であり、イギリスやフランスの如きは約四%も輸出を減退させさへした。しかし經濟恐慌は途方もなく多量の低廉な商品を世界市場に投げ出したが、その影響を受けてドイツの輸出は一九三〇年に一一%も減少した。輸出の減退はドイツにとつて特に苦痛であつた。なぜならば賠償金を支拂ふためにドイツは外國市場に多量の商品を輸出しなければならないからである。自己の地位を維持しようとしてドイツのブルジョアジーは外國市場に低廉な商品を投げ出すことに努めた。この低廉さは勞働者階級の………によつて達成されたのだ。

一切の經濟部門に亘る生産縮小は失業を法外に増加させてゐる。そして戦後ドイツでは資本主義的合理化過程の結果プロレタリアートの一〇%までは常に失業者であつたが、今では恐慌と關聯して失業は工業勞働者によつても没落農民

によつても急速に増加されてゐる。一九三一年にドイツの失業者数は五百萬人に達した。即ち失業者は今では戦前の六一七倍も多い。經濟恐慌並びに勞働階級に對するブルジョアジーの攻撃の強化と關聯してドイツ・プロレタリアートの生活水準の低下が行はれてゐる。工業労働者の實質賃銀は一九三一年には一九二七年と比べると一六・二%も切下げられ、戦前の時代の實質賃銀から見ると一七・一%も後退した。實質賃銀の低落は資本家による直接の賃銀切下げの結果としても、また國內市場に於て廣く消費される物品の高い價格を人爲的に維持する結果としても生じてゐる(42)。

「國內價格と世界價格との間の「缺狀價格差」の急速な擴大は、ドイツの各勤勞者が地主、農業資本家及び金融資本家に巨額の追加租税を支拂はなければならないことを意味する。」

(42) 廣く消費される物品の價格がどんなに高いかについては次のことによつて判斷することができる。即ち一九三〇年十一月に世界市場では一噸の小麥は百十五マルクした。しかるにドイツでは小麥の價格は二百五十六マルクの水率に維持されてゐたのである。

一九三一年に、吾々は如何に資本主義がその最重要な部分の一つに於て………最も鋭い恐慌に襲はれてゐるかを目撃してゐる。一九三一年五月までは世界經濟恐慌は金融資本の牙城である銀行を捲き込まなかつた。だがドイツ(オーストリア及びその他の諸國)では恐慌は資本主義のこの砲臺をも陥し入れたではないか。吾々は諸大銀行の大衆的破産、またそれと並んでこれらの諸銀行と關係のある多數の工業結合體の大衆的破産を知つてゐる。ドイツに於ては最大の工業企業が閉鎖され、新たな數萬の失業者を出してゐる。

諸貯蓄銀行は小預金者に預金の支拂を制限してゐる。ドイツのブルジョアジーは再びインフレーションへの道に立つた(多額の紙幣發行、それは紙幣の減價を惹き起す)。インフレーションは………労働者

の利益に打撃を與へるものである。

國際資本は（一九三二年七月パリ、ロンドン及びベルリンの會議に於て）、ドイツのブルジョアジーに「自分の資金」で、とりもなほさず労働者階級に對する……………（社會保險の撤廢、賃銀切下げ、等々）によつて「自國經濟を救ふ」ことをすゝめてゐる。ドイツのブルジョアジーもこの方法に従つたのである。

こゝに於て労働者階級の裏切者としての社會民主主義者の役割はますますはつきりと現れて来る。即ちドイツの労働者階級が破産した……………準備してゐるといふのに、一方、社會ファシストたちは資本主義體制を救ふために全力を盡してゐるのだ（ドイツの社會民主主義者たちは資本主義經濟を復興するためドイツのブルジョアジーに信用を與へる條件として提出された最も苛酷なフランスの要求を承諾することに賛成してゐる。この要求はドイツのプロレタリアートを……………に違ひない。彼等はまたインフレーション政策にも賛成してゐるのである）。

「ドイツには戦時の最悪の時代や帝政ドイツに於ける會ての労働者階級の彈壓を思はせるやうな政治的反動の情勢が作り出されつゝある。だが勿論この情勢は遙かにヨリ高度に……………してゐる。」

ファシスト獨裁を獲取する努力に於てブルジョアジーの主要な支柱となつてゐるのはやはり社會ファシズムである。しかしファシズムへの途上には克服し難い障害物として……………が立つてゐる。

四 ソヴェート同盟とドイツ

ドイツのブルジョアジーはその他の國のブルジョアジーと同様に、ソヴェートの國に……………ある。しかし

國の全國民經濟が戦後震撼されたといふ條件の下で外國市場の不足を痛感してゐる彼等として、ソヴェート同盟との經濟關係の廣汎な可能性を開却することができない。またソヴェート同盟に於ける巨大な規模………は、ドイツから獲取することができる多種多様な諸材料に對するソヴェート同盟側の需要を惹き起してゐる。それと同時に、また吾國の建設はドイツの技術上の經驗を利用することが必要である。このやうにドイツの前には自國工業製品の對ソ輸出といふ發達領域に於ても、また自國の過剰な高級熟練技術家のソヴェート同盟經濟への適用としても前途洋々たるものがある。

すべてこれらのことは………：國に對するドイツ・ブルジョアジーの階級的憎惡にも拘はらず、彼等を驅つてソヴェート同盟と正常な經濟關係を設定させてゐる。兩國間に取結ばれた幾多の條約は外國貿易關係の發達のために諸前提を造り出してゐる。

吾が外國貿易上ドイツの役割は甚だ大きい。即ち吾國輸出入の四分の一まではドイツに割當てられてゐる。ドイツからソヴェート同盟が輸入するものは鑛山業及び金屬工業のための工場設備、發電所設備、精密器具及び道具、化學製品から成つてゐる。これらのものの生産はまだソヴェート同盟に於ては吾が發達しつつある經濟の需要を充すことが出来ない。ソヴェート同盟からドイツが輸入してゐるものは吾國經濟の生産物で且つドイツの必要とするものである。即ち對獨商品輸出の主要品目は石油、木材、小麥、亞麻、パン、牧畜生産物、等々である。

練習課題

- 一、他の資本主義國とくらべてドイツの戦後の状態はどんな特徴を持つてゐるか？
- 二、ヤング案の本質はどの點にあり、またドイツのブルジョアジー及びプロレタリアートはそれをどう評價してゐるか？

- 三、ドイツの工業とその現状とはどんな特質によつて特徴づけられてゐるか？
- 四、農業の狀態を述べ現代のドイツ農業の特殊性を決定せよ。
- 五、ドイツ政府の關稅政策はどんな意味を持つてをり、どんな目的のために政府はこれを実行してゐるか？
- 六、輸出問題は資本主義ドイツにとつてどんな重要性を持つてゐるか？
- 七、なぜ世界經濟恐慌はドイツ經濟にその最も鋭い表現を見出したか、その理由を説明せよ。
- 八、一般的經濟恐慌はドイツの諸條件の下では………轉化するといふ命題はどう把握しなければならぬか？



第五日 本

地圖の研究

- 一、首府——東京。
- 二、主要工業中心地——東京、横濱、名古屋、大阪、神戸。
主要港——横濱、神戸、長崎。
- 三、植民地——臺灣島、朝鮮(半島)、マリアナ群島、マーシャル群島、カロリン群島。

一 日本的一般的特徴

十九世紀の最後の四半世紀に、アジアの東部に一つの新帝國主義國家がすばらしい速力で發展した。日本がこれである。日本の急速な發展の例は次の事實を立派に證明してゐる。即ち地理的特質は一國の經濟の發展にとつて決定的な要因ではなく、社會的條件の方がより決定的な意義を持つてゐることである。

礦物資源の點で貧弱なことが日本經濟の主要特徴である。日本の所有する石油は言ふに足らず、鐵及び良質の石炭は絶無である。つまり日本には工業發展の根柢となる主要要素が缺けてゐるのである。肥沃な土地の領有は言ふに足らず且つ土地が狹隘であることは、農業の發展のための條件を不利にしてゐる。日本の地理的地位は、
………とを容易ならしめてゐる。だが他面、日本はその外國貿易上絶大な重要性を持つてゐるアメリカ合衆國のやうな遠隔の市場へ商品を輸送するために、多額の運賃を支拂はなければならぬ。

だが日本は上述のやうな非常に不利な諸關係にも拘はらず、アジアに於て初めて植民地的抑壓をはねかへして、帝國主義強國に轉じたのである。

一 經濟の一般的特点づけ——工業

日本に於ける工業の發展の開始は、前世紀の七十年代、ブルジョア革命の直後に遡る。電力生産に水力の利用が開始されて以來、工業は特に強力に發展した。日本には多量の溪流の水力がある。それらは大きな落差を持ち、自然の瀑布の連續をなしてゐる。日本の河川は交通路としては役に立たないが、その代りに電力の資源として價値を持つてゐる。日本は次表で見る通り利用水力量では世界の第三位を占めてゐる（單位百萬馬力）。

| | 所在水力量 | 利用水力量 | 利用水力量の百分率 |
|---------|-------|-------|-----------|
| アメリカ合衆國 | 三五 | 一〇 | 約 三〇 |
| カナダ | 二六 | 三・二 | 同 三・三 |
| 日本 | 四 | 三 | 同 三・五 |
| イタリヤ | 三・八 | 一・八 | 同 四・四 |
| フランス | 八・〇 | 二・一 | 同 二・六 |

日本の電化は非常に大きな程度に達した。殆んどすべての（大）工業は電化されてゐる。例外なしにすべての都市と殆んどすべての農村とは電力照明を持つてゐる。最近には鐵道運輸が電化されつゝある。そして日本は蒸氣牽引から電力牽引に移り行きつゝある。

日本に於けるすべての工業部門のうちで特に急速に生長したのは冶金工業及び電機工業（及び電機工業と結びついて

銅工業)であつた。現在では冶金工業と機械製作とがこの國の經濟のなかで著るしい地位を占めてゐる。その生長は次の程度に達した。即ち現在では機械製作の個々の部門(機關車製作、車輛製作、及び造船)では國內市場から外國商品著るしく驅逐しつゝあるほどである。このやうにして一九二七年には、鐵道は二萬臺以上の新車輛の供給を受けたがその場合約一萬九千臺は日本の工場で作製され、わづかに一千五百臺ばかりが外國から輸入されたに過ぎなかつた。

日本の諸島に電力工業が初めて現はれたのは十九世紀の九十年代だつた。この時以來電力生産は、その發展の急速なテンポのおかげで非常に大きな成功を克ち得た。この工業へは日本の諸銀行ばかりでなく、外國——主としてアメリカ——の諸銀行の資本が多量に流れ込んだ。

電力工業の發展と平行してその集中も生長した。現在では電力工業は五會社の手に集中されてゐて、そのおのものが水力利用の一定の割合を持つてゐる。

『舊』工業部門のなかでは、日本で第一位を占めてゐるのは纖維工業である(全國労働者數の五〇%)。世界棉花生産額の二二%が日本の工場で加工される。日本の輸出のうちでは纖維商品が支配的な地位を占めてゐる——輸出の二〇%。棉花消費の點では日本は合衆國とイギリスとに劣るだけである。日本の纖維工業は自國産の棉花を持つてゐないので、その結果合衆國、支那、印度及びエチプトから棉花を買つてゐる。日本の纖維工業は殆んど輸出を極めてに操業してゐるのであるから、世界市場の状態に完全に依存してゐる。纖維製品の輸出では、日本はイギリスに劣るだけである。

重要な綿布市場は支那である。そこでは、日本はイギリスと猛烈な競争をやつてゐる。支那市場では、日本はイギリスを第二位に驅逐してしまつた。そればかりでなく現在では、多量の纖維商品が印度、アルゼンチン、ニュージールランド、ベルシャ、トルコ及びその他の諸國へ出て行く。

絹工業及び毛織工業も亦急速に發展しつゝある。他の諸國に於ける人造絹の生産とそれに伴ふ天然絹の價格下落とに關聯して、日本では絹生産の合理化が行はれつゝある。それは……………によつて行はれてゐるのである。絹の生産は日本の外國貿易にとつて非常に大きな重要性を持つてゐる。一般纖維商品輸出はこの國の總輸出の七〇%を占めてゐる。

總生産額及び企業數で第二位を占めてゐるのは食料品工業であるが、その大部分は小生産であつて、機械化の程度も低し。

二 産業の集中

日本の工業は異常に急速な生産の集中を遂げつゝある。例へば綿紡織工業の九〇%はいはゆる「大日本紡績聯合會」の手中に集中されてゐる。製糖工業は六會社の支配下にある。電力工業は五大電力といふ五つの會社の所有に屬する。絹輸出の四分ノ三は三つの最大の會社の手を通じて行はれる、等々。工業の集中と同様に、銀行集中の過程も進行しつゝある。全國の資金はすべて五つの銀行に集中されてゐる（いはゆる五大銀行）。金融資金の統一は、銀行資本と産業資本との急速な癒着を促しつゝある。

日本のすべての工業にとつて特徴をなしてゐるものは、外國市場めあての生産といふことである。これは國內市場の購買力の薄弱なことから説明することができる。國內市場の薄弱さは、日本の……………と、これにも劣らぬ……………とに基づいてゐる。

すべての種類の工業のための原料品の缺亡と液體燃料の缺亡とは……………日本に、原料市場をも獲得せねばならぬといふ異常に緊急な問題を課した。……………鐵礦の九〇%の獲取によつて鐵の原料問題を解決しよう

と努力してゐる。

三 農業

日本の工業化の過程は生産諸力の編成替えを伴つた。戦前一九一四年に國の全生産のうち農業の分け前は五四%だったが、一九二八年には四一%に低下した。農業人口は現在では四八%である。即ち全人口の半数に足りない。

日本農業の主要専門化は米及び桑の生産にある。米は日本人の主要食料品である。だが自國産の量は國內需要の四分ノ三を充たすに過ぎない。だから日本は毎年外國から米を輸入しなければならない。輸入先は主として印度及び自國植民地の臺灣及び朝鮮である。

養蠶は米作に次いで第二位を占める。これは、輸出を以ててに作業する絹工業のために原料品を提供する。

そのほか國の經濟のなかで重要性を有する耕作を挙げれば、こゝでは小麦、大麦、燕麥、玉蜀黍のやうな穀物が栽培され、また工藝用農作物としては馬鈴薯、煙草、棉花が栽培されてゐる。茶樹の栽培は重要な地位を占めてゐる。

全領土のうち耕作に適する土地はわづかに一五%（六百萬ヘクタール）で、國のその他の部分は山岳に占められてゐる。

四 農業制度

日本の土地の大部分は農村資本家及び地主の手に集中されてゐる。農民のうち自作をやつてゐる者はわづかに四六%に過ぎない。残りの部分は全部或ひは一部、地主の土地の小作に頼らなければならない。日本の農民は非常に小さな土地を手で耕してゐる。農業生産の用具は非常な後進性の見本になる。即ち鋤、鍬、鎌である。だが大きな努力支出量と結びついた丹念な耕作と肥料の使用とは、日本に高度の收穫を持ち來たしてゐる。けれども高度の收穫にも拘はらず、中小農民經營は………農民大衆………は年々數萬の海外移民

を持ち來し、……………を形づくりつゝある。

十九世紀の後半に日本の封建的諸關係は驅逐され始め、資本主義的諸關係によつて取つて代られ始めた。資本主義は五―六十年の間にその發展のすべての段階を通過し終つて、……………に入つた。國の經濟が牢固たる封建制度の獨占的勢力から解放されて、資本主義は生産諸力の一大變革を呼び起し、農業に於ても工業に於ても新たな部門の創設に刺戟を與へた。

封建的壓迫が崩壊して後、日本の農業は最初の十年間に發展の速度を高めた。地租が封建的年貢とくらべて遙かに輕くなつた結果、土地所有者は手に残つた所得の部分を自分の經營に投ずることができるようになつた。これは技術の改善、播種面積の擴大、及び收穫の増大によつて證明される通りである。だがこの農業の上向期は長続きはしなかつた。二十世紀の初めになると農業は系統的に……………始めた。その原因は、買占人或ひは地主の手に……………されたことである(彼等の所有は現在全土地の五〇%に達してゐる)。小作關係の生長がこれと結びついてゐる。世界中で日本ほど……………してゐるところはない。こゝでは小作農の數は現在全農業人口の七〇%を占めてゐる。そのうち六〇%の小作農は……………からなつてゐる。他方農業からの地主の所得は……………には向けられないで、一部分は不生産的に充用され、残りは商工業に向けられてゐる。

……………小作料を差引いたあとには、小作人の手には農業改良のための資金は残らない。小さい自作農は異常に高い……………支拂はなければならぬ。その結果彼等は殆んど自分の經營を改良するために資本を投下することができない。あとはほんの僅かの小資本家的土地所有者層だけであるが、彼等とても自分の經營には言ふに足りない改良を施してゐるばかりである。……………小作料と農村に於ける資本主義的諸關係の發展との結果として、尖锐な……………

起りつゝある。……………彼等の向ふところは失業プロレタリアか、地主の小作人よりほかにはない。農業人口は非常に急速に減少しつゝある。農業人口の減少ばかりでなく、播種面積の減少と收穫の減退とが起りつゝある。農業の後退は外國の競争によつてなほ一層強烈になりつゝある。

二 日本に於ける經濟恐慌

日本經濟は數年來ひつきりなしの恐慌局面に入り込んだ。日本の最高繁榮期は帝國主義戰爭の數年間に達せられた。日本は、自分は戰爭に捲き込まれないで、交戦中の列強から工業製品及び農業生産物の注文を受けて収益を得たのである。だが戰爭の終結とともに、戰爭から解放された日本の競争者たちが再び外國市場の舞臺に立ち現はれたのである。その結果日本の工業は強力な輸出上の障害に遭遇し始めた。労働者階級及び農民人口の購買力は異常に薄弱なのだから日本のブルジョアジーにとつては國內市場の擴張は見込がない。だがこの時に、商工業の主要中心地たる東京と横濱とを荒廢に歸せしめた一九二三年の大震災は國內市場の擴張を持ち來し、かうして國の經濟に幾分の活況を呼び起した。けれどもその後間もなく日本工業の經濟状態は逆轉し始めた。日本商品（生絲及び絹布）の主要消費者の一つたる合衆國の恐慌、印度その他の諸國の關稅引き上げは、生産の縮小、何よりも先づ纖維製品の生産の縮小に一大影響を與へた（44）。これらすべては日本の纖維工業に極度に紛糾した困難な状態をつくり出した。その結果多くの纖維工場が閉鎖され、紡績生産と絹生産とは破局的に縮小した。工業活動の減退は深刻化して他の産業諸部門にも波及した。例へば冶金業、製紙業、食料品製造業等々がこれである。

(44) 日本の纖維商品輸出に特にひどい打撃を與へたのは支那及び印度の廣汎な勤勞大衆……………である。日本はこれらの國々

へ自國纖維工業の粗製の安價な製品を大量に輸出してゐたのである。

生産の縮小と……産業合理化とは、労働者……及び……を呼び起しつゝある。
これは労働者階級の——それではなくてさへ困難な——法律上及び物質上の状態を悪化せしめつゝある。

三 日本の植民地

一 臺灣

日本の植民地領有のうち最初のもは、支那から割讓された臺灣島である。

臺灣は北回歸線に跨つてゐる。島の主要富源は森林である。それは樟樹、杉、檜、椰子、竹、その他の樹種の高價な樹木から成つてゐる。臺灣の領土の約八〇％は森林に蔽はれてゐる。鑛物富源は石炭であるが、なほ少量ながら石油、銅、及び金もある。

森林Ⅱ及び鑛物富源の開発は全部日本の手に集中されてゐる。そのうちでも樟腦の採取は政府の獨占に屬する。製造工業は、四十四の小製糖工場で製造される半成製糖の生産と、少數の糖菓Ⅱ及び製材工場とだけである。

日本は臺灣に於ける農業の發展に意を注いで、同地に人工灌溉を施してゐる。人工灌溉に基づいて臺灣では米、茶、及び甘蔗の栽培が行はれてゐる。これらも島の主要農耕である。

日本は………確保するために、鐵道、港灣、その他の運輸施設の建設を行つてゐる。だが現在のところで日本人に占有されてゐるのは臺灣全土の六分の一、特にその西海岸地方だけである。

二 朝鮮

領域的關係からも經濟的關係からももう一層重要な植民地は朝鮮である。朝鮮は半島であつて面積は殆んどイギリスと等しく、狭い海峡によつて日本と切離されてゐる。

氣候及び土地の諸關係から言へば朝鮮は日本よりも著しく良好な條件にある。こゝには埋藏されてゐる富源に鐵鑛及び石炭がある。半島の領域は森林に蔽はれてゐる。森林は半島の全面積の七〇%を占めてゐる。

朝鮮は天然富源の可能性に富んでゐるにも拘はらず、今日までのところ少しも言ふに足りるほど開發されてゐない。

朝鮮の總人口一千九百萬人のうち、日本人の人口はわづかに二%に過ぎない。だが鑛業、鐵道、及び電力工業は——少數の小鑛山を例外として——すべてこれら日本人企業者の手に集中してゐるのである。朝鮮の工業は少量の織物、金屬製品を生産と食料品原料の精製に限られてゐる（精米工場、燒酎工場、煙草工場、藥製品工場、また製材工場）。朝鮮の工業經營は小規模の半手工業的性質のものである。この種の四千の小經營にわづかに八萬人の勞働者が働いてゐるだけである。

朝鮮の農業の分野でも同様に日本は非常にわづかなことをやつたに過ぎない。この方面では米穀の増産及び播種面積増加の方策が採用された（水利組合）。だがこの關係に於ても業績は非常にわづかである。即ち豫定計畫が一九三五年に完了しても灌漑面積の増大は二百ヘクタールに過ぎない。たゞ日本が異常に熱心になつてゐる棉花耕作だけは、朝鮮に於て非常に急速に發展した。この耕作が初めて朝鮮で採用されたのは一九二五年のことである。現在では朝鮮の棉花生産額は著るしい大きさに達し、エジプト棉花年産額の約一〇%に當つてゐる。

運輸の發展といふ點では多少とも見るべき成果が擧げられてゐる。

朝鮮の商業はすべて日本の企業に集中されてゐる。國內商業に於てさへも朝鮮資本の分け前は二〇%を超えない。日

本は………しまつた。半島の住民の重要な職業も五〇%は………てゐる。

四 ソヴェート同盟と日本

ソヴェート同盟の對日關係は強められてゐるが、その貿易は最近まで大した規模に達してゐなかつた。日本はソヴェート同盟が日本の鐵道運輸及び造船の技術的經驗を採用するといふ點で、ソヴェート同盟に對して興味を示してゐる。ソヴェート同盟では、機關車^{II}及び車輛修繕組織の顧問として日本の技師が招聘され、またソヴェート同盟によつて多數の漁業用船舶が注文された。

練習課題

- 一、日本ではどんな工業部門が支配的であり、またその發達は地方的原料及び動力資源によつてどんなに保證されてゐるか？
- 二、支那及び印度の織維品市場に於て日本がイギリスを驅逐してゐる原因は何か？
- 三、日本農業………は何によつて説明されるか？
- 四、日本の對ソ關係はどうであり、それは何によつて説明されるか？

第六 イタリヤ

地圖の研究

- 一、イタリヤ——首都ローマ。植民地——トリポリ、エリトレヤ、ソマリランド（以上アフリカ）。
- 二、主要工業都市——ミラン、チュリン、ゼノア。
- 三、主要河川——ポー河（航行可能）、タイバー（チベル）河。
- 四、イタリヤを構成してゐる大島——シシリー島、サルヂニヤ島。

一 工業

一 一九一四—一九一八年戦争後の工業の發達

戦前のイタリヤの特徴は、農業の支配が甚だしく、資本や現代工業の基礎である石炭及び鐵鑛が缺除してゐたため工業の發達テンポが微弱なことであつた。戦後イタリヤは重工業（化學Ⅱ、航空機Ⅱ、自動車Ⅱ、機械製作Ⅱ及び電機工業）が著しく發達した帝國主義國の花形に轉化してゐる。

イタリヤがオーストリアから横取した領土（シチリヤ、カリンチヤ、チロリヤの一部、等々）には石炭や鐵鑛の豊富な産地がない。しかし近年の間に鋼鐵生産は一九一三年にくらべて二倍以上（一九二七年も増加し、造船業、自動車工業及び電機工業は三倍以上、機械製作は一倍半も増加した、等々（45））。

（45） 全く例外的に發達したのは人絹工業（戦前までは何の役割も演じなかつた）である。この工業は世界いづれの國にあつて

も戦後に發達した。しかしイタリアではその發達が特に著しいのである。即ち一九一三年の百五十噸から一九二九年には二萬五千四百噸に増加した。人烟生産の點でイタリアはアメリカ合衆國に次いで世界第二位を占めてゐる。

イタリアの工業が非常な躍進を遂げた原因は、何よりも先づ、一九二二年に一敗地に塗れファシスト支配の魔手の下で呻吟してゐるところのプロレタリアートの途方もない……、さらにまたインフレーションによる農民及び小ブルジョアの廣汎な大衆の……である(46)。イタリアの工業化はアルプ山脈にその源を發する諸河川の利用と關聯してゐる。

(46) イタリアに於てはフランスに於けると同様工業の發達はその大部分がインフレーションの時期に、即ちリラが減價した時期に行はれた。このことは資本家に労働者階級を……を與へた。なぜならば労働者の賃銀は紙幣リラで支拂はれたのだが、このリラの減價は賃銀(名目的)の増額を迫り越してゐたからである。同様なやり方で小農民階級もまたひどくられた。

一九一四—一八年の時期には戦争上の利益——軍隊に兵器及び軍器を保證する利益——が工業、何よりも先づ金屬製作工業及び電機工業の發達を決定した。また現在でもファシスト政府は他の資本主義國と鬭争する準備を整へつゝ、軍事的意義を持つ工業部門(それは即ち重工業部門である)を強化するために萬策を講じてゐる。そのために政府はイタリアに輸入される工業製品に對するべらぼうに高い關稅(47)、補助金、等々の形態で工業家に甚大な支持を與へ、一方工業と關聯する全負擔をイタリア人民の勤勞層に轉嫁してゐる。政府の工業保護策を特徴づけるためには次の事實をあげる事ができる。一九二六—一九二七年にファシスト労働組合は政府の指令に従ひ全生産に於ける賃銀を一〇%『自發的』に切下げた。イタリア労働者の賃銀は切下げ以前でも極度に低かつた。それにも拘はらず行はれたのである。イ

スペインとポルトガルを除いてヨーロッパにはイタリヤのやうに賃銀水準の低い國は一國もない。イタリヤ労働者の實質賃銀はアメリカのそれ（一九二五年の統計）の殆んど五分の一にしか當つてゐない。

(47) 銑鐵及び銅鐵に對する關稅は一噸當り一〇乃至一五〇金リラと規定されてゐる。このやうな巨額の關稅は輸入全島の價格を殆んど二倍も増加させ、そしてイタリヤ市場ではそれを競争に耐えざるものとする。

二 水力の廣汎な利用

工業に燃料及び原料を供給する問題はイタリヤ經濟にとつて甚だ緊切である。石炭の點で諸外國、特にイギリスに依存する度合が強いが、この點を緩和するためイタリヤのブルジョアジーはアルプ地方にある自國の水力資源を最高度に利用した。自國の水力資源を利用する度合の點でイタリヤはスイス、ノルウェー、フランス及びその他の諸國を凌駕して世界第一位の一つを占め、全資源の五〇%に達してゐる（總量三百八十萬馬力のうち百八十萬馬力が利用されてゐる）。水力發電所網の發達はまた低廉な動力と共に工業、特に電力による生産、即ち電氣化學工業、電氣冶金工業、等々の急速な發達の原因の一つであつた。

しかし水力發電所の發達にも拘はらず、石炭の輸入は依然として増加してゐる。そして最近イタリヤには年平均千五百萬噸（一九一三年よりも三四%も多い）が輸入されてゐる。石炭問題はイギリス及びソヴェート同盟に對するイタリヤ・ブルジョアジーの政策を或る程度まで決定してゐる。

三 工業部門の比重

輕工業も非常に發達してゐる。棉花消費は一九二九年には一九一三年に比べて三三%も増加した。こんなに増加した國は西ヨーロッパのどの大國にも見當らない。だが重工業がもつと急速に發達したので、今では輕工業の比重は低くな

つた。一九二九年に於ける工業労働者總數三百五十萬人のうち輕工業に従事してゐたのはその約半數であつた。しかし輕工業部門（織維工業、食料品工業）の特徴は機械化と生産集積との度合が低く、多數の中小企業を持ち、そして労働生産性もそれに相當して低いといふことであるから、輕工業に従事する労働者の數が多いにも拘はらず、國の總生産高の上では輕工業は重工業に著しく劣つてゐる。

あらゆる帝國主義國でさうであるやうに、イタリアにとつても獨占結合體が特徴的である。イタリアの殆んど全工業部門はコンツェルン、カルテルに結合されてゐる。二三の最大銀行が國を支配してをり、そしてファシスト政府は本質的には金融資本の掌中にある………なのである。

二 農 業

一 農業の特徴と土地使用條件

イタリアの農業は甚だ有利な自然的條件にも拘はらず甚だ低い水準に立つてをり、他國よりもその發達テンポは著しく緩慢で、僅少な技術的生産装置、低度の收穫性と停滞的な農業過剩人口によつて特徴づけられてゐる。このやうな農業状態の根本原因は社會關係に、イタリアに於ける現存土地所有關係に根ざしてゐる。

土地の壓倒的部分は大農及び富農の手に握られてゐる。特に半島の南部及びシシリー島の地主に多くの土地が集中されてゐる。こゝでは個々人の土地所有はヘクターで測定されないで、平方杆で測定されてゐる。

多くの場合、地主自身は自分の土地の上で經營を營まないで、それを小地片として土地なき農民に奴隸的條件で貸付ける。イタリアの南部では地主は自分の土地を直接農民に貸付けない。彼は自分の土地を大地片として仲介者に貸付け

る。仲介者は仲介者でそれを二―三ヘクタールの地片に分割して零細農に貸付ける。この仲介者の存在は農民の状態をさらに一層悪化させてゐる。なぜといふに農民は土地使用料として收穫の七五%までも與へねばならないからである。

二 農業過剩人口

悲惨な生活を送つてゐる多数の小農、借地農の外に、イタリアにはなほ五百萬の雇役農が數へられる。最近數年前までは彼等は恒常的若しくは季節的労働のために外國に、主として南アメリカに多數出かけて行つたものである。戦前には毎年移民は七十萬人に達してゐた。近年はこの數が二十五萬人にまで減少した。そして世界恐慌、特に農業恐慌に關聯して、以前外國で働いてゐた人々が故國に歸還することさへ見受けられる。戦後工業が發達したにも拘はらず、イタリアで適用の道を發見することのできない多数の雇役農及び半雇役農は、イタリアに於ける「農業過剩人口」と貧困との最もつきりとした顯現形態である。幾百萬の農民は土地も持たず貧乏してゐるといふのに一方、地主に屬してゐる廣大な面積の土地は荒れ果てるまゝにしておくか、または最も粗放的な耕作を行つてゐる。なぜならば地主たちは農業に多額の資金を投じようとは思はないからだ。

小自作農は良く整頓した農場を作ることができない。といふのは彼等は………の重壓を受けて、この………がそれではなくとも僅かな収入の著しい部分をふんどくつてしまふからである。

三 農業生産の移動

氣候が溫和（地中海的）であるためイタリアでは多種多様な農業植物が育つ。北部、即ちポー河の沖積土によつて形成されてゐる豐饒なロンバルディア平原には、小麦、玉蜀黍、米、甜菜が栽培されてゐる。こゝではまた桑や葡萄も成長する。半島の南部及び諸島では蜜柑樹、林檎樹、橄欖樹が栽培される。イタリアの特徴は播種面積が穀作物と特殊な作

物との間に殆んど半分に分配されてゐることである。

半島の山岳地方は粗放的牧畜（牧羊業）のために利用されてゐる。

イタリアの農業は量の點でも質の點でも低い。穀物（主要穀物は小麦）の生産高は國內需要を充してゐない。國に必要な穀物の二五—三〇%は外國から輸入しなければならない。穀物輸入額は林檎、蜜柑、その他の果實の輸出によつて償はれない。葡萄の收穫度は低い。だから葡萄樹栽培面積の點で世界に冠たるイタリアも生産する葡萄はフランスよりも少い。葡萄酒及びオリヴ油はその品質劣悪なため充分な販路を見出せないでゐる。

三 現經濟恐慌と階級對立

一 世界恐慌とイタリア經濟に對するその影響

イタリアの國內市場は人民の貧窮の結果狹隘である。だからイタリアは、その工業製品の大部分を外國に輸出してゐる。工業完成品の輸出は全イタリア輸出の四五%に達し、それと共にまた半製品の輸出は約六五%に達してゐる（一九二八年）。世界恐慌と關聯する外國市場の縮小はイタリア工業に甚だ猛烈な打撃を與へ、生産高の激減を惹き起し、國內の失業者を増加してゐる。工業製品の輸出高は（一九二八年と比べて）一九三〇年には二〇%も減少した（六十一億リラから四十九億リラに減少した）。一九三〇年末には失業者数は一九二九年の三十萬人に對して一百萬人に達し、また一九三一年初頭には部分的失業者をも含めて失業者の数は國の全労働者階級の半数に達した。フランスへの出稼及び移民の停止も亦イタリアのプロレタリアートの状態に打撃を與へた。このフランスでは恐慌前まではファシスト「樂園」から逃れて來た多くのプロレタリアートが仕事を見付けてゐたのである。

恐慌はまた農業にも打撃を與へた。なぜならば、一方に於てイタリヤの園藝及び葡萄栽培生産物に對する國外の需要が減少したし、また他方に於てこれらの生産物の價格が低落したからである。小作料や租税の金額は依然として同じだといふのに農産物の價格は低落してゐるので小農……を惹き起してゐる。あらゆる資本主義諸國と同様にイタリヤのブルジョアジーも……、その賃銀切下げに恐慌からの血路を見出してゐる。ファシスト政府はそれでも低くとも低い賃銀をさらに一層切下げてゐる。

二 戦後の階級對立

イタリヤの労働者、雇役農及び貧農……よりずつと以前に大衆の……を促進した。……

……戦争の後、階級對立はさらに一層尖鋭化された。

労働者階級は……影響されてブルジョアジーに對して攻撃を行つた。彼等は八時間労働制を確立し、賃銀増額を實行し、また生産に對する労働者の統制を確立せよといふ要求を提出した。工業家たちが反抗して工場を閉鎖しようとした時、労働者は……、自分自身の力でそれを經營し始めた(一九二一年)。それと同時に雇役農及び農民による地主……が行はれた。……

しかし労働者農民……はそれ相當の指導を受けてゐかつた。なぜならば……、また社會主義政黨の指導者たちは労働運動を裏切るために萬策を講じたからである。指導が排除してゐた結果……、ブルジョ

アジーと地主の権力は強化された。今では大資本と地主の獨裁はイタリヤではどこよりも強固である。この獨裁は一九二二年に政權を獲取した……ファシスト黨によつて實現されてゐる。

唯一の合法的労働組合團體として考へられてゐるのはファシスト協同組合で、このなかには労働者も企業家も加入し

てゐる。このファシスト労働組合は政府の従属物である。またその行動は行政権力によつて監督を受ける。組合費は國庫に納入される。諸政黨は解體されてしまつた。

四 對 外 關 係

一 對 外 政 策

イタリヤの對外政策は戦後の時期に行はれたその經濟上の諸變化によつて決定されてゐる。國內市場が甚だ狹隘であるにも拘はらず、イタリヤ工業は發達したので、それは同國のブルジョアジーをして否認なく外國販賣市場を求めさせてゐる。他方に於て、イタリヤには石炭、鐵物、及びその他の種類の原料品が存在しないといふことは彼等をして餘儀なく原料市場を求めさせてをり、また特に重要なことだが、原料品及び石炭がそれを通じて國內に輸送されるところの交通路、特に海路を全力を擧げて強化し保護させてゐる。またイタリヤは自國の過剩人口を移住させるために新領土を求めてゐる。特にフランスとの衝突がイタリヤには頻繁に且鋭く起つてゐる。衝突の根本原因は次の通りである。

一、イタリヤがフランスからアフリカのチュニス、及びアジヤのシリヤを奪はんとする努力。

二、フランスをバルカン半島から驅逐し、そしてイタリヤ工業の販賣市場を擴張するためユーゴ・スラビヤ及びその他のバルカン諸國家を自己の勢力に從屬させようとする努力。

三、地中海の支配權を自己の掌中に收めようとする努力(48)。フランス及びイタリヤからその北アフリカの諸植民地——モロッコ、アルゼリヤ、チュニス、トリポリ、等々へ至る道及び印度に至る道はこの地中海を通るのである。

(48) 地中海の主人たんとする努力はなほ次のことによつても説明される。即ちイタリヤは戦時にはソヴェート同盟から石炭、

穀物及び石油並びに一部の金屬の供給を受けようとして考へてゐる。それであるから地中海の東部を自己の掌中に収めることはイタリヤにとつてまた重要なのである。

フランスと闘争するためイタリヤ・ブルジョアはイギリスに頼り、ドイツと提携し、またフランスの反對の重みとして中歐諸國と自國のプロツクを造り出さうとつとめてゐる（オーストリア及びハンガリーとの條約、等々）。

だが根本的には對佛闘争は地中海獲取競争の線に沿つて行はれてゐる。これによつてまた兩國の海軍力の増大も説明されるのである。

二 イタリヤとソヴェート同盟

イタリヤはソヴェート同盟を眞先に承認したヨーロッパ諸國の一つである。それ以來イタリヤとソ同盟との間の經濟關係は、途中で中斷されずに發展してゐる。このことはイタリヤがソ同盟の石油、石炭、穀物及びその他の種類の原料品を必要としてゐることによつて説明される。イタリヤ側でもまたソ同盟に各種の生産設備（織機、電機技術的裝置）及び自動車を供給することができた。最近即ち一九三一年にイタリヤとソ同盟との間に一つの協定が取り結ばれたが、それによると生産設備の注文のためソヴェート同盟に三億金リラ（一リラは三七・五カペーク）の借用を提供する。またイタリヤは吾國から穀物、木材、石油及びその他の商品を購入するといふのである。イタリヤはソ同盟に幾多の生産部門（例へば球入、承）に於て技術的援助を與へてゐる。しかしイタリヤと經濟關係を維持し強化しながらも、吾々はイタリヤがファシスト的帝國主義的國家であつて、自分の都合のよい時にはフランスやイギリスと色々と妥協してソヴェート同盟……し得るものであることを忘れてはならない。

- 一、戦時及び戦後のイタリア工業の急速な發達は何によつて説明されるか？
- 二、なぜイタリアの農業は衰退状態にあるか？
- 三、イタリアに於ける農業過剩人口はどんな原因を持つてゐるか？
- 四、フランス・イタリアの侵略………政策はどんな原因によつて説明されるか？



第七 イスバニヤ

地圖の研究

- 一、イスパニヤ——首府マドリド。
- 二、製造工業の主要中心地——ベルセロナ、セビリヤ、ビルバオ、グラナダ、バレンシヤ。
- 三、イスパニヤ輸出生産物の海外輸出港——アリカンテ、カルタヘナ、マラガ、ヘレス、カデス。
- 四、世界地圖でイスパニヤの植民地を挙げれば、イスパニヤ領ギネヤ、リオデオロ、西部サハラ、イスパニヤ領モロッコ、イフニ（北アフリカ海岸地帯）。

一 イスパニヤの經濟的發展

イスパニヤは世界帝國主義體系に於て資本主義發展の中等水準國として特徴づけられる。經濟制度及び社會政治的制度に於てイスパニヤは今日に至るまで封建制度の遺物を多分に持つてゐる。この遺物とは即ち、……土地所有の支配、幾多の奉仕や重税によつて抑壓された農民の無法な状態これである。

國內で歴史的役割を演じてゐるのは農業で、工業の發展はかなり貧弱である。『だが、資本主義世界のあらゆる國々と同じやうにイスパニヤも、世界金融資本や帝國主義の全體系と極めて密接に結びついてゐる』（マヌイルスキー）。つまりイスパニヤには半封建的遺物が存在するにも拘はらず、すでに成長しつゝある産業資本や金融資本が現存してゐて、それは獨占的段階に達してゐる。この發展しつゝある獨占資本は西ヨーロッパやアメリカの世界資本主義と密接にもつれ

合つてゐる(その欲求や矛盾に於て)。

資本主義イスパニヤの發達史は複雑多岐に亘る過去を持つてゐる。イスパニヤの商業資本は、地中海貿易が盛んとなるにつれて發展し始め、アメリカの發見後その最高點に達した。

十六世紀には、新たに發見された大陸の著しい部分と太平洋及び大西洋上の諸島(フィリッピン群島や西印度諸島、その他)を獲得してイスパニヤは世界的植民地強國となつた。

だが、イスパニヤ商業資本の世界支配はほんの僅かの間であつた。十六世紀の末葉から十七世紀にかけて經濟的に急速に發展したイギリスが世界市場に立ち現はれて、イスパニヤの世界支配を打ち破つた。イギリス及び後には(十九世紀末には)アメリカ合衆國の産業資本とイスパニヤとの植民地市場獲得闘争は、イスパニヤの敗北を以て終つた。イスパニヤ植民地の大部分(キューバ、フィリッピン群島その他)や、同じく當の本國の一部分(ジブラルタル)も、色々な口實の下にイギリス及びアメリカ合衆國によつてふんだくられた。

その他の諸植民地に於ては商業資本の掠奪的搾取はイスパニヤ……に反對する……惹き起し、そしてイスパニヤから諸植民地を分離させるに至つた(メキシコ、チリ、アルゼンチン、コロンビヤ、その他)。

このやうに、十九世紀の初頭には、この膨大な植民地帝國には殆んど何一つも残らなかつた。

西ヨーロッパ諸國の急速に發展しつゝあつた工業の生産物は、單に植民地市場のみでなく、イスパニヤの國內市場に於ても勝利を得た。イスパニヤの後れた半手工業的性質を帯びた工業は、廉價にして良質の生産物を與へる技術的にヨリ高度の外國の工業と競争することができなくなつたのである。植民地によつて利益を得る可能性を失ひ、イギリス及びフランスの資本の挑戦に應ずる能力のないイスパニヤが第二級の資本主義國に轉化したのは當然なことである。

その後、或る方法でアメリカで失つた植民地を償ふために努力したイスパニヤの資本は、モロッコ（北アフリカ）に新占領を企てた。イスパニヤのモロッコ侵略の……は、現在に至るまでも絶えない土着アラビヤ民族の……呼び起し、さらに當のイスパニヤの勤勞大衆の反抗を呼び起した。といふのは植民地政策の實現はイスパニヤの勞働者及び農民に負課される新税の實施をその條件としたからである。

現在、イスパニヤの植民地領土を構成するものは、イスパニヤ領ギネヤと附近の諸島、西部サハラ（リオデオロ）と北アフリカの沿岸地帯である。イスパニヤ領モロッコはイスパニヤの保護の下にあるが、イスパニヤ資本はそこで……をかりて自分の勢力を強めてゐる。フランス及びイギリスの帝國主義と共にイスパニヤ資本もまた『國際』港タンジールの地帯（ジブラルタル海峽の入口にある）を支配してゐる。

二 農 業

イスパニヤの歴史的經濟部門は農業であつて、人口の五六%以上がこの農業に従事し、収入の半額以上を國家に與へ、また輸出高の六〇%を與へてゐる。農業は非常に低い段階にある。即ち農業は低い耕作技術とその結果低い生産性とを有する粗放的經營である。

イスパニヤでは一ヘクターは九・一ツェントネルの小麥を産出する。これに反しイギリスでは二〇・八ツェントネルであり、ドイツでは一六・二ツェントネルである。

一 農業の立ち後れの原因

イスパニヤの農業の立ち後れの原因は、イスパニヤの種々な地方に於ける農業の發展を比較的都合よくしてゐる自然

條件のうちを求むべきではなく、現在に至るまでイスパニヤに維持されてきたその封建的諸關係のうちを求むべきである。イスパニヤの大部分の土地は尠大な領地を有する少數の大土地所有者（地主及び僧侶）の掌中に集中されてゐて、一方數百萬の農民大衆はごく小つぽけな一片の土地の上でその經營を行つてゐる。六七%の土地は二%の大土地所有者の掌中に集中されてゐると同時に、一乃至一〇ヘクタールの地片を有する八六%の小土地所有者、農民は一三%の土地を有してゐるにすぎない。

しかも、農民の間の土地飢饉にも拘はらず、大所有地の領主はその土地の著しい都分を耕作せず、狩獵や牧場（羊や闘牛用の）として用ひてゐる。最も大きな所有地は（南方の）アンダルシヤに集中されてゐる。

小農經營の多い唯一の地域は西北地方（ガリシヤ、アストゥリヤ）であるが、この地方でも農業は極度に困難な状態にある。地面は非常に零細で農民の生活を保證しないほどだ。一―五ヘクタールの地面は普通の事であつて、それよりもすつと少ない場合もある。五ヘクタールの地面ですら農民の家族の欲望を充し得ないのにさうである。零細性の外に、農業は一―二ヘクタールの農業地面を十五乃至二十の區域に細分する畦のためにも同じく苦しんでゐる。こんな小地面では耕作や農業栽培の状態が原始的であつて、收穫率は低く、所有者を扶養するには全く不十分であるといふのも當然である。

イスパニヤの零細地農民は二百萬人足らずを數え、しかも彼等の大多數は農奴的條件で地主から土地を借りてゐる。彼等の外になほ三百萬の雇役農があるが、これらの人々はすでに全く土地を奪はれて、地主の所有地で働いて生活してゐるにすぎない。農民は一方から地主と僧侶に他方から……によつて壓迫されて、破壊されてゐるので、自分の經營を改善することができない。イスパニヤの自由地の多くは荒廢に歸してゐる（農業に適する地面のうちで利用されてゐる

のは、約四〇%にすぎない。といふのはそれらの自由地を自分のものとするためには人工灌漑を行はねばならないからである。しかるに封建領主である地主たちはこれらの自由地を自分のものとすることに興味を持たず、そんなことに資本を投げ出さうとは思はない。といつて農民にはこれらの仕事をする力がない。その結果は資本主義諸國に典型的な矛盾である。即ち自國の穀物は不足し、外國から穀物を輸入しなければならないといふのに、國內では、比較的少額の支出でイスパニヤの穀物需要を完全に充足させ得るはずの多くの土地が荒蕪地と化してゐる。

二 農業の主要部門

農業部門のうちでイスパニヤで最も普及するに至つたのは、輸出の基礎を成す園藝と葡萄酒醸造業であつて、牧畜も同じく著しい發展を遂げた。

園藝及び葡萄酒醸造業の主なる地方は南部イスパニヤ（特にアンダルシヤ）と溫和にして濕潤な氣候を有する地中海沿岸とである。こゝでは蜜柑の木やレモンやオリーブ樹及びその他の南方の果實が繁茂する。

地中海の諸港——マラガ、アリカント、バレンシヤ、その他——からは、多量の果實や葡萄酒が外國、主として西ヨーロッパ諸國に輸出される。

牧畜地方は、夏は非常に暑くて冬は非常に寒く、且地面の狭少な中央高原地方——こゝには大規模の牧羊業が廣まつてゐる——と西北部地方とであつて、これらの地方の立派な天然の草原には國內の有角家畜の三分の一までが飼育されてゐる。この二つの地域にはまた穀物（小麥、玉蜀黍）の僅かな播種も集中されてゐる。

鑛物の著大な鑛層を有しながら、イスパニヤは依然として工業方面ではヨーロッパで最も後れた國の一つである。尤も、イスパニヤの石炭埋藏高は比較的少量であつて、國內の必要のために毎年二百萬噸からの石炭を輸入してゐる。だがその代りに、イスパニヤは、鐵鑛、鉛（ヨーロッパの産額の半額）、水銀、黄鐵鑛——この採掘高は世界で第一位を占めてゐる——及び銅（ヨーロッパの産額の四分の一を成す）の著しい埋藏量を有してゐる。この國はまた莫大な水力資源（七百萬馬力）をも有してゐるが、この水力は極く少しばかり利用されてゐる。

戦前にはイスパニヤの工業の發展は極めて僅かであつた。帝國主義戦争時代を通じてイスパニヤは中立を守り、交戦國に自國の工業生産物を供給したが、この帝國主義戦争時代はイスパニヤの工業が嵐の如く發展した時代であつた。イスパニヤの工業は三―四倍も増大した。だが、戦争が終り、主要工業生産國が市場に乗り出すと共に、イスパニヤ工業の發展テンポは著しく低下した。

一 工業の技術的水準

イスパニヤの工業の特徴は、多數の小企業と低い技術的設備、及び産業組織そのものが後れてゐることである。この事情は、質銀が低廉であるにも拘はらず（農民の貧困と零落）生産費を極度に高め、従つてきた外國市場に於けるイスパニヤ製商品の競争を困難にし、ヨリ以上の發展の桎梏となつてゐる。

イスパニヤに於て技術的方面でトップを切つてゐるのは、イスパニヤの工業を廣く代表してゐるところの外國資本によつて統轄される二三の企業のみである。採掘業に於ける外國資本の分け前は工業生産高の八分ノ二に達してゐる（アングルシヤに於けるイギリスの炭坑及び銅山、ビスカヤに於けるフランスの鐵鑛）。

二 外國資本の役割

製造工業のすべての部門に、特に冶金業及び電機工業に外國資本は何れかの方法で侵入してゐる。イスパニヤ工業に對する外國投資の總額は二十億ペセタ（一ペセタは四十カベークに等しい）といふ尠大な數字に達してゐる。しかるにイスパニヤの國家豫算總額は約四十億ペセタである。

だから、イスパニヤ工業の大部分は外國資本（主としてイギリス、同じくまたフランス及びドイツ）の掌中にあると言つても過言ではない。外國資本は農業にも侵入してゐる。イスパニヤの南部地方（アングルシヤ）に於ける果樹やその他の農作物の廣大な栽培園はドイツ及びフランスの資本家に屬してゐる。また運輸、主として鐵道に對する外國資本の參加の役割も大きい。

三 主要産業部門とその分布

産業部門のうちで最も大きな意義を有してゐるのは、鑛業部門である。鑛山業の諸地域は、北部イスパニヤ、主としてビレネー山脈に接する地方——ビスカヤ、アラゴニヤ、カタロニヤである。鐵鑛の大部分（ビルバオ地方）や、鋼及びその他の鑛物は、これらの地方で採掘される。鐵鑛は國內では殆んど精鍊されず、通常原料の形で外國、特にイギリスに輸出される。鑛山業の第二の中心地は南部——南北アングルシヤであつて、この地方の鑛山は最も豊富な鋼及び鑛層を持つてゐる。

製造工業のうちで最も發展してゐるのは、紡績業（労働者の二二%がこれに従事してゐる）である。次は冶金業及び食料品工業であつて、最近には電機工業も發展した。製造工業は主としてカタロニヤに集中されてゐる。カタロニヤは工業が農業に優越してゐるイスパニヤの唯一の州であつて、しかもこの州の工業全體の約半分はイスパニヤ最大の工業中心地たるバルセロナ市に集中されてゐる。カタロニヤの外、南部に於けるその他多くの都市（セビリヤ、バレンシヤ）

が製造工業を代表してゐる。

このやうに、國內の經濟全體は多少の差こそあれ、イスパニヤの労働者及び農民の搾取を一層甚だしくする外國資本の統制と壓迫の下にある。

イスパニヤに於ける外國資本の目立つた勢力とイスパニヤの經濟的非獨立性とは、當然この國を強大な帝國主義諸國に政治的に從屬させるに至つた。獨立國として存在してゐるにはあるが、その他の多くのヨーロッパの中小諸國と同じやうに、イスパニヤは實際はイギリス帝國主義の從臣國家である。

四 鐵道運輸の後れてゐること

イスパニヤの經濟的後進性は運輸業の領域にも現はれてゐる。一萬七千軒の鐵道を有しながら、イスパニヤは鐵道網の密度の上ではヨーロッパのうちで一番びりである。その上、殆んどすべての鐵道は軌道が狭く、運輸手段は技術的に古く、通行や運送の速度は遅くて、しかも賃金は非常に高い。海路を通じて外國に輸出される農産物の方がイスパニヤ國內の生産地に隣接した市場に於ける農産物よりもヨリ低廉であることを指摘するだけで充分である。

海運は良好な状態にある。商船隊の噸數は百二十萬噸と見積られてゐる（隣國フランスは約三百五十萬噸を有してゐる）。地中海諸國のうちでイスパニヤの海運業はフランス及びイタリヤに次いでゐる。

四 經濟恐慌と階級對立

一 イスパニヤの國民經濟の危機

世界經濟恐慌は世界資本主義の弱い部分に於て特に烈しく感ぜられる。ヨーロッパの帝國主義國家體系に於けるこの

やうな弱い一環は、イスパニヤである。イスパニヤの國民經濟は、世界戦争が終結してその商品が再びヨーロッパ諸國の市場で販路を見出すことができなくなつた瞬間からすでに疲弊した状態にあつたが、實際世界經濟恐慌はこの國民經濟全體の震撼を呼び起した。

恐慌を特に烈しく反映したのは、ヨリ良好な時代に於ても沈滞した性質を帯びてゐた農業であつた（總生産額は殆んど増加しなかつた）。

農業恐慌は、第一に、特に輸出生産物の價格下落、最も重要な諸部門の販路の縮小となつて現はれた。例へば、イスパニヤが販賣する主要な生産物（葡萄酒及びオリヴ油）の輸出は一九二八年上半期には二百九十萬ヘクトリットルであつたが、一九三〇年の同時期には百四十萬ヘクトリットルであつた。即ち二年間に二分ノ一に減少した。

恐慌はそれにも劣らず猛烈に工業を襲つた。イスパニヤの労働者及び農民の低い購買力の結果、イスパニヤの工業商品の著しい部分は外國に輸出されてゐた。恐慌時代に於ける販賣市場の縮小と關聯して第一番にイスパニヤにとつての市場が失はれてしまつたのは當然である。特に打撃を受けたのは、鑽石を輸出してゐた鐵鑛業であつた。鐵鑛業の生産高は一九三〇年には七百萬噸から五百萬噸に低下した。鉛や水銀及びその他の鑛物の輸出も減少した。輸出の減少の外に、またイスパニヤの工業状態に非常に烈しく反映したのは、黑色金屬及び特に有色金屬と銀との價格下落であつた。輕工業の諸企業に於ては、生産の縮小と幾多の企業の破産とが始り、それは失業を前古未曾有に増加させた。

二 イスパニヤの階級構成

イスパニヤの社會—政治生活に於ける支配的な力は、一方では膨大な土地及び莫大な國民的富を自己の掌中に集中してゐる地方貴族と他方では銀行資本及び産業資本の最も大きな代表者たちである。

イスパニヤに於て極めて大きな勢力と権力とを握つてゐるのは、僧侶である。カトリック寺院（及び修道院）は、最大の企業家であり、土地所有者である。廣大な領地や、最も大きな金融上及び商業上の企業、炭坑、鐵道及び汽船會社が、彼等に屬してゐる。大體に於て、この國の國民的富の三分ノ一までは僧侶の掌中に集中されてゐる。イスパニヤでは二十萬人もの僧侶が數へられ、その存在は人口の勤勞部分たるプロレタリアート及び貧農の……
……によつて保證されてゐる。だから、イスパニヤの勤勞大衆の……充分理解されるわけであつて、この……最初の時期（一九三一年四月—五月）に於ける寺院及び修道院の……となつて現はれたのである。

三 勞働者階級

人口の大部分を成すものは、プロレタリアートと農民である。工業勞働者は百三十萬人と數へられてゐる。イスパニヤの勞働者階級は非常に苛酷な條件の下にあつて、ヨーロッパのどこの國よりも悪い（ポルトガルを除いて）。勞働日の長さは十時間乃至十一時間を以つて全くあたり前と考へられ、最低生活水準は非常に高いのに勞賃は極度に低い。一九二九年に於けるイスパニヤの勞働者の平均實質賃銀はイギリスの勞働者の僅か四五%に達したにすぎなかつた。現在に於ては、賃銀は、國民經濟の危機と關聯してさらに一層低下した。

勞働者の状態が一般的に悪化してゐると同時に、失業が烈しく増加してゐる。イスパニヤの失業者は一百萬近くと算せられ、そのうち四十萬は工業に於ける失業者である。

經濟恐慌の深刻化とそれによつて招來された勤勞者の状態のヨリ以上の悪化とは、……を呼び起した。ストライキ勞働者の數は著しく増加し、一九三〇年の初めに於ける五萬人から同年末の六十萬人に増加した。

……………特にアンダルシヤ地方に於ける農業労働者をも捉へた。彼等は賃銀の増加と労働日（この地方では十二時間乃至十四時間に達してゐた）の短縮とを要求した。

國內のストライキ参加者總數は一百萬人に達した。

四 民族運動

イスパニヤでは少數民族が全人口の三六%を成してゐるが、それはバスク人、カタロニヤ人等である。民族問題は、カタロニヤとビスカヤとガリシヤとの三つの州に於て特に尖鋭に現はれてゐる。

ガリシヤの民族運動は、こゝで支配してゐるイスパニヤ人地主に……………ガリシヤ人の農民の運動である。

カタロニヤ及びビスカヤの民族運動は、これとは幾分違つた性質を帯びてゐる。これらの州は、國內で最も工業的に發達した二つの州である。従つて、莫大な……………を取り立てるイスパニヤ……………を特に烈しく感ずるのは、ひとり勤勞大衆のみではない。これらの地方の民族的産業ブルジョアジエですらイスパニヤ……………ゐる。彼等の活動は政府の租稅政策によつて壓迫されてゐるのである。

ブルジョア地主國家の條件の下で民族問題が解決され得ないことは當然である。政府はたゞカタロニヤのブルジョアジエの上層とだけ妥協してゐるが、農民や労働者の要求などには目もくれない。

- 一、イスパニヤの農業問題の本質はどこにあるか？
- 二、イスパニヤは世界資本主義國の體系に於てどんな地位を占め、またその地位は何によつて規定されてゐるか？
- 三、イスパニヤに於ける現在の恐慌の特徴ある特質とはどんなものか？



第八 ポーランド

地圖の研究

- 一、ポーランド——首府ワルソー。
- 二、ポーランドの占める諸州——西部ウクライナ、西部白ロシア、上部シレジャ、ビレンシチナ。
- 三、(イ)ポーランドの主要石炭地方——上部シレジャ及びドムブロフ。(ロ)主要石油探掘地方——ドロゴブイチスキ(リボフ管轄地)。
- 四、ポーランドの主要工業都市——ワルソー(金屬)、ロブ、ピロストック、チェンストホフ(繊維)、ドムブロフ(石炭)、カトビツ(冶金)。
- 五、海軍根據地——グデイニャ。
- 六、ポーランドの東部國境から工業中心地や港に向つてゐる鐵道の方向を地圖で調べて見よ。
- 七、航行し得る主なる河——ワイスツラ河。

一 ポーランド資本主義の特徴

一 ポーランドの形成

帝國主義戰爭の終結後に形成されたヨーロッパの新興諸國の中でポーランドは最も大きな國である。その面積は三八萬八千三百平方軒に達し、この點ではヨーロッパではソヴェート同盟、ドイツ、フランス及びイスパニ

ヤに次いでゐる。

その經濟の型から見れば、ポーランドは中位の資本主義的發展水準を持つ國家に屬する。現在の形態に至るまでのポーランドの領土的形成は非常に冒險的な道であつた。例へば、一九一九年にポーランドのブルジョアジーは帝國主義者の支持の下に………に反して西部ウクライナを占領し、また一九二一年には西部白ロシア——ウクライナ共和國及び白ロシア・ソヴェート共和國に延びた州——を併合した。同じ一九二一年にポーランドの軍隊はリトフ國家の首府ピルナと共にリトフ・ビレンシチナの占領を實現した。一九二二年にはポーランドは上部シレジヤの東部を割いて譲り受けたが、すでにそれ以前に東部及び北部プロシヤの一部分がポーランドに併合されてゐた。

ドイツを挫き、ポーランドの經濟上及び政治上の地位を強固にするために、國際ブルジョアジーは、ポーランドのブルジョアジーのためにバルチック海への自由な出口を開き、ウイストラ河口の支配を保證するいはゆる「ポーランド廻廊地帯」を作り出した。ポーランドの強化といふこの同じ目的のために帝國主義者たちは、國際聯盟の保護の下にあるダンチヒ港を「自由」市として宣言したが、實際にはダンチヒはポーランドに完全に從屬することになつたのであつて一旦緩急の場合には軍事根據地としてポーランドによつて利用されるだらう。

地理上の位置から見れば、ポーランドは大陸國に屬してゐる。ポーランドはヨーロッパの中部をなす領土を占めてゐるので、言はゞ西部ヨーロッパと東部ヨーロッパとを繋ぐ橋のやうなものである。

ポーランドの海上の境界はバルチック海に沿うてをり、その延長は百キロメートルを少し越えてゐる。ポーランドはフランスの援助を受けてダンチヒから二十キロメートル離れたバルチック海の沿岸に、海軍根據地——グディニヤ港を築いた。

ポーランドの陸上の境界はその全延長（五千三百キロメートル以上であつて、そのうち千三百キロメートルはソヴェート同盟の國境と接してゐる）に亘つて自然の境界はなく、僅かに西南國境の一部がカルパチヤ山脈に沿うてゐるだけである。

このやうに、幾多の領土の……占領のために現代のポーランドは、ポーランド民族の分布の土俗學的境界を遙かに越えてゐた。それと共に、新しく併合された諸州は種々な國家（舊ロシア、ドイツ及び舊オーストリア・ハンガリー）の國境内で長い年月に亘つて發展したので、社會—經濟的方面ではいはゆる本來のポーランド（舊ポーランド王國）とはあまり關係がなかつた。ところが、現在の國境もポーランドのブルジョアジーを満足させない。彼等の代表者たちは「海から海に至る」（バルチック海から黒海に至る）「大ポーランド」の建設を公然と要求してゐる。ポーランド・ファシズムの根本的任務の一つとして提唱されてゐるこの要求は、その……、どこよりも先づソヴェート同盟に向けてゐる。といふのはポーランド・ブルジョアジーの帝國主義的夢想の實際の實現は、隣國の領土、どこよりも先づソヴェート・ウクライナ及び白ロシアの新しい……てゐるからである。

二 ポーランドの經濟の一般的特点

ポーランドは國民經濟を非常に破壊されて帝國主義戦争から出てきた。ポーランドの領土は、戦闘が直接に展開された舞臺であつた。一九二〇年にポーランドのブルジョアジーがソヴェート同盟に對して行つた戦争の結果、荒廢はさらに一層ひどかつた。ポーランドの經濟復興は、ソヴェート同盟との講和締結後、一九二一年に始つた。

ポーランドの經濟發展史がなぜ吾々に興味があるかといへば、ソヴェート同盟もほゞ同じ頃に内亂の戦線を清算して帝國主義者によつて荒された國民經濟の復興に取りかゝつたからである。だが、ソヴェート同盟とポーランドの發展行

程は、それ以來反對の道を取つてゐる。ソヴェート同盟は……道に踏み出し、且この點に於て最も偉大な勝利を得たが、ポーランドは資本主義の道を辿つて發展し、極度に困難な状態にたどりついた。

ポーランドは大體に於て工業及び農業の發展にとつて好條件——豊富な石炭、石油、亞鉛、鐵礦の埋藏量、廣大な面積の肥沃な土地——を具へてゐる。だが有利な地理的環境も、國內の社會的及び民族的對立の結果、陸々たる經濟的發展のために完全に利用されてをらず、また利用され得ない。

ポーランドは農業—工業國であつて、農業のその他の部門に對する優越は國內人口の職業構成のうちに現はれてゐる。農業に従事する者は全人口の七八%であり、工業及び運輸業は一一・五%である。

ポーランド經濟の特徴ある特質は漫性的恐慌状態である。たゞの一つの經濟部門もこの恐慌から脱出してゐない。最も景氣のよい時期に於てすら、指導的經濟部門の發展はその戦前の水準に達しなかつた。一九二七年に於ける石炭生産は戦前の九三%、鉄生産は五九%、綿の消費は三五%に當つてゐた。この最大繁榮年度にもポーランドの工業は全幅的には操業せず、現存の生産的基礎を充分に利用しなかつたのだ。

ポーランド經濟の漫性的恐慌は幾多の諸原因によつて説明されるが、何よりも先づ資本主義的基礎の上ではその經濟を眞に振興することができないといふことによつて説明される。

ポーランドの最も重要な工業部門、即ち石炭業、冶金工業、紡績業、石油業は、三ヶ國の經濟體系のなかで生長し、發展した。ドイツの構成中にふくまれてゐたものは、石炭探掘や冶金工業の主要地域たる上部シレシヤであり、纖維工業、鐵鑛業及び部分的には石炭業は舊帝政ロシアの經濟條件の下で發達し、最後に、ガリチヤに存在する石油工業は舊オーストリア・ハンガリーの構成中にふくまれてゐた。以上あげた諸部門の機械的結合は、ポーランドのその隣國、特

にソヴェート同盟に對する一般的敵對政策と相俟つて、舊販賣市場を失ふに至らしめたことは當然である。外國市場に新しい經濟關係を確立しようとするポーランドの試みは不成功に終つてゐる。なぜなら、ポーランドの貧弱な工業は先進資本主義諸國との競争戦に耐えることができないからである。

ポーランドの國內市場は極めて貧弱である。ポーランドの勞働者は………賃銀を受け、失業は恐慌の影響を受けて尠大な數となり、農村の貧中農層は租税と農業恐慌の重壓とに打ちひしがれてゐる。政府の經濟政策はプロレタリアート及び農民の生活水準をさらに一層低下させ、従つてまた彼等の購買能力を減退させるに至つてゐる。

三、外國資本の役割

ポーランドの經濟の特徴ある特殊性は、外國資本（特にフランス及びアメリカ）の支配である。すべての重要經濟部門に於て外國資本は強固な基礎を持つてゐる。例へば、石油工業に於ける外國資本の参加は九四%に當つてをり、上部シレジャの冶金業に於ては——八八%、燐寸工業に於てはスウェーデン、アメリカ、コンツェルンが一樣に支配し、亞鉛工業ではアメリカの會社が指導的役割を演じてゐる、等々。對外負債の保證として外國資本は、煙草工業や製糖工業からの収入と關稅や國營鐵道の總收入を自己の手に收めてゐる。

四、軍需工業の發達

最後に指摘しなければならないことは同國に於ける軍需工業の法外な重要性である。同國の總豫算額の半分は軍需工業に、海軍根據地（グディニヤに於ける）の築造に、バルチック海の艦隊の建造に、尠大な數（三十萬）の軍隊を維持するために、軍事的ファウツ・團體（狙撃兵、軍人同盟、等々）の維持に支出されてゐる。特徴あることだが、軍需工業だけは恐慌と關聯してその生産が縮小されるどころかますます擴張されてゐる。

世界經濟恐慌の展開は他の諸國よりも早くポーランドを震撼し、且國內に鬱積された諸矛盾を特に尖鋭化してゐる。

二 農 業

一 ポーランドの農業制度

恐慌は眞に破局的性質を帯びた特別な尖鋭さを以つて農業に現はれた。

農業はポーランドの基本的な經濟部門である。

ポーランドでは土地問題が極めて尖鋭化されてゐる。一方では、農民經營の五〇%以上といふものがそれによつて生活することができないほど悲惨なちつげけな地片を有してゐる（彼等は全地面の一四%を持つてゐるに過ぎない）。他方、地主や富農經營（全經營のほぼ三%を成す）は、全面積の五〇%以上をその手に收めてゐる。

ポーランドの農民經營の窮乏を示す非常に特徴ある指標は、經營が具へてゐる牽引力に關する次の比較上の資料である。

馬を持たない經營……………二十世紀の初頭……………一九二七年の計數による
二元二%

一頭の馬を有する經營……………三元三%……………四二八%

零落しゆく小農及び零細農は、極度に困難な、血路のない状態にある。工業へ至る道は彼等には閉されてゐる。そこにも同じ不景氣、漫性的恐慌がある。海外への移民は、アメリカ合衆國及びその他の國家が制限政策を採つた結果、必要な數にまで達することができない。

地主及び富農經營は農民の……状態を利用してゐる。彼等は零落しゆく農民の土地を……手に收めると同時に、彼等の支配下にある膨大な雇役農軍を無制限に……してゐる。

ブルジョア政府は大土地所有の大きいさを制限すべき法律を制定することによつて土地問題の激化を緩和しようとしたが、この試みは完全な失敗と農民の僞喘とを以つて終つた。大地主經營は依然としてそのまゝであり、農業改革の實施として一部の地主から買取られた比較的小面積の餘分な土地も同じく農村の富農的分子の手に渡つてしまつた。

二 主要農業部門

農業發展のための自然的條件は大體に於て充分具つてゐる。國の北方の大部分は平野であつて、南部にかけて高地となり、たゞ南端のルーマニヤとの國境を高いカルパチヤ山脈が通過してゐるだけである。

ポーランドの氣候は溫和且つ大陸的であり、かなり濕潤である。平野の北部は良好な收穫を得ようと思へば間斷なき世話を要するポドゾル地である。もつと豊饒な土地（黄土及び黒土）が國の南部にある。ポーランドの東部邊境及び部分的には中央部の土地や氣候條件は餘り恵まれてゐない。この地方の大きな地面は泥炭地や沼澤地で占められてゐる。いはゆるポレシエには特に廣大な沼澤地がある（西部白ロシヤのプリピヤチ河とビン河に沿うてビン沼澤地がある）。

ポーランドで生産される主要な農作物は、ライ麥（世界第三位）、小麥、大麥、燕麥、蕎麥、亞麻及び馬鈴薯である。

主要農産地に屬するのは、ガリチヤとポーゼン州である。以前ドイツ領であつたポーゼンの農業は高い水準にあるが、爾餘の地方は農業生産の低度の技術と貧弱な收穫度とを特徴としてゐる。ポーランド農業の低い技術は、小規模な分散した零落しつゝある農民經營が、資本を投下してその土地に機械や肥料といふ形で進んだ技術を持ち込むことができないことによつて説明される（49）。地主經營の部分（東部、西部白ロシヤ及び西部ウクライナ）に於ける低度の技術水準

は、これらの經營に半封建的關係（賦役農制度、小作制度）が保存されてゐる結果である。

(49) 特徴的なことだが、軍事上の目的のためタルノフに設立され、そして平時には窒素肥料を生産してゐるところの大規模な
國營窒素工場は操業を短縮してゐる（その能力の約四〇—五〇%操業してゐる）。一方では操短工場、他方では肥料不足の結果
たる收穫度の低下、これがポーランドの特徴的な光景である。

三 農業恐慌

農業恐慌はポーランドに於て未曾有の尖锐な形態を採つた。農産物の價格下落は破局的性質を採り、世界市場に於けるその下落を凌駕してゐる。一九二七—二八年以來、穀物及び馬鈴薯の價格は五〇%以上も下落し、家畜飼料の價格は四〇%以上も下落した。ポーランドの農民は食ふものも食はずに自分の生産物を市場に投げ出してゐる。彼等をさうさせずにおかないのは、數多くのます／＼増加しゆく國家の租税と地主や富農に對する負債とである。恐慌と物價下落の條件の下で農民は、必要な資金を得るために賣却すべき生産物の量を多くしなければならぬ。農民の困難な状態は、外國商品に對する高率の關稅の結果、國內市場に於ける工業商品の價格が高いのでさらに深刻化されてゐる。農民の激減しゆく購買力は國內市場を萎縮させ、これによつて工業に於ける恐慌を激化させてゐる。ファシスト政府は地主及び富農を保護しながら、農村の貧中農部分に恐慌のあらゆる重荷を背負はしてゐる。廣泛な農民大衆の不滿は………となつて進りつゝある。農民は強制手段を以つて叩き出される………を拒否してゐる。これらの地方では………階級的形態は民族的抑壓形態と交錯してゐる（地主はポーランド人、農民は白ロシア人及びウクライナ人）。

三 民族問題

ポーランドの全人口数は、一九二八年の統計によると、三千二十万人である。人口の分布は不均等で、工業地方——ロドジン、シレジャ、クラカウ——が最も人口稠密（一平方千米につき百人強）であり、ソヴェート同盟に寄つたポーランドの東部地方が最も稀薄である。

ポーランドの人口の民族的構成は極めて種々雑多である。官廳統計に従つてすら、少数民族——ウクライナ人、白ロシア人、エダヤ人、ドイツ人、リトフ人、その他——は全人口の三六%を成してをり、實際にはこれより遙かに多いことは明かである。ポーランド人が半数よりも幾分多く、爾餘の民族が少数民族に屬してゐると見る方が正しいだらう。だが、幾多の州では、少数民族が多数民族であることを念頭に置かなければならない。例へば、西部ウクライナには人口の約六〇%を成す六百萬のウクライナ人が住んでをり、ポドリヤ、ヴォリニ、ビレンシチナでは少数民族は全人口の六五%弱を成してゐる。西部白ロシアのポレフ管轄地ではポーランド人は二四・三%であり、白ロシア人は四二・六%を成してゐる。

ポーランドの民族問題は極度に尖鋭化してゐる。ポーランドのブルジョアジーは………民族的學校を禁止し、印刷物を迫害し、投票權を奪ひ、政治的及び文化的團體を解散させ、白ロシアウクライナの農民から………奪ひ、そこへポーランドの移民富農（主として一九二〇年のポーランド對ソヴェート戰爭の義勇軍）を植民させ（50）、懲罰のために懲罰隊を派遣してゐる。少数民族の………彼等の低い文化的水準については、人民の智識の程度が幾分これを表はしてゐる。ポーランド全體では人口の二九%が文盲であるが、白ロシア及びビレンシチナでは、官廳統計によると、人口の四八・五%は文盲であつて、學校適齡兒童の殆んど半数は學校教育を奪はれてゐる。

(50) 西部白ロシア及びウクライナの植民の目的は、一方では、民族運動に對する闘争のためにポーランド人、義勇兵、憲兵を作ることであり、他方では、………する場合に國境地帯に信頼すべき分子を作ることである（白ロシア人やウクライナ人を期待することはできない）。

四 工 業

一 ポーランドの工業

ポーランドの最も主要な工業地域は、國の西南部及び中部にある。これらの部分には國の主要な燃料及び動力資源が集中されてゐる。即ち石炭は上部シレジア及びドムブロフスク炭田に、石油はガリシヤに集中されてゐる。ポーランドの主要工業部門は、鑛山業、冶金業及び纖維工業であつて、近年は軍需工業や化學工業も廣く發達してゐる。鑛山業や冶金業の最も重要な地方は上部シレジアである。石炭（七五%）や亞鉛や鉛の大部はこの地方で採掘され、また冶金業や金屬製造工業及び化學工業の主要企業も、こゝに集中されてゐる。上記の諸部門と並んで、大きな重要性を持つてゐるのは纖維工業であつて、その主要中心地はロヅ市、ビーロストク市及びワルソ、市である。纖維工業は輸入原料によつて生産をなし、以前は主として廣汎なロシア市場をめてとしてゐた。現在ではこのロシア市場を失つたので、その發展の主要な基礎を失つたわけである。これと同じことは、ポーランドのその他の工業部門についても程度の差こそあれ言へるのである。

工業の技術的水準は一樣でない。進歩した資本主義的企業があるかと思へば技術的に後れた企業もある。この事情は外國市場に於ける競争を困難にしてゐる。それでも幾多の生産が行はれてゐるのは、國內に於ける工業商品の高價格政

策と工業労働者の極めて低い賃銀とのお蔭にすぎない。

ポーランドのブルジョアジーは生産の資本主義的合理化をやらうとしてゐるが、合理化が（二十五字削除）によつて行はれるものであることは、資本主義世界に於てはいづこも同じである。

二 世界恐慌がポーランドの工業に及ぼした影響

ポーランド工業の不安定な状態は、世界経済恐慌が始まると共に特にくつきりと現はれた。すべての生産部門はその生産を極度に縮小してゐる。ロヅ紡績工業では一九三一年の生産制限は戦前の五三%に達した。多数の紡績工場は全く閉鎖され、爾餘の工場は労働週間の短縮へと移つて行つた。

一九三一年には上部シレジャの金屬製造工業は二〇%の操業である。同年四月にかけて一千二百九十七の企業が閉鎖され、輸出は殆んど半減した。

五 階級闘争の激化

ポーランドの労働者階級の経済状態は、恐慌のあらゆる重荷を労働者階級の肩の上に轉嫁せんとする企業家の試みと關聯して猛烈に悪化してゐる。賃銀は切下げられ、失業は一九三〇年末にはポーランドの工業プロレタリアートの半数を捉へた。

労働者の奴隷化によつて経済を安定化するといふその綱領を實行するために、一九二六年にポーランドのブルジョアジーは國內に公然たるファシスト獨裁制を確立した。現在では、議會はファシスト・ピルスズキヤ主義者の掌中に於ける従順な武器である。政權を握つてゐるファシストたちは、社會ファシスト黨（ベベエス）の支持の下に労働者階級及

び農民に對する攻撃を企圖し、(二十字削除)することによつて恐慌からの血路を見出さうとしてゐる。

だが、ファシズムは自分に課された任務を遂行するためには無力であつた——社會及び經濟の領域で彼等の遂行する政策はファシスト獨裁そのもの……へと導いてゐる。それと關聯して、ソヴェート同盟に對する侵略政策が強化されてゐる。ソヴェート同盟と一戦を交へようとするポーランド・ブルジョアジエの欲求は、ますます熾烈となつてゐる。……ポーランドのブルジョアジエは國內の自熱的雰圍氣を緩和し、東方に新市場を獲得しようとして望んでゐる。ポーランドのファシズムは、……、唯
一の救ひを見出してゐるのである。

六 ソヴェート同盟とポーランド

ポーランド・ブルジョアジエの對ソヴェート同盟政策の敵對性は普ねく知られてゐる。ルーマニヤのブルジョアジエと共にポーランドのブルジョアジエはフランスの忠實な従僕であつて、ソヴェート同盟に對する………主要な役割を演じてゐるのは、このフランスである。フランスはポーランドの軍需工業に熱心な財政的援助を與へ、ポーランド軍隊を改造してゐる。フランスのブルジョアジエの直接の援助の下にファシスト獨裁の樹立が行はれた。フランスは、ソヴェート・ウクライナ及び白ロシアに對するポーランド・ブルジョアジエの………鼓舞してゐる。

ポーランド政府とフランス及びルーマニヤとはソヴェート同盟に對する………條約によつて結びつけられてゐる。ポーランドの軍備は非常なテンポで進んでゐる。僅か一九二三年から一九二九年までに新しい軍需工場が二十も建設され、百の工業企業が軍需品生産に變更させられてゐる。一九二九年には二萬一千人の労働者が軍需工業に従事して

ゐたが、一九三二年にはすでに六萬五千人の勞働者がそれに従事するやうになつてゐた。戦略上の道路建設が強行されてゐる。かくて、例へば、グヂェニヤ港と上部シレヂヤ及びチェッコスロベキヤとを結ぶ鐵道が建設されてゐる。これによつて戦時に軍需品を得ようといふポーランド・ブルジヲアジ一の腹である。西部ウクライナや西部白ロシヤには、多くの鐵道や鋪裝道路が敷設されてゐる。軍港——グヂェニヤ(51)は擴張されてゐる。社會ファシストをも含めてすべてのブルジヲアジ一の團體は………してゐる。

(51) 一九二〇年にはグヂェニヤは數百の住民を有する小さな漁村であつたが、今は五萬の住民を有する町となつてゐる。

ポーランド・ブルジヲアジ一とドイツとの關係は良くない。ドイツのブルジヲアジ一は、上部シレヂヤやポーゼン及びダンチヒを失ひ、ドイツを二分する「ポーランド廻廊地帯」を作つたことなどに同意することができない。外國市場に於ける兩國の激しい競争とドイツ並びにポーランドのブルジヲアジ一の新たな占領への欲求とによつて、兩國の關係はさらに尖鋭化してゐる。ドイツのブルジヲアジ一は、東部國境の改訂の要求をますます頑強に提唱してゐる。反ソヴェート………の積極化と關聯して、ポーランドがドイツのブルジヲアジ一に讓歩して、その代りドイツに反ソヴェート遠征に参加してもらふといふ可能性もないわけではない。

ポーランドのブルジヲアジ一とリトワニヤとの關係は依然として緊張してゐる。ポーランド政府は、ヴィレン州の問題で一步も讓歩してゐない。ポーランドのファシスト團體の間には、今日に至るまでリトワニヤをポーランド國家に完全に併合する計畫がある。だが、對ソヴェート………關聯して、ポーランドはリトワニヤと和解しようと試みてゐる。ポーランドは、エストニヤ、リトワニヤ及びフィンランドを………共同戦線に引き入れるために積極的に活動してゐる。

ソヴェートとの……は、ポーランド・ブルジョアジーの根本的な中心任務であつて、ポーランドのブルジョアジー及び地主の内外政策のあらゆる問題は、この任務に従屬してゐる。

練習課題

- 一、ポーランド資本主義の發展の根本的矛盾は何か？
- 二、ポーランドが他國よりも先に經濟恐慌の局面にふみ込んだことは、何によつて説明されるか？
- 三、ポーランド・ブルジョアジーとソヴェート同盟との敵對性の強化及び干渉準備のテンポの促進は何によつて説明されるか？
- 四、ポーランドの農村に於ける社會階級的對立の激化はどこに現はれてゐるか？
- 五、西部ウクライナ及び西部白ロシアに於ける勤勞者の……はどんな任務を課されてゐるか？
- 六、……はポーランドの状態をどう特徴づけてゐるか？

第九 ルーマニア

地圖の研究

- 一、首府——ブカレスト市。
- 二、帝國主義戰爭の終結後ルーマニアが占領した諸州——ベサラビヤ、トランシルベニア、プロビナ。
- 三、ルーマニアの主なる可航河川——マローシ、セレート、ブルートの諸支流を有するダニユープ。
- 四、主要石油地域——ブラホヴァ、デムボヴィツァ。
- 五、國の行政上及び經濟上の主要中心地——首府ブカレスト、チエルノヴィツツ、ヤツシ、ガラツ、キユスチエンヂ（コンスタツツァ——黒海沿岸の港）。

一 戦後のルーマニア

ルーマニアはヨーロッパ大陸の南部に位してゐる。世界戰爭の終結後ルーマニアは、勝利した帝國主義側の一員たる國家として、その領土を二倍以上も擴張した（十三萬七千方秆から二十九萬四千方秆となつた）。

戦前のルーマニア（舊ルーマニア）は、三つの州——カルパチヤ山脈とダニユープ河との間のワラキヤ州、カルパチヤ山脈とブルート河との間のモルダヴィヤ州、ダニユープ河と黒海沿岸との間にあるドブルヂヤ州——から成つてゐた。

現在では上にあげた諸州の外に、さらに新しく占領された六つの州（新ルーマニア）がルーマニアに編入されてゐるが、その大部分は非ルーマニア住民を有してゐる。そのうちの主なる州は、ソヴェート同盟に屬してゐたが一九一八年にルーマニアが占領したベサラビヤ州、トランシルベニア州及びプロビナ州である。この後の二州は、舊ルーマニアに

くらべて工業方面ではヨリ發達してゐる。しかしこれら諸州の併合は國の經濟の型を少しも變更しなかつた。ルーマニヤは依然として後れた農業國である。

二 農業制度

戦前にはルーマニヤでは大地主的土地所有が支配してゐた。國の人口の五分ノ四を成す土地を持たないまたは少ししか持たない農民の鬭争は屢々尖鋭化された形態を採つた。

..... ルーマニヤの農民運動の強力な發展に衝擊を與へた。..... 驚愕した支配的ブルジョア地主階級は、農業改革の實行に取りかゝることを餘儀なくされた。

農業改革はポーランドに於けると同じやうにブルジョア的方法によつて行はれたが、この農業改革は不幸な諸結果をもたらした。大地主的土地所有は維持された。尤もその意義は幾分減少したが、其代りに有力な大富農層が成長した。

地主の土地の失はれた（もちろん有償で）部分は、誰よりも先づ國の有力なブルジョアの要素——僧侶、.....、富農その他——に分與された。土地を持たず、または少ししか持たない農民はその一小部分が、しかも極く僅かな地面で満足させられたにすぎなかつた。

改革の結果、農民經營の八三%は土地の四二%を領有し、平均面積一・四ヘクタールの分割地（一經營につき五ヘクタールを超えない）を持つことになつた。他方、全土地面積の二一%は、貴族地主に屬してゐる。彼等は經營のたつた五%に當り、一經營につき五ヘクタールからそれ以上を所有してゐる。最後に、土地面積の一七%は、全經營の約五%を成す農村の富農的部分（一經營につき一〇乃至五〇ヘクタール）の掌中にある。

このやうに、農民の大部分は全然分割地を持たないか、さもなければ半飢餓的生活をすら保證しないやうな小さな分

割地を持つてゐるにすぎない。

土地の少ない經營は屢々奴隸的條件で大所有者から土地を借受けることを餘儀なくされてゐる。分割地を買つたには貰つたが、しかし必要な農具を持たないところの、土地を持たず、または少ししか持たない農民の部分は、獲得した地片の耕作を斷念せざるを得ない。その結果、農村の富農的部分の掌中に土地の集積が行はれてゐる。

農業改革は農業問題を解決もしなければ、農民の状態を緩和もしなかつた。富農階級は封建的地主の殘存物と共に農村の主要な大衆を奴隸状態につなぎとめてゐる。

農民のがまんし切れない状態は、彼等をブルジョア地主制度に對する……………驅り立てゝゐる。ルーマニヤに於ける農民運動は、屢々……………や都市への農民……………等々といふ嵐のやうな形を取つて行はれてゐる。

三 農業

支配階級が經營を組織する力のないこと、彼等が國の優れた自然的可能性や天然富源を利用する能力のないことは、ルーマニヤの實例によつて特に一見して明瞭である。

ルーマニヤの地形は、二つの部分——平野と山岳——から成つてゐる。ダニューブ河に沿ひ、北は、トランシルバニアアルプ山脈によつて、南はバルカン山脈によつて區切られた平野は、非常に地味に富んでゐる。この平野は黄土沖積地から成つてゐて、灌溉が充分であれば素晴らしい收穫を與へる。しかしながら、氣候が大陸的であるため、こゝでは屢々旱魃や兎作が起る。現代の極度に低い農業水準の下では、收穫は主として堆積される沈澱物の分量に依存してゐる。

東部から平野にかけて豐饒な丘陵をなすベサラビヤがある。ルーマニヤの山岳多き西北部は低い諸山岳と森林の繁茂した高原とから成つてゐる。森林は全面積の二〇%以上を占めてゐる。カルパチヤ山脈の山麓は石油層や鹽層に富んで

をり、トランシルベニア山脈には金、銀、銅及び鉛の鑛脈がある。

ルーマニヤで行はれる主要耕作は、玉蜀黍、小麦、大麦である。工藝用植物のうちでは、蕎麥、煙草が栽培され、葡萄栽培も著しく廣まつてゐる。勤勞大衆の生活水準が低いにも拘はらず、ルーマニヤは多量の穀物を外國に輸出してゐる。農業は非常に低い水準にある。農業技術は原始的である。收穫率も低い。農民の六〇%は文盲である。

四 民族問題

ルーマニヤの農民問題は民族問題ともつれ合つてゐる。

ルーマニヤはかなり種々雑多な民族的構成を有してゐる。この點でルーマニヤはポーランドを想ひ起させる。全人口一千八百萬人のうちルーマニヤ人は三分ノ二を越えず、残りの三分ノ一は、モルダビヤ人、ハンガリヤ人、ウクライナ人、ブルガリヤ人、及びその他のヨリ少數の民族である。少數民族は二三の州では人口の多數派を成してゐる。例へばベサラビヤではモルダビヤ人及びウクライナ人が人口の絶對多數を成してゐる。トランシルベニア及びブコビナの或る地方でも同様である。この國で行はれてゐる民族政策、即ち………も亦、ルーマニヤとポーランドとは似たりよつたりである。………

………これこそ、民族的抑壓の普通の形態である。特に烈しい迫害を受けてゐるのは、新たに併合された土地の住民である、これらの地方に於けるその地位を強固にするために、ルーマニヤ政府は土着住民から土地を………その土地を舊ルーマニヤから移住するルーマニヤ人植民者に與へてゐる。このやうな政策は、ブルガリヤ人に對してドブルヂヤで非常に廣く行はれてゐる。

ベサラビヤの住民は、ソヴェート同盟に併合してもらはうと考へてゐるので、………を受けてゐる。ルーマニヤ

マニヤの農民黨が一九二五年に政府に手交した回章の抜萃はベッサラビヤの状態を特徴づけてゐるから、これを引用して見よう。

「ベッサラビヤは六年間を通じてアフリカのネグロ植民地ですら見られないやうな支配を受けてゐる(以下削除)。」

五 工 業

ルーマニヤの工業は低い發展段階にある。主要な意義を有してゐるのは、石油工業である。一九二七年には約二萬六千人の労働者が石油工業に従事してゐた。石油採掘の最も重要な地方は、アラホフ及びデムボヰツ地方である。ルーマニヤは世界石油生産に於て第六位を占める。探掘石油生産物の半額以上は外國に輸出される。石油輸出を低廉にするために、石油地方とコンスタンツァ港とが石油輸送管によつて繋がれてゐる。ルーマニヤの石油業は實際には英佛資本の掌中にある。

鑛山業の爾餘の部門はトランシルバニヤに集中されてゐるが、あまり發展してゐない。

冶金工業の發展も貧弱であつて、工場の多くはトランシルバニヤ及び舊ルーマニヤにある。

製造工業も同じく充分な程度には發展してゐない。従つて工業商品の國內消費高の半額は、外國商品によつて満足されてゐる。

世界市場に於ては、ルーマニヤは小麥、家畜、石油及び木材の供給者として乗り出してゐる。

資本主義のヨリ後れた型、主として高利貸型の代表者たるルーマニヤのブルジョアジイは、新たに併合された諸州の經濟力を弱め、そのブルジョアジイを自己の勢力に従屬させようとしてゐる。それと共に、ルーマニヤのブルジョアジイは、舊ルーマニヤに工業の基礎を「獨立に」築かうと試みてゐる。大工業を植えつけようとする試みは、それだけでなく

とも極度に困難な條件の下にある労働者階級や農民大衆に對する猛烈な壓迫によつて行はれてゐる。

ルーマニヤに於ける資本の非常な不足と消化力ある市場の缺如との條件の下に於けるこのやうな工業化強制政策は失敗に歸してゐる。ルーマニヤ・ブルジョアジーのこのやうな政策の唯一の結果は、新しく併合された諸州の經濟的發展を阻止し、外國資本によつて經濟がさらに一層奴隸化されることである。

世界資本主義經濟の恐慌はルーマニヤに大打撃を與へた。農業の不安定と工業の貧弱さとは恐慌の急速な展開を助け、そして現在あらゆる經濟部門が恐慌によつて破壊されてゐる。ルーマニヤの労働者階級は苦しい條件の下にある。彼等の勞賃は半飢餓的生活すら保證し得ないほど低い。労働日は十時間から十一時間だ。

、ルーマニヤの労働者運動は澎湃として昂揚してゐる。労働者階級は、その利益を一再ならず裏切つた社會ファシストをもはや信用しなくなつて、自分………を意
識し始めてゐる。

六 ソヴェート同盟とルーマニヤ

ルーマニヤとソヴェート同盟との關係は敵對的である。ソヴェート同盟は、ルーマニヤ・ブルジョアジーが………ベサラビヤを占領しこれを領有する權利を承認しない。ルーマニヤは、ポーランドと同じやうに、ソヴェート同盟との鬭争のために帝國主義列強、特にフランスの掌中にある従順な武器だ。フランスの資本家の力をかりてルーマニヤは猛烈に………整へてゐるが、ソヴェート同盟との………であるといふ自己の眞の意圖を別に隠し立てようともしてゐない。

ルーマニヤとブルガリヤ及びハンガリーとの關係は良くない。その代りポーランドとは見解も利益も完全に一致してゐる。ルーマニヤは………對する共同行動のための軍事同盟をポーランドと結んだ。

練習課題

- 一、現代ルーマニヤの農業制度の性質はどうであるか？
- 二、ルーマニヤの經濟的立ち後れは何によつて説明されるか？
- 三、ルーマニヤとポーランドとは民族政策の實行に於てどの點が類似してゐるか？
- 四、ルーマニヤ・ブルジョアジーによつて占領されたベッサラビヤの動勞大衆の狀態はどうであるか？
- 五、ルーマニヤに於ける×××勞働者運動の狀態はどうであるか？

第十　バルチック沿岸諸國

A　エストニア、ラトヴィヤ、リトワニア

地圖の研究

- 一、エストニア（タールリン）、ラトヴィヤ（リガ）、リトワニア（コブノ）。
- 二、主なる港——タールリン、リガ、リバウ、メメル。
- 三、バルチック沿岸諸國の鐵道網の方向を調べて見よ。

バルチック沿岸諸國は皆ひつくるめて、僅か十六萬九千二百平方呎の面積を占め、五百二十萬の人口を持つてゐる。これらの諸國は世界資本主義經濟上大きな經濟的重要性を持つてゐない。

帝國主義戰爭前にはこれらの諸國は舊ロシアのものであつた。

一　舊ロシア帝國の構成部分としてのバルチック沿岸諸國

ツァーリの政府はバルチック海の東岸に位するエストニア及びラトヴィヤの優れた地理的位置を、これらの沿岸で海港を創設し發展させるためと、國の對外通商に役立てるためとに利用した。タールリン（レバル）、リガ、ビンダバ、リバウ（この後の二港は殆んど凍結しない）のやうな諸港は一方では舊ロシアの最も重要な工業及び農業諸地方と鐵道で連結し、他方ではまた最も主要な世界の諸港と連絡があるので、自然急速に發展し、またこれらに隣接する諸地方の經濟

的發展に著しい影響を與へた。殊に經濟的發展でかなり成功したのはエストニアとラトビアで、大戰前すでかなり發達した工業（機械製作、造船、化學工業、織維、及びゴム）と相當集約的な農業とを持つてゐた。

帝國主義戦争とロシアの十月革命とは、これらの國々の經濟的及び政治的狀態に著しい變化を齎らした。

エストニア、ラトビア及びリトワニアは、國際資本の意志通りに、ソヴェート同盟と資本主義世界との間の緩衝地域となるといふ重要な使命を持つ「獨立した」ブルジョア共和國と化してしまつた。

二 經濟の農業型

エストニア、ラトビア及びリトワニアは酪乳及び養豚の方面に偏した農業諸國である。

經濟の農業的性質が特によく現はれてゐるのはリトワニアである。こゝでは農業従事者人口は國內の全人口の七九%に達してゐるに拘はらず、ラトビアでは六一%、エストニアでは五九%である。

この三つの國にとつて最も大きな意義をもつてゐるのは土地問題である。戦争前こゝを支配してゐたのは大地主的土地所有である。一九一八年、ブルジョアジーは………に對して恐怖の餘り農業改革の實行に取りかゝつた。

その結果、主として亡命したドイツの男爵たちに屬してゐた大地主的土地の大部分が清算され、農民たちの間に配分された。だがこの改革の階級的意味は地主所有地に代へて農村に於けるブルジョア政府の社會的支柱たるべき特に強固な富農經營を作り出すことにある。この目的は著しい程度に達せられた。この三ヶ國全體に於て富農（特に農場の形態での）經營は激増し、その政治的役割も増大した。それと共に小自作農や小作人の生活水準は、戦前の時期に比して悪化した。かうして二十萬足らずの小作人をもつエストニアでは、同時的な廣泛な生活必需品の物價暴騰に際して賃銀は戦前の三分の一以下であつた。

かうした農業改革が農村に平穩をもたらさず、(八字削除)の衝撃となつたことは明かである。

帝國主義戰爭中にひどく損害を蒙つた農業はいまだに全く復興してゐない。このことは何よりも先づ耕作について言へる。エストニア及びラトヴィヤの作付面積はまだ戦前の水準に達してゐない。

一九一三年に對する一九二九年の作付面積の百分率

ラトヴィヤ……………八八・九%

エストニア……………九四・三%

リトワニヤ……………一〇七%

農耕發展への否定的影響は穀物價格の低い水準と國內市場に於ける外國穀物の競争とである。幾分いゝ状態にあるのは牧畜であつて、これは次の表で分る。

一九一三年に對する一九二九年の有角畜類の百分率

ラトヴィヤ……………一〇五・三%

エストニア……………一一八・九%

リトワニヤ……………一三〇・六%

邊境諸國が西歐諸工業國(エストニア、ラトヴィヤ及びリトワニヤはこれら諸國にとつては農業的屬領だ)に近接してゐることは經濟の牧畜的傾向に對應してゐる。これらの國々の農業で大きな役割を勤めてゐるのは亞麻栽培である。

邊境諸國は國外市場では農産物、特に畜産物の供給者であり、また外國工業製品の消費者である。各種の農産物及び木材の輸出はリトワニヤの全輸出の九七%で、ラトヴィヤでは八〇%、エストニアでは七〇%である。

……である。低い勞賃、漫性的失業、政治上の無權利——これらが、すべてのバルチック沿岸諸國に於ける勞働者階級の狀態の特徴ある特質である。

經濟恐慌と結び付いて、ブルジョアジーは勤勞大衆への壓迫をさらに一層強めた。

五 ソヴェート同盟との相互關係

……粉砕ののち權力を握つたバルチック沿岸諸國のブルジョアジーはソヴェート同盟に對して烈しい敵對的立場を採つた。内亂の諸年度に彼等は白衛軍を援助し、自らはフランス及びイギリスの帝國主義者たちが吾國に對して行つた戰爭及び干渉に参加した。内亂終末後バルチック沿岸諸國とソヴェート同盟との平和條約が締結されたが、それにも拘はらず實際にはこれらの國のブルジョア政府と吾國との諸關係は依然として敵對的のまゝである。邊境諸國の政治を方向づける帝國主義者たちは……實現するために、これらの諸國をあらゆる西部隣接國から成る統一的反……プロツクにひき入れようと必死の努力をしてゐる。

かういふ計畫の實現を妨げてゐるものは資本主義諸國の勞働者階級の側からの激しい抵抗や、帝國主義者の陣營内、並びに吾西部隣接諸國の間に於ける諸矛盾である。

吾國とリトワニヤとの關係は幾分特殊な條件の下に出來上つてゐる。ポーランドの側からの帝國主義的執着の對象であり、またリトワニヤ侵略といふポーランド・ブルジョアジーの計畫に對する吾國の否定的態度を知つてゐるリトワニヤはソヴェート同盟に對しては、ほかの西部隣接諸國よりも一層非敵對的政策を取つてゐる。

六 エストニア

エストニアはフィンランド灣以南の小領土を占めてゐる（四萬八千平方キロメートル）。バルチック海上の多くの島は

エストニヤに屬してゐて、そのうちで最も大きな島々はエーゼル島とグゲ島である。フィンランド灣の沿岸には重要な港で首府のタールリン（レバル）がある。エストニヤとソヴェート同盟との國境はベイブス湖を通つてゐる。

エストニヤの經濟の基礎は特に牧畜的性質を帯びた農業である。穀物耕作は廣く發達しなかつたが、その代り亞麻と馬鈴薯の栽培はかなり廣く普及した。

エストニヤは有用な礦物に乏しいが、多少の意義をもつてゐるのは泥炭の採掘だけである。

大戰前エストニヤはかなり大工業企業——織維工業、金屬製作工業、製紙、製材、等々——をもつてゐた。これらの工業部門の製品はロシアの市場を自當としてゐた。いまでは工業生産は激減した。エストニヤのブルジョアジーは工業品販賣のための外國市場がないためと、また資本不足とのために大工業を再建することができなかつた。そこで國內市場は、もともと貧弱なのだが、それが漸次萎縮してゐる。それは支配的ブルジョア團體の政策が廣汎な勤勞大衆の貧困化に導いてゐるからである。

エストニヤの全人口は百十萬人であり、その密度は一平方キロメートル當り二十三人である。民族的割合では人口の八七・七%はエストニヤ人である。

世界經濟恐慌の發展はエストニヤのあらゆる經濟部門に亘つて重苦しく反映し、國の經濟狀態を惡化させた。

エストニヤの政治的地位はファシズムの成長が特徴である。エストニヤ・ブルジョアジーは出來上つた袋小路からの血路を公然たるブルジョア……の確立に求めてゐる。それはかうして……を窺ひさせ、自分の支配を維持するためなのである。

エストニヤの勞働者階級は勤勞農民と同盟して、……やつてゐる。社會民主主義者

たちはブルジョアジーをそのファシスト的本能で積極的に支持してゐるが、それらの労働者階級への影響は皆無である。

對外政策ではエストニアは居一層とポーランドに近づき、ポーランドと共に………プロックを結成してゐる。エストニアの政策に強い影響を與へてゐるのはイギリスである。イギリスはエストニアの領土を自己の………足場と轉化しようとしてゐる。エストニアは對ソヴェート同盟………をしながら………に多額の金を支出してゐる。この點でエストニアは帝國主義者列強の支持を得てゐる。

七 ラトビヤ

ラトビヤはバルチック海のリガ灣に臨む僅かな面積——全部で六萬五千七百平方杆——を占めてゐる。人口は百八十八萬人、密度は約二十八人である。民族的組成は次のやうである——ラトビヤ人は七三・四%、ロシア人は一二・六%、ユダヤ人は五・二%、ドイツ人は三・八%、ポーランド人は二・八%、その他は一・二%である。

ラトビヤの主要經濟生活は農業であつて、その傾向はエストニアと同じやうに、牧畜である。この後者の生産物は輸出の最も重要な項目である。耕作は比較的集約的に行はれてゐるが、その穀物は國內の需要を満たすに足りないので、毎年その大部分は外國から輸入してゐる。

世界大戰はラトビヤの工業に痛撃を與へた——大工場はロシアに引き渡され、諸企業の一部は破壊された。ブルジョアジーは、資金、販賣市場、及び従つて經濟運営の盜賊的方法の欠除のため、従前の規模に工業を再建させることができなかった。いまでは製材、食料品、織物及び化學（ゴム）工業の小企業が主として活動してゐる。鑛業はあまり發達してゐない。戦前の時期にくらべて國の農業化が強行された。

労働者階級は最も重要な海港都市——リガ、ヴィンダヴァ、リパウ——に集中し、その数は八萬人に達してゐる。経済恐慌は労働者階級の政治的諸権利に對するブルジョア富農政府のプロロツクの攻撃を強化した。プロレタリアートの経済状態は烈しく悪化し、失業は大衆的規模となつた。

八 リトワニヤ

リトワニヤは面積五萬六千平方呎、人口二百三十萬人を有して、ニーメン河の中流及び下流に沿つた低地を占めてゐる。リトワニヤはソヴェート同盟との直接の境界は有してゐない。この兩國を區分してゐるのは、一九二一年にポーランドのブルジョアジーが占領して、今日まで……ポーランドの所領に取り込んでゐるビルナ地方（リトワニヤ廻廊地域）である。

リトワニヤは舊ドイツ領のメメル港とそれに附帶する僅かな臨海地域とを一括して譲り受けることによつて得たバルチック海への出口をもつてゐる。

人口の民族的組成は次のやうである——リトワニヤ人は八〇%、ユダヤ人は七%、ポーランド人は三%、ドイツ人は四%、ロシア人は二%、及び其他は四%である。

リトワニヤは遅れた農業國のうちに屬してゐる。リトワニヤの農業は低い水準にある。經營の分散、主要な農民大衆への苛税の賦課、農村の資本主義的富農的上層の壓迫、これらは農業の不安定と生産性の緩慢な發展とに導いてゐる。

兎作はリトワニヤの農村では非常に屢々ある現象である。豊作の諸年度には國內の消費は充分に充たされなければ、穀物の若干量は外國に輸出される。

リトワニヤの農業で重要な意義をもつてゐるのは、亞麻栽培と牧畜である。毎年家畜、畜産物及び亞麻の著しい部分

は外國に輸出される。

工業の發展は貧弱である。農業原料や木材加工即ち製革、食料品、製材の小企業は廣く普及してゐる。主要な工業製品についてはリトワニヤは全然大資本主義諸國家、主としてイギリス及びドイツに頼つてゐる。ポーランドによつて占領されたビルナが國の首府として知られてゐるが、この國の主要な行政中心地はカウナス（コブノ）市である。

リトワニヤの政治制度は一九二六年のファシスト變革後確立されたファシスト獨裁の完全な……を特徴としてゐる。あらゆる……組織は驅逐され、労働組合は禁止され、……は迫害されてゐる。

リトワニヤのプロレタリアート及び農民の悲惨な經濟狀態は、リトワニヤをも襲つた世界經濟恐慌と關聯して更に一層惡化した。

練習課題

- 一、バルチック沿岸諸國の經濟的貧弱さの根本原因はどんなものか？
- 二、邊境諸國はソヴェート同盟に對する干渉準備にどういふ役割を勤めてゐるか？

B フィンランド

地圖の研究

- 一、フィンランド（ヘルシングフォルス）、フィンランドの主要な港及び經濟中心地——ヘルシングフォルス、タムメルフォルス、オーボ、バイボルグ。

二、ヴオクサ河とイマトラ瀑布、こゝにフィンランド第一の水力発電所が設けられてゐる。

一 フィンランドの形成

フィンランドは一九一八年以來獨立的な全體として存在してゐる。それまではフィンランドは別個の侯國として舊ロシア帝國の一部であつて、或る自治權を有してゐたが、この自治權もツァリズムがこの國を壓迫することを妨げはしなかつた。

十月革命はフィンランドの民衆を………から救ひ出した。ソヴェート權力はフィンランドに自由な自治權を與へた。フィンランドの勞働者大衆はロシア社會主義聯邦ソヴェート共和國への加入に味方したが、しかし不完全な政治組織のためそれを實現することができなかつた。ブルジョアがこの國の權力を握り、資本主義的關係を維持した。一九一八年フィンランドに勞働者の………が起り、その結果國の南部が………の掌中にあつた。そのうち展開された内亂ではドイツ帝國主義の力をかりて………ブルジョアが勝利者となつた。

フィンランドはヨーロッパの北部に位し、その領土はバルチック海の東北沿岸（ボスニヤ灣及びフィンランド灣）から北極海に亘つてゐた。領土の廣さ——三十八萬八千二百平方杆——から言へば、フィンランドはポーランドよりも少し劣るだけであるにも拘はらず、人口數——三百五十萬——の點では、ポーランドだけでなく、北部の隣邦スエーデンにも遙かに劣つてゐる。

二 農業制度

フィンランドは農業及び林業國である。この國の自活人口の六五％は農業及び林業經營に従事し、一四・九％は工業に従事してゐる。農業の總生産物の價値は工業生産物の價値を幾分凌駕してゐる。

國の自然的諸條件は農耕には殆んど適してゐない。耕作される農業面積は全領土の約九%を占めてゐる。

僅かな私有農業面積は極めて不均等に配分されてゐる。小作人及び小借地農は農業人口の壓倒的部分をなしてゐる。耕地面積全體の六八%は、全經營の約一六%を成す地主及び大富農經營に屬してゐる。二十五ヘクタール以上の土地を有する四・四%のものが土地全體の三五・六%をもつてゐる。農村のこの富農層はいまのフィンランド・ファシズムの社會的支柱なのだ。

小借地農は土地を奴隸的諸條件で富農から借りるか、それとも農奴の陣列に入りながら、土地との繋りを全然絶ち切るかを餘儀なくされてゐる。農業労働者は四十萬人と算定されてゐる。

土地問題の尖锐化は農民運動の強力な發展のための地盤を作り出した。一九一八年末以來、ブルジョア政府は、……脅威を受けて、農村を鎮靜させることを目當に農業改革の實施に取りかゝつた。農業改革はブルジョア的方法で行はれた。つまり地所の割譲は大經營の僅かな部分に關し、それらを購入するといふ方法によつて行はれたが、農村の農奴、貧農の部分にはそれができないことは明かだつた。購入された土地の大部分は富農部分の所有に移行した。かうして農奴、貧農（即ち農民全體の五〇%以上）の状態は改善されるどころではなかつた。

民族的割合ではフィンランドの人口は比較的單一である。フィン人が全人口の八八・七%を成し、次にスエーデン人が一〇・九%、残りの〇・四%はロシア人、ラブランド人等々に當つてゐる。

三 フィンランドの農業

フィンランドの農業は主として、牧畜に専門化されてゐる。牧草の播種は、穀物及び技術的耕作と同じ面積を占めてゐる。

國の荒涼たる自然的條件は農業に適した状態を作り出さない。フィンランドの地形は多くの低い高原や、甚だ多数の湖水、沼澤、急流の多い河を有する丘陵地から出来てゐる。國の地面の大部分は非常に薄くて肥沃ではない。多くの地方では花崗岩が地表に出てゐる。氣候的條件も同じく厳しい。過度の濕潤、春夏の初霜は、穀類耕作物の發育に否定的影響を與へる。氣候的條件から言つてこの國の北部では農耕は殆ど不可能である。従つて主要な農耕地方は南部にある。

主な栽培物は、燕麥、ライ麥、大麥、馬鈴薯である。

農作で大きな地位（作付面積の五〇%足らず）を占めてゐるのは牧草の播種である。かうした事情は牧畜の重要な意義を指示してゐる。牧畜の状態から見れば、フィンランドは西ヨーロッパ諸國家のうちで顯著な地位を占めてゐる。家畜の主要な種類は大きな有角獣である。バターと乾酪とはフィンランドの最も重要な輸出商品である。フィンランドは自國産の穀物では充分でないので、國內の消費を充たすために穀物を外國、主としてソヴェート同盟及びアメリカ合衆國から輸入してゐる。

四 林業

主な國富は森林であつてフィンランドの全人口の半ば以上は森林の經營に従事してゐる。山林は國の全面積の六〇%足らずを占めてゐる。工業生産物の價值總量の約五〇%は製材Ⅱ及び製紙工業に歸する。フィンランドの輸出に於て主位を占めてゐるのは森林とそれに關聯する諸生産部門である。森林工業の發展は多数の小作人の存立を容易にし、これがかも主要な林業工業の労働者軍を形づくつてゐる。フィンランドのプロレタリアート全體の半ば以上は製材Ⅱ、製紙Ⅱ及び林業工業に集中してゐる。

フィンランドは立派な國內水路網と木材輸出のために特殊な設備をもつ諸港とをもつてゐる。フィンランド木材の主

要消費國はイギリス、オランダ、フランス及びドイツである。

五 『白炭』

フィンランドは有用礦物に乏しい。その代りにフィンランドは『白炭』の大きい埋藏に依據する廣汎なエネルギーの基礎をもつてゐる。フィンランドは石炭をもたないので、電化の發展に非常な注意を拂つてゐる。水力發電所の周圍には、最も重要な工業中心地、クムメルフォルス、ヘルシングフォルス、バイボルグ等々がある。イマトラ瀑布（サイマ湖からラドガ湖へと流れてゐるヴォクサ河にある）の發電所は最も強力な装置である。織物Ⅱ及び冶金工業は輸入原料を必要とし、その發展は國內市場を基礎としてゐるので、小規模である。

六 恐慌と労働者階級の狀態

爆發した世界經濟恐慌はフィンランドを素通りしなかつた。フィンランドでも生産の縮小、失業の増加、資本家たちの貨銀への攻撃が行はれてゐる。

フィンランドの労働者階級は經濟的及び政治的壓迫の下にある。一九一八年の……鎮壓の後、フィンランド・ブルジョアジーは優れた代表者たちの……に到るまでプロレタリアートに對して……やつてゐる。國內ではブルジョアジーは公然たるファシスト的獨裁を樹立した。……労働者の組織は驅逐され、労働者新聞は迫害され、労働者の集會は禁止されてゐる。それとともにブルジョアジーはあらゆる反革命的勢力をも組織してゐる。常備軍（三萬五千）のほかに、彼等はブルジョア獨裁の軍事的支柱である十萬を數へる半軍事的ファシスト組織（シュツコール）をもつてゐる。

かういふ支配方法によつてフィンランド・ブルジョアジーは不可避的に成長しつゝある……を回避しよ

うと望んでゐる。

フィンランド・プロレタリアートは少数であるにも拘はらず、世界労働者階級の……である。

七 ソヴェート同盟とフィンランド

國際政策に於てフィンランド・ブルジョアジーは全く帝國主義者列強の手先となつてゐる。ソヴェート同盟に對する態度は明かに敵對的である。フィンランドは反ソヴェート戦線に漸次参加してゐる。最近の大統領選挙に勝つた結果、ファシストたちが事實上權力にありつゝいてからこの過程は特に強化した。勝つたラプア政府（ラプアはフィンランドのファシズムの中心）のスローガンはカレリヤ・ソヴェート共和国と謂ゆる『インゲルマンランヂヤ』（舊ペトログラード縣）との占領によつてフィンランド領を擴張することであつて、ファシストの公式機關紙はフィンランドの東部國境はウラルに沿うて通じなければならぬといふスローガンを掲げた。だがファシストたちはたゞ帝國主義的なスローガンを掲げるばかりでなく、彼等は強力に……、ソヴェート同盟に對する煽動政策をやつてゐる。かういふ諸條件の下でソヴェート同盟は終始一貫して平和政策を行ひつゝ、フィンランド・ブルジョアジーのかうした冒險的計畫に決定的な抵抗を與へることを常に用意してゐなければならぬ。

練習課題

- 一、フィンランドの農業制度の性質はどうであるか？
- 二、フィンランド經濟の傾向はどうであるか？
- 三、フィンランドに於ける労働者階級の狀態はどうであるか？
- 四、フィンランドの經濟制度の特殊性はどうであるか？

第十一 トルコ

地圖の研究

一、トルコ——首府アンゴラ。

二、主要商工業中心地——コンスタンチノーブル、スタタリ、スミルナ。

三、石炭産地——サンブルダーク、エネルグリ。

棉産地——アダナ、スミルナ。

煙草及び養蠶——ブルサ。

一 オットマン帝國はイギリス、ドイツ、帝政ロシアの鬭争対象

オットマン帝國と稱されてゐた戦前のトルコは今日のトルコの外になほシリヤ、イラク、パレスチナ、ヘジャス及びエジプトをも含む領土を占めてゐた。

トルコは豊富な資源——石炭、石油、銅、鐵礦等々——と良好な氣候とに恵まれてゐたので、その他の諸條件があれば經濟的に發展した強國と化することができたかも知れない。だが封建的遺物に拘束され、またイギリス、ロシア、次いでドイツとの間の不斷の鬭争の対象であつた半植民地國としての舊トルコ（オットマン帝國）の状態は、國土の生産諸力の發展を阻害した。

遅れた農業、家内手工業の類型の工業及び貧弱な交通網、これらがトルコの經濟の特徴である。

この國の國民經濟のあらゆる支配的地位（銀行、鐵道、商港、工業）を握つてトルコと結んだ不平等條約から生ずる

諸特權（これらの不平等條約はサルタンのトルコが諸外國に對してもつてゐた戦前三十億フランに達する莫大な負債の結果である）を利用してゐた外國資本はこの國から一切の力と蓄積と富とを奪ひ去り、終に人民を破滅させた。

弱い從屬的なトルコがオットマン帝國を「病人」と看做してその遺産に目を付けた帝國主義諸國の鬭争對象と化してしまつたのは一九一四——一八年の戦争の遙か以前である。

ツアールのロシヤはその黒海諸港と諸外國とを結びつけてゐる貿易路が通り抜けてゐるためにこの海峡を占めようと努力した。イギリスは印度への通路に當つてゐる地中海へロシヤ帝國主義を進出せしめないやうに活動した。「トルコの遺産」を狙ふこれら二大僭望者に、後からドイツ帝國主義を先頭とする第三者が加つてゐる。後者のオットマン帝國への侵入は大戦前最も具合よく行はれた。特殊的にはそれはコンスタンチノーブルからバグダードを通つてベルシヤ灣に達する鐵道を敷設する許可をうることに成功した。ドイツ帝國主義者たちの計畫によると、この鐵道はベルリンからコンスタンチノーブルへ通ずる通路の繼續であり、またドイツがベルシヤ灣及び印度へと貫通するための手段のつもりであつた。近東に於けるイギリス及びドイツの抗争は一九一四——一八年の帝國主義戦争の主要な原因の一つであつた。

トルコは帝國主義戦争に捲き込まれて、自分の同盟國ドイツ及びオーストリア・ハンガリーと共に分裂させられた。聯合國によつて強制されたセーヴル條約（一九二〇年八月十日）はトルコにその以前の領土の三分の一だけを残した。

イギリスはメソポタミア（イラク）とパレスチナを、フランスはシリヤを、ギリシヤはフラキヤとスミルナ地方とを奪つた。トルコはエチオピア（形式的にはオットマン帝國の一部になつてゐた）、アルメニヤ（現在の領土の東部）及びヘジャスに對する利權を放棄しなければならなかつた。海峡は沿岸地方と共に國際聯盟（事實上イギリス）の管理に移つた。國のあらゆる經濟生活は戰勝國の統制の下に置かれてしまつた。この條約はトルコの獨立を廢滅し、トルコの農民

と労働者と共に植民地的奴隷の状態を齎らし、土着のブルジョアジーの活動領域を甚だしく縮小さした。

經濟的方面で壓迫されたトルコのブルジョアジーは帝國主義者たちに對する民族解放闘争の旗をかゝげてゐる。ブルジョアジーは人民の廣汎な諸層、特に農民を自分の背後に牽きつけることに成功してゐる。ケマル・パシヤの指導によつて創設されたトルコの軍隊は一九二二年にイギリスの從臣、ギリシヤの軍隊を撃破してゐる。セーヴル條約の廢棄は民族解放戦争の成功した歸結であつた。

新條約によつて、フラキヤ、スミルナ地方及びアルメニヤがトルコに返還された。オットマン時代の負債が双肩に重くかゝつてゐたといへ、トルコは嘗て締結された奴隷的條約が廢棄されて、獨立した平等な國家となつた(52)。

(52) しかし海峡は武裝が解除され、國際委員會の管理に委ねられて、諸外國の軍艦の通航が自由になつた。

トルコ民衆の帝國主義者たちとの成功的な闘争は二つの原因によつて示すことができる。第一に、トルコの背後にゐたのはツァールのロシアではなくて、民族解放運動を歓迎しそれに助力してゐた……であつたこと、第二に、帝國主義者自身の陣営内には統一がなかつたことである。トルコはフランス側から大きな援助を受け、また一方イギリスの帝國主義者たちはギリシヤを支持した。このイギリス帝國主義とフランス帝國主義との抗争はモスルの石油のための彼等の頑強な闘争に由來してゐる。

二 ……の没落と權力のブルジョアジー及び富農への轉行

民族解放戦争の結果、封建領主や僧侶の支配してゐた舊い………されて、民族ブルジョアジーが權力を有する共和政體が樹立された。立法權と執行權とは形式的には一院制の議會——トルコ大國民會議に屬してゐる。

三 農業の特殊性

いまのトルコは戦前と同様に舊い農業國である。一九二七年の調査資料によると、トルコの總人口千三百六十六萬人の中、八〇%が農業人口に當つてゐる。

トルコの總面積の中、耕地の分け前はその九%に當る約四百萬ヘクタールである。耕作されてゐる土地がかうも僅かな百分率を占めてゐるのはある程度まで自然的諸條件によつて説明される。國の地勢は高原をなしてゐて、それが北と南と東とで山脈となつて終つてゐる。トルコの内部は氣候が乾燥してをり、そのためかなりの地域が乾燥したステップと半荒地である。これらのステップや半荒地を開拓するには大規模な灌漑事業が必要である。だがこの事業は地主によつても政府によつても行はれず、さりとて困窮した農民にはそれは到底できない相談なのだ。

穀類は全耕地面積の八九・五%、工藝用作物は六・六%、菜園と果樹園は三・九%を占めてゐる。トルコの農業の主要な作物は小麦、大麦、棉花、煙草、葡萄及び各種の果實である。穀類が著しい面積を占めてゐるにも拘はらず、トルコは低い收穫率のために自國の穀物では足らず、外國、主としてソヴェート同盟からそれを輸入してゐる。

トルコ農業の第二の大きな部門は牧畜である。飼育されてゐる家畜の種類のうち最も廣まつてゐるのは、羊、山羊（そのうちには有名な柔毛のアンゴラ山羊も含まれてゐる）であつて、これに次いで大きな有角獸と驢馬とである。煙草、果實、毛皮、棉花、獸皮はトルコの主要な輸出種目である。

トルコの農業の特殊性は、トルコ農民の極度な貧困の結果としての甚だしい技術上の遅れ方である。一九二七年の調査によるとトルコでは農具は全部で百四十萬個を數へたが、このうち文字通りの農業用機械は一萬五千七百個であつた。

國內に於ける牽引動物は三百四十萬頭で、主として驢馬である。農家一軒當りの平均収入は非常に低く、年收約百二十ルーブルである。

四 農民（貧農及び中農）の狀態

トルコの農民は民族解放戰爭の全負擔を自分の肩で荷つたにも拘はらず、彼等の狀態は戰前、つまりサルタン時代に於ける悲惨な狀態と殆んど異ならない。彼等は土地の大部分、しかも優良な部分が富農と地主の手中にあること、關聯をもつ耕地の不足と、生産手段の除外とに従前通り苦しんでゐる。一九二七年には中央アナトリーヤで、全經營の六五％に當る最も貧困な農民は僅かに一％の耕地、つまり一經營當り〇・五ヘクタールから一・五ヘクタールをもつてゐただけである。一方、全經營の一〇％を占めてゐる富農と地主の部分は耕地の五五％に相當してゐた。貧農は土地、往々にして生産手段までも持つてゐないので、餘儀なく地主から農奴的な條件で借地しなければならなかつた。

そのうへ全部で年に僅かに約百二十ルーブルに當る農家の貧しい家計のなから國稅として三分ノ一が控除される。そのほかこのとるに足りない金額のうちから更に高利貸がその取り前を取上げる。その結果トルコの農民は高利貸の不拂ひ債務者、國家の租稅未納者となる。トルコの農民が生存することの困難さは次の一國民主義者の指摘によつて確認される。

「トルコの經濟的發展に對する主な障礙は、農民が自己の活動領域を擴張するための必要な資本を集めることができないか、またできて大したものではないといふことである。

「物價は農民に對する大なる損失を伴つてきまる。農民の生産物の販賣を統制する諸條件はよりよきものと望むことを止めさせる。不幸な者達は否應なしにまだ根のある作物を賣却させられたり、貪慾な仲買商人が決めた價格で賣らされたりしなければならない……。

「反對に農民は、餘儀なく自分や自分の家族たちに必要な工業生産物を法外な高値で求めなければならず、また多く

の場合、自分の商品を不思議な値段で押売りしたり、空想的な利子をとつて金を貸付けたりするあの高利貸、商人たちからそれらを買はなければならない。食慾な高利貸は時として、年に六割から十二割の利子を捲き上げる。

『そのうへ農民が國庫に納めなければならぬ租税を加へるならば、吾々は、この光榮ある人々がなぜ漸次完全な貧窮へと接近しつゝあるかが容易に分るであらう。』

トルコのブルジョアジーが民族解放闘争の時期に「農民諸君」と呼んで幾多のことを約束したその農民が、破滅し、土地を失ひ、貧困に追ひやられつゝある。餓えた半裸體の農民が都市へ逃亡する。だがトルコの工業の發達は微々たるものであるから、彼等は浮浪人となるか、それとも山中へ去つてケマル主義と闘ふかしなければならぬ。

五 トルコ工業の半手工業的性質

租税の重壓、補助金、及び工業商品の價格を二倍以上に高めてゐる高率の關稅、これらの助けを藉りて、ケマル主義者は國の工業化を無理やりに行はうとしてゐる。工業化にはまた無權利な労働者階級に對する残忍な搾取が助力を與へてゐる。労働時間は無制限で、低い賃銀（平均八十コベック）のもとで十四—十五時間に達してゐる。……

……労働組織は地下深く追ひやられてをり、ストライキの組織に對して牢獄の一年間が課される（一九〇九年の法律による）。あらゆる迫害にも拘はらず、労働者は自分の物質的狀態を改善する目的をもつて屢々ストライキをやり、そしてこのストライキが彼等の勝利となつて終ることも珍らしくないのは本統である。

ケマル主義者のあらゆる努力にも拘はらず、今の所トルコの工業の發達は極めて幼稚である。この國の六萬五千の工業企業のうち、僅かに二千八百が機械の動力を使用してゐるだけである。織維工業（最も發達した部門）では、企業の一八%が雇傭労働なしで働いてをり、五七%が二人から十人までの労働者を有し、僅かに全企業の五%が工場タイプの

企業であるだけである。国内にある有用礦物（石炭、鐵、銅、石油、等々）は殆んど全く採掘されてゐない。トルコは工業商品の需要を外國からの輸入で充たしてゐる。

工業の發達は、一方國內市場（特に農民の）の無力さに、他方資本の不足に依據してゐる。土着資本は工場を建設するよりも、むしろ多大の收入を齎らす高利貸業に赴く。鐵道敷設の領域に於けるケマル主義者の活動は割合に成功してゐる。一九二八年には鐵道の總延長が四千六百三十七キロメートルであつたが、このうち二千二百四十八キロメートルが國有で、二千三百八十九キロメートルが外國資本に屬してゐた。政府の注文によつて更に千九百六十七キロメートルが外國資本によつて建設されつゝある。

六 外國資本の役割

國の工業化に努力してゐるケマル主義者の前途に横たはつてゐる困難は、ローザンヌ平和條約によつて課されたオスマン時代の負債（舊トルコの負債）の一部をトルコがその局限された資本をもつて果さなければならぬと云ふ事情によつて、一層深められてゐる。

そのほか、少なからぬ財産が、一九一四——一八年の戦争までにトルコの國民經濟に投下された外國資本に對する配當の形式で國外へ去つてゐる。

トルコの經濟に投下された資本のうち、第一位にあるものはフランス資本（三分ノ一）で、次にイギリス、ベルギー等々の資本である。

外國資本はトルコへ侵入して、トルコとソヴェート同盟との親善關係に變化を來たさせようと努めてゐる。かうして例へば一九三〇年の半ばにフランス帝國主義はトルコを自己の反ソヴェート活動の仲間にひき込まうと努めた。だがこ

の企圖は失敗に終つた。

七 經濟的諸地方

現在では國を次のやうな諸地方に分けることができる。(一)西部及び南部沿岸地方(ブルサ、コンスタンチノーブル地方、スミルナ地方、アダナ地方)。この地方は良好な氣候と豊饒な地味とが、棉花(アダナとスミルナ)、生絲(ブルサ)、葡萄(スミルナ)、罌粟(阿片)、オリヴ樹のやうな工藝作物生産の發達に寄與してゐる。こゝでは土地が大地主の掌中に集中してゐて、彼等は他の地方の地主と異つて、主に土地を農業労働者の助力で仕事をやる資本主義的類型の大經營の創設に利用してゐる。

これらの地方にはまたトルコの工業の重要な部分が集中してゐる。即ち、コンスタンチノーブル市(煙草工業、毛織工業)、ブルサ市(絹絲工業)、スミルナ(絨緞業、縮紡工業)、アダナ(縮紡工業)である。

(二)アナトリアの中部は専ら穀物(小麦)の生産と牧畜の地方である。この地方の中心はアンゴラ市(首府、商業及び毛織工業の中心地)、コニヤ市(農産物の集散地)、カイサリヤ市(絨緞工業の中心地)である。

(三)黒海沿岸地方は主として煙草と葡萄との生産に利用される(トレビゾンドとサムスの地方)。

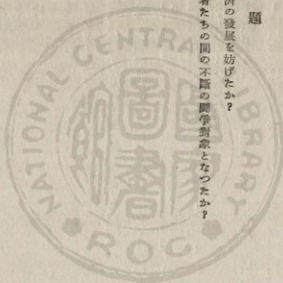
黒海沿岸の西部、イネボリ、サンプルダーク、エレグリの諸都市の地方には、一九二七年に百二十萬噸の石炭を産出したトルコの主要な炭田がある。

中央及び黒海沿岸地方の農業は主として小農及び中農經營をなしてゐる。これらの地方の農民が所有してゐる土地は通常彼等を養ふに足りない。そのため、こゝでは地主や富農の土地を農奴的、高利貸的に小作することが一般に行はれてゐる。

(四)東部及び東南部の山岳地方(アルメニヤとクルヂスタン)には主としてキユルド人の半遊牧的種族が居住してゐる。こゝはトルコの最も後れた地方で、自然經濟が支配してゐる。土地は封建領主や地方官吏の手に集中してゐる。住民の未開は、種々な反革命家がこゝの住民を中央政府に反抗させる可能性を與へることゝ關聯して、この地方は資本家にとつて最大な不安の源泉地であることを考慮に入れてをかなければならない。

練習課題

- 一、どんな原因がトルコ經濟の發展を妨げたか？
- 二、なぜトルコは帝國主義者たちの間の不斷の闘争對象となつたか？



第十二 べ ル シ ヤ

地圖の研究

一、首府——テヘラン。

二、主要都市——テヘラン、タブリーズ、イスパハン、ケルマンシヤ、メシエツド。

一 帝國主義戰爭以前の時期に於けるイギリスと舊帝政ロシアとの間のベルシヤ分割

ベルシヤは半植民地國である。大戰の久しい以前にベルシヤはツアールのロシアとイギリスとの間の鬭争の對象と化した。この鬭争の結果、一九〇七年にベルシヤの領土は二つの部分、即ちロシア・ブルジョアジーの勢力範圍たる北部とイギリス帝國主義者たちの經營する南部とに分割されるやうになつた。

二 一九二九年からベルシヤはイギリスの半植民地だ

十月革命はツアールのロシアに對するベルシヤの隸屬を廢棄させた。だがベルシヤのイギリスへの隸屬は一層強まつた。イギリス・ブルジョアジーはいまだに殆んど無軌道的にベルシヤで振舞つてゐる。國の石油、銀行はその掌中にある。彼は交通機關の建設の特權をもつてゐる。ベルシヤの南海岸をイギリスの航空路、ロンドン——カイロ(エヂプト)——カラチ(インド)が通つてゐる。ベルシヤの殆んど全部の南方商業都市はイギリス人の手中に收められてゐる。オームズ海峡(地圖を見よ)の島々にイギリスの軍事的根據地が設けてある(53)。

(53) 一九二九年にベルシヤとイギリスのあらゆる主要條約が再締結されたが、それはベルシヤの状態を改變するものでなかつた。即ち従前通りベルシヤに於ける一切の支配的地位はイギリスに屬してゐる。

一九一八—二〇年にベルシヤ全土はイギリスの軍隊で氾濫した。この軍隊の壓迫によつてベルシヤ政府は一九一九年のイギリス・ベルシヤ條約に調印した。これによつてベルシヤはイギリスの「自治」植民地となることを承認した。

だが、この條約はベルシヤの勤勞大衆による………によつて間もなく廢棄された。この………の壓迫によつてイギリスは自己の軍隊をベルシヤから撤退しなければならなかつた。

三 國民經濟

ベルシヤは農業と遊牧の國である。これらの經濟部門に一千萬乃至千二百萬人の人口の主要な部分が従事してゐる。百六十萬平方軒に亘るベルシヤの領土は、四面山で圍まれ、酷暑で乾燥した氣候をもつイラン高原の一部を占めてゐる。モハメラ、テヘラン(首府)、メシエツドの諸都市を貫ぬく線とアフガニスタン、印度との國境及びベルシヤ灣の間にあつる平地は、一體に大部分荒地や乾燥したステップで占められてゐる。氣候の乾燥がひどく著しいので、人工灌溉なしに農業は不可能である。

例外は裏海沿岸地方で、雨量が多いので豊富な植物帯を現出してゐる。

ベルシヤの農業の主要な生産物は小麥、大麥、米、棉花、葡萄、器業(阿片製造用)、各種の果實である。農業技術は遅れてをり、木鋤と轍がこゝで土地を耕作する主要な道具である。牧畜は獸醫的療法を全然知らず、その結果多數の家畜が疫病で斃死する。

四 農業制度

農業が遅れてゐることはベルシヤに保持されてきた封建的諸關係によつてきめられる。耕作に役立つ全土地の九四%以上が三千人の地主、宗教團體及び種族の酋長的手中に收められてゐる。しかも地主だけでも利用し得る土地全部の六

六%足らずを所有してゐる。私有權によつて農民が所有する土地は三・五%を超えない。主要な農民大衆は耕作するために小作の條件で土地を借受けてゐる。

「收穫は農耕過程に参加する根本的要素の數から、普通五つの部分に分たれる。これらの要素は次のやうである。土地、水、種子、役畜、農民の勞働これである。一般的方式として、土地と水とが地主の所有である。貧しい生活條件のため餘儀なく種子ばかりでなく、役畜をも地主から求めなければならぬことは非常に屬々である。この場合には收穫の大部分が地主の手にはいる。その上多くの地方に於ては地主は優良な土地を小作に出さずに、主として輸出に當てられる工藝的作物用に自分のところに殘して置く。そのほか、農民は賦役をしなければならず、祭日には自分の地主に贈物をとけたり、重い租税を支拂はねばならなかつたりする、等々。だからこれらの義務をすべて差引けば、最も好い場合でも農民には全收穫の五〇%以上は残らない」(A・サルタンザデ)。

五 工業

ペルシャの工業は豊富な自然的資源(石油、石炭、金、鐵鑛等々)があるにも拘はらず、その發達は極めて幼稚であつて、専ら絨織、絹織物及びその他の消費手段の手工業的生產である。ペルシャには工場工業は殆んどない。手工業的生產はヨーロッパ諸國の工場製品の競争で破滅してゐる。商品の流入(主としてイギリスからの)はペルシャの工業製品を國內市場から驅逐しつゝある。

著しい發達をなしたのは、モハマラ市の北にあつて豊富な石油層に基づいてゐる石油工業だけだ。だがこの工業部門はイギリス人の手中にあつて、イギリス帝國主義の需要に奉仕してゐる。現在ペルシャには工業及び運輸労働者は約十五萬人ゐる。そのうち南部の石油工業(イギリスの利權)従業者は三萬人、絨織業は八萬人である。

六 民族運動

ザカフカースやトルキスタンでつくられたソヴェート共和國……廣汎な民族運動は、一九二〇—二一年に北部諸縣で二十ヶ月の間政権を………さした。

ベルシヤに於ける國民大衆の闘争は、政府に對する闘争、イギリス帝國主義に抗する闘争、土地のための闘争、これらの諸綱領の下に進んできた。………ベルシヤの支配階級（地主と商業上高利貸ブルジョアジー）は、………を起した奴隸から救つて貰らうためにイギリス帝國主義者たちの抱き込みに奔走した。勿論、彼等もこゝに最も熱烈な共鳴を見出した。なぜなら、イギリスの帝國主義者たちにとつてはベルシヤ………ための國としてだけではなく、『イギリスの王冠の眞珠』——印度——を………する城塞として維持することが必要だつたからだ。

イギリス資本家たちの援助によつて軍隊がつくられてゐるが、それを指揮してゐるのはイギリス・ブルジョアジーの第一の子分でベルシヤのコザック軍團の士官リザカンである（後で國王になつた）。ベルシヤの民族運動は容赦なく壊滅させられた。

七 ベルシヤに於ける労働者運動

ベルシヤの労働者階級は經濟的闘争だけでなく、政治的闘争の訓練を経てゐる。なぜなら彼の進出に對して帝國主義ブルジョアジーと祖國のブルジョアジーとの合同勢力が狂奔してゐるからである。このことについては一九二九年のメーデーが雄辯に語つてゐる。當時、經濟的要求から始つて政治的要求に移つたアングロ・ベルシヤ會社の一萬人の石油業労働者の争議はイギリスの………との援助によつて鎮壓された。

一九二〇年に組織された……………は一九二四―五年にリザカンによつて壊滅させられたが、一九二七年になつて始めて、……………ではあるが、再び活動を開始した。この勢力は労働者階級だけでなく農民に對しても廣まつてゐる。これは農村出のベルシヤの労働者が保持してゐる連絡によつて容易にされてゐる。

八 ベルシヤとソヴェート同盟との相互關係

ソヴェート政府は一九〇七年の條約を破棄して、北部ベルシヤに於ける「勢力範圍」、つまりベルシヤの領土に沿うてタブリーズに到る鐵道、ツァール政府に對するベルシヤの負債を放棄した。ソヴェート政府はこれらの方策によつて……小ブルジョアジーや農民の同情を喚起して、彼等の壓迫によつてベルシヤ政府は餘儀なく一九二一年二月にソヴェート同盟と親善條約を締結した。一九二七年十一月にベルシヤとソヴェート同盟間に一九二一年の條約の繼續として不可侵條約が調印された。だが、ベルシヤとソヴェート同盟との相互關係の好轉を阻害してゐるのは執拗な反ソヴェート活動をやつてゐるイギリス帝國主義者たちである。そのわけは、イギリス帝國主義者たちの計畫によると、ベルシヤは我がザカフカイズの諸共和國の領域へ……………ための練兵場に役立たなければならぬといふのだ。この目のためにベルシヤ灣から裏海に達する……………ベルシヤに敷設され、またソヴェート同盟を目あてとした……………ベルシヤに組織されてゐる。

練習課題

- 一、どんな原因がベルシヤ經濟の發展を妨げてゐるか？
- 二、イギリスのベルシヤ侵略欲をなによつて説明するか？
- 三、ベルシヤとソヴェート同盟との相互關係はどうか？

第十三 アフガニスタン

地圖の研究

- 一、アフガニスタン——首府カブール。主要な商業及び行政の中心地——ヘラット、カンダハル、ヂェララバード。
 - 二、交通路、つまり主要な陸商の通路（カブール——カンダハル——ヘラット——クシニク。カブール——テルメズ）。
 - 三、豊饒な主要農業地方——ヘリルド盆地。
 - 四、灌溉に利用される河川——カブ、ヘリルド、ムルハブ、ピヤンジ。
- 一 アフガニスタンの發達

アフガニスタンはイラン高原の東北部に位する遅れた半封建的國家である。

印度、ベルシヤ、支那、中央アジアの間のその位置がアフガニスタンの歴史的發展に強い烙印を押した。アフガニスタンを通つて印度から近東へ、地中海へ、または支那への主要な貿易陸路が通過してゐる。ヒンヅークシの山路は、印度から中央アジア平原へ達する峻しいが唯一の近路になつてゐる。アフガニスタンのかういふ位置は古來東から西南、つまりいまのベルシヤ、トルコ、等々の諸國の領土へと移動してきた諸種族の鬭争對象にアフガニスタンをしたのである。特にアフガニスタンが垂涎の地となつたのは………の帝國主義者たちの鬭争のまつたどなか（十九世紀の終りと、二十世紀の初め）で、當時アフガニスタンは英領印度とツァールのロシアとの間にある緩衝國となつてゐた。中央アジアで根を張つたツァールの政府はアフガニスタンから最も重要なイギリスの植民地、印度を絶えず脅威するために、こゝへも自己の勢力を擴張しようとして努力した。イギリスもまたアフガニスタンを領有して、それをロシアに對す

る強固な障壁にすることに全力を傾倒した。イギリスは優略政策を極めて大膽にやつた。

.....。アフガニスタン獲得に根ざすイギリス、ロシア間の相互關係は屢々尖鋭化して、兩國間にいまにも戦端が開かれようとした。十九世紀の終りからアフガニスタンは決定的にイギリスの統制の下に置かれ、ロシアはイギリスをアフガニスタンと他の世界各國との間に立つただ一つの仲介者と認めなければならなかつた。

アフガニスタンがイギリスの半植民地の地位にあつたのは一九一九年までで、この年アフガニスタンに.....影響をうけて強力な民族解放運動が起つた。壯烈を極めたイギリス・アフガニスタン戦争はイギリスの敗北で終結した。イギリスは否應なしにアフガニスタンを獨立國として承認した。

ソヴェート同盟はアフガニスタンと親善關係を結んだ最初の國家であつた。

アフガニスタンの獨立運動は未だ終つてゐない。イギリスは獨立國としてのアフガニスタンの存在に妥協することができない。アマヌラの改良主義政府に對する諸種族.....をひき起して、この政府を崩壊させた一九二九—三〇年の最近の事件で、イギリスはアフガニスタン政府の改良主義政策に不満をもつ各種族の酋長に對して示威者、煽動者の役割を勤めた。

二 經濟制度

アフガニスタンは經濟制度の點では著しく遅れてをり、雜多である。アフガニスタンが社會—經濟的並びに文化的に遅れてゐるのは、主にこの國の永年の半植民地的地位によつて説明される。

アフガニスタンの人口は全部で七—八百萬人である。その民族的組成は多種多様である。最も多數の民族（三百萬—

三百五十萬人)は、主として國の南部に居住するアフガニスタン人である。北部のトルコマンやタジックの周圍には、中央アジア・ソヴェート共和國のウズベク人、タジック人、トルコマン人と同じ言語の少數のタジック人、トルコマン人、ウズベク人がゐる。

中央山地を蒙古人種の血統をひくヘザール人が占めてゐる。

國の邊境地方には種族的土地所有の遺風をもつ家長制種族制度が保持された。

種族制度はアフガニスタンの遊牧民の間にも保持されてゐる。

北部の農耕地方では封建的農奴制が廣まつてゐる。そこで支配的地位を占めてゐるのは地主である。全土地の八〇%足らずが彼等の掌中に集中してゐる。土地を持たない農民は收穫の僅かな部分をうるために地主の土地を耕作しなければならぬ。

商業と都市生活との發展につれて商業資本が國內で重要な役割を演じはじめた。アフガニスタンをブルジョア民族國家に轉化せしめようとする政府の政策の特徴は、商業資本と地主に對する庇護、農民に對する租稅賦課の強化である。アフガニスタンの農民大衆は極めて悲惨な状態にある。地主と高利貸との壓迫は農民を徹底的に破滅させしかも彼等を農奴にする政府のあらゆる徴發と租稅によつてうめ合はされる。農民の状態は、アフガニスタンがイギリスから獨立した後でも、好轉しなかつた。

アフガニスタンの政治的獨立を強固にし、國を分散した封建的國から進歩的なブルジョア國家に轉化することに向けられたアマヌラ舊政府の活動は國內の著しい社會的變革の條件となつた。この政府によつて遂行された廣汎な改革は様々な生活方面に觸れた。即ち、工業の發展や鐵道の敷設の協力から、生活の再組織(頭巾廢止法、洋服の移入、婦人學

校の開設等々)にまで及んだ。それにも拘はらず、アマヌラの改革は、その遂行に當つて地主に依據しようとする努力したアフガニスタンの若いブルジョアジーの階級的利益を追求したといふことに注目しなければならない。農民は土地を得なかつたばかりでなく、政府によつて附加税を課せられた。すべてこれらのことが階級対立の尖鋭化をよび起して、アマヌラに抗する………の形態をとるまでに生長した。だが………指導を失つた農民運動はムーラ(回教僧侶)の觀念的指導の下で墮落した。彼等は大衆の宗教的迷信を利用して農民運動を地主に封建領土やその背後にゐる帝國主義者たちとの闘争に向けずに、『イスラム教の擁護』と改革廢止の要求の方向に轉じた。一九二九—三〇年の……の結果、アマヌラの改革の大部分は廢止された。

三 アフガニスタンの經濟

アフガニスタンの基本的經濟は農業(牧畜と原始的耕作)である。國土全般に亘つて自然的諸條件は耕作に適しない。即ち、アフガニスタンの五分ノ四は山地で、主要な山脈——ヒンヅークシ大山脈——がきつかりと異なつた二つの部分に國を分割してゐる。ヒンヅークシから北方にかけて地盤は水平線より比較的僅かばかり高まつてゐる。アフガニスタンの中部及び南部地方は山地である。こゝで低地は河川の流域に沿うて出會ふだけである。

アフガニスタンの氣候はすべての山國と同じやうに、高山地方の寒い乾燥した氣候から温氣を帯びた亞熱帶的氣候(ヂェラバード平原に於ける)に至るまでのあらゆる變化をもつ多種多様を特徴としてゐる。耕作を營むためには人工灌溉を大規模に適用することが必要である。灌溉網は原始的な性質を帯びてをり、たゞ北アフガニスタンのヘラット峡谷にだけ大きな運河がある。耕作に利用されてゐる土地の總面積は百萬ヘクタールに達し、灌溉のきく土地ときかない土地とが略々半分づゝになつてゐる。

四 農 業

主要な生産的農耕地方は北アフガニスタンである。ヘラットがあるヘリルード峡谷は特殊な温度と耕作物の豊富さとを特徴としてゐる。アフガニスタンの主要な穀物は小麦、米、大麦で、工藝用作物では——棉花である。南部の峡谷で大部分の土地は果樹園と菜園で占められ、扁桃、バナナ、葡萄、レモン、蜜柑等々の作物がある。

耕作は低い水準にあつて、原始的な農具と後れた經營方法とが支配してゐる。かういふ耕作状態は極度に後れた國內の農業諸關係と結びついてゐる。北アフガニスタンは地主的所有の典型的な地方である。土地をもたない農民は三—四ジェリバ（一ジェリバ六分ノ一デシヤチン）の零細な地所を借地小作して、地主の土地を耕作する。借地は奴隸的諸條件で生産される。農民は借地に對して收穫の五分ノ四を支拂ふのが通例である。「全部落が農家も耕地も共に完全に地主の土地の上に置かれてゐる。長さ三十露里の灌漑路とこの灌漑路から灌漑される全土地を持つてゐる者を地主と呼ぶのである。耕地の不足、その高價なことののために耕地を否認なしに地主から借地しなければならぬばかりでなく、地主の土地に居住しなければならないのだ。」

南部地方には民族的賦役的土地所有の殘存物をもつ封建的諸關係が支配的である。この地方の特徴は隸屬的小作人と領主の土地で働く奴隸、半奴隸層とが存在することである。奴隸はアフガニスタンでは一九二一年に形式的には廢止されたのだが、事實上は現在まで存続してゐる。

このやうな諸條件の下では、農業の技術的、文化的に遅れてゐることが明らかになる。アフガニスタンの農民は自分の經營を改良する手段も可能性も持つてゐない。

五 遊 牧

アフガニスタンの経済の中で重要な役割を勤めてゐるのは遊牧經濟である。アフガニスタン人口の約三分ノ一が一年を通じて断えず遊牧してゐる。主要な家畜は——羊と駱駝である。牧畜は粗放的性質をもち、殆んど専ら放牧によつてゐる。家畜の飼料をもとめて季節的な移住が全アフガニスタンに亘つて、時には長距離に行はれる。特に遊牧者の大群が夏の幾月かに亘つて南アフガニスタンの荒地から北方へ移動する。

畜産物、即ち毛皮、獣皮(羊皮)及び家畜が主要な輸出種目をなしてゐる。そのほかいくらかの綿、米が輸出される。輸出は印度、ソヴェート同盟、及びベルシャへ向けられる。

アフガニスタンには大工場工業はない。この國には多種多様な層をもつ有用礦物——金、鐵礦、石炭、銅、寶石——があるにも拘はらず鑛業は萌芽状態にある。また石油層が発見されてゐる。製造工業の若干の企業は首府カブールに集中して、國の軍事的必要に奉仕する根本的使命を負はされてゐる。工業製品に對する國の需要は外國からの、主としてイギリスとソヴェート同盟からの輸入によつて充されてゐる。

六 アフガニスタンとソヴェート同盟

アフガニスタンとの貿易に於けるソヴェート同盟の役割は最近數年間に重要となり、一九二七—八年にはすでに戰前水準を凌駕した。アフガニスタンはソヴェート同盟との緊密な協力を利害をもつてゐる。それは、アフガニスタンはソヴェート同盟の平和的な政策を知り、彼が侵略的意圖をもたないことを知つてゐるからだ。アフガニスタンは帝國主義との鬭争の道に進む限り、ソヴェート同盟との親善關係だけが資本主義諸國からの自分の獨立を保證し、彼に經濟的文化的向上を保證することを層一層と意識しつゝある。

練習課題

- 一、どんな諸原因がアフガニスタンの経済的並びに政治的に遅れてゐることの條件となるのか？
- 二、アフガニスタンに於ける農民の状態はどうか？
- 三、アフガニスタンの北部と南部との経済的差別的特質はなにか？
- 四、アフガニスタンの諸外國、特にソヴェート同盟との相互關係はどうか？



第十四 支那

地圖の研究

- 一、支那 (イ)支那本部、(ロ)滿洲、(ハ)内蒙古、(ニ)西藏、(ホ)東部トルキスタン(新疆省)。
- 二、大きな開港市及び工業都市——上海、南京、漢口、長沙、北平、天津、廣東、汕頭、福州、奉天。
- 三、支那の河川——帝國主義の支那侵略の経路——揚子江、黃河、珠江。
- 四、奉天省、河北省、湖北省、江蘇省、山東省、山西省、四川省、雲南省、貴州省——石炭、鐵礦、等々鐵物の産出地方。
- 五、南部及び中部の諸省——棉花、茶、米、絹等々の産地。
- 六、支那に於けるソグエート權力の諸地方(湖北省、江西省、福建省、安徽省、河南省、廣東省)。

一 資本主義諸國による支那侵略と分割

いまの支那は大帝國主義列強群の最も大きな半植民地國である。支那はすでに久しい以前からその豊富な資源、特に鑛物資源(石炭、鐵礦等々)、大工業の製造品販賣の大きな可能性と、約四億五千萬の人口に對する無制限な……の廣汎な見込とによつて資本主義諸國の注意をひき始めた。

十九世紀の前半の終り頃から外國資本の支那へ……始つた。支那民衆の奴隸化に先鞭をつけた先驅者はイギリス・ブルジョアジである。印度に於ける……有名なイギリス東印度貿易會社は十九世紀の初めから支那に商品、特に短期間に驚くべき速さでその消費を増加してゐる阿片を氾濫させ始めてゐる。支那政府は阿片の輸入と

取引を禁止しようと試み、このことがイギリス側からの支那に對する……ひき起してゐる。

有毒なナルコボンで支那人民を大衆的に毒殺することから生じる物語的な利潤を受取る権利をイギリスの投機業者がうるための『神聖な』戦争によつて、イギリスは征服者となりまして、一八四二年に最初の屈辱的條約に調印することを支那に強制した。以後この條約は、支那がその他の帝國主義掠奪者たちと締結した不平等條約の手本となつた。一八四二年の條約及びそれに續く他の諸條約の主要な内容は、支那から經濟的・政治的獨立を奪略して、帝國主義列強が自分の御都合通りに支那勤勞者の運命を左右する權利を合法化することであつた。二十世紀の初めまでに支那を個々の帝國主義諸國間の『勢力範圍』に分割することが大體に於て完成された。

支那本部十八省のうち十三省が外國資本の手中にあり、それは次のやうに領土的に分配された。南部及び中部支那はイギリスの勢力範圍、北部支那及び……中部及び北部支那はアメリカ合衆國に、南部及び西南部支那はフランスが支配してゐる。

支那を分け取つた帝國主義者は支那の經濟に對する統制を握つた。

個々の資本主義國家によつて支那の經濟に投下された資本の總額は次の通りである。

- ××……………一、二五〇（單位百萬弗）
- イギリス……………七五〇（同）
- アメリカ……………六九（同）

これらの資本は、殆んど全部外債で敷設された鐵道建設(54)、工業及び商業に投ぜられた。

船舶の過半数はイギリスの所有であり、最も優秀な倉庫、施設、鐵道車輛、關稅收入の統制は外國資本の手に握られ

てゐる。だから支那は資本主義諸國の半植民地であつて、彼等が支那を………かつたのは、第一に帝國主義者自身の間に於ける對立が餘りに大きかつたこと、第二に國民ブルジョアジーと地主とに對する………のため

の鬭争にまで發展した反帝國主義運動の廣汎な浪が支那に漲つてゐたといふ理由からに過ぎない。

(54) 鐵道建設への投資總額のうち、×××分は三億三千八百萬弗、イギリスの分が一億三千二百萬弗、アメリカ合衆國、ドイツ、フランス、ベルギーの分が二億二千萬弗である。ツアールのロシヤもまた北支那に二三の鐵道を敷設したが、そのうち最も重要なものは一八九六年に敷設された東支鐵道である。

二 工 業

一 支那の工業の發展

支那に於ける資本主義的大工業の發展は二十世紀の初めからである。そのタンボは世界大戰の時期、殊にヨーロッパ資本の支那に於ける影響が著しく弱まつた戦後の數年に加速化した。大工業は、前資本主義形態の殘存物、つまり手工業、資本主義工業の家内組織及びマニユファクチュアを驅逐しつつある。それらの支那經濟に於ける比重はいまになつてもまだ非常に大きい(織物に對する國の全需要の六五——七五%は手工業的生產で充たされる。また小規模工業生產に従事する人員は千七百五十萬人であるのに、大工業の人員は三百五十萬人に過ぎない)。支那の工業の發展は輕工業と鑛業の若干部門との發達として行はれ、また生産手段の生産は帝國主義者たちの掌中に獨占されてゐる。彼等は支那に於ける諸生産力の發展を極力阻止しようと努めてゐる。支那は鑛物の極めて多量な埋藏をもつてゐるにも拘はらず、帝國主義者たちの政策の結果、世界生産額のうちで劣等な位置を占めてゐるに過ぎない。即ち石炭の採掘では僅かに二%、

鋼鐵では〇・〇三%、鉄鐵では〇・三五%である。帝國主義者たちの勢力は工業の配置でも分るが、専ら開港場（香港、上海、天津、南京、漢口等々）に於ける外國の利権に集中してゐる。

二 支那の工業の主要部門

(イ) 織維工業

織維工業は比較的急速に發達し、支那の工業のうちでは首位を占めてゐる。

現在（一九三〇年）支那には五百萬個の紡錘をもつ約三百の工場があり、その三分ノ二は上海に集中してゐる。

急速に發展し機械化されつゝある支那の織維工業（良質撚絲の生産に移つてゐる）にとつては支那の棉花では足らず、そのうへ棉花の質は非常に劣等である。

これは工業の發展よりも棉花栽培事業が遅れてゐることによつて説明される。そのわけは零落した農民に棉花栽培業者が畠をよく耕作することができないからである。その結果、棉花の低い收穫率と劣悪な質とで支那は餘儀なく外國から棉花を輸入してゐる。

棉花の不足にも拘はらず、支那は多量の棉花を外國、つまり日本へ輸出する。主として劣等な棉花を加工する日本の工業はそれを支那及び印度から輸入する。支那へは良質の棉花（アメリカとエチプトの）が輸入される（55）。

（55）一九二七年度の支那への棉花の輸入は十萬四千七百噸、輸出は五萬八百噸であつた。

支那の全工場の六〇%が外國資本の所有であるが、支那全土の織維工業の三分ノ二が集中してゐる上海では、しかもそれが八七%に達してゐる。いまの經濟恐慌の影響によつて、または安價な織物及び人造絹絲による資本主義諸國の競

争の結果、支那の織維工業は最も尖锐な恐慌を経験してゐる。

一九三〇年に上海にある百二十の紡績工場のうち百工場が閉鎖の脅威を受けてをり、百六の製絲工場のうち五十の工場が休業してゐる。

工場閉鎖は始まりつゝあり、労働者は生産から投出されてゐる。破滅に瀕してゐる織維企業は外國人たちの手に移つて行く。一九二五年から一九二九年までの間に、織維工業に於ける支那の資本は五八%から四四%まで減少し、外國資本は四二%から五六%まで増加した。

織維工業に於ける恐慌は個々の工場を破滅させてゐるばかりでない。それはまた棉花の加工に従事する幾百萬の都市の小工場經營者たち及び手工業的農民の上に重苦しい壓力を課してゐる。

(B) 石炭工業

支那の石炭埋藏量は正確に調査されてゐないが、約二千百七十億噸と推算されてゐる。主要な石炭埋藏地は、交通の發達が幼稚な山西、四川、雲南、貴州の諸省にあり、石炭の採掘は石炭の比較的豊富でない地方つまり滿洲及び東北支那に集中してゐる。だがこれらは外國資本に征服されてゐる。これらの諸地方は石炭産出額の大部分を與へてゐる（一九二五年の五四%に對し一九二九年の七二%）。石炭の採掘は日本とイギリスの手に收められてゐる。

炭礦業に投下された支那資本は多額であるにも拘はらず（日本資本の二千七百五十萬弗、イギリス資本の二千二百萬弗に對し支那資本は五千萬弗）、その意義は大きくない。そのわけは大部分時代遅れの装置と僅かな産出額をもつ小炭坑に投下されてゐるからである。

……………採掘される石炭の大部分を自國へ輸出し、殘部をその工場や鐵道で消費する。

だから支那は否應なしに外國から不足の石炭を輸入しなければならないのだ。

このほか、日本からの石炭の海上輸送は大開港市（上海）の工業にとつて支那の鐵道による自國石炭の供給よりも安くつく。それは様々な租稅公課のためである。……支那から自國の冶金工業のために冶金用の、コークス化される良質炭を輸出し、コークス化しない、冶金用にならない、暖房向きの惡質の少ない石炭を支那で賣捌いてゐる。

(ハ) 冶金工業

支那の冶金工業は纖維工業や炭礦業と同じく外國資本の手中にあつて、極めて低い水準にある。鐵鑛の採掘、鉄鐵及び鋼鐵の精鍊は世界産額の〇・〇三%（鋼鐵）及び〇・三五%（鉄鐵）を占めてゐる。

鉄鐵と鋼鐵との一人當りの消費量は僅かに一・五キログラムで、この標準は日本の十分の一、イギリス及びドイツの百分の一、アメリカ合衆國の百八十分の一に當る。

支那の冶金工場や熔鑛爐は技術的におくれ、幼稚な装置が施されてゐて、巨額な生産費に比して僅かの生産額しか與へてゐない。

冶金工業に於ける支那資本は僅少なので、豊富な鐵鑛脈を利用することができない。だからこそ支那は外國から鉄鐵、鋼鐵を輸入しなければならないのだ。

最も大きな冶金工場は奉天、漢口の地方にあつて、支那の製鐵の九四%を領有する……資本の所有に屬してゐる。

……採掘される鐵鑛の六〇%以上を自國に輸出し、殘部の鐵鑛は鉄鐵や鋼鐵に鑄造してこれも支那から輸出する。

鉄鐵及び鋼鐵の輸出は一九二二—二五年よりは十五倍に増加したのに、支那國內の消費は僅かに一〇三%増加しただけである。

幾億を算する支那住民の主要な大衆は農業に従事してゐる。

三農業

一 農業に於ける社會的階級的諸關係

支那に於ける土地の大部分は地主の手中にあつて、彼等は往々にして、役人であるとともに、また租稅徵收人でもある。地主の土地所有は時には千ヘクタール以上の高さ到達することがある。彼等は全農耕地の七〇%までを持つてゐる。地主自身は自分で經營を行はず、借地農に土地を貸付ける。支那の耕作は極めて小規模な田地を特徴としてゐる。ここではデシヤチンで測られるやうな地所が最も一般に行はれてゐる。農民は自分の零細な地所を非常に注意深く耕作する。支那にとつて特徴的なのは菜園組織を回想させる多畦耕作である。農具は原始的で、手鋤耕作が適用されてゐる。しかし土地は注意深く施肥されるので、二三の地方（南方支那）では收穫が年に二―三回行はれる。多量な收穫にも拘はらず、農民は系統的に飢えて行く。これは農地が零細であるのに幾多の不法な公課が農民から徵收されることで説明がつく。借地料は全收穫の六〇―七〇%に達してゐる。支那の農民は豊作でも租稅や借金を支拂ふためには足りないことが往々ある。或る省では向ふ數年間の租稅が徵收されてゐる。例へば、陝西省では農民は一九三七年度分まで租稅を支拂ひ、四川省では一九四七年度分までさへ支拂はされてゐる。

地主の外に、農民を………のは高利貸で、彼等は屢々商人でもある。農民に高利（或る場合には三十割以上）の金を貸付け、將來の收穫を二束三文で買占め、工業品を原價の數倍の値段で賣付けて、高利貸、商人、地主は農民を決定的に奴隸化させ、彼を支拂不能の債務者にし、自分の搾取者から逃れる權利をもたない半奴隸、農奴にする。農業を著

しく破滅させるものは軍閥の雇傭軍で、農民はそれを養つて一切の必需品を供給することを強制されてゐる。

かうして、國家の役人から國民的ブルジョア及び國際的ブルジョアに至る一群の……支那農民の頭を押へつけてゐる。

二 個々の農産物の特徴

國の主要作物のうちでは、米をあげなければならない。米の收穫の點では支那はインドシナ、印度のやうな大産米國と肩をならべてゐる。米に次ぐものは小麦の收穫である。滿洲、支那北部では大豆植栽（ソヤ）が著しい面積を占めてゐる。多くの大豆がソヴェートの商港ウラチオストクから海外へ輸出される。

茶の栽培は昔からの支那の一農業部門である。十九世紀の終りまで支那茶は世界市場で首位を占めてゐた。今では支那はこの地位をジャワ、セイロン、印度に譲つた。

諸外國の茶栽培の競争の影響をうけて、支那の製茶經濟は最も尖锐な恐慌を経験してをり、それは國內商業の破滅的な制度、諸租税、諸關稅、支那茶に對する需要の減少によつて一層深刻になりつゝある。

支那に於ける茶の栽培の主要な地方は廣東、安徽、河南、江蘇、浙江の諸省である。

養蠶では支那は世界市場で日本に負けてゐる。尤も支那に於ける生絲の絶對的生産額は日本より多いのであるが。

支那の養蠶は製茶業と同じく激しい恐慌局面に入つた。それは、世界市場に於ける價格の低落、人絹の競争、手入れが悪いために起る蠶の病氣から生ずる生絲の質の悪化等々の結果である。

養蠶は殆んど到る處に發達してゐる。特に揚子江流域、廣東、上海地方、中部及び南部支那の諸省がそれである。

棉花栽培は養蠶や製茶と同じく、古くからある支那の農作物である。纖維工業發達の影響をうけて棉花の需要は激増

し、棉花の作付面積も擴大した。だが印度、エジプト、アメリカ合衆國の良質棉花の世界市場への出現は、支那棉花の需要を激減させた。

支那の農民的棉花栽培者は物價下落、奴隸的な地代、用水料、高利貸の利息、數十人の仲買人と代理人とを經る錯雜した商業の影響によつて破滅してゐる。だから棉花栽培地の耕作を改良することもできないわけだ。土地耕作の悪化は收穫の低下と棉花の質の悪化とを齎らしてゐる。

棉花栽培は底抜けの恐慌を經驗してゐる。棉花收穫の點では支那は印度及びアメリカ合衆國に次いで世界で第三位にある。一九一八年には棉花の收穫は七十萬噸以上であつた。主要な棉花生産地方は揚子江、珠江の流域である。

四 交 通

支那の鐵道網の規模はこの國の必要を保證してゐない。千百萬平方キロメートルある支那の膨大な領土が、僅かに一萬キロメートルの鐵道をもつてゐるだけである。新疆省、内蒙古、支那の西部には全然鐵道がない。

支那の鐵道は殆んど全部外國資本によつて敷設された。それはできるだけ多くの原料資源を吸ひ取る目的で支那に侵入したものである。

支那の鐵道は概して海岸に沿つて走り、原料、鑛物が豊富で人口稠密な諸省を通つて、海港または大きな河港に達してゐる。

鐵道のほかに重要な役割を勤めてゐるのは可航河川——黄河、揚子江で、それらは三億の人口をもつ百二十萬平方哩もある途方もない流域を抱擁してゐる。河川の流域には省の最も富裕な工業地方がある。

水運は鐵道と同じやうにイギリス、日本、及びアメリカの統制下にある。諸大河を結びつけてゐる運河（揚州から北平までの大運河）は嘗つては大きな役割を勤めてゐたが、いまでは放棄されて荒廢してゐる。

五 支那の諸地方

（イ）南部及び中部地方

これは大きな商港と工業中心地（香港、上海、漢口、南京、廣東等々）をもつ商工業地方である。こゝでは鐵道と水路の交通が比較的よく發達してゐる。農業は市場とよく結びつき、世界貿易に順應してゐる。各地方の商品率は全支那の平均四〇％に對して、六〇—七〇％である。主要農産物は米、茶、煙草、甘蔗、棉花である。これらの栽培が發展するために必要な前提は、多額の用水料を徴収する地主、官吏の手に握られてゐる人工灌漑の廣汎な組織である。

こゝはまた最も發展した………でもある。

（ロ）北部地方

こゝは産業、交通路の發達が遅れてゐて、市場との結びつきが薄弱である。舊い保守的な地主的、官僚的支配が強い封建的・自然的關係の殘骸が保持されてゐる。主要農作物は小麦、粟、煙草、米である。農業の經營は地主と官吏とが支配してゐる人工灌漑に基づいて行ひ得る。農民の破滅、頻繁な洪水、灌漑組織の荒廢による旱魃、多額の租税公課、飢饉、貧困、匪賊、………、これらがこの地方の生活條件である。

（ハ）……及び内蒙古

……と内蒙古は植民地化されてゐる地方で、土地の大部分は地主と土地を貸付けてゐる富農（七〇％）の手にある。

膨大な原料の富、工業、鐵道、銀行、商港——一切は……資本の手中に握られてゐる。もともとこの地方は……の原料的基礎である。

主要な農産物は小麦、玉蜀黍、粟、米、大豆である（大豆の收穫は世界第一）。この地方から多くの豆油、豆粕、大豆、鑛業及び冶金工業の生産物が輸出される。内蒙古では經濟がまだ著しく遅れてゐる。遊牧と灌漑のできるオアシスに於ける農業とがある。

(ニ) 新疆省（東部トルキスタン）

殆んど交通路がなく、家内工業が發達してゐる。人工灌漑によつて耕作ができる。獨特な搾取形態をもつた封建的・自然的關係が支配的地位を占めてゐる。

牧畜が全經濟のうちで最大な比重をもつてゐる。畜産物はソヴェート同盟に輸出され、これに對して工業製品、つまり織物、石油、砂糖、鐵製品等々を受取る。

新疆省の二つの商業都市——ウルムチ（迪化）とクルヂ——からソヴェート同盟の國境まで鋪裝道路が通じてゐる。

六 經濟恐慌と革命運動

一 支那に於ける經濟恐慌

支那は長い間、國內の特殊な社會的階級的諸關係及び帝國主義者たちの支配と結びついてゐる不斷な經濟恐慌を経験してゐる。一方に於て、無數の搾取形態の壓迫によつて農民は破滅し、購買力は低下し、國內市場は萎縮してゐる。他方に帝國主義者たちは大部分外國へ持去つてゐる超過利潤を………ゐる(56)。

(55) 帝國主義者たちの所得は次の數字で推定することができる。香港上海銀行（イギリスの）は一九三〇年に二千七十萬ルーブルの利潤を得、アメリカ煙草會社は約六千五百萬ルーブルの利潤を得た等々。

その結果として、支那の諸生産力は發展せず、萎縮してゐる。大衆の饑餓は支那全土を覆つた。饑饉は北部諸省、陝西省）を襲つた。こゝでは奴隸の賣買（四十萬人の奴隸）が發達した。このことはしかも、……………一財源として利用され、奴隸に賣却される各一人につき五弗づゝの租税を課した。

饑饉は中部支那及び河南、湖北、安徽、四川の諸省に廣まつてゐる。支那の經濟恐慌は軍閥戦争によつて一層深刻となつてゐる。……………資本主義諸國、つまりアメリカ、イギリス、……………フランスが立つてゐる。

將軍連を互ひにけしかけて、帝國主義者をもつ……………ために支那の勢力を弱めてゐる。

一九三〇年の世界恐慌は支那の悲惨な状態を一層甚だしくした。なぜなら恐慌はその結果として支那から輸出される農産物の需要の縮小と價格の暴落とを齎らしたからである。

工業の萎縮は、失業を著しく増大させ（上海では失業者三十六萬人、廣東では十四萬人、南京では三十二萬人）、もともと貧弱な労働者の賃銀切下げを齎らした。

労働條件は、諸外國と同じやうに、支那の企業でも極めて悪い。

労働時間は十二―十六時間まで延長され、賃銀は極めて低い。屢々七―八歳の子供たちの低廉な少年労働が使用されてゐる。労働保護もなく、保険も同じくない。労働者の文化的設備についてはもとよりいふまでもない。婦人は屢々乳呑兒を仕事に連れてきて、短い晝食時間にそこの埃だらけの汚い部屋で乳を吞ませたりする。恐慌と關聯して飢えた失業者軍が急速に増大し、賃銀は切下げられ搾取は強化されてゐる。労働者の食物は大豆、粉麥、粟、植物油、稀には米

である。他國へ出稼ぎに行く多くの勞働者は、その國での失業の結果かまたは支那人の入國禁止のためかまた再び歸國しなければならぬ。

七 對外關係

一 支那に於ける英米對立

支那はアメリカ合衆國とイギリスとの大きな鬭爭對象の一つである。鬭爭は、商品販賣の廣汎な可能性、鐵道敷設の利權、工場及び發電所の建設、商港及び都市の建設等々のために行はれてゐる。

アメリカは「門戶開放」のスローガンの蔭にかくれて、イギリスをその支那の市場から驅逐しながら、執拗に支那へ喰入つてゐる。一九〇七年から一九二三年までの間にイギリスの對支交通商は五七%から四一%まで減少し、アメリカ合衆國の分け前は九%から一六%に増加した。

アメリカの銀行、商品（機關車、貨車、電氣設備）はイギリスのものと競争して成功してゐる。

アメリカ合衆國ブルジョアジーは支那に於ける自己の地位を強固化するために蔣介石の南京政府を法律的に承認した最初のブルジョアジーである。

二 ……米の對立

……………支那の富は根本的な原料的基礎である。……………工業は國內に原料をもつてをらず、全く外國からの輸入に依存してゐる。

……………自國が外國へ投下した全資本の九〇%以上を支那へ投下した。支那の纖維工業では紡績工場の四〇%……………

所有である。殆んど全部の重工業（鐵、石炭の採掘、鉄鐵、鋼鐵、鐵の精鍊）が……手中にある。……は……は……
……支配してをり、こゝでは支那のこの部分の國民經濟のあらゆる支配權が……屬してゐる。

アメリカ合衆國は支那に於ける……資本主義の經濟力を弱めようと企てたことは一度や二度ではない。アメリカ合衆國の壓迫によつて……帝國主義は、帝國主義戰爭後に支那と締結し、支那を事實上……の植民地に化せしめる條約を廢棄することを餘儀なくされた。ワシントン會議の決議によつて、……は……した山東省とその他の部分を還付しなければならなかつた。

かうして、支那制覇のための鬭争（支那のための鬭争は同時に太平洋制覇のための鬭争の條件となる）は極東に於ける帝國主義列強——イギリス、アメリカ合衆國、……の間の根本的對立である。

しま……この……反映である。

三 ソヴェート同盟と支那

支那を平等な國家と認め、……世界でたゞ一の國はソヴェート同盟である。昔のツァールのロシヤは、資本主義諸國がいまだに……してゐるやうに、支那を略奪した。ツァールのロシヤは滿洲を侵略し、一八九六年に東支鐵道敷設の權利を獲得し、遼東半島を旅順港、大連と共に奪ひ、この侵略した地方に支配を確立し、商人のための特權を獲得した、等々。十月革命の後、ソヴェート同盟はツァールの政府が支那と締結した一切の不平等條約を廢棄した。ソヴェート同盟は拳匪の亂の賠償金として支那がロシヤのブルジョアジーに支拂ふ金額の受領を放棄した。

支那政府は……よつてソヴェート同盟との協約に調印した。しかし一九二九年、帝國主義者の壓迫に

よつて支那政府はソヴェート公使館、大都市（上海、南京等々）にあるいくつかの領事館を破壊し、また帝國主義者が久しい以前から窺つてゐる東支鐵道を暴力的に奪はうと試みた。

ソヴェート同盟は支那の軍國主義者及びその背後にある帝國主義者、つまり、イギリス、アメリカ及びフランスに抵抗しなければならなかつたのである。

練習課題

- 一、支那に於ける帝國主義者たちの侵略の根本諸原因はどんなものか？
- 二、なにが現在支那の産業的發展を妨げてゐるか？
- 三、工業の主要部門の特徴を示せ。
- 四、支那の農業の特殊性はどこにあるか、またなにがその條件であるか？
- 五、支那に於けるいまの工業恐慌及び農業恐慌の諸原因はどんなものか？

第十五 蒙古及び唐努烏梁海國民共和國

地圖の研究

- 一、蒙古——首都庫倫(ウランバートル)。唐努(タンヌストウグア)——クイブイル。
- 二、主要幹線道路——(イ)ヴェルフネウヂンスク——庫倫(ソグエート同盟と蒙古との交通路)。(ロ)ワシン道路(ソグエート同盟と唐努國民共和國との交通路)。
- 三、鐵道敷設豫定線。庫倫——ヴェルフネウヂンスク。
- 四、エニセー河——ソグエート同盟と唐努國民共和國間の主要水路。

一 兩共和國の特質

一 蒙古と唐努とは非資本主義的發達の國々である。

蒙古及び唐努國民共和國は前資本主義的經濟組織が優越してゐる東洋の後れた國である。これらの國に於ける……建設の成功の經驗及びその今日の狀態は、全世界……、特に世界の後れた植民地や半植民地諸國に於ける民族解放運動……にとつて極めて重要である。

現在、蒙古と唐努は非資本主義的發達の世界的經驗を經つゝある。

このやうな發達をなすことができたのは……

……、蒙古と唐努の民衆が帝國主義者、ロシアの白衛軍、支那の軍國主義者、國內の封建領主と頑

強に闘つた後、自己の民族的獨立を獲得し、資本主義を征服して國を勤勞大勞の利益のために根本的に變革するといふ方向に進んだからである(57)。

(57)

レーニンは……

……經濟的に後れた國の非資本主義的發展の問題を理論的

に基礎づけた。同志レーニンの演説の中から二つの抜萃を引用しよう。

「國民經濟發達の資本主義的段階が、現在解放されつゝある後れた民族にとつて不可避免的であると云ふ主張は正しいと認めることができただらうか？ 吾々はこの問題に對して否定的に答へる。」

「最も進歩した國のプロレタリアートの援助をうけて、後れた國は資本主義的發展段階をのりこえて、一定的發展段階を通じて……に移行することができる。」

……前は蒙古國民共和國の領土は一自治單位としての諸權利を持つて支那の一部となつてゐた。支那の商人は供給者は國內の封建領主と結托して無慈悲に搾取し、蒙古の牧畜を破滅させた。國內に於ける支那の支配は、封建貴族の外に、封建僧侶である喇嘛僧によつても支持された。喇嘛僧は支那商業資本の手中にある従順な武器である。

二 革命前に於けるロシア商業と高利貸資本の侵入

十九世紀の終りに當時東洋で廣汎な植民地政策を遂行してゐたロシアの帝國主義は蒙古に自己の影響を廣め始めた。蒙古をロシア帝國主義の勢力範圍に轉化する計畫は、極東に於てツァールのロシアが敗北した(一九〇四—五年の日露戰爭)後、特に執拗に實行され出した。ツァールの政府は滿洲に於けるその損失を中央アジアに對する熱心な壓迫によつて取返へさうと努力した。ロシア商業資本は急速に蒙古へ侵入し始めて、その地歩を強化するやうになつた。

蒙古を急速に容易に壓迫する目的を持つたロシアの商人は、嘗つて支那の商業と高利貸資本の支配に特徴的であつた

ものと同じ偽瞞方法、隸屬、ひどい搾取の方法を講じた。唐努（ウーリヤンハイ地方）も帝政ロシアの植民地の地位にあつた。

帝國主義者の支配は、蒙古と唐努の經濟的、社會的、政治的發達を人爲的に阻害し、その經濟的、文化的後退性を決定した。これらの國には工業も鐵道も發達した農業もなく、住民の文化水準は極度に低く、大なる勢力をもつてゐるのは僧院である。大部分の住民の職業は小さな分散した遊牧である。封建主義の殘存物と未發達資本主義の萌芽が強く勢力を振つてゐる。

三 ……の影響

……は東洋諸民族を帝國主義との闘争に、自己の經濟的民族的獨立のための闘争にかり立てたが、この……は蒙古と唐努に於ける解放闘争の發展に力強い衝撃を與へた。

一九二一年に蒙古と唐努の民衆は……下に獨立して、自己の國家生活を獨自に建設することができた（58）。西歐とソヴェート同盟のプロレタリアートの援助によつて、また後者の經驗を利用して、蒙古と唐努國民共和國は、遊牧者（59）の農業労働者、貧し中農部分のために國の再組織と發展との唯一の正しい道——非資本主義的發達の道に入つた。

（58）（外）蒙古は一九二四年に、蒙古人の貴族、僧侶の舊元首が死んだ後に、共和國を宣した。その時まで蒙古は神權政體的君主國であつた。尤も一九二一年以來、國の實際的指導は蒙古國民革命黨の手中にあつた。

（59）アラートは牧人、遊牧者である。

兩共和國の政治的、經濟的發展の基礎は、封建主義と神權政體との殘滓の完全な排除、國內にある資本主義的要素の

決定的な制限と驅逐、牧畜農業人口の廣汎な共營化、國營工業の創設、農業勞働者及び貧しい中農大衆の政治的活動の強化、經濟的並びに政治的生活の基本的槓桿を國家の手に集中することである。

二 蒙古國民共和國

蒙古國民共和國（外蒙古）は中央アジア高原の北部を占め、百五十五萬三千五百平方キロメートルの面積、即ちイギリス、フランス、ドイツを一所にしたと同じ面積を持つてゐる。

共和國の人口は僅かに七十六萬人である。人口の密度は一平方キロメートル當り〇・五人。國の总人口の九三%を占める原住民たる蒙古人の外に、支那人、ブリヤート人、ロシア人が住んでゐる。

一 蒙古は後れた遊牧國である

蒙古は後れた遊牧國であつて、粗放的農業は貧弱な地位を占めてゐる。國の大部分の自然的、諸條件は農業の廣汎な發達にとつてあまり良好でない。蒙古は尨大な可成り高い高原（平均高度千二百メートル）に位し、北方は高い國境の山脈で包まれてゐる。國の中央部の大平原は無水のステップで占められてをり、このステップは稀れに草原で覆はれ且南方へ行くに従つて中央アジアの最大の沙漠——ゴビ沙漠——に連つてゐる。鋭い大陸的氣候と少量の雨量とが比較的地味貧弱な蒙古の植物帯を決定してゐる。

農業は主として河川の流域で行はれてゐる。住民の基本的經濟活動である牧畜は原始的性質を帯びてゐる。蒙古の家畜（羊、馬、駱駝）は一年中ステップの野天で放牧されてゐる。一ヶ所の牧草が喰盡されると、牧畜者は飼料を求めて新しい場所へと遊牧して行く。多くの家畜が冬期に寒氣、饑餓、野獸などのために斃死する。また色々の流行病で斃れ

るものも多い。

國民經濟に於ける畜産の意義については國民所得の構成によつて判断することができる。例へば一九二七年度の各經濟部門の収入は次の通りである。

| | | | | | | | | |
|---|---|-------|------|------|---|---|---|------|
| 牧 | 畜 | 五六・五% | | | | | | |
| 農 | 業 | 六・八% | | | | | | |
| 牧 | 草 | 收 | 穫 | 一・五% | | | | |
| 狩 | 獵 | 及 | び | 家 | 内 | 工 | 業 | 三・〇% |
| 商 | 業 | 二・一% | | | | | | |
| 運 | 送 | 業 | 〇・二% | | | | | |

畜産物は蒙古の輸出に於て重要な役割を演じてゐる。

二 社會的階級的諸關係

個々の社會階級別による國の基本的富——家畜——の分配は極めて不均等に行はれてゐた。一九二八年の終りに、全人口の八三%を占めてゐる貧——中農部分は家畜總數の四五%を有し、人口の一七%を占める封建——資本主義的分子は全家畜の五五%を持つてゐた。

社會的分化の地盤の上で階級闘争の尖鋭化が行はれてゐる。蒙古の國家構成は勤勞者の利益の擁護を保證してゐる。すでに憲法によつて土地は全國民的財産であると宣言され、土地の私有は許されてゐない。壓迫する目的で他人の勞働を搾取してゐる人々——商人、高利貸、舊貴族、喇嘛僧——は選舉權を剝奪された。

一九二九年以來、蒙古政府は貧_{II}中農部分の經濟的政治的強化に對する幾多の方策の實行に断然着手した。これらの方策のうち重要なものは、……、封建_{II}資本主義的上層部分に對する租稅公課を重くして貧_{II}中農層のそれを軽減すると云ふ方向をとつた租稅制度の改訂、農業協同組合の強化である。

……を行つた結果、封建主義はひどい打撃を蒙つた。中農經營の重要性は増大して、現在それは、經營數の點でも(六〇%)、また生産手段の點でも基本的集團となつてゐる。

封建主義の他の分派——喇嘛僧——の經營力も亦著しく弱められた。喇嘛僧は——遊牧者を犠牲にして生活してゐる寄生階級である。巨大な富を自分のところに集めた僧院は、自分の所有する家畜を通常は富農_{II}富裕農分子に貸付け、後者はまたそれを貧農に奴隸的條件で貸付けてゐる。

今では政府は、僧院が一定條件で僧院の家畜を飼養のために貧農に貸付けるべきであるといふ法律を施行してゐる。

三 農業共營化

蒙古發展の今日の段階に於ける最も異色を放つてゐる特徴は、封建主義と富農に對する遊牧者大衆の闘争が共營農場の形態をとつて展開されてゐるといふ點である。封建的財産の……への移行は共營農場建設の力強い發展に對する衝擊として役立つた。現在(一九三一年)、蒙古には國內の全經營の約三〇%に當る四萬二千七百の經營を結合した六百十二の共營農場がつくられてゐる。それによつて、國內の封建主義の殘滓と資本主義的諸關係を完全に根絶やし、後者が……發展道程へ移行する條件がつくり出されつゝある。

四 農業

農業の發達は今日まだ微々たるものである。耕地面積の大部分は搾取者のタイプの經營を行つてゐる支那人小作人の

手中に收められてゐる。蒙古の農業はセレンガ河及びオルホニ河の流域で發達してゐる。現在、共營農場、國營農場、個人經營部分の播種面積が急速に増大し、搾取者經營が縮小してゐることが觀察される。

總播種面積 (單位千ヘクタール)

一九二九年 一九三〇年 一九三一年

一五 二五・八 四一・三

社會化された部分の役割が近年増大したことは、播種面積配分に關する次の統計から觀取される。

| | 一九三〇年 | 一九三一年 (單位%) |
|-----------------|-------|-------------|
| 社會化された部分 (共營農場) | 四 | 四 |
| 個人經營部分 | 二〇 | 二五 |
| 外國人小作人 | 四 | 二四 |

その外、共營農場と國營農場は牧草栽培地の六三%を所有してゐる。

このやうに、一九三一年には社會化された部分が農業に於て決定的な地位を占めてゐる。

主要農産物は小麦、大麦、燕麥である。國內の需要を充たすのに自國の穀物だけでは今の所足りない。不足分はソウエート同盟からの輸入で補はれてゐる。(60)

(60) 蒙古國民共和國で立案された農業をも含む經濟發展五ヶ年計畫によると、五ヶ年計畫の終りまでに農産物の需要は完全に國內生産によつて充足されることになつてゐる。

共營化運動の疾風の發達とすで行はれ始めてゐる遊牧者の定住とによつて、經濟に於ける農業の役割は著しく向上

し出してゐる。

各經濟部門の總生産額は次の通りである。

| | 一九三〇年 | 一九三一年 (單位%) |
|----|-------|-------------|
| 牧畜 | 六二 | 六二 |
| 農業 | 三六 | 三三 |
| 副業 | 二〇 | 二六 |
| 工業 | | |

蒙古の工業は萌芽状態にあつて、若干の農産物加工工場があるに過ぎない。國の首府庫倫の東方三十七キロメートルのところに炭坑があるが、今のところ著しい産出はない。政府は國民工業發展計畫を立案した。

住民に對する副業は外國に輸出されるモルモットの飼養と毛皮の製造である。

國內商業に於ては國營協同組合が個人商人を成功的に驅逐してゐる。即ち、一九二八—一九二九年には蒙古中央協同組合の取引が全取引高の二五%を占めてゐたが、一九三〇年には四〇%まで、一九三一年にはすでに——七一%にまで高まつた。

六 ソヴェート同盟との交渉

外國貿易は國家によつて統制されてゐる。蒙古市場ではソヴェート同盟の比重が著しく増大してゐる。蒙古の外國貿易で一九二九年にソヴェート同盟が占めてゐた部分は五七・四%であつた。兩國間の文化的聯絡も強まりつつある。

このやうに、正しく選ばれた發達方法のお蔭で、蒙古はその獨立的存在の短日月の間に經濟並びに文化建設の事業で

大きな成功を収めることができたのである。

七 五ヶ年計畫

蒙古國民共和國が収めた經濟的成功の最も大きな實證は、基本的經濟部門並びに文化建設發展の五ヶ年計畫が編成されたことである。このやうな計畫が存在すると云ふ事實そのものは充分に雄辯である。

五ヶ年計畫の數字は、非資本主義的方途による蒙古の發展テンポの強化といふことに向けられてゐる蒙古國民……の政策を決定し鞏固にしてゐる。五ヶ年計畫の實行——これは「國の……」のための闘争、資本主義を乗りこへて蒙古を發展させる………ための闘争」である。

五ヶ年計畫の根本的任務は次の通りである。

一、「五ヶ年計畫の經濟的方策は、遊牧者大衆が最も高度の協同組合經營形態へ、定住的生活様式へ移行することを助長する必要から出發しなければならない……五ヶ年計畫は牧畜並びに農業共營農場へ少くとも貧農の七〇%及び中農經營の五〇%以上を結合することを豫定しなければならない」(蒙古國民………第八回大會の決議から)。

二、共營農場の生長と共に、五ヶ年計畫は國營農場の廣汎な發展、國營大工場の建設を豫定してゐる。五ヶ年計畫は充分な原料基礎を有する工業企業の發展を計畫してゐる。先づ第一にこの部分へ數へられるのは製革工場、機械製靴工場、羅紗工場、その他の動物原料を加工する工場等の建設である。

三、五ヶ年計畫は主要幹線道路(庫倫——アルタン・ブラク、ハトフィル——ウリヤスタイ、コブド——コシ・アハチ等々)の道路建設に大きな注意を拂つてゐる。また、庫倫とアルタン・ブラクとを結合する鐵道線路を開設し、及びこの鐵道とソヴェート同盟で敷設を計畫してゐるヴェルフネウチンスク——トロイツコサフスク線とを聯絡する事業が

豫定されてゐる。

四、五ヶ年計畫は協同組合及び國營部分で國の全卸賣、小賣取引を完全に捉へることを豫定してゐる協同組合の廣汎な發達を計畫してゐる。

五、五ヶ年計畫は文化建設に多大の支出を保證してゐる。現在、國內に於ける文盲者の數は九五%に達してゐる。文化的後進性は社會主義的發展の事業に大きな困難を齎らすことは、言ふまでもない。文化五ヶ年計畫は、初歩的普通教育の實施、文盲の撲滅、自身の經濟的並びに文化的幹部の養成のために國を準備することから出發してゐる。

このやうに、蒙古國民共和國では、最も重要な歴史的任務——非文化的な、經濟的に後れた國を發展した社會主義文化を持つ國に………ること——が實行されつゝある。

三 唐努烏梁海國民共和國

唐努國民共和國は領土と人口の點では蒙古よりも著しく劣つてゐる。唐努は僅かに二十萬平方キロメートルの面積と七萬二千人の人口を有してをり、そのうち六萬人が原住民の唐努人で、一萬二千人がロシア移住民である。人口の密度は非常に低く、一平方キロメートル當り〇・三六人である。

一 唐努は遊牧國

唐努は經濟類型の點では蒙古を思はずものがある。こゝでも亦主な傾向は遊牧である。農業は後れた性質を帯びてゐて、發達は微々たるものである。農業に従事してゐるのは僅かに人口の四分の一で、主としてエニセイ川上流より北方及び小エニセイ川流域の各村落に散在するロシア人勤勞植民地が専らこれに従事してゐる。

農業は人工灌漑を使用して行はれてゐる。灌漑網は幼稚で、千年の月日を閑した古い灌漑網の遺物が専ら利用されてゐる。播種される主なものは小麦（全播種面積の五八％）と燕麥（三五％）である（一九二九—三〇年）。

灌漑されてゐる土地では穀物の收穫が多く、一ヘクタールから三—四〇ツェントナールの小麦である。

穀物生産物（主として小麦と燕麥）は穀物に對する國內の需要の充足に向けられ、國の必要を完全に地方の生産で保證してゐる。

家畜は唐努の主要な畜である。家畜は全部で約七十萬頭を數へてゐる。牧畜者の所有する家畜の中で主なものは小角家畜（羊は全家畜の四五・四％、山羊は二三・六％）で、大有角家畜は一七・四％に過ぎない。養鹿は發達が著しくなく、主として國の北部で行はれ、鹿はこゝでは運送用に利用されてゐる。

蒙古と同じく、遊牧者の家畜は一年中放牧されてをり、その結果、冬期はそれがひどく瘠せ衰へ、霜氷期には家畜は甚だしく斃死して、遊牧者の經濟にひどい損失を與へる。遊牧者間では近頃牧畜經營の改良、何よりも牧草收穫の實施の方向に向つて轉向が行はれてゐるが、この轉向は、遊牧者の家畜の數的增加とその質的改良の中に有利に反映するにちがひない。

ロシア人勤勞植民地はまた一九三〇年に三萬三千八百頭を數へた多くの家畜を領有してゐる。

二 帝國主義者と封建領主とが人爲的に發展を阻害してゐる

唐努の自然的諸條件は農業の發達にとつて蒙古よりも良好である。唐努はすぐれた牧場と農耕に有利な土地をもち、膨大な灌漑組織（エニセー川の上流々城）をもつてゐる。その外、唐努は廣大な森林帯と種々の有用礦物（金、銀、プラチナ、石炭、石棉、銅、鐵等）を有し、また白炭の莫大な資源をも持つてゐる。しかし、唐努の天産物は國民經濟の

振興のために利用されなかつた。國內で支配してゐた帝國主義者は唐努の國民を………の中に抑止し、彼等は先づ遊牧者大衆に對する最も完成された………の方法とを見つけ出した。「資本が足を踏み入れるところには光がなく、自由と文化がない。資本は到るところの勤勞者に………、暗黒、蒙昧を齎らす」(國際農民協會への唐努國民………中央委員會の檄から)。

帝國主義者の抑壓は、國內の封建搾取者の分子の側からなされる唐努勤勞大衆の經濟的政治的奴隸化とからみ合つてゐた。唐努が隸屬から離れて獨立共和國となつた後ですら極最近までも封建領主、喇嘛僧、資本家、富農的分子(バイ)が國內で最も大きな經濟力を持つてゐた。即ち、一九二九—三〇年になつても全經營の四%に當るこれらの集團が全家畜の二四%を所有してゐた(一經營當り五〇ポド(61)からそれ以上)。

(61) ポドは家畜計算の單位で、一ポドは馬一頭、大有角家畜一頭、羊十頭、山羊二十頭、駱駝牛頭である。

三 農民經營の協同組合化と共營化

現在、唐努國民………勤勞國民大衆のために國を再組織する方針を斷然取つて、………、富農の生長の制限といふ方法によつて封建的分子の經濟力を艾盡する根本的な方策を遂行しようとしてゐる。すでに一九三〇—三一年には上層集團の比重は全家畜の一七・六%から全經營の三・二%にまで低下した。これと共に、………とは農業勞働者、貧農、中農大衆の増大した政治的積極性に依據しながら、自己の政策の根底に經營共營化の遂行とその廣汎な協同組合化を置いて、農業の根本的な再建の道を成功的に進んでゐる。困難な活動條件——人口の極端な分散、その低い文化水準、養成された共營農場幹部が殆んど缺除してゐること、交通機關が悪く不充分なこと——にも拘はらず、共營農場運動は成功的に發展し出してゐる。一九二九—三〇年間に、全經營の一・八%に當る二百五十二經營から

なる二十七の共營的結合體が組織された。また三百二十一の狩獵アルテルが組織された。人口の二五%が協同組合に包括された。そして一九三二年には少くとも全人口の五〇%以上を協同組合化することが豫期されてゐる。三つの大國營企業（四千ヘクターをもつ穀物農場、千百十頭の種羊をもつ養羊牧場、七百四十頭の順鹿をもつ養鹿牧場）も組織され、それは農業を社會主義的基礎の上に再建するために必要な經濟的文化的根底となつてゐる。遊牧者の間に定住へ移行する強い努力が認められた。この事情は、共營化のテンポをさらに一層強化するために、文化的經營方法へ移行しその商品生産性を高めるために、極めて重要なことである。

四 工業の發達

唐努の工業は今の所まだ發展してゐない。産金業が若干の意義をもつてゐて、この部門に従事する労働者数は一九三一年に七百七十人を數へ、その中六〇%は唐努人、残りはロシア人である。地方の原料を加工する家内工業（製革、羊皮製造、製粉）は僅かに發達してゐる。

唐努政府は國民工業を創設する計畫を立てた。先づ第一に計畫されたのは、皮革原料の加工工場を建設することである。基本的工業企業は共和國の首府クイツイル市地方に建設されることになつてゐる。

五 毛皮業

唐努の國民經濟にとつて大きな經濟的意義をもつてゐるのは、廣く普及してゐる狩獵業である。ある地方、例へばトヂンスク地方（國の東北部にある）では、それは男子の主要職業となつてゐる。栗鼠、黑貂、その他の生業になる毛皮動物の狩獵は、外國への輸出品として多額の産物を與へてゐる。毛皮と動物原料は國の最も主要な輸出品である。唐努の外國貿易ではソヴェート同盟が決定的な意義をもつてゐる。一九二九—三〇年に外國貿易取引高の約八〇%がソヴェ

ト同盟との國境で行はれ、二〇％は蒙古との國境で行はれた。ソヴェート同盟は唐努に工業商品を提供してゐる。

六 協同組合は私的商人を驅逐した

國內商業では唐努國民協同組合は個人商人を完全に驅逐してしまつた。一九二四年には支那商人が唐努の市場を支配してゐたが、現今では商品取引は全然唐努中央協同組合の手に移つてゐる。國營協同組合の急速な發展は、支那人及びロシア人の商人に高利貸の最も横暴な搾取形態から遊牧者大衆を解放した。商品を信用で販賣するに當つて彼等が廣く用ひた制度は債務者をして商人に農奴的に從屬させた。「仔羊を抵當にして」掛賣された商品から商人は二〇〇—三〇〇％も儲けた。唐努の協同組合は遊牧者經營の經濟力を強めることに助力してゐる。

七 運輸建設

唐努の國民經濟發達の障礙をなしてゐるものは便利な交通機關が不十分なこと、いな或る地方では全然排除してゐることである。唐努政府は良好な車道を建設するための方法をとつてゐる。唐努とソヴェート同盟との運輸聯絡の改良にとつて、ウシン幹線道路に規則的な自動車交通を開くこと及びエニセー河のクイヅイル、ミヌシンスク間に定期的な汽船航行を組織することが大きな意義をもつだらう。

八 文化建設

唐努の成功的な非資本主義的發達は農業労働者、貧農、中農大衆の階級的自覺の成長に依據してをり、またソヴェート同盟の支持に依つてゐる。遊牧者政權の敵（封建領主、富農、喇嘛僧）は政府の方策に對して狂氣じみた抵抗をしてゐる。唐努の再建は………諸條件の中で行はれてゐる。唐努………は、大衆の政治的組織のためにまたは遊牧者獨裁のために闘ふ闘士の新幹部の養成のために盛んに活動してゐる。

唐努は文化建設と大衆の政治教育との領域で大きな成功を勝ちえた。以前には、読み書きは封建領主、喇嘛僧の特権で、被壓迫勤勞者大衆は極めて低い文化水準にあつて、完全に文盲で何一つ文化的施設をもつてゐなかつたが、今ではソヴェート同盟の援助の下に唐努の……諸組織の努力によつて大衆の文化的政治的教育事業の上に大なる進歩がなされ、上げられた。唐努の教育普及に強い影響を與へてゐるのは、母國語に新しい（ラテン文字化された）アルファベットを移入したことである。なぜなら古い蒙古文字（唐努は自國の文字をもつてゐなかつた）は國民大衆の間に読み書きを普及する上に最も大きな障礙をなしてゐたからである。

政府は國民教育の組織に眞剣な方法をとつてゐる。小學校、政治教育學校網がつくられ、クラブ、讀書の家、……自修サークルが組織されてゐる。また廣汎な社會政治活動が展開されてゐる。國の文化的再建の仕事に於て大きな役割を演じてゐるのは……であつて、同盟は……勤勞青年の廣汎な層を自己の陣列に引入れてゐる。

九 ソヴェート同盟の……と唐努に對する影響

唐努と蒙古の國民經濟の發展及び文化的生長に強い影響を與へてゐるのはソヴェート同盟に於ける……である。ソヴェート同盟の東方で生長しつゝある工業的基礎——ウラル・クズネツク結合企業、アンガラ・エニセー結合企業等々——は唐努と蒙古とに於ける社會主義建設のテンポを促進させる直接的動因となるであらう。

練習課題

- 一、遅れた國々の非資本主義的發展の可能性についてレーニンはどう問題を提起したか？
- 二、どんな諸條件が蒙古と唐努の非資本主義的發展の成功を保證してゐるか？

三 唐努烏梁海國民共和國

三、一九三一年までに蒙古と唐努に於ては階級關係上どんな變化が行はれたか？
四、經濟的文化的建設事業に於て蒙古と唐努とはどんな根本的成果を得たか？



附 録

第一表 世界農業生産の指數

國 名

播種面積(單位千ヘクタール) 收穫(單位千ツェントネル) 收穫性(單位一ヘクタール當り)
 一九〇一—一九三三年 一九三五年—一九三九年 一九四〇年—一九四一年 一九四二—一九四三年 一九四四—一九四五年

一 小 麥

| | | | | | | |
|----------------------|--------|--------|---------|---------|------|------|
| ヨーロッパ(ソヴェートを除く)..... | 二元、四〇〇 | 二六、一五九 | 三七〇、五〇〇 | 三六六、二四〇 | 一一・六 | 一三八 |
| イギリス..... | 七二〇 | 五七二 | 一六、一三二 | 一三、八七〇 | 二二・二 | 一四・四 |
| ブルガリヤ..... | 一、〇一〇 | 一、〇五九 | 六、二五二 | 九、〇一九 | 六・二 | 九〇 |
| ハンガリヤ..... | 一、五一一 | 一、五八四 | 一九、九六〇 | 一九、五五五 | 二二・二 | 二二・四 |
| ドイツ..... | 一、六五七 | 一、六〇〇 | 三〇、九六〇 | 三三、四九五 | 二二・七 | 二〇・九 |
| イタリヤ..... | 四、七四四 | 四、七六六 | 四九、八九六 | 七〇、九四四 | 二〇・五 | 一四・八 |
| ポーランド..... | 一、三三三 | 一、三三七 | 一六、七八三 | 一六、四〇〇 | 二二・四 | 二一・七 |
| ルーマニヤ..... | 一、八五二 | 二、三七七 | 二二、八九三 | 二七、一四八 | 二二・九 | 一〇・〇 |
| フランス..... | 六、七六七 | 五、一六〇 | 八八、六七七 | 八七、〇五三 | 二二・一 | 一六・四 |

| | | | | | | |
|------------------|-------|--------|--------|---------|------|------|
| ユーゴスラビヤ | 三六二 | 二、四〇 | 四、〇三 | 二六、八五五 | 一〇・五 | 二・八 |
| アメリカ | 三三、九三 | 四三、一八八 | 二五、八七 | 三五五、八五八 | 九六 | 八・二 |
| アルゼンチン | 六、〇三 | 六、五五二 | 四〇、〇三 | 三六、九六〇 | 六・六 | 五・六 |
| カナダ | 四、〇五 | 一〇、〇〇 | 五、六八 | △、六八 | 一三・三 | 八・二 |
| 合衆國 | 一九、九〇 | 一四、七四三 | 一七、八〇 | 三三、四九九 | 九・九 | 八・五 |
| アジア(ソヴェート同盟を除く) | 三、五五 | 一四、一六三 | 一四、〇四 | 一〇、四四七 | 八・〇 | 七・二 |
| 英領印度 | 二、八六 | 三、九五四 | 九五、七五 | 六六、四四 | 八・一 | 六・六 |
| アフリカ | 三、四六四 | 四、三九九 | 二七、一六四 | 三四、八三 | 七・八 | 七・九 |
| アルゼリヤ | 一、四四 | 一、五〇六 | 九、五九 | 八、九六 | 六・七 | 五・六 |
| エチオプト | 五三 | 六五 | 九、二五 | 一一、三九 | 一七・五 | 一八・九 |
| 佛領モロッコ | 六八 | 一一、二五 | 五、〇七 | 七、三七 | 八・一 | 六・四 |
| チュニス | 五九 | 七〇 | 一、六四 | 三、三六 | 三・二 | 四・八 |
| 南阿聯邦 | 三三 | 三七九 | 一、七〇九 | 二、九二 | 五・七 | 七・二 |
| オーストラリア | 三、〇七七 | 五、八七〇 | 二四、六〇 | 三〇、四八 | 八・一 | 五・〇 |
| 世界合計(ソヴェート同盟を除く) | 七九、四六 | 九五、六六 | △三、六九 | 九〇八、四七一 | 一〇・四 | 九・五 |

ヨーロッパ(ソヴェトを除く)……………一八、五〇〇……………一七、三七七……………二五、九九〇……………三九、〇〇六……………三三・六……………二五・七

ハンガリヤ……………六八〇……………六五〇……………八、〇四二……………八、三八一……………二・八……………二・九

ドイツ……………五、一四四……………四、七七七……………四、八五〇……………八、五五〇……………一八・六……………一七・五

ポーランド……………五、〇八七……………五、九三三……………五、七、二三……………六、六〇〇……………二・二……………二・五

フランス……………一、二五三……………七八四……………三、三三六……………一〇、〇七……………二・六……………二・八

チェッコスロバキヤ……………——……………一、〇八九……………——……………七、一番……………——……………二・九

アメリカ……………九八五……………二、二三八……………九、八五二……………一四、八〇二……………九二……………七〇

カナダ……………四七……………四〇一……………五三二……………三、二八二……………二・二……………八・二

合衆國……………一、三三五……………九八五……………九、二八……………一〇、三三〇……………一〇・一……………七・九

世界合計(ソヴェトを除く)……………二九、五四九……………一九、五五五……………二六、二五三……………二四、八〇八……………三三・四……………三三・二

三 燕

麥

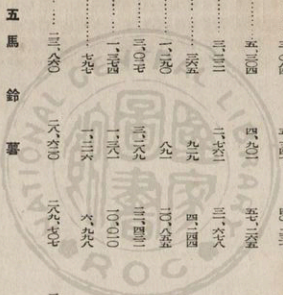
ヨーロッパ(ソヴェトを除く)……………一九、九六〇……………一七、二七七……………二八、二八〇……………二七、五四一……………一四・一……………一五・〇

イギリス及び
アイランド……………一、六五五……………一、五〇六……………二九、九六〇……………三、一六五……………二〇・一……………二二・七

ドイツ……………三、八四四……………三、五九九……………六、八〇三……………七、六八元……………一九・八……………二〇・六

| | | | | | | |
|-------------------|--------|--------|--------|---------|------|------|
| ポーランド | 二、七九八 | 二、〇二八 | 二八、一四三 | 二五、四〇〇 | 一〇、二 | 三・四 |
| ルーマニア | 四七 | 一、二三 | 四、二六 | 一三、五九三 | 九四 | 二・二 |
| フランス | 四、九七八 | 三、五〇七 | 五、四八三 | 五七、四四四 | 一三、四 | 一六・二 |
| チエッコスロバキヤ | — | 八七〇 | — | — | — | 一五八 |
| アメリカ | 一、〇三二 | 一三、九九五 | 二八、七七三 | 一三四、四九七 | 九四 | 一〇・二 |
| アルゼンチン | 七九八 | 一、五二 | 七、八七五 | 九、八七三 | 九九 | 六・六 |
| カナダ | 三、八八四 | 五、〇五〇 | 五、四二六 | 四三、二二三 | 一三一 | 八・六 |
| 合衆國 | 一五、二一八 | 一六、二七五 | 一六、九六五 | 一七九、七九一 | 一一〇 | 二・二 |
| 世界合計(ソヴェート同盟を除く) | 四、二〇八 | 四、九八九 | 五三、一八七 | 五九、二三八 | 二二七 | 三・四 |
| 四 大 賽 | | | | | | |
| ヨーロッパ(ソヴェート同盟を除く) | 一〇、九三〇 | 二、四〇 | 一五、二九〇 | 一七、九九七 | 一四・一 | 一五・八 |
| イギリス及び アイルランド | 七四七 | 五三 | 一四、三七 | 二、五三 | 二・四 | 二五・〇 |
| ハンガリヤ | 五五 | 四九 | 七、二四 | 六、四二三 | 一三・六 | 一五・二 |
| ドイツ | 一、三九九 | 一、五五一 | 二八、七〇一 | 三二、八〇七 | 二二・二 | 一九・九 |
| イスパニヤ | 一、四〇 | 一、七九 | 一六、二六二 | 二、一四二 | 二・五 | 二一・七 |

| | | | | | | |
|------------------|---------|---------|---------|----------|-------|-------|
| ポーランド | 一、六五 | 一、一五 | 一四、九〇 | 三三、七〇〇 | 一一・八 | 一一・八 |
| ルーマニア | 五四 | 二、〇四 | 五、四二 | 二七、七二 | 二〇・二 | 一三・〇 |
| アメリカ | 七、八四 | 八、四四 | 五四、七八 | 九、六五 | 二〇・二 | 一一・二 |
| カナダ | 六七 | 二、三九 | 九、八七 | 二、八七 | 一五・三 | 九・一 |
| 合衆國 | 三、〇四 | 五、四七 | 四〇、三七 | 六、八三 | 一三・一 | 二・五 |
| アジア(ソヴェート同盟を除く) | 五、三〇 | 四、九〇 | 五七、二五 | 五、一九 | 一〇・三 | 一〇・六 |
| 英領印度 | 三、三二 | 二、七六 | 三、六八 | 二、三六 | 九・九 | 七・七 |
| 朝鮮 | 三、六五 | 九・九 | 四、四四 | 八、八九 | 一一・五 | 八・八 |
| 日本 | 一、一五〇 | 八・九 | 二〇、八五 | 一七、四六 | 一六・一 | 一九・七 |
| アフリカ | 三、〇七 | 三、六九 | 二二、四三 | 三、九九 | 七・四 | 六・九 |
| アルゼリヤ | 一、三〇 | 一、三二 | 一〇、〇〇 | 八、九七 | 七・三 | 六・五 |
| 佛領モロッコ | 七九 | 一、二六 | 六、九八 | 八、三六 | 八・七 | 六・九 |
| 世界合計(ソヴェート同盟を除く) | 二、三、八六〇 | 二、八、六〇〇 | 二、八、七〇七 | 二、四、七、七〇 | 二、三・一 | 二、二・〇 |



五馬鈴薯

| | | | | | | | |
|----------------------|-------|--------|--------|-----------|-----------|------|------|
| ハンガリヤ | | 八九 | 一、〇九八 | 一五、〇六六 | 一九、四六〇 | 一七・五 | 一七・八 |
| イタリヤ | | 一、六〇八 | 一、五二〇 | 一五、四八六 | 二五、二七〇 | 一五・八 | 一六・六 |
| ルーマニヤ | | 二、〇八四 | 四、七九五 | 二七、三三三 | 六二、〇〇〇 | 三三・一 | 二二・七 |
| ユーゴスラビヤ | | 五四 | 二、三九四 | 七、六一九 | 四六、八八〇 | 三三、〇 | 二〇、四 |
| アメリカ | | 六、七五五 | 四九、六三五 | 八〇九、四五七 | 七九、九七二 | 一六九 | 一四・五 |
| アルゼンチン | | 三、五五 | 三、五六二 | 四八、六九四 | 五八、八五 | 三三八 | 二二・八 |
| ブラジル | | 三、〇五八 | 二、二〇四 | 三三、九七八 | 三三、〇六七 | 二二三 | 一五・二 |
| メキシコ | | 二、四六六 | 三、二二二 | 二二、八七六 | 一五、六五五 | 八・五 | 五・三 |
| 合衆國 | | 四、一八一 | 九、六六七 | 六八六、九六七 | 六六六、〇六二 | 一六三 | 一六・二 |
| アジア(ソグエート 同盟を除く) | | 五、一六五 | 五、三〇六 | 三九、九〇四 | 五、三七九 | 七七 | 九・五 |
| 英領印度 | | 二、九三二 | 二、三九五 | 二二、〇五〇 | 二二、九〇一 | 七〇 | 九・五 |
| アフリカ | | 二、二六〇 | 四、八二四 | 二六、七三三 | 三二、〇〇〇 | 一三八 | 六・六 |
| 南阿聯邦 | | 八七三 | 二、二六〇 | 七、四四五 | 一七、六八 | 八六 | 七・七 |
| 世界合計(ソグエート 同盟を除く) | | 七〇、七三六 | 七、五五四 | 一、〇三二、九六一 | 一、〇八一、三三二 | 一四七 | 一五・〇 |

第二表 甘蔗粗糖生産高 (單位千ツェントネル)

國名 一九〇九—一九一〇—一九一四年 平均

一九二九—一九三〇年

國名 一九〇九—一九一〇—一九一四年 平均

一九二九—一九三〇年

ヨロロッパ
イスパニヤ……………一五五

臺灣……………一、七四五
八、一八五

アメリカ……………三九、五六

七、〇八六（一）

ジャバ……………三、四七四
二九、四二一

そのうち

日本……………六四一
一、〇五一

アルゼンチン……………一、七五九

四、四五〇

アフリカ……………六、六八九
六、七二一

ブラジル……………二、七九七

六、〇〇〇

そのうち
エチプト……………六〇九
一、一〇〇

キューバ……………二、〇二一

四七、二四六

モーリスシャス島……………二、三三四
二、三六一

ペルー……………一、八八六

三、七〇〇

南阿聯邦……………六、八六
二、四八〇

ポルトリコ……………六、二九七

六、四四二

大洋洲……………八五二
一三、〇〇八（一）

合衆國（ルイジアナ）……………二、六三三

一、六一

そのうち

アジア……………四、八七七

七五、四四〇

オーストラリア……………一、九六二
五、三三（一）

そのうち

ニューギニヤ……………五、一六二
七、七五

英領印度……………二四、〇三六

二六、一四四

世界合計（ソグエイトを除く）……………五、七九
一六四、二四〇

フィリッピン島……………三、七〇四

七、六九〇

(1) 暫定數

第三表 甜菜糖(粗糖)生産高 (單位千ツエントネル)

| 國 名 | 一九〇九—一〇一〇—一 九一三—一四年平均 | 一九二九 —三〇年 |
|------------------|--------------------------|--------------|
| ヨロロッパ | 五八、六六六 | 七、七三二 |
| そのうち | | |
| ベルギー | 二、五九五 | 二、五二〇 |
| ハンガリヤ | 四、五五五 | 二、四八三 |
| ドイツ | 一八、七二八 | 一九、五三三 |
| オランダ | 二、二三五 | 二、五八〇 |
| ポーランド | 六、八六四 | 六、八六四 |
| 世界合計(ツヴェイト同盟を除く) | 六五、〇四五 | 六五、〇四五 |
| 合衆國 | 六、二八五 | 一〇、七三一 |
| そのうち | | |
| アメリカ | 六、四〇〇 | 一一、〇五〇 |
| チエッコスロバキヤ | — | — |
| フランス | 七、三三元 | 八、九五五 |
| 南アフリカ(1) | — | — |
| ウルグワイ | — | — |
| 南アフリカ(1) | — | — |

第四表 羊毛生産高 (單位千噸)

| 國 名 | 一九〇九—一三年 | 一九二九年 |
|----------|----------|-------|
| ヨロッパ諸國 | 二、六七六 | 二、五二〇 |
| そのうち | | |
| イギリス | 一、六二七 | 一、六二七 |
| 合衆國 | 一、四二三 | 一、四二八 |
| ウルグワイ | 六〇、四 | 六八、〇 |
| 南アフリカ(1) | 七二、五 | 一三、〇 |

ドイツ……………一九・九

一四・五

オーストラリア
及びタスマニア……………

三三・七

四一九・五

イスパニヤ……………三・四

四五・四

ニュージーランド……………

八・六

一一五・六

ルーマニヤ……………二〇・七

二三八

世界合計(ツグエイト
同盟を除く)……………

一、二四七・五

一、四六六・九

フランス……………三七・〇

三三・〇

ヨーロッパ以外の諸國……………九七九・九

一、三二五・(2)

そのうち

アルゼンチン……………一五〇・七

一四六・九

(1) 南阿聯邦、英領諸植民地及び委任統治地、

(2) 暫定數。

第五表 世界棉花收穫高(單位千ツエントネル)

國名

一九〇九—一九一三年

一九二九—一九三〇年

A ヨーロッパ(ツグエイト同盟を除く)……………四八

六〇

B アメリカ……………元、九二七

三六、一八八

そのうち

1 アルゼンチン……………六

三三〇

附 録

九

| | | |
|------------------|--------|-------|
| 2 ブラジル | 九〇七 | 一〇 |
| 3 メキシコ | 四三七 | 一〇九五 |
| 4 ベルギー | 二六一 | 五二〇 |
| 5 合衆國 | 二六、二五八 | 五三三 |
| 6 英領印度 | 二、六九九 | 三、四七 |
| 7 支那 | 七、七七〇 | 二、〇八七 |
| 8 エチオピア | 四、八二五 | 九、六五二 |
| D アフリカ | 三、二六五 | 三、三〇〇 |
| 世界合計(ソヴェート同盟を除く) | 三、一五〇 | 四、三六〇 |
| | 四五、七三 | 三、五九七 |
| | | 五、一九五 |

第六表 一九二九年に於ける世界ゴム生産及び消費高 (單位千噸)

生産地 生産高

ゴム消費者 一九二八年 消費高 一九二九年

| | | | |
|--------|-----|------------------|-----|
| マライ | 四三二 | 合衆國 | 四四二 |
| セイロン | 七 | カナダ | 三 |
| 英領印度 | 二二 | イギリス | 四九 |
| 英領ボルネオ | 七 | ドイツ及び中 央ヨーロッパ | 四三 |

サラワク……………二二
 蘭領印度……………二五五
 佛領インドシナ……………九
 ブラジル……………三三
 その他の諸國……………五

フランス……………四〇
 イタリヤ……………三三
 ソヴェート同盟……………一五
 スカンジナビヤ……………四
 ベルギー及びオランダ……………一〇
 オーストリア……………九

合 計……………六七

日 本……………二五
 その他の諸國……………七
 合 計……………六七

七九

第七表 世界石油探掘高 (單位百萬樽)

| 國 名 | 一九一三年 | 一九二九年 |
|---------------------|-------|-------|
| A ヨーロッパ(ソヴェート同盟を除く) | 三・三 | 四・二 |
| 1 ドイツ | 〇・九 | 〇・七 |
| 2 ポーランド | 七・八 | 五・〇 |
| 3 ルーマニヤ | 一三・六 | 三三・九 |
| 4 フランス | — | 〇・五 |

| | | | |
|----|-----------------|-------|---------|
| 5 | チエツコスロバキヤ | | 0.1 |
| B | アメリカ | | 1,242.6 |
| 6 | アルゼンチン | | 0.1 |
| 7 | ベネゼエラ | | 8.8 |
| 8 | カナダ | | 1,370.0 |
| 9 | コロムビヤ | | 1.1 |
| 10 | メキシコ | | 110.4 |
| 11 | ベルー | | 44.7 |
| 12 | 合衆國 | | 1,334 |
| C | アジア(ソヴェート同盟を除く) | | 1,006.0 |
| 13 | 英領印度 | | 101.0 |
| 14 | 蘭領印度 | | 8.5 |
| 15 | ベルシヤ | | 37.9 |
| D | ソヴェート同盟 | | 45.3 |
| | 世界合計 | | 1,030.0 |
| | | | 1,488.8 |

第八表 世界鋼鐵生産高 (單位百萬噸)

國名

年

世界生産高に對する比率

備考

イギリス……………一九一三年 一九二九年 一九一三年 一九二九年
 七・七九 九・六〇 一〇・五 七・九

ドイツ……………二・七 一六・三〇 一六・〇 一三・三
 ギルクセンブルグ及ザール地方を除く

フランス……………六・九七 九・六〇 九・三 七・八

ベルギー……………二・四七 四・〇五 三・三 三・三

合衆國……………三〇・七 五九・二〇 — 四八・一

全世界……………一四・四二 二二・〇〇 一〇〇・〇 一〇〇・〇

第九表 機械製作工業生産高(單位百萬馬克(1))

國名

一九一三年

一九二五年

一九二八年

ヨーロッパ諸國

イギリス(アイルランドを含む)……………一、六〇二 三、〇一〇 三、一〇〇

ドイツ……………二、八〇〇 二、九〇〇 四、〇〇〇

イタリヤ……………一、七五 二、六〇 二、六〇

フランス……………二、三三 五、〇〇 六、〇〇

スイス……………一、五〇 二、八五 三、〇〇

附 録

一三

スウェーデン……………一三三

ヨーロッパ外の諸國

合衆國……………一七、二六

日 本……………二四〇

オーストリア及びニュージーランド……………一五三

(1) 一馬克—四六・三カベクター—二三・八セント。

(2) 一九二七年。

第十表 電機工業生産高 (單位百萬馬克)

| 國 名 | 一九一三年 | 一九二五年 | 一九二七年 |
|---------|-------|-------|-------|
| ヨーロッパ諸國 | 六〇〇 | 一、四〇〇 | 一、七〇〇 |

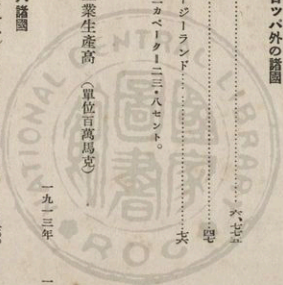
イギリス(アイルランドを含む)……………一、四〇〇

ドイツ……………一、七〇〇

イタリヤ……………一、五〇〇

フランス……………一、五〇〇

スウェーデン……………一、三三〇



ヨーロッパ外の諸國

| | | | |
|-----|-------|------|------|
| カナダ | | 二五 | 三〇 |
| 合衆國 | | 一、〇八 | 六、五八 |
| 日本 | | 三六 | 六、八七 |
| | | 六 | 四六 |

第十一表 人絹生産高 (單位千噸)

| 國名 | 年 | 國名 | 年 |
|---------|------------|-----------|-----------|
| ヨーロッパ諸國 | 一九一三年 一〇・三 | ヨーロッパ外の諸國 | 一九一三年 〇・七 |
| そのうち | | そのうち | 七・三 |
| イギリス | 三四 | カナダ | 一九 |
| ベルギー | 一・三 | 合衆國 | 六〇・三 |
| ドイツ | 三五 | 日本 | 八・七 |
| オランダ | —— | 世界合計 | 一九・四 |
| イタリヤ | 〇・一五 | | |
| フランス | 一・五 | | |

昭和九年四月十日印
昭和九年四月十五日發行

(定價金貳圓)

譯者

經濟地理研究會

發行者

東京市麹町區九段四丁目八番地
西村 豐吉

發行所

東京市麹町區九段四丁目八番地
叢文閣

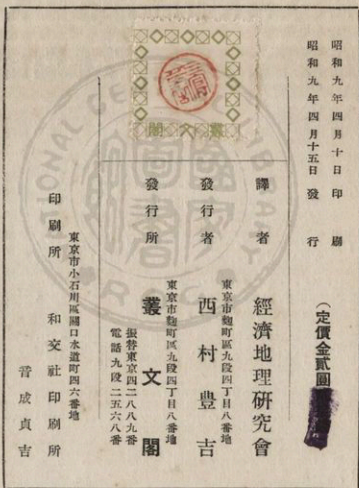
振替東京四二八八九番
電話九段二五六八番

印刷所

東京市小石川區關口水道町四六番地

和交社印刷所

音成貞吉



世界經濟年報

- 資本主義世界と革命支那。指導的帝國主義國家としての合衆國。一九二七年第一四半期に於ける世界經濟。イタリー資本主義の總論。日本帝國主義の發展過程。日本と支那。一九二七年第一期・第二期の世界經濟を事項別に各國別に細論す。
- (1) 1927年 上半期 定價 ¥1.00
送料 .03
-
- 景氣研究と恐慌理論。世界經濟の一般的な姿。世界石油市場に於ける鬭争。大英帝國の中心點印度。本位制度及び金の問題。賠償問題の新整理の開始。世界經濟の一般的状态。總論と各論等々。
- (2) 1927年 下半期 定價 ¥1.00
送料 .03
-
- 資本主義的合理化の危機。支那革命の諸問題。世界經濟の一般様相。賠償問題。恐慌根源の全系列。農業化と工業化。日本帝國主義と支那。日本資本主義の社會的構成の特性。
- (3) 1928年 上半期 定價 ¥1.00
送料 .03
-
- 帝國主義諸對立の尖鋭化と賠償問題。金の現在の役割。新ルーマニアの問題。構成的失業と慢性的失業。支那革命と農業問題。國民黨内部に於ける諸對立と労働運動。
- (4) 1928年 下半期 定價 ¥1.00
送料 .03
-
- 一九二九年第一期四半期に於ける新濟及び經濟政策。獨占形成の諸問題。世界經濟の一般様相。賠償會議。フーヴァとアメリカ・ブルジョアジー。資本發行と資本輸出。
- (5) 1929年 (I) 定價 ¥.80
送料 .03
-
- ヤング案の成立・意味・内容・將來。新農業恐慌の到來。國際獨占と國際競争戰。特殊的部分、ドイツ、フランス、イタリヤ、イギリス、アメリカ合衆國。
- (6) 1929年 (II) 定價 ¥.80
送料 .03
-
- ヘーグ、軍縮掛引と帝國主義的諸對立の尖鋭化。スパー協定、バルフォア覺書、ヤング案。獨占形成の諸問題と「組織化された資本主義」の學說。取引所投機恐慌。世界收換と穀物價格。
- (7) 1929年 (III) 定價 ¥.90
送料 .08
-
- アメリカ恐慌世界恐慌。幻影は消え失せたり。恐慌要素としての取引所強調と取引所大暴亂。世界市場争奪鬭争の尖鋭化、競争危機の増大。ドイツ資本主義上昇の世界農業恐慌と一般恐慌。世界恐慌來。
- (8) 1929年 (IV) 定價 ¥1.00
送料 .08
-
- 國際經濟恐慌のまつたまなか。國際農業恐慌。世界經濟の一般様相。世界の景氣様相とブルジョア階級の無力。血路としての生産制限。恐慌は深刻化しつつある。失業、投機の復活。
- (9) 1930年 (I) 定價 ¥.90
送料 .08
-
- 恐慌の擴大と深刻化。「無爲無策」「混亂」。今後の見透し日本の恐慌。日本資本主義の特性。二三の例。アメリカ資本の侵入。労働者階級に向つての攻撃。鐵紡の賃銀攻撃。
- (10) 1930年 (II) 定價 ¥.70
送料 .03

世界經濟年報

- (11) 1930年 (Ⅲ) 恐慌と物價下落。價格革命。物價下落の不一致。恐慌は底を入れたか。ドイツの一般的政治的危機。經濟恐慌の新たな尖鋭化。反ソヴェートダンピング=カンパニー。特殊的部分。取引所恐慌。ヤンク案の危機。 定價 ¥ .70 送料 .06
- (12) 1930年 (Ⅳ) 一九三〇年恐慌年度から一九三一年恐慌年度へ。恐慌の發展。一九三一年の夏越し。爲替相場下落と金分配。恐慌と賠償問題。經濟政策の混亂。破産の波。収益及び株相場の低下。見透し。 定價 ¥ .60 送料 .06
- (13) 1931年 (Ⅰ) マルクスの恐慌理論と現在の恐慌の諸問題。世界經濟の發展。金分配、資本輸出及び帝國主義的諸對立。恐慌は底を入れたか。一二月は今までの最深點。農業恐慌の炭局面。失業。 定價 ¥ .70 送料 .06
- (14) 1931年 (Ⅱ) 迫り来る破局。經濟恐慌の新段階。帝國主義的諸對立のまつたマ中のドイツ。世界經濟恐慌の一層の深刻化と尖鋭化。信用恐慌。ブル科學は労働者階級の悪化に賛成。フランス金融資本の冒險。 定價 ¥ .70 送料 .06
- (15) 1931年 (Ⅲ) 國際金融恐慌。その諸形態と諸要素。恐慌は底を入れない。失業の増大と資本の攻勢の新たな波。日支交戦。信用恐慌とインフレーション。植民地民衆に對する迫害。階級闘争の激化。 定價 ¥ .70 送料 .06
- (16) 1931年 (Ⅳ) 世界經濟恐慌の見透し。社會ファシストのお御新一國家資本主義は社會主義の前段階である。『資本主義での計畫經濟』ドイツ緊急命令後の労働者の状態。フランス一例外的地位の傳説。イギリス一磅相場の懸標。アメリカ一景氣の一般様相。 定價 ¥ .60 送料 .06
- (17) 1932年 (Ⅰ) 世界政治の中心點にある日本帝國主義。日本の『人口過剰』。日本の外國貿易。日本の植民地帝國。世界經濟恐慌のなかの日本。干渉の前哨としての日本。支那分割闘争と干渉の危險。 定價 ¥ .70 送料 .06
- (18) 1932年 (Ⅱ) ドイツに於ける政變の經濟的基礎。恐慌からの資本主義的進路か革命的進路か？信用恐慌と何種恢復のお御朝。ローザンヌ會議。外國貿易の萎縮とオツメツ會議。アメリカ生産の減退。 定價 ¥ .80 送料 .03
- (19) 1932年 (Ⅲ) 安定化の終末。恐慌の持續。ドイツ・バーベン政府の經濟政策。振興の前通。經濟政策をめぐる闘争の尖鋭化。『振興』後のドイツの經濟状態。アメリカ棉花景氣の解消。イギリス、保護關稅制度への移行。 定價 ¥ .60 送料 .06
- (20) 1932年 (Ⅳ) 一九三二年の總決算。帝國主義的諸對立の尖鋭化。階級闘争の尖鋭化と×××××の成熟。戰債をめぐる闘争に照して見た帝國主義の諸矛盾。特殊部分、ドイツ、フランス、イタリー、イギリス、アメリカ合衆國。 定價 ¥ .80 送料 .06

グアルガ著 ☆ 經濟批判會譯

世界經濟年報

- (21) 1933年 (I) 政權にありついたドイツ・ファシズムの結果と見返し。アメリカの銀行崩壊と金本位制の終末。銀行恐慌はどうして起つたのか？貨幣恐慌。アジアに於ける日本の役割。日米關係の一重要點。日本のインフレーション政策。滿洲國の成立と日本財政。一般的部分。本位貨混亂。經濟恐慌の深刻化及び戰爭の危險。 定價 ¥ .70 送料 .08
- (22) 1933年 (I) 決裂したロンドン會議と解決不可能な市場問題。ロンドン會議の政治的意義。資本主義の現段階に於ける市場問題外國市場のための闘争。ドイツ・ファシズムの真相「國民革命は終つた」法律は資本家に有利。景氣好轉といふ欺瞞。アメリカ合衆國に於ける投機的景氣充溢と「計畫的な國家資本主義」一般的部分四年に亘る恐慌〔最新刊〕 定價 ¥ .70 送料 .08



世界經濟叢書

經濟批判會譯編

- (1) 一九三〇年世界經濟恐慌第一輯 .80
第三期と世界經濟恐慌。ストライキ闘争及び失業。恐慌擴大と物價低落。アメリカ恐慌とその進行。東=中央ヨーロッパ、西南ヨーロッパ、植民地及び半植民地に於ける恐慌。
- (2) 一九三〇年世界經濟恐慌第二輯 .80
世界經濟恐慌は尖鋭化する。フランス經濟恐慌。アメリカ恐慌の尖鋭化。帝國主義的對立の尖鋭化。第一次世界戦争から第二次世界戦争へ。各國の恐慌の深刻化。
- (3) 國際農業恐慌 .60
第一部、世界。マギアールの農業恐慌と一般恐慌。ヴァルガの國際農業恐慌。第二部、各國。第三部、階級闘争。農業に於ける偉大なる闘争を前にして。反ソヴェート戦線。
- (4) 世界經濟危機の一年 .80
現在の經濟危機の諸特性。資本主義の全般的危機の土臺の上での循環性危機。世界經濟危機の一年。經濟危機は全般的=國民的危機に轉化しつゝあり。一九三〇年における世界失業。各國。
- (5) ドイツ資本主義の危機 .70
ドイツ資本主義の危機。獨占資本主義の恐慌現象。恐慌と新たな集積の浪。恐慌時に於ける財政政策。農業恐慌と支配階級の農業政策。資本主義の一般的危機としての失業。生計と物價、生計指數の爲論。ストライキ年度一九三〇年。
- (6) 世界恐慌—數字に現れた .90
世界經濟恐慌。種々の恐慌理論の政治的意義。現在の恐慌の特徴。世界工業恐慌。世界農業恐慌。勞働者階級の狀態と恐慌。市場のための闘争と恐慌。附録・世界恐慌に關する文献。
- (7) アメリカ資本主義の諸問題 1.50
合衆國の獨占資本主義の基礎。合衆國に於ける銀行獨占と鐵道。合衆國の資本輸出。合衆國に於ける農民恐慌。勞働者階級の狀態。勞働者の組織と闘争。
- (8) ソヴェート同盟計畫經濟 1.50
ソヴェート同盟の經濟および經濟政策の發展段階。計畫社會主義建設の手段。社會主義的工業化一黨の一般の方針。工業政策。農業政策。勞働及び文化政策。商業政策。財政政策。其他。

世界經濟叢書

經濟批判會譯編

- (9) 國際信用恐慌 1.00
.08
- インフレーションへの途
- 第一部 信用恐慌の理論。信用＝及び本位貨幣恐慌に現はれた資本主義の諸矛盾。信用恐慌發生の過程。信用の構成。金本位制。金獲得の爲の闘争。爲替相場下落。信用恐慌とマルクス・レーニン主義の理論。世界恐慌と貨幣流通の崩壊。
- 第二部 各國。ドイツ。イギリス。アメリカ。合衆國に於けるインフレーションへの途上。附録、金融市場及び資本市場統計。
- (10) 資本主義の「計畫經濟」 .80
.08
- 第一部 計畫經濟會議。世界恐慌とブルジョア經濟學者の計畫的幻想。外國に於ける「計畫熱」とアムステルダムに於ける計畫經濟會議。ブルジョア的—社會主義的現實。計畫經濟會議の成果。
- 第二部 資本家及び社會民主主義者の計畫經濟。資本主義的「計畫經濟」理論。資本主義的計畫經濟は可能であるか。資本主義下に於ける國民經濟的計畫化のデマゴギー的空語。國家資本主義について。銀行統制と社會民主主義。「國民的計畫化」—勞働費の最近のトリック。
- (11) 金融市場の世界的動搖〔最新刊〕 1.50
.10
- 第一部。帝國主義下の信用制度—現在の信用及び貨幣恐慌に關聯させて見た。アメリカに於ける現在の信用恐慌の特質について。本位貨幣恐慌の諸問題。第二部。世界信用恐慌と財政の危機。アメリカ合衆國の國際貨幣と弗の將來。フランス金融恐慌の深刻化。植民地及び半植民地諸國に於ける信用及び貨幣恐慌。附録 貨幣市場及び資本市場の諸統計。



10/108405



中華民國捌拾玖年拾月卅日

贈

910/2447

734

經濟地理研究會

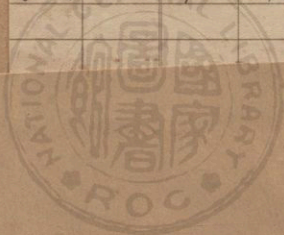
世界經濟地理 (日文)

4326

李望標

22/8

26/8



國家圖書館



001712754



¥2.00

國家圖書館



001712754

